Macan

取扱説明書

WKD 95B 06 70 **16** 02/15

Printed in Japan.

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

東京都目黒区下目黒1–8–1
ポルシェ ジャパン株式会社
アフターセールス部
マーケットサポートグループ

車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

オプション装備品や国別仕様は、法律等の基準によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。そのような項目にはアスタリスク（＊印）を付けていますのでご留意ください。この取扱説明書に記載した装備品の一部はオプション部品です。車両ご購入の際にこれらの装備品を追加したい場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と一部異なる場合があります。

エアバッグ警告ラベル

⚠ 危険 チャイルド・シートの助手席での使用

チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートは**使用しないでください。フロント・エアバッグが作動した場合、お子様が重傷または致命傷を負う危険があります。**
「チャイルド・シート(CRS)」（44ページ）を参照してください。

台湾のみ：

▷ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

▷ 「チャイルド・シート(CRS)」（44ページ）を参照してください。

取扱説明書内の安全に関する指示

この取扱説明書内には様々な安全に関する指示が使用されています。

⚠ 危険 重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 警告 重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

⚠ 注意 ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

車両を損傷する恐れがあります。

「知識」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

 インフォメーション

追加情報、ヒントおよび指示は「インフォメーション」で表示されています。「インフォメーション」の内容をよく読み、指示に従ってください。

目次

＊ 日本仕様に設定はありません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

外観図

運転席

A セントラル・ロッキング・ボタン
(22ページ)

B インナー・ドア・ハンドル
(23ページ)

C パーソナル設定用メモリー・ボタン
(158ページ)

D ライト・スイッチ
(89ページ)

E トリップ・メーター・リセット・ボタン、
インストルメント・パネル明るさ調節ボタン
(103ページ)

F オーバーヘッド・コンソール
(10ページ)

G パワー・ウィンドウ
(79ページ)

H ドア・ミラーの調節
(54ページ)

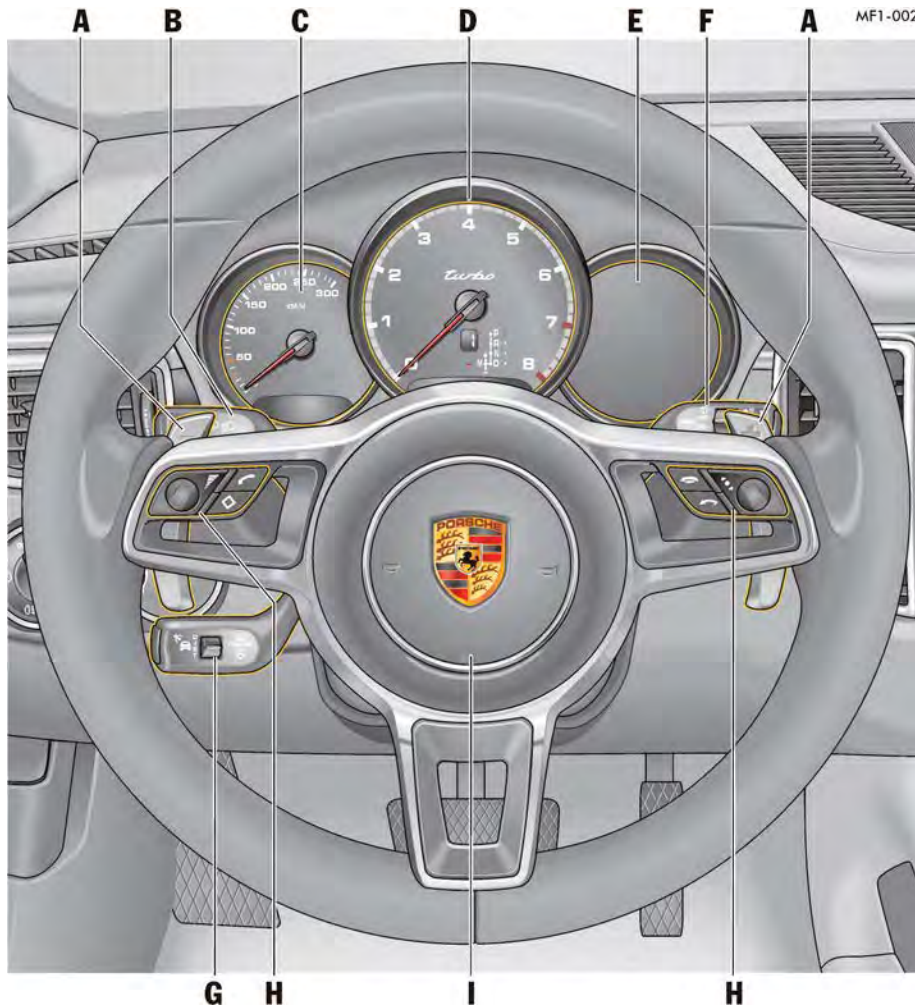
I エンジン・コンパートメント・リッドの
ロック解除
(24ページ)

J 故障診断用ソケット
(164ページ)

K イグニッション・ロック、ステアリング・
ロック
(164ページ)

L ステアリング・ホイール調節
(59ページ)

M シート調節
(34ページ)

ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル

A PDKシフト・パドル
(57ページ)
B 方向指示灯
(92ページ)
C スピードメーター
(103ページ)
警告灯および表示灯
(102ページ)
D タコメーター（回転計）
(103ページ)
警告灯および表示灯
(102ページ)
E マルチファンクション・ディスプレイ
(107ページ)
警告と情報メッセージの概要
(144ページ)
F フロント・ワイパー
(98ページ)
G クルーズ・コントロール
(174ページ)
アダプティブ・クルーズ・コントロール
(179ページ)
H 電話コントロール、マルチファンクション・ディスプレイ
(108ページ)
I ホーン
(57ページ)

センター・コンソール

A コンパス＊
(106ページ)
スポーツ・クロノメーター
(123ページ)

B ポルシェ・コミュニケーション・システム＊
(203ページ)

C エア・ベント
(74ページ)

D グローブ・ボックス
(237ページ)

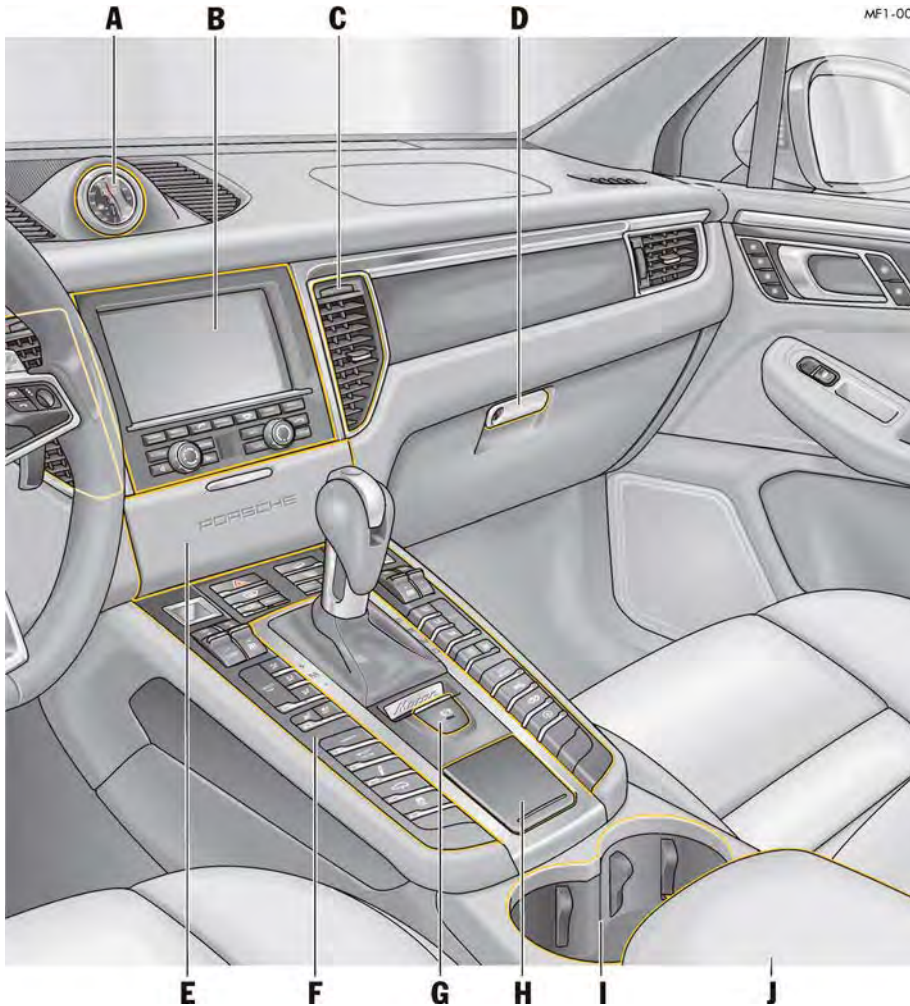
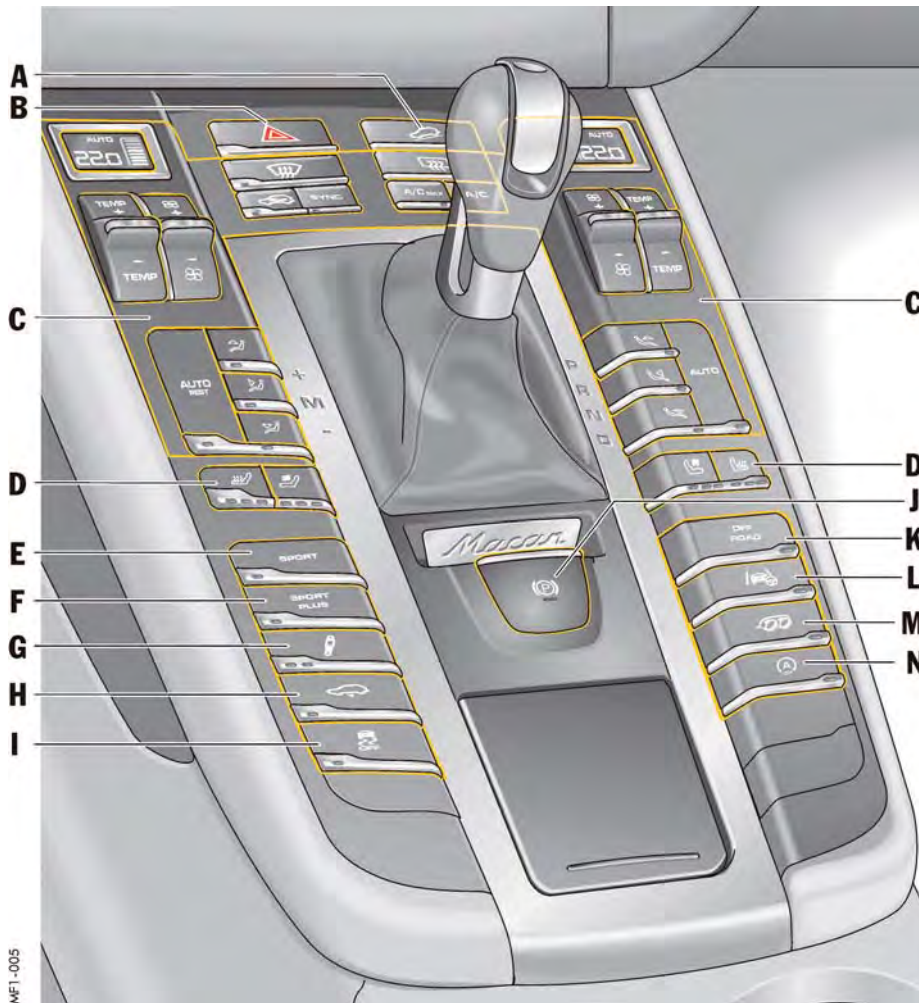
E ポルシェ・コミュニケーション・システム・カバー(SIMカードおよびCD/DVDスロット)＊
(203ページ)

F コントロール・パネル
(8ページ)

G エレクトリック・パーキング・ブレーキ
(171ページ)

H 灰皿、シガー・ライター
(240ページ)

I ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー
(238ページ)

J アームレスト、小物入れ
(238ページ)

＊ 日本仕様に設定はありません。

コントロール・パネル

A ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)
(222ページ)

B ハザード・ライト・スイッチ
(94ページ)

C エアコン・システム
(66ページ)

D シート・ヒーター、シート・ベンチレーター
(39ページ)

E 「スポーツ」モード
(232ページ)

F 「スポーツ・プラス」モード
(232ページ)

G ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)
(228ページ)

H ロー・レベル
(231ページ)

I ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)
(215ページ)

J エレクトリック・パーキング・ブレーキ
(171ページ)

K 「オフロード」モード
(223ページ)

L レーン・キープ・アシスト
(200ページ)
車線逸脱警告システム
(197ページ)

M スポーツ・エキゾースト・システム
(200ページ)

N オート・スタート/ストップ機能、惰性走行モード
(168ページ)

エアコン（2ゾーンおよび3ゾーン・エアコン）

A SYNCモード（運転席のエアコン設定を車内全体に適用する）
(72ページ)

B フロント・ウィンドウ・デフロスター
(75ページ)

C 内気循環モード
(72ページ)

D エアコン・ディスプレイ

E 温度の設定
(67ページ)

F 送風量の設定
(68ページ)

G フロント・ウィンドウへの送風
(69ページ)

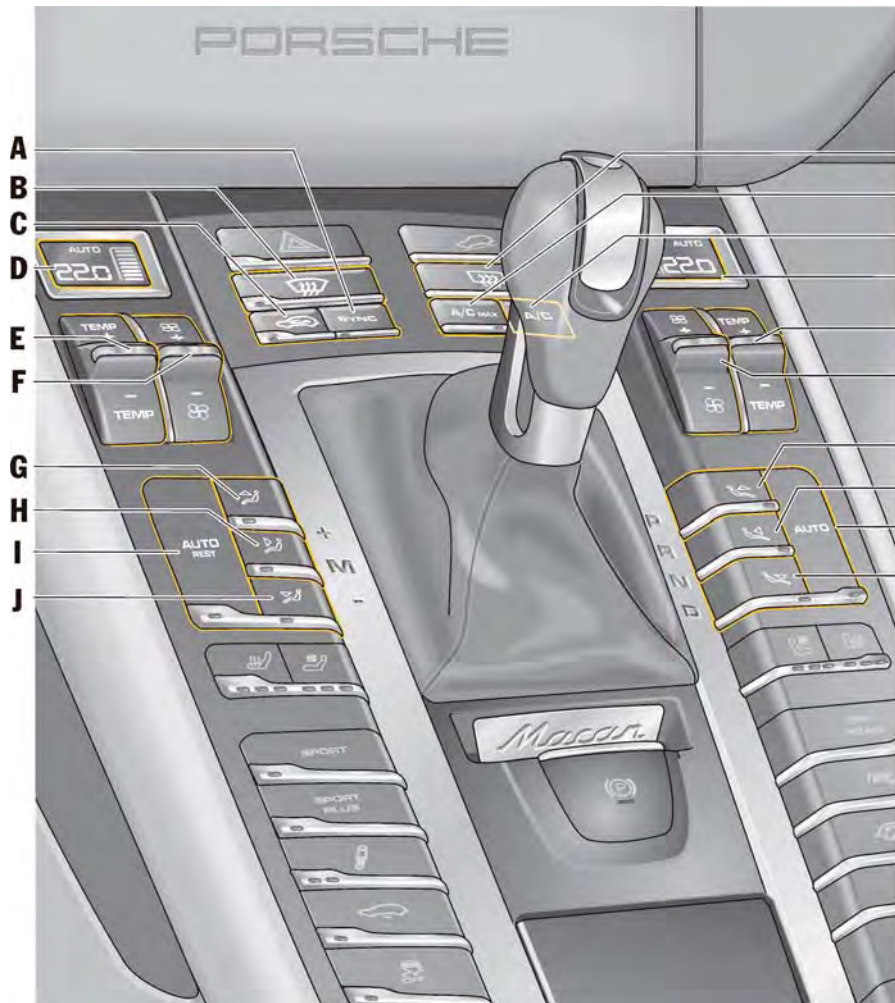
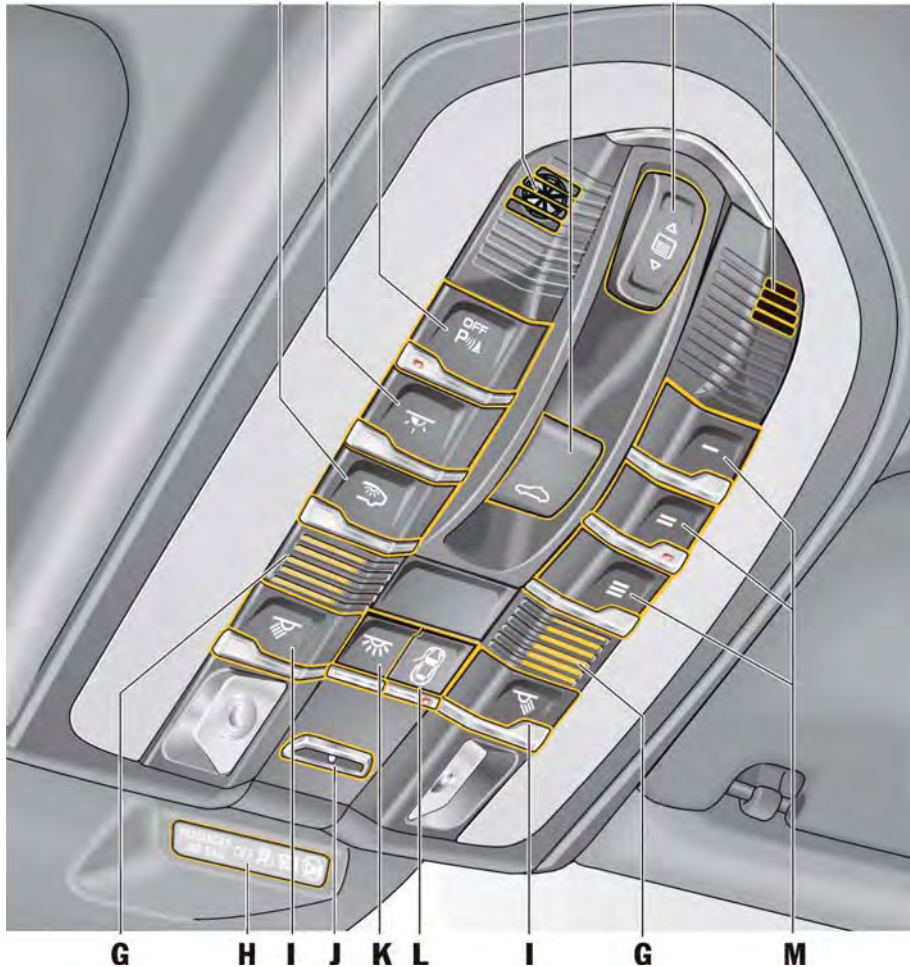
H 中央およびサイド・ベントからの送風
(69ページ)

I AUTOモード
(67ページ)
RESTモード（エンジン余熱ヒーター）
(73ページ)

J 足元への送風
(69ページ)

K リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター
(75ページ)

L A/C MAXモード
(71ページ)

M A/Cモード
(エアコン・コンプレッサーのON/OFF)
(70ページ)

オーバーヘッド・コンソール

A リヤ・インテリア・ライト
(95ページ)
B アンビエント・ライトの明るさ調節
(96ページ)
C パーキング・アシスタントOFFボタン
(261ページ)
D 室内モニタリング・システム・センサー
(270ページ)
E パノラマ・ルーフ・システム
(82ページ)
F パノラマ・ルーフ用ロールアップ式サンブラインド
(85ページ)
G ハンズフリー・マイク
H 助手席エアバッグOFF/ON警告灯
(53ページ)
I 読書灯
(95ページ)
J オリエンテーション・ライト
(96ページ)
K フロント・インテリア・ライト
(95ページ)
L ドア/リヤ・リッド連動インテリア・ライト
(96ページ)
M ガレージ・ドア・オープナー/ホームリンク®＊
(264ページ)

＊ 日本仕様に設定はありません。

後席

A パノラマ・ルーフ
(82ページ)

B ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット用タイダウン・リング
(248ページ)

C インナー・ドア・ハンドル
(23ページ)

D パワー・ウィンドウ
(79ページ)

E 読書灯
(95ページ)

F マップ・ポケット

G エアコン
(66ページ)

H シート・ヒーター
(39ページ)

I 灰皿、シガー・ライター
(240ページ)

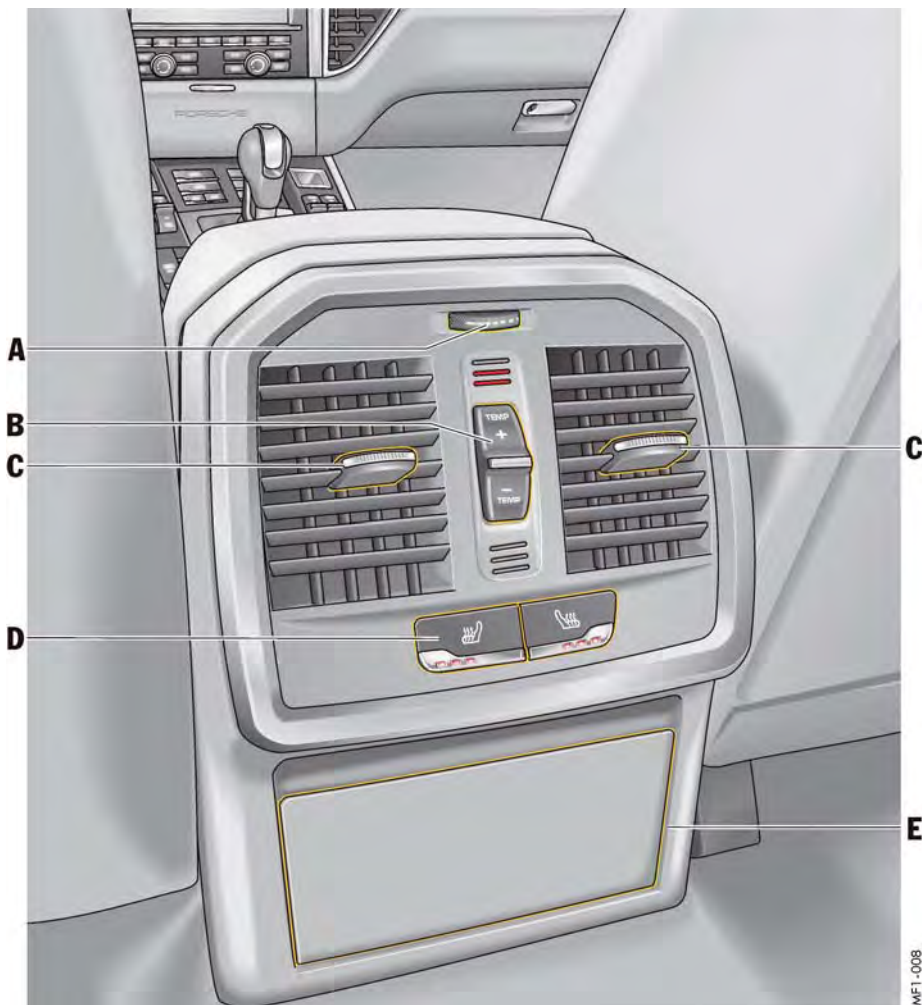
リヤ・エアコン（3ゾーン・エアコン）

A 送風量の設定
（69ページ）

B 温度の設定
（68ページ）

C エア・ベント
（70ページ）

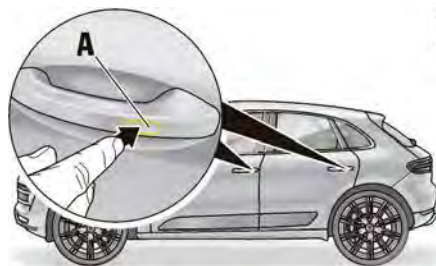
D シート・ヒーター
（39ページ）

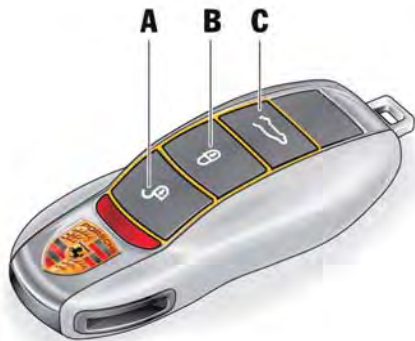
E 灰皿、シガー・ライター
（240ページ）

開閉操作とロック

概要 – 車外からの開閉操作とロック

ポルシェ・エントリー＆ドライブは、ドア・ハンドルのタッチ・センサー**A**の操作でロック/ロック解除ができるシステムです。

この概要説明は後述の「車外からの開閉操作とロック」に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

キー

ポルシェ・エントリー＆ドライブ

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
ロック解除	キーを使用する： キーの🔓ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルをしっかり握ってください。	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。
ロックする	キーを使用する： キーの🔒ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルのタッチ・センサー**A**に触れてください。	ハザード・ライトが2回点滅します。 – ドアおよびリヤ・リッドはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 – 室内モニタリング・システム装備車の場合：インナー・ドア・ハンドルを引いても、車内からドアを開くことはできません（セーフロック）。
人/動物を車両に残してロックする場合（室内モニタリング・システム装備車） – ロックされた車両のセーフロックを解除する **および** – 室内モニタリング・システムをOFFにする	キーを使用する： キーの🔒ボタンを2回押してください（約2秒以内）。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルのタッチ・センサー**A**に2回触れてください（約2秒以内）。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
警報を解除する	キーの🔓ボタンを押してください。 **または** イグニッションをONにしてください。	警報が止まります。

A - 車両のロック解除
B - 車両のロック
C - リヤ・リッドおよびドアのロック解除

車外からの開閉操作とロック

車両装備により、キーまたはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではキーなしでロックおよびロック解除ができます。

作動待機のOFF（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェ・エントリー＆ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドア・ハンドルを**1**回引くと、ポルシェ・エントリー＆ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドア・ハンドルをもう**1**回引くと、ドアが開きます。

インフォメーション

ここでは初期設定の機能を元に説明しています。コンフォート・メモリー装備車ではインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイを使用して機能の設定を変更し、そのとき使用しているキーに設定情報として保存しておくことができます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

インフォメーション

– 運転席ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両をロック解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロック位置**1**）にしなければなりません。運転席以外のドアはロックされたままになります。運転席ドアを開かなかった場合、約30秒後に車両は自動的に再ロックされます。
  エマージェンシー・キーを使用した車両のロック解除に関するインフォメーション：

▷ 「車両のロックを解除できない」（26ページ）を参照してください。

– 警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

キーを使用する

キーのボタン操作でロックおよびロック解除を行ってください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではキーを携行していれば（例えば着衣のポケットに入れておくだけで）、キーを使用することなく開閉操作およびエンジンの始動が行えます。

インフォメーション

ポルシェ・エントリー＆ドライブの機能を妨げるため、キーを電源がONの状態の電子機器（例えば、携帯電話、ノートパソコン、ドライバー・カード/リモート・キーパッド（ポルシェ車両追跡システム・プラス））と一緒に保管しないでください。

▷ 「開閉操作とロックの故障」（25ページ）を参照してください。

ドア・ロックを解除してドアを開く

インフォメーション

ドア・ロックを解除してからドアまたはリヤ・リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的にロックされます。警報システムが起動します。自動的に再ロックされた後、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊は解除されます（盗難防止機能が制限されます）。

この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊が再び作動します。

ドアのロック解除機能の設定

運転席ドアとリヤ・リッドのみをロック解除するか、またはすべてのドアをロック解除するか設定することができます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

なお、設定内容に関係なく、すべてのドアをロック解除することができます。

▷ キーの ボタンを5秒以内に2回押してください。

キーによるロック解除（リモート・コントロール）

1. ボタンを押してください。
ハザード・ライトが1回点滅します。
ドア・ロックが解除されます。

2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

ポルシェ・エントリー&ドライブによるロック解除（キーレス操作）

キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、車両のロックを解除することができます。

1. ドア・ハンドルをしっかり握ってください。
ハザード・ライトが1回点滅します。
ドア・ロックが解除されます。

2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ドアをロックする

セーフロック

セーフロック（室内モニタリング・システム装備車）は、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロッキング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

⚠ 警告 車外からのロック

車内モニタリング・システム装備車では、車外から車両をロックすると、**車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります（セーフロック）**。そのため、車外からロックする場合、車内に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

▷ 車両をロックするときは車内に人や動物がいないことを確認してください。

キーによるロック（リモート・コントロール）

1. ドアを閉じてください。
2. キーの🔒ボタンを1回押してください。
   ハザード・ライトが2回点滅します。

– 室内モニタリング・システム（セーフロック）**装備車**の場合：
  インナー・ドア・ハンドルを引いて、車内側からドアを開くことはできません。
– 室内モニタリング・システム**非装備車**の場合：ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
  または
– 人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：
▷ 🔒ボタンを2秒以内に2回押してください。
  ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

3. ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

– 運転席側ドアが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。
  すべてのドア、エンジン・コンパートメント・リッド、リヤ・リッドが閉じている場合のみハザード・ライトが点滅し、車両がロックされたことを知らせます。
– 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。他のドア、リヤ・リッドをロックするときは、キーが車外にあることを確認してください。
  キーを車内に残したままにすると、スペア・キーを使用しなければ車両を再度ロック解除することはできません。

ポルシェ・エントリー &ドライブによるドア・ロック（キーレス操作）

この操作を行うときは、キーを携行していなければなりません。

1. ドアを閉じてください。
2. ドア・ハンドルのタッチ・センサー**A**に触れてください。
   ハザード・ライトが2回点滅します。

– 室内モニタリング・システム（セーフロック）**装備車**の場合：
  インナー・ドア・ハンドルを引いて、車内側からドアを開くことはできません。
– 室内モニタリング・システム**非装備車**の場合：ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
  または
– 人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：
▷ ドア・ハンドルのタッチ・センサー**A**に2秒以内に2回触れてください。
  ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内側からドアを開くことができます。

3. ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

– ロックするときは、ドア・ハンドルのタッチ・センサーにのみ触れるようにしてください。
  ロック時にドア・ハンドルを握った場合、車両のドアはロックできません。
– すべてのドアまたはリヤ・リッドが完全に閉じていないと車両はロックできません。
  車内で警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。
– ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。
– キーがポルシェ・エントリー&ドライブの作動範囲外にある場合、ロックした後にはドアを開くことができなくなります。

オートマチック・リヤ・リッド

リヤ・リッドにはエレクトリック・ドライブ・メカニズム（パワーリフトおよびクロージング・エイド）が組み込まれています。

リヤ・リッドを自動開閉する

⚠ 危険 有毒な排気ガスの吸引

エンジンが作動している状態、または正しく閉じられていない場合でリヤ・リッドを開いていると、排気ガスが室内に侵入する危険があります。
▷ エンジンが作動しているときは、必ずリヤ・リッドを閉じてください。

⚠ 警告 オートマチック・リヤ・リッドの不用意な開閉

オートマチック・リヤ・リッドが不用意に開閉することによりケガを負う恐れがあります。
▷ 停車中にのみリヤ・リッドを開閉してください。
▷ リヤ・リッドの作動範囲内に人や動物がいないことを確認してからリヤ・リッドを開閉してください。
▷ 万一のときはいつでも作動を中断できるように、リヤ・リッドの開閉作動から目を離さないでください。

開閉作動の中断に関するインフォメーション：
▷ 「緊急時の開閉作動の中断」（21 ページ）を参照してください。

知識

オートマチック・リヤ・リッドが不用意に開閉することにより損傷する恐れがあります。
開閉時に、リヤ・リッドがガレージの天井に衝突したり、ルーフ・トランスポート・システムまたはラゲッジ・コンパートメントに載せた荷物に衝突したりする恐れがあります。
▷ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください（ルーフ・トランスポート・システムやガレージの天井など）。
▷ 積み荷がラゲッジ・コンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

リヤ・リッドを自動で開く

 インフォメーション

リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。

リヤ・リッドの開き方には**3**通りの方法があります：

手順1

▷ リヤ・リッドのリリース・ボタン（**矢印**）を短く押してください。
リヤ・リッドが自動で開きます。
このとき、車両のロックは解除しておいてください。
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車では、キーを携行していれば（例えば着衣のポケットに入れておくだけで）、車両がロックされていてもリッドを開くことができます。

手順2

▷ イグニッションがOFFのときは、キーの　ボタンを約1秒間押してください。

 インフォメーション

車両がロックされている場合、運転席ドアまたはすべてのドアがロック解除されます（マルチファンクション・ディスプレイでの設定により異なります）。
マルチファンクション・ディスプレイでのロック/ロック解除の設定に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

手順3

▷ 運転席ドアの　ボタンを短く押してください。

 インフォメーション

トレーラーやキャンピング・カー、またはバイク・ラックなどのアクセサリーをトレーラー・コネクターに接続してけん引している場合、リヤ・リッドのリリース・ボタンを操作したときのみリッドを開くことができます。

リヤ・リッドを自動で閉じる

⚠ 注意 パワー・クロージング・メカニズム

リヤ・リッドは、引き下げると自動的に閉じ、ロックされます。

▷ リヤ・リッドの下に指を入れないでください。

▷ パワー・クロージング・メカニズムの作動部品（ロックのロータリー・ラッチ）の近くに物を置いたり、指を近づけないでください。

▷ お子様のみを車内に残さないでください。

▷ リヤ・リッドを閉じる前に、リッドの可動範囲に物がないことを確認してください。リッドが障害物に触れると閉作動が中断した後、約1cm開きます。

リヤ・リッドの閉じ方には**2**通りの方法があります：

手順1

1. イグニッション・スイッチをONにした状態で運転席ドアの ボタンを押し続けてください。
警告音が鳴り、リヤ・リッドが閉じます。
2. キーの ボタンを1回押してください。
車両がロックされます。

A - リヤ・リッドを自動で閉じる
B - リヤ・リッドを自動で閉じる/ロックする（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

手順2

1. リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン**A**を押してください。
リヤ・リッドが閉じます。
2. キーの ボタンを1回押してください。
車両がロックされます。

リヤ・リッドを自動で閉じてロックする（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

▷ リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン**B**を押してください。
リヤ・リッドが閉じて、車両がロックされます。

リヤ・リッドを自動で閉じてロックするには、キーが次の位置になければなりません：

– リヤ・リッドの近く**および**
– 車外

この条件が満たされていない場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

インフォメーション

キーを車内に残した状態でロック・ボタン**B**を押した場合、リヤ・リッドの閉作動が自動的に中断されます。警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

インフォメーション

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車はキーが作動範囲外にある場合、リヤ・リッドを開くことができません。

緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、リヤ・リッドの開閉作動をすぐに中断できます：

▷ キーのボタンを押してください。
または
運転席ドアのボタンを短く押してください。
または
リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン**A**または**B**を短く押してください。
または
リヤ・リッドのリリース・ボタンを押してください。

自動開閉作動はいつでも再開することができます。再開するには、中断するために押したボタンを再度押してください。

リヤ・リッド開作動中の障害物の検出

リヤ・リッドの開作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。
警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。
障害物を取り除いた後、次のボタン操作で開作動を再開できます：

▷ キーのボタンを押してください。
または
運転席ドアのボタンを短く押してください。
または
リヤ・リッドのリリース・ボタンを押してください。

リヤ・リッド閉作動中の障害物の検出

リヤ・リッドの閉作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。
警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。
障害物を取り除いた後、リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを押して閉じるか、手でゆっくり押して閉じてください。

リヤ・リッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤ・リッドが降り積もった雪の重みなどで開いた状態から不意に下がると、パワー・メカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

▷ リヤ・リッドの動きが止まってから約1秒が経過すると、パワー・メカニズムのブレーキ機能が解除されます。

リヤ・リッドを開く高さの設定

例えば天井が低い車庫の中でリヤ・リッドを開くときなど、リッドを開く高さをあらかじめ設定することができます。

インフォメーション

レベル・コントロール装備車は、レベリング・システムの設定に応じて車高が変化します。

▷ このため、レベル・コントロール装着車では、車高を最も高い状態にセットしてからリッドの開く高さを設定してください。車高が低い状態でリッドの開く高さを設定すると、レベリング・システムの設定を切り替えたときにリッドが障害物に衝突する恐れがあります。

---

1. 車両の後方に立ってリヤ・リッドを開いてください。
2. リヤ・リッドが全開時の約2/3の高さまで開いたときに、キーのボタンを押して自動開作動を中断します。
3. そこから、設定したい高さになるまでリッドを手で持ち上げてください。このとき、天井などの障害物との距離が十分に保たれていることを確認してください。
4. リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン**A**を約3秒間押してください。
   リヤ・リッドを開く高さが保存されると確認音が鳴ります。
   作業が完了した後、ボタンを短く押してリッドを閉じることができます。

リヤ・リッドを開く高さの設定は、一度保存すると消去できません。設定を変更したい場合は1～4の手順を繰り返してください。

リヤ・リッド・ドライブ・メカニズムの作動不良

バッテリーの電圧が低下するとリヤ・リッドの自動開閉機能は作動しません。
この場合、ボタンを押すとリヤ・リッドのロックのみが解除され、警告音が短く3回鳴ります。リヤ・リッドは手で開くことができます。

▷ バッテリーを充電してください。

または

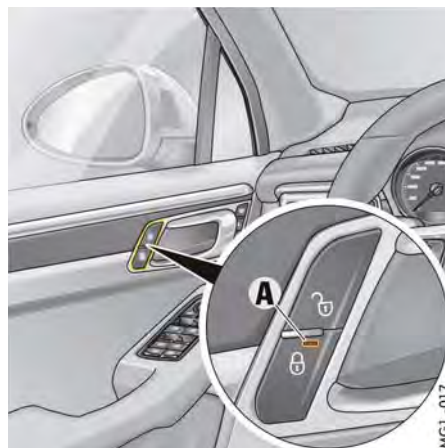
メカニズムの故障などでリヤ・リッドの自動開閉作動が中断した場合：

▷ リヤ・リッドを手でゆっくり開閉してください。

オーバーロード・プロテクション（過負荷時の保護機能）

リヤ・リッド・ドライブの過負荷を検出すると、警告音が短く鳴ります。
このとき自動開閉機能が約30秒間作動しなくなります。

車内からの開閉操作とロック

ここでは初期設定の機能を元に説明しています。
コンフォート・メモリー装備車では、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイを使用して設定を変更し、そのとき使用しているキーに設定情報として保存しておくことができます。
ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：
「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタン

ドアをロックする

必要条件

車両をロックする前に、すべてのドアとリヤ・リッドを完全に閉じてください。

▷ ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタンを押してください。
  イグニッションをONにすると、ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタンのインジケーター・ライト**A**が点灯します。
  車両の**すべての**ドアとリヤ・リッドがロックされます。
  ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより開くことができます。

インフォメーション

セントラル・ロッキング・ボタンは、フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）のロック/ロック解除はできません。

オート・ロック機能による自動ロック

この機能が作動しているときは、速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

ドア・ロックを解除する

▷ ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタンを押してください。
ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタンのインジケーター・ライト**A**が消灯します。
すべての車両ドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

オート・ロック機能による自動ロック解除

ポルシェ・エントリー＆ドライブ**非装備車**：
イグニッション・キーを抜くと、車両は自動的にロック解除されます。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ**装備車**：
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

インフォメーション

キーまたはエマージェンシー・キーで車両をロックした場合、セントラル・ロッキング・ボタンでロックを解除することはできません。

ドアを開く

▷ インナー・ドア・ハンドル（**矢印**）を引いてください。

インフォメーション

室内モニタリング・システム装備車で、キーのボタンまたはドア・ハンドルのボタン（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）を1回押して車両をロックした場合、ドアおよびリヤ・リッドを車内から開くことはできません（セーフロック）。

リヤ・ドアをロックする

後席乗員が誤ってインナー・ドア・ハンドルを引き、車内からドアが開くことを防ぎます。

チャイルド・ロック機能の作動/解除

リヤ・ドア開口部のキャッチの近くに、チャイルド・ロックを作動/解除するためのキー・スイッチがあります。
チャイルド・ロックを作動させると、インナー・ドア・ハンドルの操作でリヤ・ドアを開くことができなくなります。

右リヤ・ドアのチャイルド・ロック

▷ **作動**させるには：エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約45°反時計回りに回してください。左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約45°時計回りに回してください。
チャイルド・ロックが作動すると、ロック・シリンダーが縦位置になります。

▷ **解除**するには：エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約45°時計回りに回してください。左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約45°反時計回りに回してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷「エマージェンシー・キー」（30ページ）を参照してください。

エンジン・コンパートメント・リッドの開閉

開く

知識

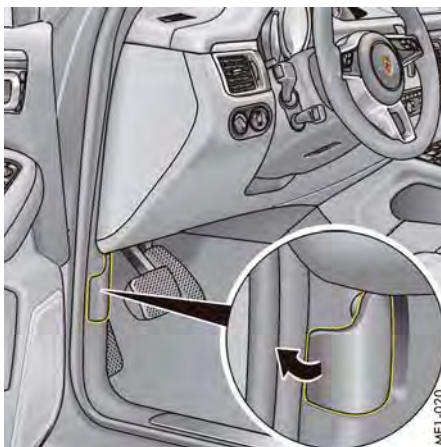
エンジン・コンパートメント・リッドまたはフロント・ワイパーを損傷する恐れがあります。

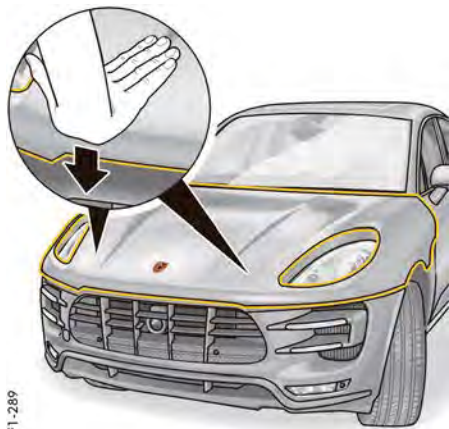
エンジン・コンパートメント・リッドを開くときにフロント・ワイパー・アームが起きていると、ワイパーまたはエンジン・コンパートメント・リッドが損傷する恐れがあります。

▷ エンジン・コンパートメント・リッドを開くときは、フロント・ワイパー・アームが起きていないことを確認してください。

▷ エンジン・コンパートメント・リッドを開く前に、必ずワイパーをOFF（ワイパー・レバーを**0**の位置）にしてください。イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、エンジン・コンパートメント・リッドを開くと自動的にワイパー・アームが停止位置まで移動します。エンジン・コンパートメント・リッドを閉じ、ワイパー・システムをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。

フロント・ワイパーに関するインフォメーション：

▷ 「フロント・ワイパーおよびヘッドライト・ウォッシャー・システム」（98ページ）を参照してください。

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリース・レバー（**矢印**）を引いてください。エンジン・コンパートメント・リッドのロックが解除されます。

3. エンジン・コンパートメント・リッドを少し持ち上げ、リリース・レバー（**矢印**）を押してください。
4. エンジン・コンパートメント・リッドを完全に開いてください。

閉じる

⚠ 注意 エンジン・コンパートメント・リッドを閉じる

エンジン・コンパートメント・リッドを閉じるときは、リッドを半分開いた位置まで引き下げた状態から落とし、リッドの重さを利用して2箇所のロック部をロックします。

▷ エンジン・コンパートメント・リッドの下に指を入れないでください。

▷ エンジン・コンパートメント・リッドの作動部品（ヒンジ）の近くに物を置いたり、指を近づけないでください。

---

1. 半分開いた位置までリッドを引き下げ、そこで手を放して2箇所のロック部をロックしてください。必要に応じて、2箇所のロック部の真上付近を手のひらで押し、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが完全にロックされているか、リリース・レバーが初期位置に戻っているか確認してください。

エンジン・コンパートメント・リッドが2箇所のロック部で確実にロックされていない場合、車両の発進時にマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 車両を安全な場所に停車し、エンジン・コンパートメント・リッドを再度開いて、2箇所のロック部に落としてロックしてください。必要に応じて、2箇所のロック部の真上付近を手のひらで押し、リッドを確実にロックしてください。

開閉操作とロックの故障

リヤ・リッドがロック解除できない

キーでの操作でリヤ・リッドが開かないとき（リモート・コントロールの電池が弱くなったときなど）は、緊急操作を行う必要があります：

1. エマージェンシー・キーを使用して運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください。

▷ 「車両のロックを解除できない」（26ページ）を参照してください。

2. ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタンを押してください。
   リヤ・リッドのロックが解除され、以下の操作で開くことができます：

▷ 運転席ドアのボタンを短く押してください。
または
リヤ・ワイパーのリリース・ボタンを押してください。
または
リヤ・リッドの下端を握り、手動で開いてください。

リヤ・リッドの緊急操作

バッテリーがあがっている場合などでリヤ・リッドが開かないときは、リヤ・リッドの緊急操作を行う必要があります：

1. リヤ・シート・バックレストを倒してください。

▷ 「リヤ・シートのバックレストを倒す、垂直位置に戻す」（38ページ）を参照してください。

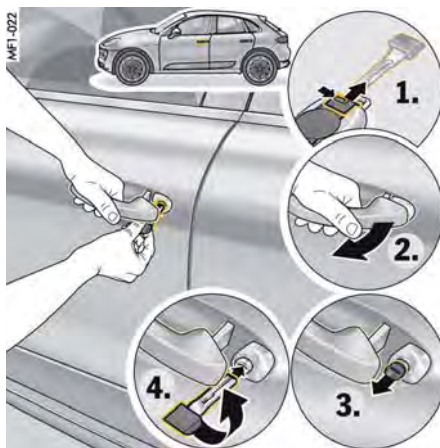
2. 倒したシートの上を通って、ラゲッジ・コンパートメントに入ってください。
3. リヤ・リッド内側の緊急ロック解除機構のカバーをドライバーで取り外してください。
4. リヤ・リッドのロックをドライバーで矢印の方向へ動かし、ロックを解除してください。
   解除音が聞こえます。
5. リヤ・リッドは手で開くことができます。

1つのドアのみロックが解除される

マルチファンクション・ディスプレイを使用して、ドアおよびリヤ・リッドのロック/ロック解除の設定を変更することができます。なお、設定内容に関係なく、すべてのドアを開くことができます。

▷ キーの ボタンを5秒以内に2回押してください。

マルチファンクション・ディスプレイでのロック/ロック解除の設定に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

車両のロックを解除できない

リモート・コントロール・キーが、次のいずれかの状態にあることが考えられます。

– 電磁波などの影響で正常に機能していない（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車のリモート・コントロールでも同様の症状が発生することがあります）
– システムが故障している
– キーの電池が消耗している
「キー（リモート・コントロール）の電池交換」（29ページ）を参照してください。

▷ ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車のキーを電源がONの状態の電子機器（例えば、携帯電話、ノートパソコン、充電アダプター、ドライバー・カード/リモート・キーパッド（ポルシェ車両追跡システム・プラス））と一緒に保管しないでください。必要な場合、キーを他の場所へ保管してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

▷ リヤ・ウィンドウの右上でリモート・コントロールを保持し、 ボタンを押してください。

エマージェンシー・キーを使用したロック解除

車両のロックを解除できない場合（例えばバッテリーの消耗）：

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（30ページ）を参照してください。

2. ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
3. ロックのカバーを取り外してください。
4. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、抵抗のある方向へ一定の力で90°回してロックを解除してください。その後、初期ポジションへ戻し、キーを抜き取ってください。
5. ロックのカバーを取り付けてください。
6. ドア・ハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
7. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしてください。

インフォメーション

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

イグニッションをONにできない場合（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の追加作業）：

イグニッションをONにできない場合、またはエンジンが始動しない場合、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**注意 キーは車内にありません**」が表示されます。

1. キーを電源がONの状態の電子機器（例えば、携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブル、ドライバー・カード/リモート・キーパッド（ポルシェ車両追跡システム・プラス））と一緒に保管しないでください。必要な場合、キーを他の場所へ保管してください。
2. イグニッションをONにできない場合、コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に回してください。
3. エンジンを再始動してください。
   エンジンが始動できない場合、メッセージ「**注意 キーは車内にありません**」が再度表示されます。
   約1秒後にメッセージ「**スイッチ部：左へ回し、取り外し、キーを差し込む**」が表示されます。
4. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。
   イグニッション・キーを使用してイグニッションをONにしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

車両をロックできない

この状態は、ハザード・ライトが点灯せず、ロック音が聞こえないことで判断できます。

リモート・コントロール・キーが、次のいずれかの状態にあることが考えられます。

– 電磁波などの影響で正常に機能していない（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車のリモート・コントロールでも同様の症状が発生することがあります）
– システムが故障している
– キーの電池が消耗している
  「キー（リモート・コントロール）の電池交換」（29ページ）を参照してください。

または

バッテリーが消耗している

▷ キーを電源がONの状態の電子機器（例えば、携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブル、ドライバー・カード/リモート・キーパッド（ポルシェ車両追跡システム・プラス））と一緒に保管しないでください。必要な場合、キーを他の場所へ保管してください。

それでも車両のロックできない場合：

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（30ページ）を参照してください。

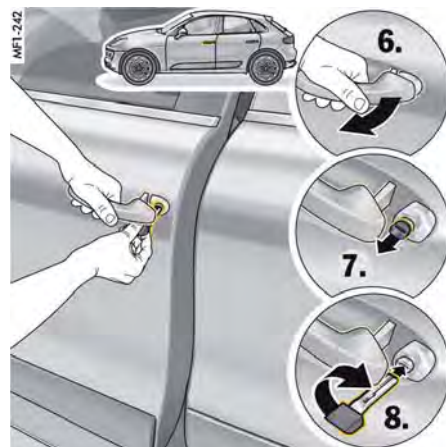
2. 運転席のドアを開き、ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
3. ロックのカバーを取り外してください。
4. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、抵抗のある方向へ一定の力で90°回してロックを解除してください。その後、初期ポジションへ戻し、キーを抜き取ってください。
5. ロックのカバーを取り付けてください。
6. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。
7. 車両がロックしていることを確認してください。

インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

この場合、緊急ロック機能を使用して、ドアをロックする必要があります：

▷ 「車両のすべてのドアを同時にロックできない」（28ページ）を参照してください。

▷ セントラル・ロッキング・システムの故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両のすべてのドアを同時にロックできない

セントラル・ロッキング・システムの故障が考えられます。この場合、緊急ロック機能を使用して、ドアをロックする必要があります。

1. 助手席ドアを開いてください。

2. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（30ページ）を参照してください。

3. カバーを取り外してください。
エマージェンシー・キーを使用して、キー・スイッチを車両の外側方向に回してください。

4. リヤ・ドアについても同様の作業を行ってください。

5. すべてのドアを閉じてください。

6. 運転席のドアを開き、ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。

7. ロックのカバーを取り外してください。

8. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、抵抗のある方向へ一定の力で90°回してロックを解除してください。その後、初期ポジションへ戻し、キーを抜き取ってください。

9. ロックのカバーを取り付けてください。

10. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。

11. すべてのドアがロックしているか確認してください。

ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。

キーおよびセントラル・ロッキング・システムの知識

キー

車両には2本のキーが付属しており、それぞれエマージェンシー・キーを内蔵しています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

▷ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください：特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。

▷ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
キーを車内に残さないでください。

▷ キーを紛失した、または盗難に遭遇したとき、スペア・キーを追加したり交換したりしたときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。

▷ 紛失または盗難に遭遇したキーの電子コードを無効にしていても、そのキーをドア・ロックに差し込んで車両をロック/ロック解除できます。

インフォメーション

コンフォート・メモリー装備車の場合、車両をロックしたときに、車両の様々な設定がそのとき使用しているキーに保存されます。

キーの車両設定の保存に関するインフォメーション：

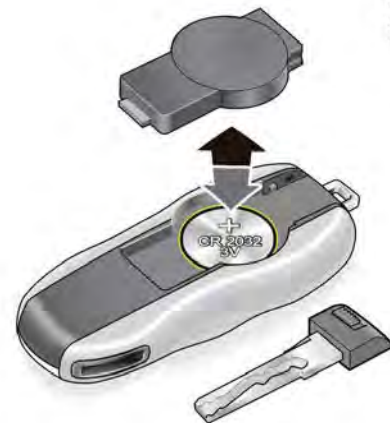
▷ 「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

キー（リモート・コントロール）の電池交換

インフォメーション

▷ 電池を廃棄処分するときは、定められた法規に従ってください。

キー

リモート・コントロールの電池が弱まると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**車両キー内のバッテリーを交換します**」のメッセージが表示されます。速やかに電池を交換してください。

電池の交換（CR 2032、3V）

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（30ページ）を参照してください。

2. 小さなドライバーなどを使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

エマージェンシー・キー

エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押してください。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

エマージェンシー・キーを収納する

▷ リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

キーの交換

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございますので、いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。キーは盗難の恐れがない安全な場所に保管し、車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを使用するには、そのキーの電子コードを車両のコントロール・ユニットに「登録」する必要があります。この登録作業はポルシェ正規販売店でのみ実施が可能です。また、登録作業を行うときは、現在登録しているすべてのキーを同時に再登録しなければなりません。再登録しなかったキーの電子コードは、コントロール・ユニットから抹消され、以後使用できなくなります。

最大で8本のキーを登録することができます。

セントラル・ロッキング

車両にはセントラル・ロッキング・システムが装備されています。セントラル・ロッキング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します：

– ドア
– リヤ・リッド
– フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）

車両をロック/ロック解除したときは、セントラル・ロッキング・システムが自動的に作動します。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して、ドアおよびリヤ・リッドのロック/ロック解除の設定を変更することができます。

なお、設定内容に関係なく、すべてのドアをロック解除できます。

▷ キーの ボタンを5秒以内に2回押してください。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（138ページ）を参照してください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ

ポルシェ・エントリー&ドライブのアンテナの取り付け位置
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

▷ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナ**A**および車室内アンテナ**B**から約22cm以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。

▷ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

シート、ミラー、ステアリング・ホイールおよび遮光装備

フロント・シート

シート位置

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢を保つことが重要です。運転席シートの位置を調節するときは、運転者の体格などに合わせて次の要領で実施することを推奨いたします。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節してください。ブレーキ・ペダルをいっぱいに踏み込んだときに、脚が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度と、ステアリング・ホイールの位置を肘が少し曲がる位置に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を再調節してください。
5. ヘッドレストの高さを、上端が耳より高くなる位置に調節してください。

シート位置の調節

⚠ 警告 運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▷ 運転中はシート調節を行わないでください。

⚠ 注意 シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

▷ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

知識

シート位置を調節するときに、ヘッドレスト、ルーフ・ライニングやサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

▷ ヘッドレスト、ルーフ・ライニングまたはサンバイザーとの間に十分なスペースがあることを確認してください。

ℹ インフォメーション

ISOFIXチャイルド・シート・システムを助手席に取り付けた場合、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限され、助手席シート・バックレストはリクライニング位置へ調節できません。

機械式シートの調節

1 高さ調節

▷ レバー **1**を（数回）操作して、シートを希望の高さに調節してください。

– レバーを上げる = 座面が上昇します。

– レバーを下げる = 座面が下降します。

2 バックレストの角度調節

▷ バックレストが希望の角度になるまで、調節ホイール**2**を回してください。

3 前後の調節

▷ ロック・レバー **3**を引き上げてください。
シートを希望の位置に移動させてから、レバーを放してください。
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

電動シートの調節

1 シートの角度調節
2 シートの高さ調節
3 座面の深さ調節
4 座面のサイド・サポートの調節
5 バックレストのサイド・サポートの調節
6 前後の調節
7 バックレストの角度調節
8 ランバー・サポートの調節（骨盤と脊柱を支えるバックレストの曲がり具合）

▷ 各スイッチを**矢印**の方向に押して、希望のシート位置に調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

イージー・エントリー機能

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

⚠ 注意 運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

▷ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

知識

リヤ・シートを前方に倒した状態で設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。
シートが後退し、損傷する恐れがあります。

▷ リヤ・シートを前方に倒しているときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

必要条件

マルチファンクション・ディスプレイで機能が作動状態に設定されている必要があります。
イージー・エントリー機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「イージー・エントリーのON/OFF」（139ページ）を参照してください。

降車するとき

以下の操作を行うと、ステアリング・ホイールが上方に移動します：

– キーを抜き取ったとき、**または**
– イグニッションをOFFにし、**更に**運転席ドアを開いたとき（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

以下の操作を行うと、シートが後方に移動します：

– キーを抜き取り、**更に**運転席ドアを開いたとき、**または**
– イグニッションをOFFにし、**更に**運転席ドアを開いたとき（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

乗車するとき

運転席シートとステアリング・ホイールはイージー・エントリー位置にあります。
ドアを閉じてキーを差し込む、またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをONにすると、保存された位置にステアリングおよびシートが移動します。

インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング・ホイールは保存された位置に移動します（「オート・メモリー」機能を有効にした場合）。

▷ 「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。
この場合、ドライビング・ポジションを手動で設定する必要があります。

ヘッドレスト

フロント・シートのヘッドレストは、高さと前後位置の調節が可能です。
リヤ・シートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

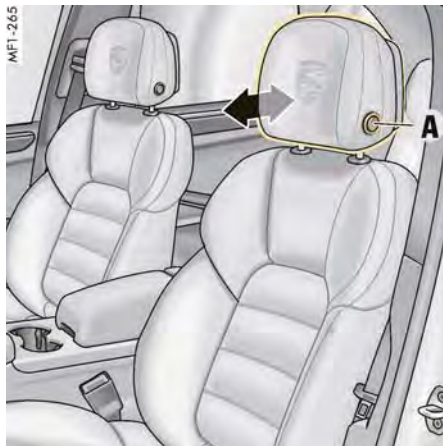
▷ ヘッドレストの高さを、上端が耳より高くなる位置に調節してください。
▷ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

フロント・シートのヘッドレストの調節

上げる

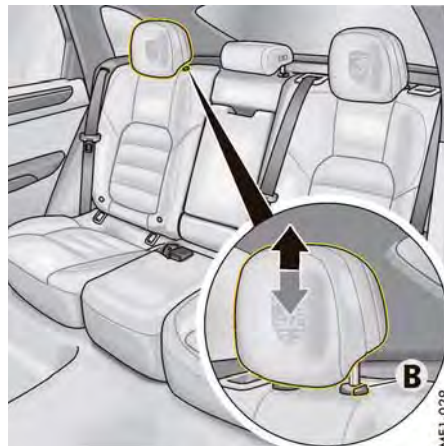
▷ ボタン**A**を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し上げてください。

下げる

▷ ボタン**A**を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。

前方向

▷ 希望の位置になるまでヘッドレストを前方向に引いてください。

後ろ方向

▷ ボタン**A**を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを後ろ方向に押してください。

リヤ・シートのヘッドレスト調節

上げる

▷ 希望の位置になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

下げる

▷ ボタン**B**を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。

⚠ 警告 中央のリヤ・シートのヘッドレスト位置

後方視界を確保するために、中央のリヤ・シートのヘッドレストの位置を通常より下げることができます。
中央のリヤ・シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを正しい位置に調節してください。

▷ ヘッドレストが正しい位置に調節されているか確認してください。

▷ ボタン**B**を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押してください。

リヤ・シートのヘッドレストを取り外す

チャイルド・シートを正しく取り付けるために、リヤ・シートのヘッドレストを取り外さなければならない場合があります。
チャイルド・シートの取り付けに関するインフォメーション
「チャイルド・シート(CRS)」(44ページ)を参照してください。

取り外し

1. ヘッドレストをいっぱいに押し上げてください。
2. ボタン**A**を押しながら、ボタン**A**に噛み合うまでヘッドレストを持ち上げてください。
3. ボタン**B**を押してください。
4. ボタン**A**が噛み合った状態でボタン**B**を押し、ヘッドレストを外して車内の安全な場所に収納してください。

取り付け

1. ヘッドレストをガイドに挿入し、ロック音がするまで押し下げてください。
2. ボタン**A**を押しながら、ヘッドレストを完全に押し下げてください。
   この状態になるとヘッドレストを引いてもバックレストから外れません。

⚠ 警告 リヤ・シートのヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない

ヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。
リヤ・シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付け、正しい位置に調節してください。

▷ チャイルド・シートを固定するために必要な場合にのみ、ヘッドレストを取り外してください。
▷ リヤ・シートに乗員が座っているときは、ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。

⚠ 警告 ヘッドレストの交換

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。
ヘッドレストの再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

▷ ヘッドレストが、誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

リヤ・シート

リヤ・シートのバックレストを倒す、垂直位置に戻す

リヤ・シート・バックレストはラゲッジ・ルームをより広く使用するため、分割して個々に倒すことができます。

知識

リヤ・シートが損傷する恐れがあります。

▷ バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

外側リヤ・シートのバックレストを倒す

1. ヘッドレストを押し下げてください。
   「ヘッドレスト」（36ページ）を参照してください。
2. 解除ボタン**A**を押しながらバックレストを倒してください。

インフォメーション

左側（進行方向に対して）と中央のリヤ・シートのバックレストはお互いに接続されています。このため左側のバックレストを倒すと、中央のバックレストも一緒に倒れます。
中央のバックレストは個別に倒すことができます。

▷ 「中央のリヤ・シートのバックレストを倒す」（38ページ）を参照してください。

中央のリヤ・シートのバックレストを倒す

▷ 解除レバー **A**を矢印の方向に操作しながらバックレストを倒してください。

リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す

▷ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。
シートベルトを挟み込まないように注意してください。

⚠ 警告 バックレストが正しく固定されていない

リヤ・シートのバックレストが正しく固定されていない場合、車両が動いているときに不意に倒れる恐れがあります。
赤いマーク**B**が見えているときは、バックレストが正しくロックされていません。

▷ バックレストを起こした後、赤いマーク**B**が見えていないことを確認してください。
必要な場合、再度バックレストを倒してもう一度固定してください。

A- シート・ヒーター（フロント）
B- シート・ベンチレーター（フロント）

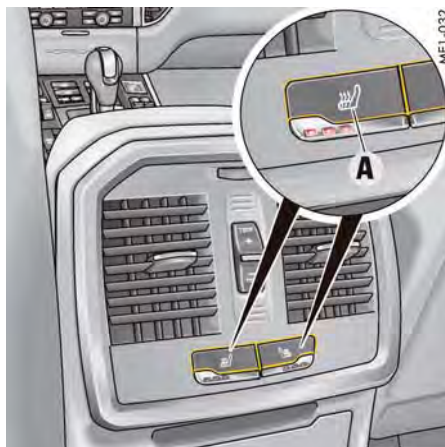
シート・ヒーター /シート・ベンチレーター

シート・ヒーター /シート・ベンチレーターは、エンジン作動中にのみ操作できます。ヒーターの強さまたはシートの換気はボタンを繰り返し押すことにより3段階の設定に調節できます。

シート・ヒーターをONにする

▷ ボタンAを（繰り返し）押してください。
ヒーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

シート・ヒーターをOFFにする

▷ ボタンAをインジケーター・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

シート・ヒーター（リヤ）

シート・ベンチレーター（フロント）をONにする

▷ ボタンBをインジケーター・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。
ベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

シート・ベンチレーター（フロント）をOFFにする

▷ ボタンBをインジケーター・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

i インフォメーション

– 室内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。
– 室内の温度が低いときはシート・ベンチレーターを使用できません。

リヤでの操作を無効にする（チャイルド・ロック）

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティー・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

▷ セーフティー・ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
シート・ヒーターの現在の設定は保存されます。
リヤ・コントロール・パネルのボタンの機能が停止します。

シートベルト

⚠ 危険 シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

▷ 安全のため、乗車時はすべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。
運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

▷ 1本のシートベルトを同時に2人で使用することは、絶対に避けてください。

▷ だぶついた衣服はシートベルトが正しく着用できない上に、動作の自由を奪うことになりますので、乗車時は必ず脱ぐようにしてください。

▷ 堅い物や壊れやすい物（メガネ、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にベルトがかからないようにしてください。
これらは、衝突の際に乗員が負傷する危険性を高くします。

▷ シートベルトはねじれやたるみがないように着用してください。

⚠ 危険 損傷したシートベルトの使用

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。
作動したシートベルト・プリテンショナー・システムは必ず交換してください。

▷ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうか点検してください。

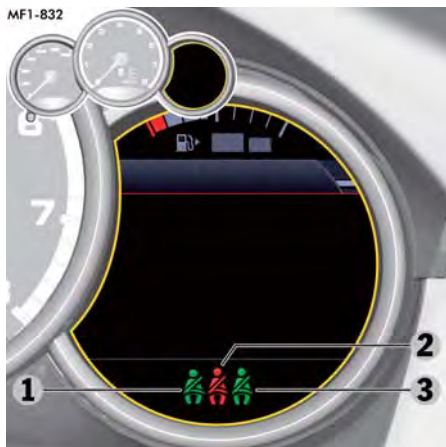
▷ 損傷したベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは、該当のシート用に認証されているベルトと早急に交換してください。
同様に、作動したシートベルト・プリテンショナー・システムとフォース・リミッターも早急に交換してください。
更に、ベルトのアンカー部分についても点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルト警告灯および警告メッセージ

シートベルトの着用を促すためにインストルメント・パネル内にメッセージが表示され、運転席シートベルトのバックル・プレートがバックルに差し込まれるまで表示され続けます。

フロント・シート

イグニッションをONにすると、インストルメント・パネル内のタコメーターの赤色の警告灯が機能点検のため、数秒間点灯します。
運転開始時に運転席または助手席シートベルトが着用されていない場合は、赤色の警告灯が点灯したままになります。マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージも表示されます。
速度が約24km/hを超えると、赤色の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。

1 - 左側リヤ・シート用のシートベルト・ステータス表示
2 - 中央リヤ・シート用のシートベルト・ステータス表示
3 - 右側リヤ・シート用のシートベルト・ステータス表示

リヤ・シート（国別仕様により異なる）

車両が発進する時、リヤ・シート用シートベルトのステータス（図を参照）が、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに約30秒間表示されます。

緑色のシンボル・マークは、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボル・マークは、そのシートに座った人がシートベルトを着用していない、または誰も着座していないことを示します。

運転中にリヤ・シートのシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、該当するシンボル・マークが赤色に変わって約30秒間点滅します。

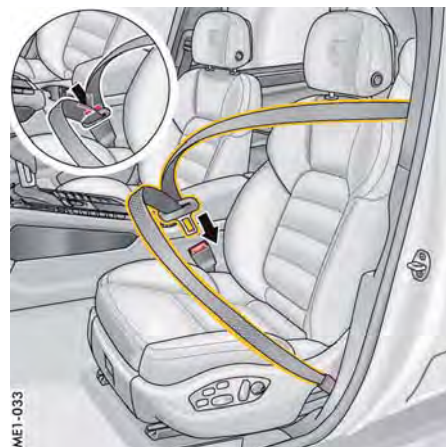
シートベルト・プリテンショナー

シートベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト・プリテンショナーの作動条件

– 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
– 側面から強い衝撃を受けた場合
– 車両が転倒した場合

インフォメーション

シートベルト・プリテンショナー・システムは1回しか作動できません。作動したプリテンショナーは、早急に交換してください。
シートベルト・プリテンショナー・システムに関連する作業は、必ずポルシェ正規販売店に依頼してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
シートベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通って上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのバックル・プレートを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シートベルトを急に引いたときは、ベルトがロックされて引き出せないことがあります。
加速中や減速中、コーナリング中、および上り坂を走行中はシートベルトがロックされて、引き出すことができません。

---

4. シートベルトのバックル・プレートは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるようにしてください。プレートをバックルに差込んで、肩ベルトを上に引っ張ってください。
   妊娠中の方は腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

シートベルトを外す

1. シートベルトのバックル・プレートを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタン（**矢印**）を押してください。
3. シートベルトをリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルトの高さを調節する

フロント・シートのシートベルト引き出し口は、高さを調節できます。

▷ シートベルトを着用したときに首にかかることのないように、肩の中央を通って上半身を斜めに横切るようベルトの高さを調節してください。

シートベルトの高さを調節する

▷ 上げる – シートベルト引き出し口を押し上げてください。
▷ 下げる – ロック・ボタン**A**を押しながらシートベルト引き出し口を下げてください。

エアバッグ・システム

安全に関する注意事項

⚠ 危険 不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

▷ **常にシートベルトを着用してください。**
▷ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
▷ ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
▷ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。
エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。
また、サイド・エアバッグ装備車では、ドア（エアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
▷ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
▷ 重い荷物をシートの上や前方に置かないでください。
▷ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
▷ 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
▷ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
▷ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての同乗者の方に理解してもらってください。

⚠ 危険 エアバッグ・システムに変更を加えたことによる不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護機能が機能しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しない恐れがあります。エアバッグが不用意に作動した場合、重傷を負う恐れがあります。

▷ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
▷ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けないでください。
シートに保護カバーを装着しないでください。
▷ エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
▷ エアバッグ構成部品（ステアリング・ホイール、フロント・シート、ルーフ・トリムなど）を分解しないでください。

⚠ 危険 作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

▷ 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。

▷ エアバッグ・システムに不具合が発生したときは、必ずポルシェ正規販売店に修理を依頼してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。リヤ・シートのエアバッグは側面衝突時、最初に頭部を保護します。

– **フロント・エアバッグ**は、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内、助手席はダッシュボードの中に取り付けられています。
– フロント・シートの**サイド・エアバッグ**はバックレストの側面に取り付けられています。リヤ・シートのサイド・エアバッグ（車両装備による）はホイール・ハウジング・トリム・パネルに取り付けられています。
– **ヘッド・エアバッグ**は左右のサイド・ルーフ・フレームに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度および衝撃の大きさに応じて作動します。

エアバッグ警告灯

エアバッグ・システムが故障した場合、タコメーターの警告灯によって表示されます。

▷ 次の場合は、必ずポルシェ正規販売店で点検を受けてください：
– イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
または
– エンジン始動後も警告灯が消灯しない
または
– 走行中に警告灯が点灯する

助手席エアバッグOFF/ON警告灯

助手席エアバッグOFF/ON警告灯が点灯した場合のインフォメーション：

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF」（52ページ）を参照してください。

⚠ 危険 助手席エアバッグの故障または不具合

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに「**助手席エアバッグOFF/ON**」警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

▷ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

▷ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

廃棄

未作動のガス発生器、それらを取り付けたままの車両、およびエアバッグ・ユニットなどは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。
エアバッグ関連の部品を廃棄するときは、ポルシェ正規販売店にお任せください。処分に関する詳しい情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

チャイルド・シート(CRS)

ポルシェ社では、ポルシェ・テクイップメント製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。

▷ 車両に適合するチャイルド・シートについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（46ページ）を参照してください。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（47ページ）を参照してください。

⚠ 危険 チャイルド・シート装置の不正使用

車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

▷ チャイルド・シートに付属の取扱説明書の内容（取り付け方法、使用方法、お子様の適切な着座方法）をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

▷ ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。
ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。
推奨外のISOFIXシステム付きチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。

▷ 必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。

⚠ 危険 チャイルド・シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。車両に適合するチャイルド・シートについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節してください。

▷ チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。

▷ 前向きに着座するタイプのチャイルド・シートを取り付ける前に、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。
リヤ・シートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルド・シートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルド・シートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。

ヘッドレストの取り付け、取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「リヤ・シートのヘッドレストを取り外す」（37ページ）を参照してください。

助手席エアバッグのOFF：

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF」（52ページ）を参照してください。

チャイルド・シートの体重グループによる分類

体重グループ0、0+のお子様：13kgまで

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。
このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

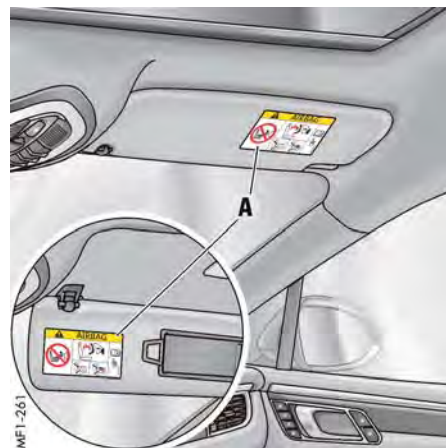
体重グループIのお子様：9～18kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。
特別な状況に限り、後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートを使用することができます。
このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIIのお子様：15～25kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。
このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIIIのお子様：22～36kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。
このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

台湾のみ：

▷ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

▷ どのような場合でも、警告ラベルや警告表示の表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）

▷「チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）」（48ページ）を参照してください。

<table>
<tr><th>体重グループ</th><th>メーカー</th><th>タイプ</th><th>承認番号</th><th>ポルシェ
部品番号</th><th>外側のリヤ・シートへの取り付け[1]</th><th>中央のリヤ・シートへの取り付け</th><th>助手席への取り付け</th></tr>
<tr><td>グループ0および0+：
13kgまで</td><td>Britax-Römer</td><td>ポルシェ・ベビー・シート G0+</td><td>E_1 04301146</td><td>955.044.802.94</td><td>可能</td><td>可能</td><td>– 後ろ向きに取り付けること。
– 助手席エアバッグをOFFにすること。
– 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。[1]</td></tr>
<tr><td>グループI：
9～18kg</td><td>Britax-Römer</td><td>ポルシェ・ジュニア・シート
ISOFIX G1</td><td>E_1 04301199</td><td>955.044.802.92</td><td>可能</td><td>取り付け不可[2]</td><td rowspan="3">– 前向きに取り付けること。
– 助手席エアバッグをOFFにすること。
– 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。[1]
– チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト引き出し口よりも前側および下側に位置していることを確認すること。
– 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。</td></tr>
<tr><td>グループII：
15～25kg</td><td>Britax-Römer</td><td>ポルシェ・ジュニア・プラス
G2 + G3</td><td>E_1 04301169</td><td>955.044.802.90</td><td>可能</td><td>可能</td></tr>
<tr><td>グループIII：
22～36kg</td><td>Britax-Römer</td><td>ポルシェ・ジュニア・プラス
G2 + G3</td><td>E_1 04301169</td><td>955.044.802.90</td><td>可能</td><td>可能</td></tr>
</table>

[1]フロント・シートとその後方に座っているお子様との間に十分な距離を確保すること。
[2]中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。

推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）

▷「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（49ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	タイプ	承認番号	ポルシェ部品番号	外側のリヤ・シートへの取り付け[1]	中央のリヤ・シートへの取り付け[2]	助手席への取り付け[4]
グループ0および0+：13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ベビー・シート ISOFIX G0 ＋ **使用部品：** ISOFIXベース	E_1 04301146	955.044.802.94 **使用部品：** 955.044.802.95	可能	取り付け不可[3]	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。[1]
グループI：9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・シート ISOFIX G1	E_1 04301199	955.044.802.92	可能	取り付け不可[3]	– 前向きに取り付けること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。[1] – チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト引き出し口よりも前側および下側に位置していることを確認すること。 – 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。
グループII：15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E_1 04301198	955.044.802.96	可能	ISOFIX非装備車の場合、シートベルトでのみ取り付けが可能。	
グループIII：22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E_1 04301198	955.044.802.96	可能	ISOFIX非装備車の場合、シートベルトでのみ取り付けが可能。	

[1]フロント・シートとその後方に座っているお子様との間に十分な距離を確保すること。
[2]中央のシートにチャイルド・シートを取り付ける場合、すべてのポルシェ ISOFIXチャイルド・シートをシートベルトで固定する必要があります。
[3]中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。
[4]**助手席**にISOFIXリテーニング・ラグが装備された車両では、「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のチャイルド・シートを助手席に取り付けることができます。

チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

下表は、ECE-R16規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています（図を参照）。

体重グループ	リヤ・シートで使用できるチャイルド・シート		助手席で使用できるチャイルド・シート[1、2]
	外側のリヤ・シート	中央のリヤ・シート[3]	
グループ0： 10kgまで	U/L	U/L	U/L
グループ0+： 13kgまで	U/L	U/L	U/L
グループI： 9～18kg	U/L	U/L	U/L
グループII： 15～25kg	U/L	U/L	U/L
グループIII： 22～36kg	U/L	U/L	U/L

ECEラベルの例：

A サイズ分類
B 「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」マーク
C 体重グループ

U：この体重グループに属する「汎用（ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

L：46ページに記載されているチャイルド・シート、および「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。
チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

[1] 助手席エアバッグをOFFにすること。
[2] チャイルド・シートを助手席に取り付ける手順46ページを参照してください。
[3] 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。

チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

下表は、ECE-R16規格に沿ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています。

体重グループ	**サイズ分類**	**固定具**	**車両のISOFIXリテーニング・ラグ**		
			外側のリヤ・シート	**中央のリヤ・シート[4]**	**助手席シート[1、2、3]**
ベビー・シート（左向きまたは右向きチャイルド・シート）	F G	ISO/L1 ISO/L2	X X	X X	X X
グループ0：10kgまで	E	ISO/R1	IL	X	IL
グループ0+：13kgまで	E D C	ISO/R1 ISO/R2 ISO/R3	IL IL IL	X X X	IL IL IL
グループI：9～18kgまで	D C B B1 A	ISO/R2 ISO/R3 ISO/F2 ISO/F2X ISO/F3	IL IL IL/IUF IL/IUF IL/IUF	X X X X X	IL IL IL IL IL
グループII：15～25kgまで			IL	X	IL
グループIII：22～36kgまで			IL	X	IL

X：このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。

IL：47ページに記載されているチャイルド・シート、および「準汎用（セミ・ユニバーサル）」ISOFIXシステム認証のチャイルド・シートの取り付けに適しています。
チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

IUF：この体重グループへの使用が認可され、ISOFIXシステムおよび「トップ・テザー」固定ストラップで固定する「汎用（ユニバーサル）」分類の前向きタイプのチャイルド・シートに適しています。
「ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの固定位置」（51ページ）を参照してください。

[1] 助手席エアバッグをOFFにすること。

[2] チャイルド・シートを助手席に取り付ける手順47ページを参照してください。

[3] **助手席**にISOFIXリテーニング・ラグが装備された車両では、「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のチャイルド・シートを助手席に取り付けることができます。チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表およびポルシェ社が推奨するチャイルド・シート47ページを参照してください。

[4] 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。

助手席シートのISOFIXリテーニング・ラグ

ISOFIXチャイルド・シートの取り付け

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（47ページ）を参照してください。

台湾のみ：

助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケットは装備されていません。

▷ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

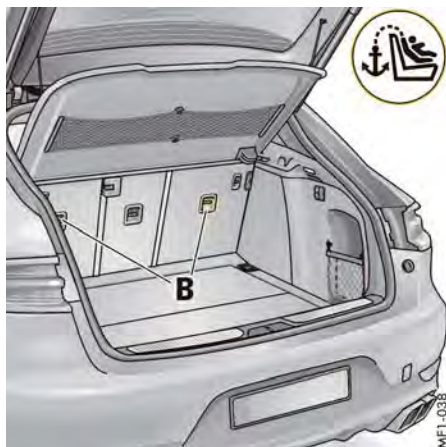
チャイルド・シートの助手席への取り付け

1. エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグ・スイッチを**OFF**（解除）にしてください。
   オーバーヘッド・コンソールの**助手席エアバッグOFF警告灯**が点灯します。
   エマージェンシー・キーおよび助手席エアバッグのOFFに関するインフォメーション：
   ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF」（52ページ）を参照してください。
2. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ**A**に固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

外側のリヤ・シートのISOFIXリテーニング・ラグ

チャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグ**A**の位置を示すマークは外側のリヤ・シートの座面にあります（国別仕様により異なります）。

1. 必要に応じてISOFIXアンカー・ポイントのキャップを引いて取り外し、紛失しないように保管してください。
2. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ**A**に固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの固定位置

ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートを使用するときは、外側のリヤ・シート・バックレスト後方の固定位置**B**を使用してトップ・テザーを固定してください。

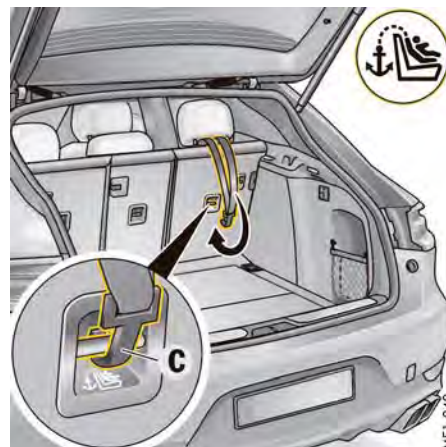
 インフォメーション

中央のリヤ・シートの固定位置はISOFIXトップ・テザーの固定には**使用しないでください。**
中央のリヤ・シートの固定位置はラゲッジ・コンパートメントの荷物の移動を防止するためのみに使用してください。

▷ 「タイダウン・リング」(242ページ) を参照してください。

トップ・テザー付きISOFIXチャイルド・シートの取り付け

▷ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

1. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ**A**に固定してください。
2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグが確実に固定されているか点検してください。
3. ISOFIXトップ・テザー**C**をヘッドレストに通してください。

4. ISOFIXトップ・テザー**C**をバックレスト後方の固定位置 (**図を参照**) に固定し、トップ・テザーを締め付けてください。

ベビー・シート

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルド・シート（ベビー・キャリアなど）は、いかなるシートにも使用できません。

▷ 「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（49ページ）を参照してください。

ポルシェ社では、ポルシェ・テクイップメント製品のチャイルド・シート（ポルシェ・ベビー・シートISOFIX G0+など）を使用することを推奨いたします。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（46ページ）を参照してください。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（47ページ）を参照してください。

助手席エアバッグのON/OFF

台湾のみ：

助手席エアバッグのON/OFF用キー・スイッチは、装備されていません。

▷ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

1. イグニッションをOFFにしてください。
2. グローブ・ボックスを開いてください。
3. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（30ページ）を参照してください。

4. キー・スイッチにエマージェンシー・キーを2回抵抗を感じる位置まで挿入してください。
   キーの歯がキー・スイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシー・キーを大きな力をかけずに回して、助手席エアバッグを**OFF（解除）**または**ON（作動）**にしてください。
6. エマージェンシー・キーをキー・スイッチから取り外してください。
7. グローブ・ボックスを閉じてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

▷ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。

▷ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグのOFF

キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー・キーが不意に回転してエアバッグが作動し、重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ エマージェンシー・キーを助手席エアバッグ・スイッチに挿入したまま走行しないでください。

知識

助手席エアバッグ・スイッチおよびエアバッグ・システムの損傷の恐れ

▷ エマージェンシー・キーはキー・スイッチに挿入したときに、2回抵抗を感じる位置でのみ回してください。

▷ 助手席エアバッグはイグニッションがOFFのときのみ、OFFまたはONに切り替えてください。

助手席エアバッグOFF/ON警告灯

台湾のみ：

助手席エアバッグOFF/ON警告灯は装備されていません。

▷ 台湾の関連法規に則り､「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

助手席エアバッグOFF/ON警告灯はオーバーヘッド・コンソールにあります。
助手席エアバッグのON/OFFを切り替えると、助手席エアバッグ警告灯が点灯します：

OFF ON ライト作動点検

イグニッションをONにすると、ライト作動点検のために**助手席エアバッグOFF/ON**警告灯が約5秒間点灯します。

OFF 助手席エアバッグをOFFにする

助手席エアバッグの作動をOFFにした場合、イグニッションをONにすると、**助手席エアバッグOFF**警告灯が常時点灯します。

ON 助手席エアバッグをONにする

助手席エアバッグをONにした場合、**助手席エアバッグON**警告灯が約1分点灯した後消灯します。

危険 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに「**助手席エアバッグOFF/ON**」警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

▷ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。

▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エアバッグに関する重要なインフォメーション：

▷ 「エアバッグ・システム」（42ページ）を参照してください。
車両に適合するチャイルド・シートについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ドア・ミラー

後方視野を広くするため、助手席ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

警告 ドア・ミラーに映る車両や物は実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

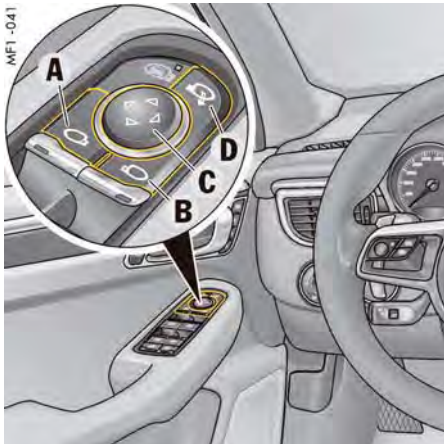
凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

▷ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、凸面形ミラーの特性を念頭に置いてください。

▷ 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

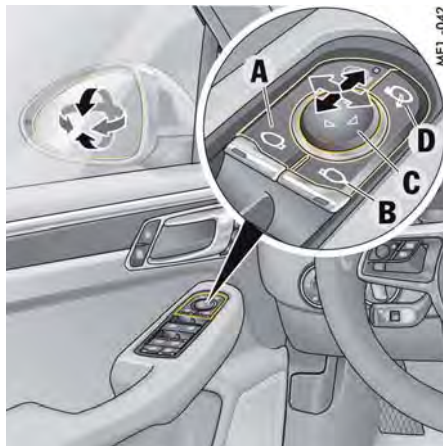
知識

洗車機で洗車を行うとドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

▷ 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。

A - ドア・ミラーの選択 – 運転席側
B - ドア・ミラーの選択 – 助手席側
C - ドア・ミラーの調節
D - ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの調節

電動調節式ドア・ミラーを操作するには：

– イグニッションをONにする
– イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまでの間

1. 運転席側はボタン**A**を、助手席側はボタン**B**を押してください。
選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 調節ボタン**C**を押して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

▷ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドア・ミラーの格納/復帰

▷ ボタン**D**を押してください。
両方のドア・ミラーが自動的に格納/復帰します。

電動調節機能が故障した場合

▷ ドア・ミラーを手で格納してください。

 インフォメーション

速度が約50km/hを超えると、ドア・ミラーは格納できなくなります。

ドア・ミラーの自動的な格納/復帰

車両をロックした後、ドア・ミラーを自動的に格納することができます。

ドア・ミラーの自動格納

▷ キーのボタンを少なくとも1秒間押し続けてください。
または
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、運転席ドア・ハンドルのタッチ・センサーに少なくとも1秒間触れ続けてください。
ドア・ミラーが格納されます。

 インフォメーション

すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ドア・ミラーの自動復帰

▷ イグニッションをONにしてください。
ドア・ミラーが自動的に元の位置に復帰します。

 インフォメーション

ボタン**D**を押して手動でドア・ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置に復帰しません。

電動調節機能が故障した場合

▷ ドア・ミラーを手で元の位置に戻してください。

ドア・ミラー設定の保存

運転席メモリー機能またはコンフォート・メモリー装備車の場合、調節したドア・ミラーの位置を、運転席ドアのメモリー・ボタンとキーに保存することができます。

復帰および車両設定の保存に関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

自動防眩ドア・ミラー

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア・ミラーの防眩機能が作動します。

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに関するインフォメーション：

▷ 「自動防眩ルーム・ミラー」（55ページ）を参照してください。

ドア・ミラー・ヒーター

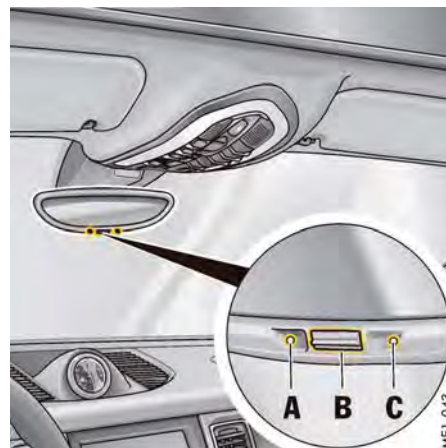
エンジン作動中にリヤ・ウィンドウ・ヒーターをONにすると、ドア・ミラー・ヒーターが自動的に作動します。

リヤ・ウィンドウ・ヒーターの操作に関するインフォメーション：

▷ 「リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター」（75ページ）を参照してください。

駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

運転席メモリー機能またはコンフォート・メモリー装備車は、リバース（後退）ギヤを選択すると、**助手席ドア・ミラー**が自動的に下向きになり、助手席側の車体後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

▷ 「駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え」（264ページ）を参照してください。

自動防眩ルーム・ミラー

ルーム・ミラーの正面と背面に組み込まれているセンサーが、ミラーに投射する光を測定します。光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

 インフォメーション

照度センサー**C**の検知エリアに当たる光を妨げないでください（リヤ・ウィンドウにステッカーを貼り付ける、後方視界を妨げるほど大きな荷物をラゲッジ・コンパートメントまたはラゲッジ・コンパートメント・カバーに積むなど）。同様に、フロント・ウィンドウを通ってフロント照度センサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

自動防眩機能をOFFにする

▷ ボタンBを押してください。
インジケーター・ライトAが消灯します。

インフォメーション

次の場合、自動防眩機能が自動的にOFFになります：

– リバース（後退）ギヤを選択した場合または
– インテリア・ライトが点灯している場合

自動防眩機能をONにする

▷ ボタンBを押してください。
インジケーター・ライトAが点灯します。

注意 自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

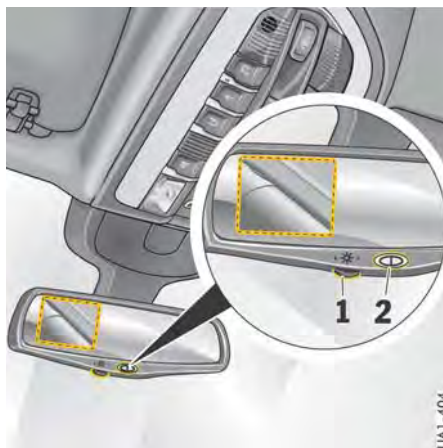
破損したミラー・ガラスから電解液が漏れ出すことがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

▷ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

▷ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

1 - 明るさ調節ノブ
2 - 電源ボタン

サイドビュー・モニター付きルーム・ミラー

サイドビュー・モニターは、助手席の死角を補うための補助的な装備です。助手席側ドア・ミラー・カバーに小型のカメラが取り付けてあり、ルーム・ミラーにはTFT液晶を使ったディスプレイが組み込まれています。電源をONにすると、カメラの映像をルーム・ミラーで見ることができます。

注意 サイドビュー・モニターは視野を完全に補うものではありません

サイドビュー・モニターはドライバーの死角を補うための補助的な装備であり、その視野を完全に補うものではありません。サイドビュー・モニターが装備されていても、直接目視するなど安全確認を怠らないでください。

▷ サイドビュー・モニターはドライバーの注意力を補うものではありません。サイドビュー・モニターを装備していても、車の周囲の安全を常に確認することは運転者の責務です。
▷ 特にルーム・ミラーの映像が見えにくいときや、画像で識別できない物体があるときは、周囲の安全を必ず目視で確認してください。細い電柱や杭など、障害物の形状によっては解像度が不足して画像が鮮明に表示されなかったり、まったく表示されないこともあります。状況によっては車から降りて、周囲の人や物に危険を及ぼす恐れがないか確認してください。
▷ サイドビュー・モニターは高感度で、夜間など周囲の明るさが不足しているときでも使用できますが、照明などがない暗闇では映像が見えにくくなります。必要に応じて目視で安全を確認してください。
▷ システムの特性上、ルーム・ミラーには2次元の平面画像を表示します。したがって立体的な障害物や奥行きがある突起物などは実際の形状と異なって見えたり、画像に映らないことがあります。
▷ 走行中は、サイドビュー・モニターの明るさ調節や電源のON/OFFを行わないでください。また、ルーム・ミラーの画像を必要以上に注視しないでください。注意力が散漫になって事故を起こす恐れがあります。

▷ サイドビュー・モニターが故障した状態で運転するときは、周囲の安全に特に気を使ってください。またカメラの画像に異常を感じたときは使用しないでください。
▷ サイドビュー・モニターが故障したときや、障害物との接触などでカメラの取り付け状態に異常があるときは直ちに修理してください。ポルシェ車に関する全ての整備点検は、ポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

注意 サイドビュー・モニターを損傷する恐れがあります

▷ 高圧洗車装置などを使用するときは、高圧の水をカメラに直接かけないでください。
▷ レンズの汚れにより画像が曇ったときは、湿らせた布でレンズの表面を丁寧に拭き取ってください。洗浄剤や溶剤、研磨剤入りのクリーナなどは使用しないでください。レンズ表面の耐水コーティングが剥がれる恐れがあります。
▷ 温水や熱水をカメラにかけないでください。レンズに亀裂が入る恐れがあります。

シフト・パドル付きマルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイール
A - シフト・パドル
B - ホーン
C - エアバッグ・ユニット

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイール

警告 運転中の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。
▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください（*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています）。
▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停車してから行ってください。

車両の装備仕様により、マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンを使用して、次のポルシェ・コミュニケーション・システム＊を操作することができます：
– 電話＊
– PCMおよびCDR Plus＊
– インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ

シフト・パドル

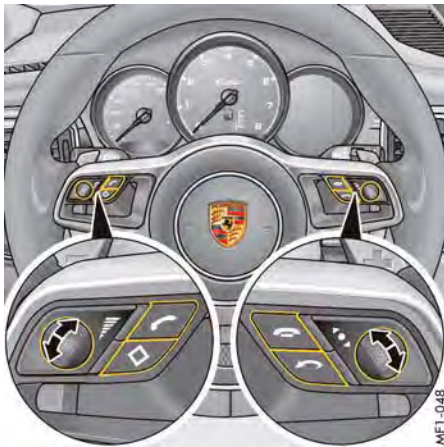
Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。
マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのシフト・パドル**A**を操作して一時的にマニュアル・モードに切り替えたり、マニュアル・モードでギヤ・シフトすることができます。
Porsche Doppelkupplung(PDK)装備車のギヤ・チェンジに関する詳しいインフォメーション：
▷ 「PORSCHE DOPPELKUPPLUNG(PDK)」（205ページ）を参照してください。

ホーン

▷ ステアリング・ホイール中央のパッド**B**を押すとホーンが鳴ります。

エアバッグ・ユニット

ステアリング・ホイール中央のパッド**C**の内部にはエアバッグ・ユニットが内蔵されています。
エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の運転者の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。
エアバッグ・システムに関するインフォメーション：
▷ 「エアバッグ・システム」（42ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの作動準備

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールはイグニッションをONにすると、スタンバイ状態になります。

▷ ファンクション・ボタンを操作する前に、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊の取扱説明書をよく読み、機能を把握してください。

インフォメーション

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊をON/OFFできません。

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンの機能

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの左右スポーク上部にあるロータリー・ノブは、押して操作することもできます。

ボリューム・スイッチを回す
上方 – 音量が上がります。
下方 – 音量が下がります。
ボリューム・スイッチを押す
ミュート機能がON/OFFします。

ロータリー・ノブを回す
ロータリー・ノブを上方向または下方向に回して、マルチファンクション・ディスプレイのメイン・メニューまたはメニュー項目を選択/ハイライトします。
ロータリー・ノブを押す
サブ・メニューに進む、または選択した機能が作動します。

MFSボタン＊を押す
保存させた機能を呼び出します。
マルチファンクション・ディスプレイ内の任意の機能をボタンに割り当てることができます。

▷ 「マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊」（138ページ）を参照してください。

バック・ボタンを押す
メニューに戻ります。

ハンドセット・ピックアップ・ボタンを押す
Bluetooth対応携帯電話が接続されている場合、着信時に通話を開始します。

ハンドセット・ハングアップ・ボタンを押す
通話を終了/拒否します。

ステアリング・ホイール・ヒーター

ステアリング・ホイール・ヒーターはエンジン作動中に操作できます。センター・ステアリング・ホイール・スポーク裏側のボタンを押すことにより、ON/OFFします。

ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF

▷ ボタンを押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ステアリングホイールヒーティングオン**」または「**ステアリングホイールヒーティングオフ**」が4秒間表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ステアリング・ホイールの調節

車両の装備仕様により、手動または電動でマルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールを前後上下に調節できます。

⚠ 警告 運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にステアリング・ホイールの調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▷ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

⚠ 注意 メモリー設定の不意の呼び出し

車両停止時にメモリー・ボタンが不注意に押された場合、身体の一部が挟まれたり圧迫される恐れがあります。

▷ お子様のみを車内に残さないでください。

ステアリング・ホイールの手動調節

ステアリング・ホイールの手動調節

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ロック・レバーを押し下げてください。
3. シート・バックレスト角度や着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを手で持って前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。
4. ステアリング・ホイールがしっかりと固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。必要な場合はステアリング・ホイールを前後に動かしてください。

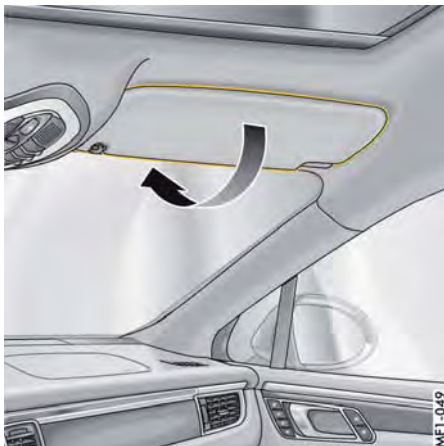
ステアリング・ホイールの電動調節

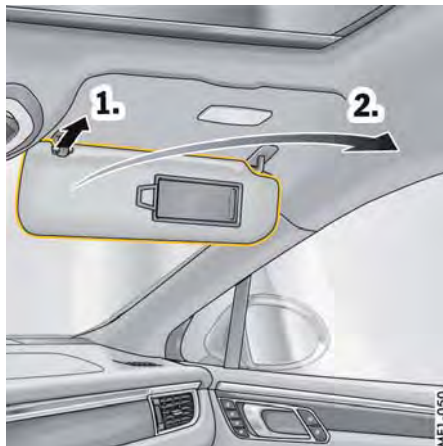
ステアリング・ホイールの電動調節

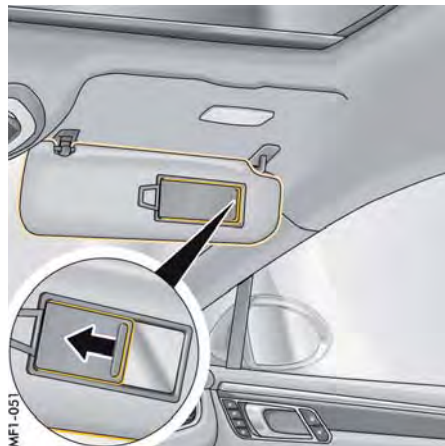
▷ ステアリング・コラム下に取り付けられているコントロール・スイッチを前後上下に押して、ステアリング・ホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリング・ホイール位置が車両設定に保存されます。

ステアリング・ホイール設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

サンバイザー

▷ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

左右方向から眩しい光が入る場合：

1. サンバイザーを内側のブラケットから外してください。
2. サンバイザーをドア・ウィンドウ側に回転させてください。

バニティー・ミラー

サンバイザーの裏側にはバニティー・ミラーがあり、スライド式のカバーが付いています。

⚠ 注意 バニティー・ミラーのカバーを開く

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

▷ 走行中はスライド・カバーを閉じてください。

▷ スライド・カバー（**矢印**）を開くと、バニティー・ミラーの照明が自動的に点灯します。

リヤ･サイド･ウィンドウのロールアップ式サンブラインド

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを上げる

▷ ロールアップ式サンブラインドを引き出し（**矢印**）、ドア・フレーム上部のブラケットに差し込んでください。

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを下げる

▷ ドア・フレーム上部のブラケットからロールアップ式サンブラインドを取り外し、ドア・パネルを損傷させないようにハンドルを持ってゆっくりと下してください。

知識

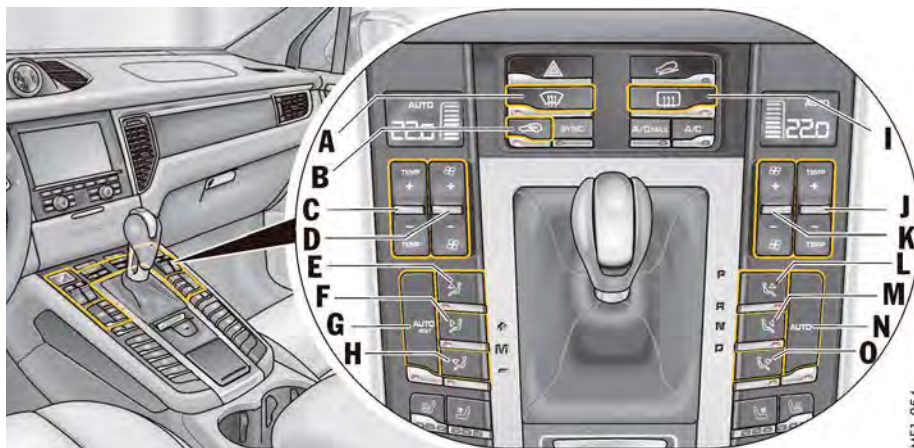
180km/hを超える速度で走行中にリヤ・サイド・ウィンドウが開かれた場合、引き出されたロールアップ式サンブラインドが損傷する恐れがあります。

▷ 180km/hを超える速度で走行中にロールアップ式サンブラインドを引き出している時は、リヤ・サイド・ウィンドウを開かないでください。

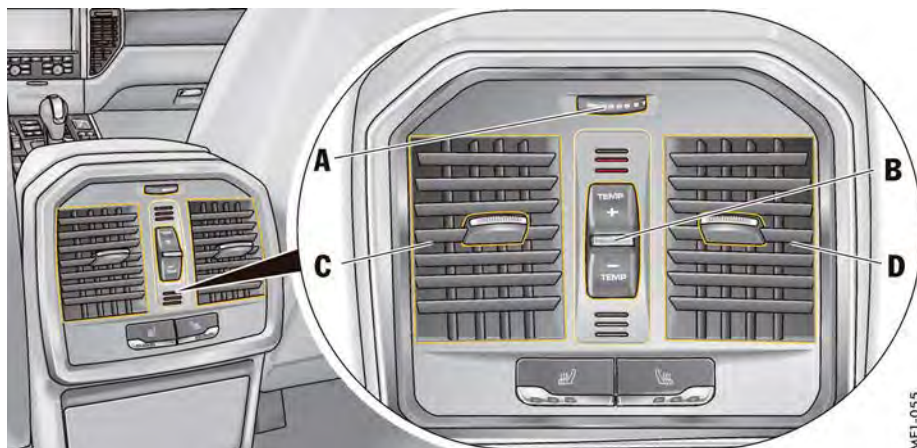
エアコン

＊ 日本仕様に設定はありません。

概要 – フロント・コントロール・パネル

この概要説明は後述の「オート・エアコン」に代わるものではありません。操作する上での概要のみでなく、注意事項は必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？
オート・エアコンを使用する	左側のボタン**G**または右側のボタン**N**を押してください。
温度を設定する	車内左側：ボタン**C**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。 車内右側：ボタン**J**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。
送風量を手動で設定する	車内左側：ボタン**D**を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。 車内右側：ボタン**K**を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。
送風口を手動で切り替える	フロント・ウィンドウへの送風：ボタン**E**または**L**を押してください。 中央および左右のエア・ベントからの送風：ボタン**F**または**M**を押してください。 足元への送風：ボタン**H**または**O**を押してください。
フロント・ウィンドウ・デフロスターを作動させる	ボタン**A**を押してください。
リヤ・ウィンドウ・ヒーター /ドア・ミラー・ヒーターをONにする	ボタン**I**を押してください。
内気循環モードをONにする	ボタン**B**を押してください。

概要 – リヤ・コントロール・パネル（3ゾーン・エアコン）

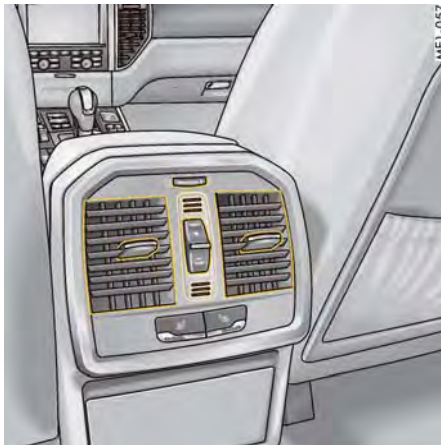
この概要説明は後述の「オート・エアコン」に代わるものではありません。操作する上での概要のみでなく、注意事項は必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？
温度を設定する	ボタン**B**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。
送風量の設定	ロータリー・ノブ**A**を右（風量を多くする）または左（風量を少なくする）に回してください。
送風方向の設定	ルーバー **C**（左側）または**D**（右側）を希望の位置に回してください。

エアコン、フロント・コントロール・パネル

エアコン・システムの概要

車両の装備仕様により、次のいずれかのエアコン・システムが装備されています：

2ゾーン・オート・エアコン

エアコン・システムが設定温度を維持するため全自動制御します。
また、車内を2つのゾーン（**左側**と**右側**）に分けて、それぞれ車内温度、送風量および送風口を個別に設定できます。

リヤ・エアコン・コントロール・パネル（3ゾーン・エアコン）

3ゾーン・オート・エアコン

エアコン・システムが設定温度を維持するため全自動制御します。
また、車内を3つのゾーン（**フロント左側**、**フロント右側**および**リヤ**）に分けて、それぞれ車内温度、送風量および送風口を個別に設定できます。
3ゾーン・オート・エアコン装備車は、リヤ・センター・コンソールにもエアコン・コントロール・パネルを備えています。

エアコン用室内温度センサー

センサー

エアコン・システムの能力を維持するために、次のことを遵守してください：

▷ エアコン・システムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

オート・エアコン・コントロール

様々な環境条件（日射量、空気の状態、外気温度、ウィンドウの曇り具合など）に応じて、車内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。

エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

インフォメーション

エアコン設定は、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで行うことができます：

▷ 「マルチファンクション･ディスプレイのエアコン設定」（73ページ）を参照してください。

▷ 「エアコン設定」（139ページ）を参照してください。

コンフォート・メモリー装備車では、車両をロックするとエアコン・システムのすべての設定が、そのとき使用しているキーの設定として保存されます。

オート・モードのON/OFF

フロント・ゾーン（前席エリア）は、個別にオート・モードに切り替えることができます。

▷ オート・モードに切り替えたいゾーンのコントロール・パネル（フロント）でAUTOボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトと、エアコン・ディスプレイのAUTOインジケーターが点灯します。
オート・モードに切り替えたゾーンでは、温度、送風量、送風口が自動的に制御されます。

インフォメーション

必要であればオート・モードの制御を手動調節できます。
手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、またはAUTOボタンを押すまで設定が維持されます。

バッテリー電圧低下時の自動OFF

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、次のエアコン・システムまたはヒーター機能の一部が制限され、その後自動的にOFFになります。

– シート・ヒーター
– リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター
– フレッシュ・エア・ブロアー
– エアコン・コンプレッサー

温度設定および送風量調節（フロント・コントロール・パネル）

温度の設定

エアコン・システムでは、それぞれの乗員が快適と感じる室内の温度を16℃～29.5℃の範囲で個別に設定できます。推奨：22℃

TEMPボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに設定温度が表示されます。

温度を上げる

▷ 温度を上げたいゾーンのTEMPボタンを上方向に押してください。
設定温度がエアコン・ディスプレイに表示されます。

温度を下げる

▷ 温度を下げたいゾーンのTEMPボタンを下方向に押してください。
設定温度がエアコン・ディスプレイに表示されます。

ディスプレイに**LO**または**HI**が表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。このときオート・モードはOFFになります。

インフォメーション

– いずれかのゾーンで温度設定を**LO**または**HI**にすると、その他のゾーンも**LO**または**HI**になります。
いずれかのゾーンでAUTOボタンを押すと、設定温度に切り替わります。

▷ エアコン・システムは、設定温度を維持するために、常に最大能力で車内を冷房または暖房します。
このため、設定温度を一時的に上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は**変わりません。**

送風量の設定

ボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を多くする

▷ 送風量を多くしたいゾーンのボタンを押してください。

送風量を少なくする

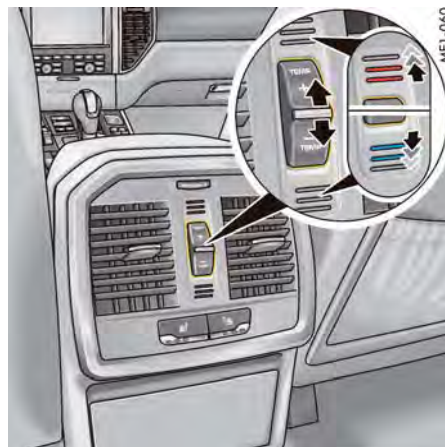
▷ 送風量を少なくしたいゾーンのボタンを押してください。

AUTOボタンを押すと、そのゾーンがオート・モードに戻ります。

スイッチを押して送風量を最小にするとエアコン・ディスプレイに**OFF**と表示され、外気導入による送風が停止します。

⚠ 警告 風量**OFF**による視界の妨げ

送風を**OFF**にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

フロント・コントロール・パネルの左右のボタンを上方向に押して、送風を開始してください（風量が増加します）。

リヤ・コントロール・パネルの温度設定および送風量調節（3ゾーン・エアコン）

温度の設定

室内の温度を乗員のお好みに合わせて、個別に設定することができます。

選択した温度は、TEMPボタンの上下のインジケーター・ライトの点灯で表示されます。

温度を上げる

▷ TEMPボタンを上方に押してください。
赤いインジケーター・ライトが暖房温度設定を3段階で表示します。

温度を下げる

▷ TEMPボタンを下方に押してください。
青いインジケーター・ライトが冷房温度設定を3段階で表示します。

インフォメーション

– いずれかのゾーンで温度設定を**LO**または**HI**にすると、その他のゾーンも**LO**または**HI**になります。
  いずれかのゾーンでAUTOボタンを押すと、初期設定温度(22℃)に切り替わります。

▷ 「SYNCモード–車内全体を運転席のエアコン設定に同期させる」（72ページ）を参照してください。

– エアコン・システムは、設定温度を維持するために、常に最大能力で車内を冷房または暖房します。
  このため、設定温度を一時的に上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は**変わりません。**

送風量の設定

設定した風量はロータリー・ノブの位置によって表示されます。ロータリー・ノブを左または右に回すと車内の送風量が減少または増加します。

送風量を多くする

▷ ロータリー・ノブを時計回りに回してください。

送風量を少なくする

▷ ロータリー・ノブを反時計回りに回してください。

ロータリー・ノブを左に止まるまで回すと送風は停止します。

送風口の切り替え（フロント・コントロール・パネル）

送風口を手動で切り替える

フロント・コントロール・パネル

▷ ボタンを押してください。
  フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。

▷ ボタンを押してください。
  中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。エア・ベントを開いてください。

▷ ボタンを押してください。
  足元への送風を開始します。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

送風口の手動切り替えの解除

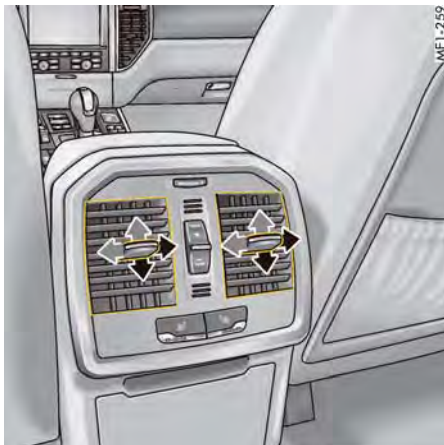
インジケーター・ライトが点灯している（手動で切り替えた）送風口切り替えボタンを再度押してください。

ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

または

操作したいゾーンのAUTOボタンを押してください。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

風量と送風口が自動制御されて外気温が変動しても車内の温度は一定に保たれます。

送風口の切り替え（リヤ・コントロール・パネル）（3ゾーン・エアコン）

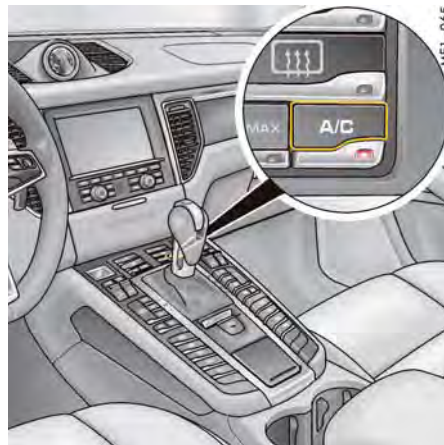
リヤ・コントロール・パネル（3ゾーン・エアコン）

▷ ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

リヤ・コントロール・パネルの機能停止（3ゾーン・エアコン）

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティー・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

▷ セーフティー・ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
リヤ・ゾーンの現在のエアコン設定が維持されます。
リヤ・エアコン・コントロール・パネル・ボタンが無効になります。

A/Cモード

オート・モードのときは、A/Cモードが常に作動します。
エアコン・システムの作動状況に応じてコンプレッサーの出力が全自動で制御されます。
外気温が約3°Cを下回ると、コンプレッサーが自動的にOFFになります。
オート・モードのON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「オート・モードのON/OFF」（67ページ）を参照してください。

A/CモードをONにする

外気温度よりも低い温度で車内を冷房したいときは、A/CモードをONにしてください。

▷ A/Cボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
エアコン・コンプレッサーがONになります。
または
左右どちらかのゾーンのAUTOボタンを押してください。

A/CモードをOFFにする

例えば燃費を優先した運転をしたいときなどにA/Cモードを手動でOFFにすることができます。

▷ A/Cボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
エアコン・コンプレッサーがOFFになります。
冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷房します。
このとき車内温度は自動調節されません。

A/C MAXモードをONにする

▷ A/C MAXボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

▷ A/C MAXボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
左右どちらかのゾーンのAUTOボタンを押してください。

エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション

エアコン・コンプレッサー：

– エンジンの負荷が過渡的に大きくなると、コンプレッサーが一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
– 外気温度が約3°Cを下回るとコンプレッサーが自動的にOFFになり、このときは手動操作でもコンプレッサーをONにできません。
– ウィンドウを閉じるとエアコン・システムの作動効率が高まります。
炎天下で長時間駐車したときは、まずウィンドウを開いて車内の空気を入れ替えてから、エアコンを使用すると効果的です。
– 外気温度や湿度によっては、除湿した水分が水滴となってエバポレーターから排出され、車両の下に水たまりができることがあります。
これはエアコン・システムの正常な作動状態であり、液漏れ等の故障ではありません。

内気循環モード

内気循環モードをONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
外気導入が遮断され、車内の空気を循環させます。

内気循環モードをOFFにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

手動または自動でエアコン・コンプレッサーがOFFになると、約3分後に内気循環モードがOFFになります。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

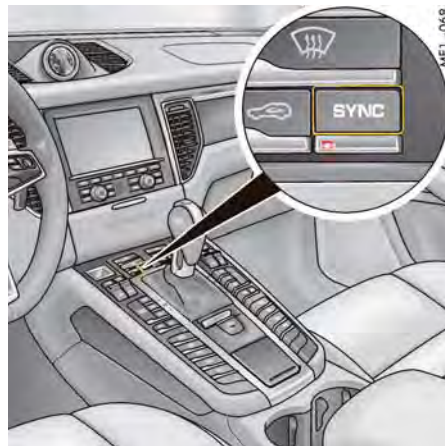
自動内気循環モードはインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイでON/OFFの切り替えができます。

外気温度が約5°Cを下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的にOFFになります。

自動内気循環モードのマルチファンクション・ディスプレイでの調節に関するインフォメーション：

▷ 「エアコン設定」(139ページ) を参照してください。

インフォメーション

通常は自動内気循環モード（初期設定）にしておくことを推奨いたします。

SYNCモード-車内全体を運転席のエアコン設定に同期させる

SYNC（同期）モードをONにすると、すべてのゾーンのエアコン設定が、運転席の設定と同じになります。

SYNC（同期）モードをONにする

▷ SYNCボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
ディスプレイに表示される助手席のエアコン設定が、運転席の設定と同じになります。

SYNC（同期）モードをOFFにする

▷ SYNCボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
運転席以外のいずれかのゾーンのエアコン設定を変更すると、SYNC（同期）モードがOFFになります。

SYNCモード作動時のリヤ・ゾーンのエア配分（3ゾーン・エアコン）

フロント・コントロール・パネルのボタンまたはボタンを押すと、リヤ・センター・コンソールのエア・ベントから送風します。

フロント・コントロール・パネルのボタンを押すと、リヤ・ゾーンの足元に送風します。

1名乗車時に推奨するエアコン設定

SYNC（同期）モードをONにすると、車内が最も快適な状態に維持されます。

SYNC（同期）モードの作動に関するインフォメーション：

▷ 「SYNCモード–車内全体を運転席のエアコン設定に同期させる」（72ページ）を参照してください。

リヤ・ゾーンへの送風量を少なくすると、フロント・ゾーンの快適性が損なわれます（3ゾーン・エアコン装備車のみ）。

送風量の調節に関するインフォメーション：

▷ 「送風量の設定」（68ページ）を参照してください。

RESTモード

エンジンの余熱を利用して暖房する

イグニッションをOFFにしてから最大20分間は、エンジンの余熱を利用したヒーターで車内を暖めることができます。

▷ イグニッションをOFFにしたとき、フロント・コントロール・パネルのAUTO RESTボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
RESTモードではエアコン・システムの設定を変更できません。

RESTモードを停止する

▷ フロント・コントロール・パネルのAUTO RESTボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
イグニッションをONにしてください。
ボタンのインジケーター・ライトがそれまでの設定を表示します。

 インフォメーション

バッテリー電圧が低いときはRESTモードの作動が制限され、その後は自動的にOFFになります。

マルチファンクション･ディスプレイのエアコン設定

エアコン・システムに関係する機能をマルチファンクション･ディスプレイで設定することができます。

マルチファンクション･ディスプレイでのエアコン設定機能に関するインフォメーション：

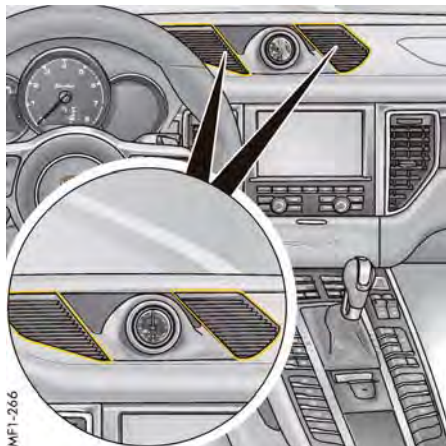
▷ 「エアコン設定」（139ページ）を参照してください。

風量

オート・モードでは3段階で送風の強さを調節できます：

– **「弱」**：
エア・ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。

– **「標準」**：
標準の設定です。

– **「強」**：
室内への送風が強くなります。
風の流れをはっきりと感じられるようになります。

間接ベンチレーション・パネル

ダッシュボード上にある間接ベンチレーション・パネルにより乗員室内へのエアの流れが和らぎます。
エアコン・システムは、間接ベンチレーション・パネルからの送風量を自動調節します。

自動内気循環モード

自動内気循環モードに関するインフォメーション：
▷ 「内気循環モード」（72ページ）を参照してください。

エア・ベント

ダッシュボードとリヤ・センター・コンソールにエア・ベントがあり、手動で開閉することができます。送風方向も調節可能です。

エア・ベントを開く

▷ ロータリー・ノブを上または時計回りに回してください。

エア・ベントを閉じる

▷ ロータリー・ノブを下または反時計回りに回してください。

送風方向の調節

▷ ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

外気導入口

外気の導入を確保するには：
▷ エンジン・コンパートメントとフロント・ウィンドウの間の外気導入口に雪、氷、木の葉などによる詰まりがないことを確認してください。

クーラー機能付きグローブ・ボックス

グローブ・ボックスには冷気を直接送り込むためのエア・ベントがあります。
このエア・ベントは手動で開閉できます。

i インフォメーション

グローブ・ボックスに送り込まれた冷気は、グローブ・ボックス・リッドのすき間から車内に流れ出します。
▷ 外気温度が低いときは、グローブ・ボックスに送り込まれた冷気で車内の暖房効果が下がらないように、グローブ・ボックスのエア・ベントを閉じてください。

フロント・ウィンドウ・デフロスター

デフロスターを作動させる

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
フロント・ウィンドウおよびフロント・サイド・ウィンドウへの送風を開始します。
フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスターを停止する

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
左右どちらかのゾーンのAUTOボタンを押してください。

 インフォメーション

3ゾーン・エアコン：デフロスター・モードではリヤへのエアの供給が自動的にOFFになり、曇りを取り除く効果を最大にします。
フロント・ウィンドウおよびフロント・サイド・ウィンドウへの送風を開始します。

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターは、エンジン作動中にのみ操作できます。

ONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5～20分後にリヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

▷ ボタンを再び押すとヒーターはONに戻ります。

OFFにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

補助ヒーター/追加ヒーター＊

補助ヒーターはエンジンが作動していない状態でも、車室内を暖めたり、フロント・ウィンドウの氷結を溶かしたりすることができます。

補助ヒーター非装備のディーゼル・エンジン車には、自動的に作動してメイン・ヒーター・システムを補助する追加ヒーターを装備することができます。

⚠ 危険 有毒な排気ガスの吸引

補助ヒーターをONにすると燃料を燃焼します。このときに発生する有毒な排気ガスは、車両の床下から排出されます。

▷ 補助ヒーターは換気の悪い場所（ガレージの中など）で作動させないでください。

⚠ 警告 高温の排気ガス

補助ヒーターの作動中に排出される排気ガスは非常に高温になっています。

▷ 燃料を給油する前に補助ヒーターを停止してください。

▷ ボディー下側から高温の排気ガスを十分に換気できる場所、草や葉など燃えやすい物と接触しない場所に駐車してください。

作動準備

補助ヒーターはイグニッションの位置に関係なく使用できます：

– エンジンが作動していないとき
– 外気温度が約15℃を下回るとき
– 十分な量の燃料が燃料タンクに入っているとき（燃料が少ないときは作動しません）
– バッテリーが十分に充電されているとき

インフォメーション

– 十分な余熱が得られる場合、余熱を使いきってから補助ヒーター・バーナーがONになります。
– まれに補助ヒーターを長期間使用せず（夏季を過ぎた後など）、最初にスイッチを入れたときに作動しなかった場合、2度目を試す必要がある場合があります。
– 外気温度が低いときに補助ヒーターを作動させると、水蒸気がエンジン・コンパートメントまたは車両下部から出ることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

補助ヒーターの操作

マルチファンクション・ディスプレイでの補助ヒーターのON/OFF

補助ヒーターはインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの「**補助ヒーター**」メニューで操作できます。

マルチファンクション・ディスプレイでの補助ヒーターのON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの補助ヒーターの操作＊」（114ページ）を参照してください。

補助ヒーターはリモート・コントロールでも操作できます。

補助ヒーターが作動すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

– イグニッションがOFFのとき、補助ヒーターはフロント・ウィンドウの曇りや氷結を取り、車室内の温度を快適な状態に保ちます。車両が停止しているときは設定に関係なく、補助ヒーターが送風量、送風口および温度を自動的に調節します。
– イグニッションがONで補助ヒーターが作動中の場合、送風量、送風口、および温度を個別に調節することができます。
– 補助ヒーターは、エンジンが始動してから約2分後、またはエンジンをOFFにしてから最長で30分後に自動的にOFFになります。

補助ヒーター/タイマーのプログラミング

補助ヒーターの自動作動開始時間をマルチファンクション・ディスプレイで設定できます。

補助ヒーターのプログラミングに関するインフォメーション：

▷ 「補助ヒーター/タイマーのプログラミング」（114ページ）を参照してください。

タイマーが作動すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトがイグニッションをOFFにして、車両をロックするまで（ただし最大30秒のみ）点滅し続けます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

リモート・コントロールによる補助ヒーターのON/OFF

ONにする

▷ リモート・コントロールのボタン**A**を押してください。
リモート・コントロールのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

OFFにする

▷ リモート・コントロールのボタン**B**を押してください。
リモート・コントロールのインジケーター・ライトが赤色に点灯します。

補助ヒーター用のリモート・コントロールの作動範囲は最大500mです。建物など周囲の状況により、電波の届く範囲が狭くなることがあります。

送信インジケーター・ライト

リモート・コントロールのインジケーター・ライトの色と点滅速度で命令が正しく送信されたかどうかを表示します。

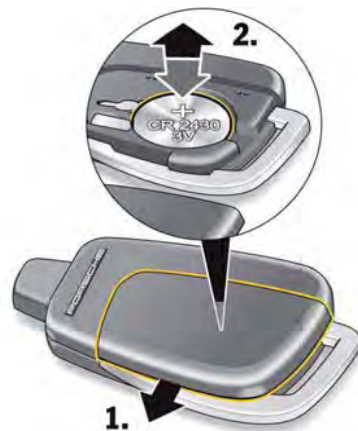
補助ヒーターをONにしたときにインジケーター・ライトが緑色に点灯し、その後点滅し始めた場合、信号は正しく送信されています。
作動準備状態の点検が正しく完了すると、補助ヒーターは自動的にOFFになります。

リモート・コントロールのインジケーター・ライトが緑色に点灯した後、赤色に変わって点滅した場合、

– 車両が作動範囲外にある
または
– 補助ヒーターの作動準備ができていない（燃料が少ない、バッテリーが弱っているなど）**または**
– 故障しているなどの可能性があります。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

補助ヒーターをOFFにしたときにインジケーター・ライトが赤色に点灯し、その後点滅し始めた場合、信号は正しく送信されています。
補助ヒーターが停止します。

リモート・コントロールのインジケーター・ライトが点灯しない場合、リモート・コントロールの電池が弱っています。

リモート・コントロール用電池の交換

リモート・コントロールのインジケーター・ライトが点灯しない場合、リモート・コントロールの電池が弱っています。

1. バッテリー・カバーを取り外してください。
2. 電池を交換してください。
3. バッテリー・カバーを押し込んでください。

ウィンドウおよびスライディング/チルティング・ルーフ

パワー・ウィンドウ

警告 ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように注意してください。特にワンタッチ操作で閉じるときは十分に注意してください。

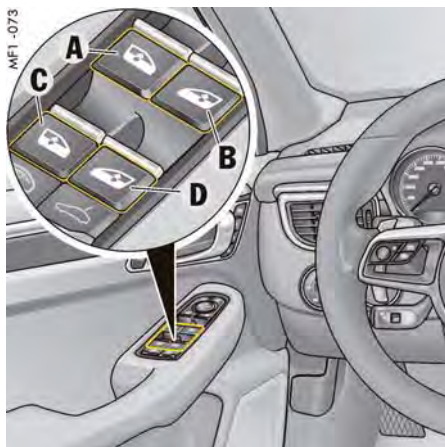
▷ ウィンドウを開閉するときは乗員がケガをしないように注意してください。
▷ 車両から離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
▷ 危険が生じたときは、直ちにキーのボタンを放してください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、直ちにドア・ハンドルのタッチ・センサーから手を放してください。
▷ お子様のみを車内に残さないでください。

インフォメーション

▷ オフロードを走行する場合、泥などが車内に入るため必ずウィンドウを閉じてください。

パワー・ウィンドウの作動条件

次の条件下で、パワー・ウィンドウを開閉することができます：

– イグニッションがONのとき
– イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまで（ウィンドウのワンタッチ操作はイグニッションがONのときのみ作動します）。

A - 運転席ドア・パワー・ウィンドウ
B - 助手席ドア・パワー・ウィンドウ
C - リヤ・ドア・パワー・ウィンドウ（運転席側）
D - リヤ・ドア・パワー・ウィンドウ（助手席側）

ウィンドウの開閉

スイッチ操作でウィンドウを開く

▷ ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのロッカー・スイッチを押してください。

スイッチ操作でウィンドウを閉じる

▷ ウィンドウが希望の位置になるまでウィンドウのロッカー・スイッチを引いてください。

助手席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ

インフォメーション

ロッカー・スイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

– **1段目 – 手動操作**
スイッチを1段目まで動かすと、ウィンドウは手動操作で開閉します。
スイッチを放すとウィンドウが止まります。
– **2段目 – ワンタッチ操作**
スイッチを2段目まで動かすと、ウィンドウは自動的に開閉します。
ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1回スイッチを操作してください。

リヤ・パワー・ウィンドウ

インフォメーション

ウィンドウを閉じるときに作動が妨げられると、ウィンドウが止まった後、再び数センチ下がり、挟み込みを防止します。
ウィンドウの作動が約10秒以内に2度妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。
ウィンドウは手動操作で閉じることができます。このときウィンドウは最大の力で閉じます。

ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを1回手動操作で完全に閉じるか、10秒後に再度スイッチを操作してください。

⚠ 警告 ウィンドウの手動閉操作

ワンタッチ操作がウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、手動閉機能を使用してウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

▷ ウィンドウを閉じる前に、乗員が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがないか確認してください。

リヤ・ドアの操作を無効にする（チャイルド・ロック）

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティー・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

▷ セーフティー・ボタンを押してください。
チャイルド・プロテクションが作動している場合、セーフティー・ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

ポルシェ・エントリー &ドライブ非装備車

キーによるウィンドウの開閉

▷ ウィンドウが希望の位置になるまでキーのロック/ロック解除ボタンを押し続けてください。

 インフォメーション

すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車）

▷ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのタッチ・センサーに触れ続けてください。

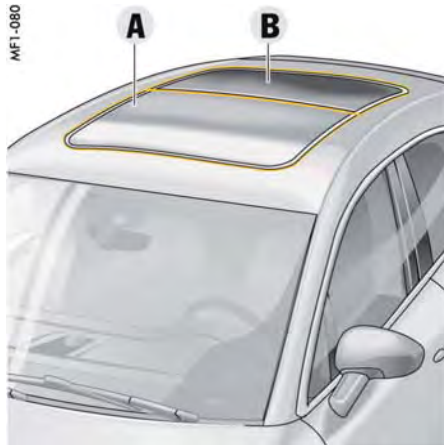
 インフォメーション

すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

バッテリー接続後のウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. ロッカー・スイッチを引いて**1回**ウィンドウを完全に閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、ロッカー・スイッチを再度短く引き上げてください。
3. ロッカー・スイッチを押して、**1回**ウィンドウを完全に開いてください。

A - スライディング/チルティング・ルーフ
B - 固定式ガラス・ルーフ

パノラマ・ルーフ

パノラマ・ルーフは、1枚構造の着色安全ガラスを使用した2つのルーフ・コンポーネントで構成されています。

ルーフ**A**はスイッチの操作で車両の前後方向に動かすことができます。
チルト・アップすることも可能で、室内を効率よく換気することができます。

ルーフ**B**は固定式ガラスでパノラマ・ルーフ・システムの構成部品です。

警告 パノラマ・ルーフの開閉操作

パノラマ・ルーフを開閉するときは、動いているルーフと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように注意してください。特にワンタッチ操作で閉じるときは十分に注意してください。

▷ パノラマ・ルーフを操作するときは乗員がケガをしないように十分注意してください。
▷ 車両から離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。同乗者（お子様など）がパノラマ・ルーフを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
▷ 危険が生じたときは、パノラマ・ルーフ・スイッチを反対方向に操作してください。コンフォート機能を使用している場合は直ちにキーのボタンを放してください。

知識

ルーフ・アタッチメントの取り付けに不具合があると、パノラマ・ルーフを操作したときに損傷する恐れがあります。

▷ 走行前にルーフ・アタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
▷ パノラマ・ルーフとルーフ・アタッチメントの間に十分なスペースがあることを確認してください。

 インフォメーション

パノラマ・ルーフは、挟み込み防止機能を備えています。閉作動の途中で抵抗があると、閉作動が中断されてパノラマ・ルーフが直ちに開きます。

パノラマ・ルーフの作動条件

以下の条件でパノラマ・ルーフを操作できます：

– イグニッションがONのとき
– イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまで

パノラマ・ルーフの操作

パノラマ・ルーフは、オーバーヘッド・コンソールのスイッチで操作してください。

インフォメーション

パノラマ・ルーフの操作スイッチは、すべての操作方向で2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

– **1段目 – 手動操作**
  スイッチをいずれかの方向に1段目まで動かすと、パノラマ・ルーフは手動操作で開閉します。
  スイッチを放すとルーフがその位置で止まります。
– **2段目 – ワンタッチ操作**
  スイッチを2段目まで完全に動かすと、パノラマ・ルーフは自動的に開閉します。
  パノラマ・ルーフを希望の位置で止めたいときは、もう1回スイッチをいずれかの方向に操作してください。

インフォメーション

パノラマ・ルーフは、極端に走行速度が高い場合や気温が極端に低い場合には作動しません。

パノラマ・ルーフを全開にする

ルーフを開く方向にスイッチを再度操作すると、パノラマ・ルーフを全開にすることができます。
パノラマ・ルーフを全開にした場合、速度により風切り音が発生します。

キーによるパノラマ・ルーフの開閉

パノラマ・ルーフは、キーを使用してチルト・アップすることが可能です。この機能により、室内を効率よく換気することができます。

パノラマ・ルーフを開く

▷ パノラマ・ルーフが希望の位置になるまでキーのロック解除ボタンを押し続けてください。

パノラマ・ルーフを閉じる

▷ パノラマ・ルーフが希望の位置になるまでキーのロック・ボタンを押し続けてください。

インフォメーション

すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでパノラマ・ルーフを閉じる（ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車）

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、ドア・ハンドルのタッチ・センサーでもパノラマ・ルーフを閉じることができます。

▷ パノラマ・ルーフが希望の位置になるまでドア・ハンドルのタッチ・センサーに触れ続けてください。

インフォメーション

すべてのウィンドウおよびパノラマ・ルーフを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

パノラマ・ルーフの停止位置の保存

バッテリーの接続を切り離したとき、バッテリーがあがったとき、ジャンパー・ケーブルでエンジンを始動したとき、パノラマ・ルーフのヒューズを交換したとき、または緊急操作を行った後は、パノラマ・ルーフの停止位置（全開/全閉の位置）のメモリーが消去されます。

インフォメーション

ロールアップ式サンブラインドの停止位置も保存してください。

▷ パノラマ・ルーフおよびロールアップ式サンブラインドの停止位置の保存はそれぞれ個別に行ってください。
停止位置の保存が中断された場合、もう一方の停止位置の保存ができません。

ロールアップ式サンブラインドの停止位置の保存に関するインフォメーション：

▷ 「ロールアップ式サンブラインドの停止位置の保存」（85ページ）を参照してください。

⚠ 警告 停止位置の保存

停止位置の保存時は、パノラマ・ルーフが最大の力で閉じます。

▷ パノラマ・ルーフを閉じる前に、乗員が挟まれたり圧迫されたりする恐れがないか確認してください。

パノラマ・ルーフの停止位置の保存は、車両を停止した状態で行ってください。

1. イグニッションをONにしてください。
2. ルーフを閉じる方向にスイッチを押し続けてください。
   約10秒後に、停止位置を保存するプロセスが開始されます。
   パノラマ・ルーフの動きが完全に停止するまで、そのままスイッチを押し続けてください。
   このプロセスは最大45秒で完了します。
   プロセスが完了する前にスイッチから手を放した場合は、最初からやり直してください。

パノラマ・ルーフの緊急操作

パノラマ・ルーフが故障した場合、車載工具の六角キー・レンチを使用して手動で開閉作動を行えます。

▷ 「ルーフ・ドライブ・メカニズムが故障した場合の緊急操作」（87ページ）を参照してください。

ロールアップ式サンブラインド

ロールアップ式サンブラインドはパノラマ・ルーフに組み込まれており、オーバーヘッド・コンソールのロッカー・スイッチで操作できます。

ロールアップ式サンブラインドの開閉

ロッカー・スイッチには2段階の作動位置があります：

– **1段目 – 手動操作**
  ロッカー・スイッチを1段目まで押すと、スイッチを押している間のみロールアップ式サンブラインドが開閉します。
– **2段目 – ワンタッチ操作**
  ロッカー・スイッチを2段目まで押すと、ロールアップ式サンブラインドは自動的に開閉します。

ロールアップ式サンブラインドを開く：

▷ ロッカー・スイッチを後方に押してください。

ロールアップ式サンブラインドを閉じる：

▷ ロッカー・スイッチを前方に押してください。

パノラマ・ルーフおよびロールアップ式サンブラインドを閉じる

ルーフとロールアップ式サンブラインドは同時に閉じることができません。

– パノラマ・ルーフの閉作動中にロッカー・スイッチを2段目まで押した場合（ワンタッチ操作）、パノラマ・ルーフが完全に閉じてからロールアップ式サンブラインドが停止位置まで閉じます。
– サンブラインドの閉作動中にロッカー・スイッチを押してパノラマ・ルーフを閉じた場合（ワンタッチ操作）、サンブラインドの閉作動が中断されます。ロールアップ式サンブラインドはパノラマ・ルーフが停止位置まで閉じた後、停止位置まで閉じます。

パノラマ・ルーフおよびロールアップ式サンブラインドを開く

– パノラマ・ルーフを車両の前後方向に開いた場合、ロールアップ式サンブラインドも自動的に開きます。
– パノラマ・ルーフをチルト位置にした場合、ロールアップ式サンブラインドも自動的に約10cm開きます（換気位置）。

 インフォメーション

パノラマ・ルーフをチルト位置にした場合、ロールアップ式サンブラインドは換気位置まででしか閉じません。

ロールアップ式サンブラインドの停止位置の保存

バッテリーの接続を切り離したとき、バッテリーがあがったとき、ジャンパー・ケーブルでエンジンを始動したとき、ロールアップ式サンブラインドのヒューズを交換したとき、または緊急操作を行った後は、ロールアップ式サンブラインドの停止位置（全開/全閉の位置）のメモリーが消去されます。

 インフォメーション

パノラマ・ルーフの停止位置も保存してください。

▷ パノラマ・ルーフおよびロールアップ式サンブラインドの停止位置の保存はそれぞれ個別に行ってください。
  停止位置の保存が中断された場合、もう一方の停止位置の保存ができません。

パノラマ・ルーフの停止位置の保存に関するインフォメーション：

▷ 「パノラマ・ルーフの停止位置の保存」（84ページ）を参照してください。

⚠ 警告 停止位置の保存

停止位置の保存時はロールアップ式サンブラインドが最大の力で閉じます。

▷ ロールアップ式サンブラインドを閉じる前に、乗員が挟まれたり圧迫されたりする恐れがないか確認してください。

ロールアップ式サンブラインドの停止位置の保存は、車両を停止した状態で行ってください。パノラマ・ルーフとロールアップ式サンブラインドは必ず閉じてください。

1. イグニッションをONにしてください。
2. 閉じる方向にロッカー・スイッチを押し続けてください。
   約10秒後に、停止位置を保存するプロセスが開始されます。
   ロールアップ式サンブラインドの動きが完全に停止するまで、そのままスイッチを押し続けてください。
   このプロセスは最大45秒で完了します。
   ロールアップ式サンブラインドが完全に停止する前にスイッチから手を放した場合は、保存作業を再度行ってください。

ロールアップ式サンブラインドの清掃機能

ロールアップ式サンブラインドの清掃機能を作動させる場合、車両を停止した状態で行ってください。

1. イグニッションをONにしてください。
2. パノラマ・ルーフを全開にしてください。
3. ロールアップ式サンブラインドを可能な限り閉じてください。
4. 閉じる方向にロッカー・スイッチを押し続けてください。ロールアップ式サンブラインドが3秒後に閉じ始めます。ロールアップ式サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままロッカー・スイッチを押し続けてください。
5. ゴミ（落ち葉など）を取り除いてください。

清掃機能を終了するには：

▷ 走行しはじめると、ロールアップ式サンブラインドが自動的に開きます。
  または
  ボタンを押してください。ロールアップ式サンブラインドが自動的に開きます。
  または
  スイッチ操作でロールアップ式サンブラインドを開いてください。

パノラマ・ルーフの緊急操作

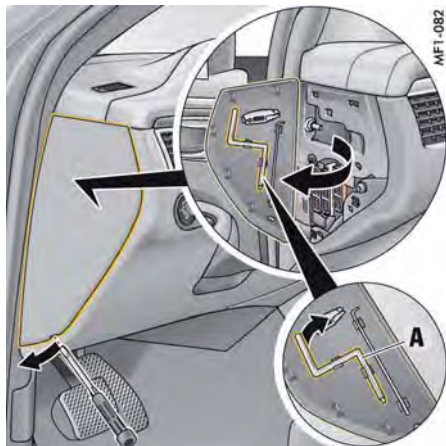
⚠ 警告 パノラマ・ルーフの緊急閉操作

パノラマ・ルーフを緊急操作で閉じる際、必要に応じて自動的に閉じる力が段階的に強くなります。

▷ パノラマ・ルーフを閉じる前に、乗員が挟まれたり圧迫されたりする恐れがないか確認してください。

挟み込み防止機能が繰り返し作動した後の緊急閉操作

▷ 障害物を取り除いてください。

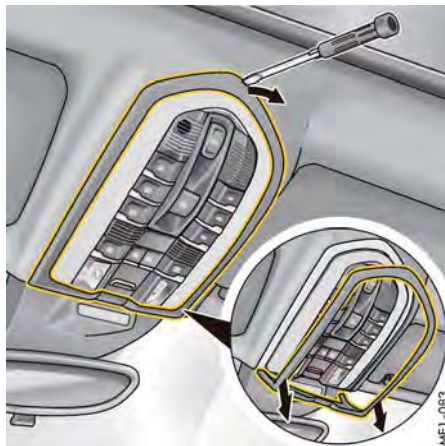
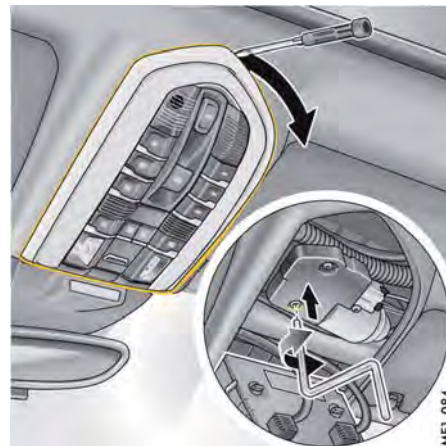
▷ スライディング/チルティング・ルーフまたはパノラマ・ルーフが停止位置まで完全に閉じた状態で、スイッチを閉じる方向に繰り返し押すか押し続けてください。

ルーフ・ドライブ・メカニズムが故障した場合の緊急操作

パノラマ・ルーフが故障した場合、車載工具の六角キー・レンチを使用して手動で開閉作動を行えます。

▷ 緊急操作を行う前に、ヒューズが切れていないか点検してください。

ヒューズの点検に関するインフォメーション：

▷ 「ヒューズの交換」(316ページ) を参照してください。

1. 運転席側インストルメント・パネルのカバーから六角キー・レンチ**A**を取り出してください。
2. 手またはドライバーでオーバーヘッド・コンソールのクリップ・オン・フレームのクリップを外し、注意して引き下げてください。
   クリップ・オン・フレームを損傷しないように注意してください。
3. クリップ・オン・フレームを取り外してください。
4. 手またはドライバーでオーバーヘッド・コンソールを下方向に外して下げてください。
5. 六角キー・レンチをモーターの奥まで差し込み、開閉の希望の方向に応じて左右どちらかに回してください。六角キー・レンチが滑って損傷しないように、六角キー・レンチを押し上げながら回してください。
6. 六角キー・レンチを取り外し、保管場所に戻してください。
7. オーバーヘッド・コンソールおよびクリップ・オン・フレームを取り付けてください。

▷ ポルシェ正規販売店にて修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ライト、方向指示灯、フロント・ワイパー

ライト・スイッチ

OFF ライトの消灯

イグニッションがONのとき、デイタイム・ドライビング・ライト＊が点灯します。

AUTO オートマチック・ヘッドライト

車幅灯

ライセンス・ライト、インストルメント・ライト、車幅灯が点灯、デイタイム・ドライビング・ライト＊が消灯します。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト

イグニッションがONのときのみ。

フォグ・ライト

スイッチをロー・ビームまたは車幅灯の位置で1段階引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・フォグ・ライト

スイッチをロー・ビームまたは車幅灯の位置で2段階引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。

各国の法律等に準拠して、ライトの仕様が異なる場合があります。

インフォメーション

気温と湿度により、車両のエクステリア・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

オートマチック・ヘッドライト

オートマチック・ヘッドライトは運転快適性を高める機能です。車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。

オートマチック・ヘッドライト機能は、デイタイム・ドライビング・ライト＊、オートマチック・カミングホーム・ライト、ダイナミック・コーナリング・ライトの作動を制御します。

ライト・スイッチを**AUTO**位置にすると、オートマチック・ヘッドライトが作動します。

なおオートマチック・ヘッドライトを作動させていても、法律等を遵守し、ライト・スイッチの手動操作でドライビング・ライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。

オートマチック・ヘッドライト機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング・ライトの操作は運転者自身が正しく行わなければなりません。

⚠ 警告 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行するとドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。

▷ オートマチック・ヘッドライトの作動状況を常に監視してください。

インフォメーション

オートマチック・ヘッドライト、ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)が故障した場合、インストルメント・パネルのPDLS警告灯が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

インストルメント・パネルのインジケーター・ライトおよび警告灯に関するインフォメーション：

▷ 「インストルメント・パネル」（102ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト

ライト・スイッチをAUTOの位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速道路走行時（デイタイム・ドライビング・ライト＊無効時）

ロー・ビームの点灯時には、スピードメーターのインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。

▷ 霧が発生したときは、手動でドライビング・ライトを点灯させてください。

日中の高速道路走行時の作動

速度が約140km/hを超えるとドライビング・ライトが自動的に点灯します。（デイタイム・ドライビング・ライト無効時＊）

その後、周囲が明るいときは、速度が約65km/h以下になると約4分後にドライビング・ライトが消灯します。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

その後、ワイパーを停止してから約4分が経過すると、ドライビング・ライトが消灯します。

オートマチック・ヘッドライト・レベリング（ヘッドライトの高さ自動調整）

イグニッションがONでロー・ビームが点灯しているときは、車体の姿勢変化に合わせてヘッドライトの照射角度が自動調整されます。

キセノン・ライト装着車は、加速時および減速時も、ヘッドライトの照射高さが自動的に一定に維持されます。

インフォメーション

ライト・スイッチが(ヘッドライト・ロー・ビーム/ドライビング・ライト）の位置にあるときも、オートマチック・ヘッドライト・レベリングが作動します。

デイタイム・ドライビング・ライト＊

イグニッションがONの状態で、ライト・スイッチをOFFの位置（ライトOFF）にすると、デイタイム・ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

イグニッションがONおよび周囲が明るい状態で、ライト・スイッチをAUTOの位置にすると、デイタイム・ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

ライト・スイッチが(ヘッドライト・ロー・ビーム/ドライビング・ライト）の位置にあるときは、デイタイム・ドライビング・ライトは作動しません。

国別の法律に応じて、デイタイム・ドライビング・ライトの機能が異なります。

オートマチック・カミング・ホーム・ライト（ウェルカム・ホーム機能/エントリー機能）

オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする

▷ ライト・スイッチをAUTOにしてください。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：

- デイタイム・ドライビング・ライト＊
- ドア・ミラーのカーテシー・ライト（コンフォート・メモリーおよび格納ドア・ミラー装備車）
- フロントおよびリヤの車幅灯
- ライセンス・ライト

ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）

車両をロックするとマルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「エクステリア・ライトの設定」(135ページ)を参照してください。

エントリー機能

車両をロック解除すると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

イグニッションをONにするか、またはライト・スイッチをAUTOの位置以外に設定すると、ライトが消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「エクステリア・ライトの設定」(135ページ)を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)

ライト・スイッチがAUTO位置のときに、スタティックおよびダイナミック・コーナリング・ライトおよび夜間の高速道路走行機能が作動します。

スタティック・コーナリング・ライト

この機能は速度が約130km/hを超えて走行中、ステアリング・ホイールを操作するとONになります。

 インフォメーション

ライト・スイッチが (ヘッドライト・ロー・ビーム/ドライビング・ライト)の位置にあるときも、スタティック・コーナリング・ライトを使用できます。

ダイナミック・コーナリング・ライト

速度が約8km/h以上で走行している場合、そのときの速度やステアリング・ホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロー・ビームまたはハイ・ビームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。

ダイナミック・コーナリング・ライトが故障した場合、インストルメント・パネルのポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)の警告灯が点滅し、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグ・ライト

速度が約60km/h以下でフォグ・ライトが点灯している場合、ドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)

ジャンクション・ライト＊

ジャンクション・ライト機能は、ナビゲーション・データを使用して交差点や分岐点を検出し、他の車両や歩行者の確認を容易にしてくれます。

左右スタティック・ライトが交差点や分岐点で点灯し、最適な明るさで照らしてくれます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、ジャンクション・ライト機能が作動します：

– ライト・スイッチがAUTO位置に選択されている
– 車両が約40km/h（スポーツ走行時は約60km/h）未満の速度で走行している
– 分岐点または交差点までの距離が約60m以下である

分岐点や交差点を通過した後、速度が約60km/h以上、または次の交差点までの距離が約150m以上になると、ジャンクション・ライトは自動的に消灯します。

 インフォメーション

高速道路を走行している場合、または交差点と交わっている道路が高速道路の場合、ジャンクション・ライト機能は機能しません。

ダイナミック・ハイ・ビーム

ダイナミック・ハイ・ビーム装備車では、カメラAで前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビング・ライトの遮光ラインをハイ・ビームからロー・ビームの間で段階的に調節します。ドライビング・ライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

– ライト・スイッチのAUTO位置が選択されている
– 速度が約60km/h以上
– インストルメント・パネルのマルチ・ファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイ・ビームが作動するように設定している「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」(136ページ)を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

– ダイナミック・ハイ・ビームがONになっている
「作動/停止（ダイナミック・ハイ・ビーム装備車）」（93ページ）を参照してください。

市街地走行時にハイ・ビームに切り替わらないようにするため、ダイナミック・ハイ・ビームは約30km/h以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイ・ビームからロー・ビームに切り替わります。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

インフォメーション

▷ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
カメラの視界**A**をステッカーなどで遮らないでください。

▷ システムの正常な機能を維持するために、カメラの視界**A**に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
車両のお手入れについて：
「車両のお手入れ」（291ページ）を参照してください。

警告 集中力の低下

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時は細心の注意を払ってください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

– 悪天候（雨水、雪、氷、多量の水しぶきなど）
– 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
– 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
– 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
– 明かりが少ない市街地
– 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
– フロント・ウィンドウのカメラの視界に曇り、汚れ、凍結がある、またはステッカーで覆われている

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
▷ 周囲の明るさ、視界、交通状況に応じて、ハイ・ビームを手動で調節してください。

方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・レバー

方向指示灯、ロー・ビームおよびハイ・ビームは、イグニッションがONの状態で操作できます。

1 – 方向指示灯、左
2 – 方向指示灯、右
3 – ハイ・ビーム、ダイナミック・ハイ・ビーム
4 – ヘッドライト・パッシング

操作レバー中央位置 – ロー・ビーム

方向指示灯

▷ 操作レバーを下方向**1**または上方向**2**に抵抗を感じる位置を超えて動かしてください。
方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング・ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

▷ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを下方向**1**または上方向**2**に動かしてください。
方向指示灯が3回点滅します。

ハイ・ビーム・ヘッドライト

点灯/消灯（ダイナミック・ハイ・ビーム非装備車）

▷ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に1回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

▷ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。

作動/停止（ダイナミック・ハイ・ビーム装備車）

ダイナミック・ハイ・ビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません：

– 夜間
– ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
– 速度が約60km/h以上
– インストルメント・パネルのマルチ・ファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイ・ビームが作動するように設定している
「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」（136ページ）を参照してください。

▷ **作動**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に1回押してください。
スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。ロー・ビームとハイ・ビームが自動的に切り替わります。
ハイ・ビーム点灯時、タコメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

▷ **停止**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが点灯している場合のみダイナミック・ハイ・ビームを停止できます。

点灯/消灯（ダイナミック・ハイ・ビーム装備車）

ダイナミック・ハイ・ビームを停止した場合、または条件が満たされなかった場合、ハイ・ビームは手動操作で点灯および消灯できます。
以下の条件を満たさなければなりません：

– 夜間
– ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている

▷ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に1回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

▷ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。

ヘッドライト・パッシング

▷ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが短時間点灯します。

パーキング・ライト

パーキング・ライトは、イグニッションがOFFのときのみ点灯します。

▷ 操作レバーを上または下に動かすと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。

パーキング・ライトが点灯している状態でイグニッションをOFFにし、ドアを開くとインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**パーキングライト オン**」のメッセージが表示されます。
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

アダプティブ・ブレーキ・ライト

急制動（パニック・ブレーキ）時、減速中にブレーキ・ライトが点滅します。

インストルメント・ライト

ライト・センサー**B**により、周囲の明るさによって、ライトが自動的に調節されます。
更に、車両のライト・スイッチがONのときはインストルメント・パネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

▷ 調節ボタン**A**を、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

⚠ 警告 走行中の輝度の調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▷ 運転中はステアリング・ホイールのスポークの間に手を入れて調節を行わないでください。

⚠ ハザード・ライト

ハザード・ライトはイグニッションの位置に関係なくONにできます。

ON/OFF

▷ センター・コンソールのハザード・ライト・スイッチを押してください。

ハザード・ライトを作動させると、すべての方向指示灯と、ボタンのインジケーター・ライトおよびタコメーターの方向指示灯インジケーター・ライトが点滅します。
ハザード・ライトを長時間作動させた場合、ライトを保護するため、ライトの点灯時間が短くなります。

急制動時のハザード・ライトの自動点滅機能

約70km/h以上での走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキ・ライトが点滅し、車両の停止後にハザード・ライトが自動的に作動します。

▷ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。
車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

衝突時のハザード・ライトの自動点滅機能

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

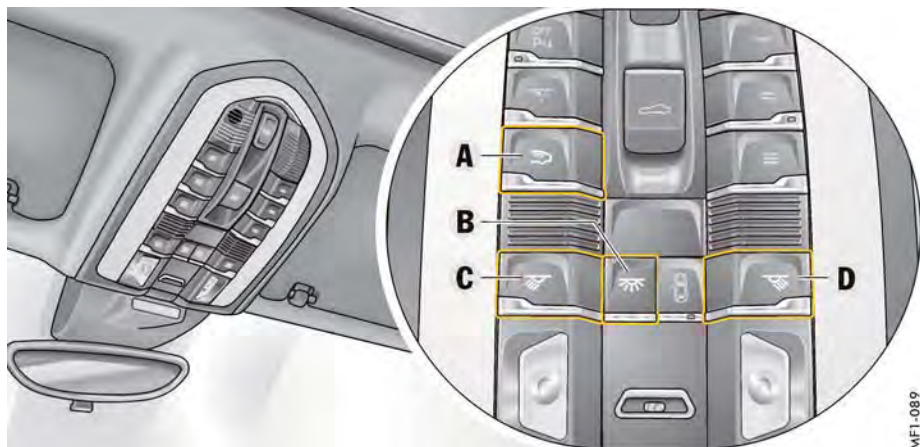
▷ ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

イグニッションのON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「イグニッション・ロック、ステアリング・ロック」（164ページ）を参照してください。

ライトの作動不良または故障

車両のいずれかのライトに不具合または故障が生じると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

A - リヤ・インテリア・ライト用ボタン
B - フロント・インテリア・ライト用ボタン
C、**D** - フロント読書灯用ボタン

インテリア・ライト

インテリア・ライト

フロント･インテリア･ライトを点灯/消灯する

▷ ボタンＢを押してください。

リヤ・インテリア・ライトを点灯/消灯する

▷ フロント・オーバーヘッド・コンソールのボタン**A**、**または**左右リヤ・ドアの上部にあるボタン**E**を押してください。

減光する（明るさを調節する）

▷ フロント・インテリア・ライトのボタン**B**、**または**リヤ・インテリア・ライトのボタン**E**を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

読書灯

フロントの読書灯を点灯/消灯する

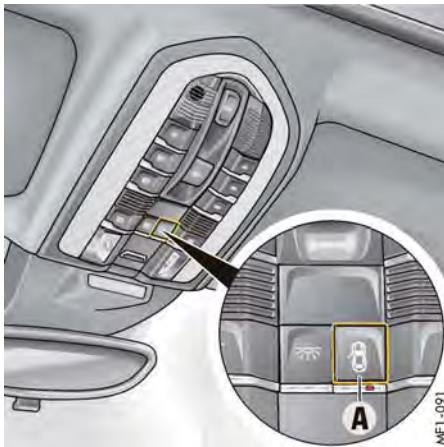
▷ ボタン**C**または**D**を押してください。

リヤの読書灯を点灯/消灯する

▷ 左右いずれかのドア上部のボタン**E**を押してください。

E - リヤ読書灯またはリヤ・インテリア・ライト用ボタン

減光（明るさを調節する）

▷ フロント読書灯のボタン**C**、または**D**、**または**リヤ読書灯のボタン**E**を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

インテリア・ライトの自動点灯/消灯機能

▷ ボタン**A**を押してください。

インテリア・ライトの自動点灯機能がOFFの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インテリア・ライトの自動点灯機能をONにすると、周囲が暗いときに次のように作動します。

– ドアまたはリヤ・リッドのロックを解除したとき、ドアまたはリヤ・リッドを開いたとき、イグニッション・ロックからキーを抜き取ったとき、またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではステアリング・ロックを作動させたときに、インテリア・ライトが**点灯**します。
– ドアまたはリヤ・リッドを閉じ、遅延消灯時間の約120秒が経過するとインテリア・ライトが**消灯**します。この遅延消灯時間は、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリア・ライトが消灯します。

インテリア・ライトの遅延消灯モードの設定に関するインフォメーション：

▷ 「インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する」(137ページ) を参照してください。

オリエンテーション・ライト

フロント・オーバーヘッド・コンソール、小物トレー、リヤ・ライト・ユニットのライトが点灯し、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

減光（明るさを調節する）

オリエンテーション・ライトの明るさはマルチファンクション･ディスプレイで調節できます。

オリエンテーション･ライトの明るさ調節に関するインフォメーション：

▷ 「オリエンテーション･ライトの明るさの調整」(136ページ) を参照してください。

インテリア・ライトの自動消灯機能

周囲が暗いとき、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから16分後にインテリア・ライトが消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動で点灯した後、3分が経過すると自動的に消灯します。

アンビエント・ライト

夜間の運転中、控え目な明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエント・ライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

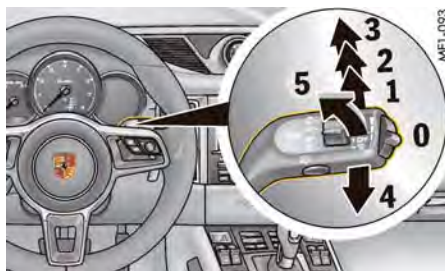
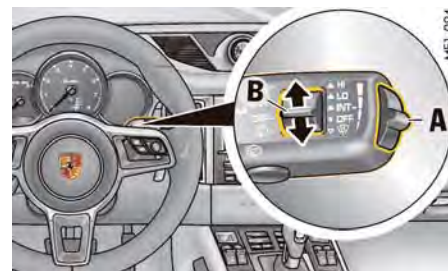
アンビエント・ライトを点灯/消灯する

▷ ボタン**A**を押してください。

減光（明るさを調節する）

▷ アンビエント･ライトの減光ボタン**A**を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

概要 – フロント・ワイパー

この概要説明は後述の「フロント・ワイパー / ウォッシャー・レバー」に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

フロント・ワイパー操作レバー

レイン・センサー・スイッチ

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？
フロント・ワイパー・オート作動（レイン・センサー）	操作レバーを**1**の位置にしてください。
レイン・センサーの調節	操作レバー右部のスイッチ**A**を上（作動回数が増える）または下（作動回数が減る）方向に動かして調節してください。
フロント・ワイパー作動	低速：操作レバーを**2**の位置にしてください。 高速：操作レバーを**3**の位置にしてください。 ワンタッチ：操作レバーを**4**の位置に短く押してください（**4**の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります）。
フロント・ワイパー &ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向**5**に引いて、保持してください。
リヤ・ワイパー（間欠作動）	操作レバーのスイッチ**B**を上方向**INT**位置まで押してください。
リヤ・ワイパー &ウォッシャー作動	操作レバーのスイッチ**B**を上下方向いっぱいに**INT**位置を超えて押してください。

フロント・ワイパー/ウォッシャー・レバー

⚠ 注意 ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水分を検出すると自動的にワイプ作動を行います。

▷ （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

▷ （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーをOFFにしてください。

▷ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。

▷ （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

▷ ワイパー・ブレードを交換する場合はワイパー･アームをしっかりと保持してください。

▷ エンジン・コンパートメント・リッドを開く前に、必ずワイパーをOFF（ワイパー・レバーを**0**の位置）にしてください。イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、エンジン・コンパートメント・リッドを開くとワイパーアームが停止します。
エンジン・コンパートメント・リッドを閉じ、ワイパーシステムをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。

知識

エンジン・コンパートメント・リッド、フロント・ウィンドウまたはワイパーシステムを損傷する恐れがあります。

▷ フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウに擦り傷が付く原因になります。

▷ 運転前にワイパーの凍結を溶かしてください。

▷ 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。

ワイパー・ブレードの交換

▷ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向**4**に押してください。
ワイパーが上方約45°の角度まで移動します。

フロント･ワイパーおよびヘッドライト・ウォッシャー・システム

0 – ● OFF: フロント・ワイパー OFF
フロント・ワイパーをOFFまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパー・アームが静止位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 – ▲ INTレイン・センサーの作動（フロント・ワイパー）
ワイパー・レバーを上方向に1段階動かしてください。

2 – ▲ LO: フロント・ワイパー – 低速作動
ワイパー・レバーを上方向に2段階動かしてください。

3 – ▲ HI: フロント・ワイパー – 高速作動
ワイパー・レバーを上方向に3段階動かしてください。

4 – : フロント・ワイパーのワンタッチ作動
ワイパー・レバーを下方向に動かしてください。
フロント・ワイパーが1回作動します。
ワイパー・レバーを下側に押したままにすると、ワイパーが高速で作動します。

5 – : フロント・ワイパーおよびウォッシャー・システム
ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。
レバーを引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。
レバーを放すと、ウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。
フロント・ウィンドウ・ワイパーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

インフォメーション

▷ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
▷ 頑固な汚れ（昆虫の死骸など）は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション：
▷ 「車両のお手入れ」(291ページ) を参照してください。

良好な視界を確保するためには、ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことが不可欠です。
▷ 「ワイパー・ブレード」(282ページ) を参照してください。

レイン・センサーの作動 (フロント・ワイパー)

レイン・センサーが作動すると、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調整されます。

フロント・ワイパーを作動させているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

レイン・センサーの自動作動に関するインフォメーション：
▷ 「レイン・センサーの作動/解除」(137ページ) を参照してください。

インフォメーション

– イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが**1**の位置にある場合、レイン・センサーは速度が約4km/hを超えると作動します。
– イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロント・ワイパーはワイパー・レバーを再度操作しなければ作動しません。

レイン・センサー感度の調節

▷ スイッチ**A**を**上方向**に動かしてください
- センサー感度が**高くなります。**
フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。
▷ スイッチ**A**を**下方向**に動かしてください
- センサー感度が**低くなります。**

ヘッドライト・ウォッシャー・システム

ヘッドライト・ウォッシャー・システムは、ロー・ビームまたはハイ・ビームを点灯しているときのみ作動します。

▷ ワイパー・レバーの下側のボタン**C**を押してください。

▷ なお、フロント・ウィンドウ・ワイパーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

リヤ・ワイパー

リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする

▷ ワイパー・レバーのスイッチ**B**を**INT**位置まで押してください。

リヤ・ワイパーの間欠作動をOFFにする

▷ ワイパー・レバーのスイッチ**B**を**OFF**位置まで押してください。

手動ワイパー /ウォッシャー

▷ ワイパー・レバーのスイッチ**B**を**OFF**位置から下方向に動かす、または**INT**位置から上方向に動かしてください。
スイッチを押している間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。
レバーを放すと、ウォッシャー・システムが停止した後もワイパーが数回作動します。

リバース（後退）ギヤ選択時にリヤ・ワイパーをONにする

雨天時やフロント・ワイパーを作動させているときにリバース（後退）ギヤを選択した場合に、リヤ・ワイパーが自動的に作動するかどうかをインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで切り替えることができます。

オートマチック・リヤ・ワイパー機能の設定に関するインフォメーション：

▷ 「リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定」（137ページ）を参照してください。

i インフォメーション

良好な視界を確保するためには、ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことが不可欠です。

▷ 「ワイパー・ブレードのお手入れ」（294ページ）を参照してください。

インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネル

A スピードメーター
B スピードメーター（Macan S、Macan、Macan Sディーゼル＊）
C ディーゼル予熱インジケーター・ライト（Macan Sディーゼル）＊
D タコメーター（回転計）
E マルチファンクション・ディスプレイ

マルチファンクション･ディスプレイに表示される警告およびインフォメーション･メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

F トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・パネル明るさ調節ボタン
G 積算距離計/トリップ・メーター
H 「スポーツ」/「スポーツ・プラス」インジケーター・ライト
I デジタル・スピードメーター
J シフトアップ・インジケーター
K PDKセレクター・レバー・ポジション・インジケーター/ギヤ･ポジション･ディスプレイ
L タコメーター（回転計）（Macan Sディーゼル＊）
M フィラー・フラップ位置の表示
N 燃料計、燃料タンク残量警告灯

スピードメーターの警告灯およびインジケーター・ライト

⇦1⇨	トレーラー方向指示灯
HOLD	HOLD機能インジケーター・ライト
	タイヤ空気圧警告灯
	PDLS警告灯
	ディーゼル予熱インジケーター・ライト＊
	ロー・ビーム・インジケーター・ライト
	ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケーター・ライト
	リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト

タコメーターの警告灯およびインジケーター・ライト

	エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯
	エミッション・コントロール警告灯（チェック・エンジン）
	エアバッグ警告灯
	シートベルト警告灯
	ブレーキ警告灯
	方向指示灯、左
	ハイ・ビーム・インジケーター・ライト
	方向指示灯、右
	ABS警告灯
	PSM 警告灯
OFF	PSM OFF 警告灯

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネル・ディスプレイ

A、B – スピードメーター

インストルメント・パネルのタコメーターの左横にアナログ表示のスピードメーターAまたはBがあります。

C – ディーゼル予熱インジケーター・ライト（Macan Sディーゼル）＊

ディーゼル予熱インジケーター・ライトはスピードメーター内にあります。(Macan Sディーゼル）＊
インジケーター・ライトはエンジン始動時に短い時間点灯します。

D、L – タコメーター（回転計）

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

加速中に指針がレッド・ゾーンに達すると、エンジンを保護するために燃料供給が遮断されます。

E – マルチファンクション・ディスプレイ

マルチファンクション・ディスプレイに関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（107ページ）を参照してください。

F – トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・パネル明るさ調節ボタン

トリップ・メーターのリセット

▷ ロータリー・スイッチFを約1秒間押してください。
トリップ・メーターが「0」に戻ります。

インストルメント・ライトの明るさ調整

インストルメント・ライトの明るさ調整に関するインフォメーション：

▷ 「インストルメント・ライト」（94ページ）を参照してください。

G – オドメーター（積算距離計）

総走行距離計（オドメーター）および区間走行距離計（トリップ・メーター）はスピードメーター内にあります。

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。

トリップ・メーターの最大表示値は9,999kmで、それを超えると「0」に戻ります。

H – 「スポーツ」/「スポーツ・プラス」インジケーター・ライト

「スポーツ」/「スポーツ・プラス」モードが作動しているとき、デジタル・スピードメーターのインジケーター・ライトが点灯します。

I – デジタル・スピードメーター

インストルメント・パネルのタコメーター内にデジタル表示のスピードメーター Iがあります。

J – シフトアップ・インジケーター

タコメーター内のデジタル・スピードメーター右横にあるシフトアップ・インジケーターJは、経済的な運転を促すシフトアップのタイミングを知らせます。
現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

シフトアップ・インジケーターは、「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードが作動していない場合のみ表示されます。

マニュアル・モードでのみシフトアップ・インジケーターが使用可能です。

▷ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

K – PDKセレクター・レバー・ポジション・インジケーター /ギヤ・ポジション・ディスプレイ

イグニッションがONのとき、セレクター・レバーの位置（**P**、**R**、**N**または**D**）を表示します。

エンジン作動中は、セレクター・レバー・ポジションが表示されます。セレクター・レバーが**D**または**M**位置にあるときはギヤ・ポジションが表示されます。

▷ 「PORSCHE DOPPELKUPPLUNG(PDK)」（205ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

Porsche Doppelkupplung(PDK)装備車の警告メッセージ

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合

影響：
– インストルメント・パネルの該当するセレクター・レバー・ポジションが点滅します。

処置：
– フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。

トランスミッションに故障が発生した場合

– マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます：
「T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能」
または
「T/M故障 安全に停車して下さい」
または
「T/M温度 高すぎる負荷を下げる」

▷ 「走行制限プログラム」（212ページ）を参照してください。

M – フィラー・フラップ位置の表示

矢印は車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。

N – 燃料計

燃料計はイグニッションがONのときに燃料の残量、および設定によっては燃料残量での走行可能距離を示します。

燃料計の設定に関するインフォメーション：

▷ 「燃料計の表示変更」（128ページ）を参照してください。

燃料の品質および給油量に関するインフォメーション：

▷ 「充填容量」（345ページ）を参照してください。

燃料および給油に関するインフォメーション：

▷ 「燃料の給油」（284ページ）を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

イグニッションがONのとき、またはエンジン作動中に、燃料タンクの残量が規定値（仕様により異なる）を下回るか、または残量での走行可能距離が約50km以下になると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**目的地までの距離に注意してください**」が表示されます。

▷ 最寄りの給油所で給油してください。

車両	燃料タンク容量	予備燃料
Macan Turbo	約75リットル	約10リットル
Macan S、Macan	約65リットル（オプション：約75リットル）	約9リットル
Macan S ディーゼル＊	約60リットル（オプション：約75リットル）	約8リットル

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。

▷ 警告灯が点灯した場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

▷ エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：
「エミッション・コントロール・システム」（283ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

バッテリー/オルタネーター

警告メッセージ

車両エレクトリカル・システムの電圧が著しく低下するか、またはオルタネーターに不具合が発生した場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**故障 ジェネレーター 停車して下さい**」が表示されます。

▷ 安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

考えられる原因

– バッテリー充電システムの故障
– ドライブ・ベルトの不具合

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

ドライブ・ベルトに不具合があると、エンジン冷却システムが作動しなくなります。

▷ 運転を続けないでください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

MacanおよびMacan Sディーゼル＊車用インテリジェント・メンテナンス・コンピューター

マルチファンクション・ディスプレイに走行距離、最後にメンテナンスを行ってからの期間および車両の使用状況に応じてメンテナンス・インターバル（サービス・インジケーター）が表示されます。

車両が過酷な条件下で使用されている場合、通常の使用条件の車両に比べてメンテナンス間隔が短くなります。

▷ マルチファンクション・ディスプレイに表示されるメッセージに関するインフォメーション：
「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

エミッション・コントロール

警告灯

エミッション・コントロール・システムは、排気ガス中の有害物質が増加する原因となるような故障や、それに起因した損傷が引き起こされる前に、排気に関連するシステムの不具合を検出します。

不具合が検出されると、インストルメント・パネルの警告灯が点灯または点滅します。

また不具合の内容が、コントロール・ユニットのフォルト（故障）メモリーに保存されます。

インストルメント・パネルの警告灯は、イグニッションをONにするとバルブ切れチェックのために点灯し、エンジンが始動すると約1秒後に消灯します。

エミッション・コントロール・システムの部品が損傷する原因となるような作動状態（エンジンの失火など）が発生すると、警告灯が点滅します。

▷ このような場合、直ちにアクセル・ペダルから足を放し、エンジンにかかる負荷を小さくしてください。

エンジンや排気ガス浄化装置（触媒コンバーターなど）の損傷を避けるために：

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

知識

エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

アクセル・ペダルから足を放しても警告灯が点滅を続ける場合は、エミッション・コントロール・システムがオーバーヒートしている可能性があり、損傷する恐れがあります。

▷ 直ちに安全な場所に停車してください。
可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。

▷ エンジンをOFFにしてください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

Macan Sディーゼルのエンジン故障＊

走行中にエンジン・コントロール・システムに故障が発生した場合、インジケーター・ライトが点滅します。

▷ エンジンを早急に点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告 事故を起こす恐れがあります

▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。

インフォメーション

イグニッションをONにすると、インジケーター・ライトが点灯する場合があります。このような場合は、始動前のエンジン予熱機能（エンジン・プレヒーティング）が作動していることを表示しています。

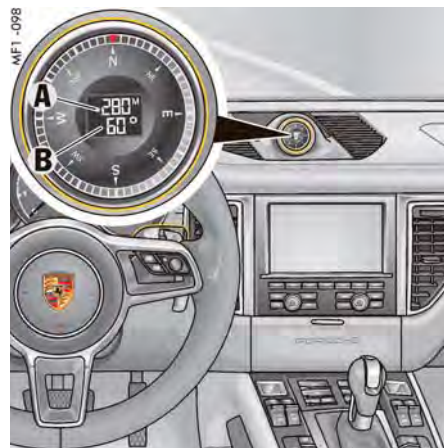
▷ 「MACAN Sディーゼル＊：ディーゼル予熱インジケーター・ライト」（168ページ）を参照してください。

警告音

インストルメント・パネルには警告音を発するスピーカーが装備されています。

このスピーカーに不具合が生じると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**故障 音声出力 パークアシスタント 要修理**」が表示されます。

このときは、スピーカーが警告音を発することができません。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

ダッシュボードのコンパス＊

走行中にコンパスの外側のリングが回転し、四方の基本的な方向とその中間の方向を確認することができます。

▷ ディスプレイの中ほどには、標高(**A**)および気温(**B**)が表示されます。

コンパスの単位はマルチファンクション・ディスプレイで設定することができます：

▷ 「単位の設定」（142ページ）を参照してください。

コンパス・ディスプレイの明るさを調節できます：

▷ 「インストルメント・ライト」（94ページ）を参照してください。

コンパス・ディスプレイはOFFにすることもできます：

▷ 「ダッシュボードのコンパス・ディスプレイをOFFにする＊」（141ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

コンパスの時刻の表示

マルチファンクション・ディスプレイでダッシュボードのコンパスが時刻を表示するように設定することができます。

コンパスの時刻表示に関するインフォメーション：

▷ 「ダッシュボードのコンパスの時刻表示＊」（132ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの操作

車両の装備仕様により、マルチファンクション・ディスプレイで様々な車両情報の確認、オーディオ（ラジオ、CD、iPodなど）やナビゲーション・システムの操作＊、オイル・レベルやタイヤ空気圧の点検、ストップウォッチの使用などが行えます。

更に、「**車両**」メニューでは車両の設定を変更することもできます。

この取扱説明書のみで、すべての機能を詳細に説明することはできません。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

警告

運転中のマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください（*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています）。

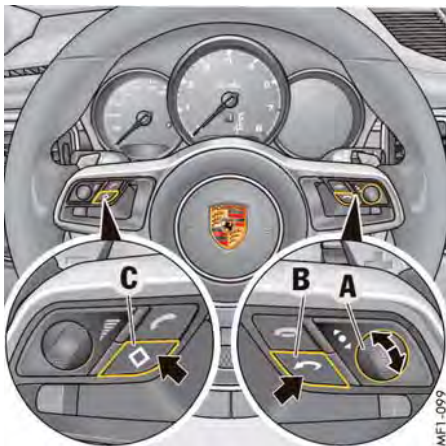
▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停車してから行ってください。

マルチファンクション・ディスプレイ

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。

また、タイヤ空気圧モニタリング・システムの設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション·ディスプレイの基本操作

マルチファンクション・ディスプレイは、ロータリー・ノブA、バック・ボタンB、MFSボタンCで操作してください。

▷ 「マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイール」(57ページ)を参照してください。

メニュー、機能、設定の選択

▷ ロータリー·ノブAを上方向または下方向に回してください。

選択の確定

▷ ロータリー・ノブAを押してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

▷ ボタンB(バック・ボタン)を押してください。

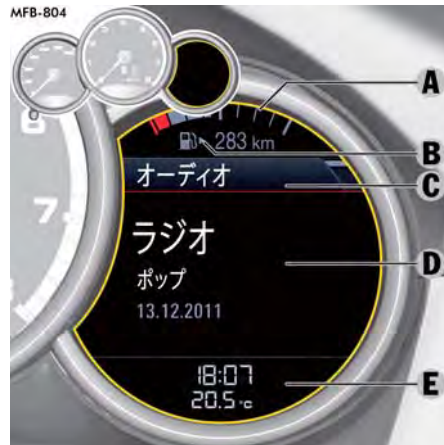
 MFSボタンのパーソナル設定＊

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)機能＊、CDRプラス機能＊、またはマルチファンクション・ディスプレイ機能を、マルチファンクション・ディスプレイのMFSボタンCに割り当てることができます。初期設定ではオーディオ·ソースの選択に設定されています。

MFSボタンのパーソナル設定に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊」(140ページ)を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊およびCDRプラス＊に関するインフォメーション：

▷ PCM 取扱説明書(別冊)＊を参照してください。

A - 燃料計
B - フィラー・フラップ位置の表示
C - タイトル・エリア/メニュー・インジケーター
D - インフォメーション・エリア
E - ステータス・エリア

マルチファンクション·ディスプレイの表示エリア

A – 燃料計

燃料計AはイグニッションがONのときに燃料の残量、および設定によっては燃料残量での走行可能距離を示します。

燃料計の設定に関するインフォメーション：

▷ 「燃料計の表示変更」(128ページ)を参照してください。

燃料の品質および給油量に関するインフォメーション：

▷ 「充填容量」(345ページ)を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

燃料および給油に関するインフォメーション：
▷ 「燃料の給油」(284ページ)を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

イグニッションがONのとき、またはエンジン作動中に、燃料タンクの残量が規定値（仕様により異なる）を下回るか、または残量での走行可能距離が約50km以下になると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**目的地までの距離に注意してください**」が表示されます。
▷ 最寄りの給油所で給油してください。

車両	予備燃料
Macan Turbo	約10リットル
Macan S、Macan	約9リットル
Macan Sディーゼル＊	約8リットル

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。
▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
▷ 警告灯が点灯した場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：
▷ 「エミッション・コントロール・システム」(283ページ) を参照してください。

B – フィラー・フラップ位置の表示

矢印は車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。

C – タイトル・エリア/メニュー・インジケーター

タイトル・エリア**C**には、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニュー・インジケーター(灰色のバー)には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニュー・インジケーターの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

D – インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリア**D**には、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニューを選択した後は、そのメニュー項目に関係する情報や、その他の選択肢が表示されます。

E – ステータス・エリア

ステータス・エリア**E**には、コンパス＊、時刻、外気温度、警告などの基本情報が常に表示されます。

ステータス・エリアに表示する項目は個別の設定ができます。

マルチファンクション・ディスプレイの設定に関するインフォメーション：
▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」(126ページ) を参照してください。

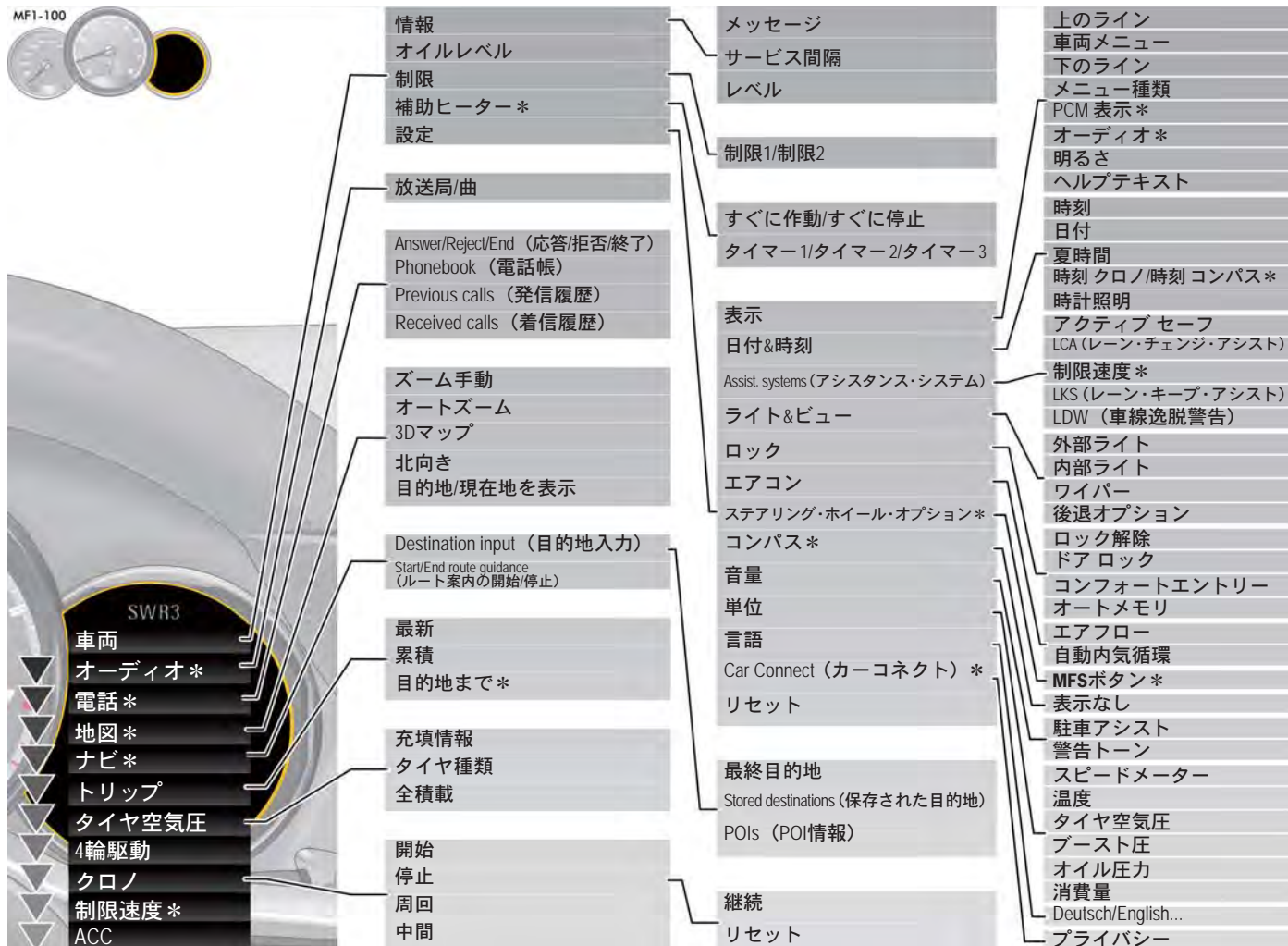
メイン・メニューからの機能の作動/サブ・メニューの表示/設定メニューへのアクセス

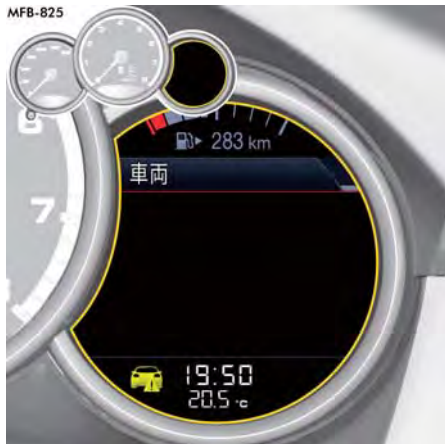
ロータリー・ノブ**A**を押すことにより、現在選択されているメイン・メニューの内容に合わせ、サブ・メニュー、その他の機能、または設定オプションなどを呼び出すことができます。

1. メイン・メニューを選択し、決定してください。
2. 機能、サブ・メニュー、設定オプションを選択し、決定してください。

項目数の多いリストの閲覧

PCMまたはCDRプラス装備車で、数多くの登録情報がある電話帳/オーディオ・リストを閲覧するときは、頭文字で直接スキップすることができます。＊
▷ ロータリー・ノブ**A**を短く押してください。頭文字を選択する画面が表示されます。
▷ 任意の頭文字を選択し、決定してください。選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

＊ 日本仕様に設定はありません。

仕様変更により画面表示がこの取扱説明書の内容と異なる場合がありますのでご了承ください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両メニュー

マルチファンクション･ディスプレイのメイン･メニュー「**車両**」では、様々な車両情報を表示したり、車両設定を変更することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」を選択してください。

車両情報の表示は、個別の設定ができます。

車両メニューの設定に関するインフォメーション：

▷「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」（126ページ）を参照してください。

車両情報の表示

メイン・メニュー「**車両**」の下にあるサブ・メニュー「**情報**」では、未解決の警告メッセージ、近い将来のサービス・インターバル情報、現在のシャーシ設定、平均燃費を呼び出すことができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**情報**」を選択し、
   決定してください。

メッセージの表示

現在までに発生したすべての警告メッセージや車両メッセージをマルチファンクション・ディスプレイに表示できます。
下部のステータス･エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。
複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**情報**」
2. 「**メッセージ**」を選択し、
   決定してください。

サービス・インターバルの表示

走行距離カウンターが、次回のメンテナンス・サービス（点検）の時期を表示します。

オイル・サービス（交換）時期は、エンジンの仕様に応じて固定またはダイナミック・インターバルで設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**情報**」
2. 「**サービス間隔**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意のサービス・インターバルを選択し、
   決定してください。

選択できるサービス・インターバル：

– 「**メンテナンス**」
– 「**中間メンテナンス**」
– 「**オイルサービス**」

選択したシャーシ設定の表示

現在のシャーシ設定の情報を表示できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**情報**」
2. 「**レベル**」を選択し、
   決定してください。

エンジン・オイル・レベルの表示と測定

エンジン・オイル・レベルの点検に関するインフォメーション：

▷ 「エンジン・オイル・レベルの点検」（279ページ）を参照してください。

知識

エンジンに損傷を与える恐れがあります。

オイル・レベルが下限マークを下回っている場合、エンジン・オイルが不足しており、適切な潤滑ができません。

▷ 毎回、給油する前にオイル・レベルを点検してください。

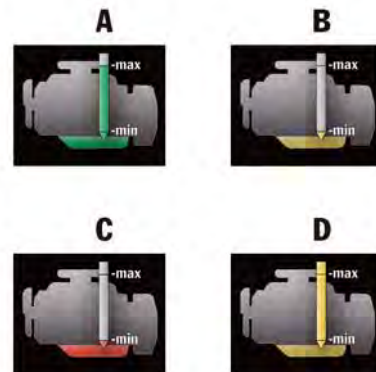
▷ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

オイル・レベルの測定条件：

1. 車両を平坦な場所に駐車してください。
2. エンジンを作動温度に達している状態でOFFにしてください。
3. 約2分間お待ちください。
4. マルチファンクション・ディスプレイで「**オイルレベル**」機能を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイでオイル・レベル機能を選択する

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**オイルレベル**」を選択し、
   決定してください。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

オイル・レベル表示例
A - オイル・レベルは適正
B - 最低オイル・レベルに達している
C - オイル・レベルが下限を下回っている
D - オイル・レベルが上限を超えている

オイル・レベルの測定結果

「**オイル・レベル**」メニューでは、測定したオイル・レベルが表示されます。

表示が緑色の場合（イラスト**A**）、オイル・レベルは適正です。

最下部が黄色で表示されている場合（イラスト**B**）、オイル・レベルが下限(Min)まで低下しています。

エンジン・オイルの最大補充量がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 次の機会に表示された量のエンジン・オイルを補充してください。

最下部が赤色で表示されている場合（イラスト**C**）は、オイル・レベルが下限(Min)を下回っています。

エンジン・オイルの最大補充量がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
▷ 早急に表示された量のエンジン・オイルを補充してください。

最上部まで黄色で表示されている場合（イラストD）、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。オイル・レベルが上限を超えていると排気ガスが青白い色になり、過剰なオイルの量や外的要因によって、長期的には触媒コンバーターを損傷する原因になります。
▷ 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

補充量

オイル・レベルが下限(Min)まで低下すると、最大補充量がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

オイルの補充量が多すぎたときは、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**油量上限超過 整備工場へ 継続走行可**」が表示されます。
▷ 次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

不正確なオイル・レベル（MacanおよびMacan Sディーゼル＊）

オイル・レベルの測定時、車両が平坦な場所に駐車されていない場合、またはエンジンが作動温度に達していない場合は、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**測定不正確 平坦な場所に駐車**」または「**測定不正確 エンジン温度低**」が表示されます。
▷ 車両を平坦な場所に駐車し、エンジンが作動温度に達した状態で、オイル・レベル測定をやり直してください。

エンジン・オイル補充後、またはエンジン・コンパートメント・リッドを開いたときのオイル・レベルの測定(Macan Turbo、Macan S)

エンジン・コンパートメント・リッドを開いた場合は、少なくとも10km走行してからでないとオイル・レベルは測定できません。

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**現在オイルレベルへの情報信号は利用できません**」が表示されます。

エンジン・オイル補充後、またはエンジン・コンパートメント・リッドを開いたときのオイル・レベルの測定（Macan、Macan Sディーゼル＊）

エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約2分間待った後、オイル・レベルが測定可能になります。

故障

オイル・レベル・インジケーターが故障すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**故障 油量測定 整備工場へ 継続走行可**」が表示されます。
▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

制限速度の設定

マルチファンクション・ディスプレイで制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。
例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
＞「**制限**」を選択し、
決定してください。

制限速度の設定

1. メイン・メニュー：「**車両**」
＞「**制限**」

2.「**制限 1：---**」または
「**制限 2：---**」を選択し、
決定してください。

3.「**実際の速度**」または
「**---**」を選択し、
決定してください。

現在の速度、または任意の速度を制限速度として設定できます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

速度制限機能の作動/解除

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**制限**」
2. 「**制限 1：---**」または
   「**制限 2：---**」を選択し、
   決定してください。
3. 「**有効**」を選択してください。
4. 選択を決定してください。
   速度制限が作動します。
   速度制限が停止します。

マルチファンクション・ディスプレイでの補助ヒーターの操作＊

補助ヒーターのON/OFF

補助ヒーターはイグニッションがONのとき、マルチファンクション・ディスプレイでON/OFFすることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**補助ヒーター**」
2. 「**すぐに作動**」または
   「**すぐに停止**」を選択し、
   決定してください。

補助ヒーターが作動すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが点灯します。

補助ヒーター /タイマーのプログラミング

イグニッションがONのときに、補助ヒーターの3回分の自動作動開始時間をマルチファンクション・ディスプレイでプログラムできます。

タイマーの設定

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**補助ヒーター**」
2. 「**タイマー 1**」または
   「**タイマー 2**」または
   「**タイマー 3**」を選択し、
   決定してください。
3. 「**設定する**」を選択し、
   決定してください。
4. 時刻と日付を設定し、決定してください。

インフォメーション

プログラムする日時は未来時刻になるようにしてください。

タイマーの作動

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**補助ヒーター**」
2. 「**タイマー 1**」または
   「**タイマー 2**」または
   「**タイマー 3**」を選択し、
   決定してください。
3. 「**有効にする**」を選択し、
   決定してください。

タイマーが作動すると、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが、イグニッションをOFFにしてから車両をロックするまで、または最大30秒点滅し続けます。

インフォメーション

1回に**1つ**のタイマー設定のみが作動します。

タイマーのリセット

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**補助ヒーター**」
2. 「**タイマー 1**」または
   「**タイマー 2**」または
   「**タイマー 3**」を選択し、
   決定してください。
3. 「**消去する**」を選択し、
   決定してください。

インフォメーション

タイマーがリセットされると、日時は表示されません。
最初のデジタル・スペースは時刻、次のスペースは日付を表します。

車両設定の調節

「**設定**」サブ・メニューでは様々な車両設定を変更できます。

車両設定の変更に関するインフォメーション：
▷「マルチファンクション・ディスプレイの車両設定機能」（125ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

オーディオ・メニュー＊

メイン・メニュー「**オーディオ**」では、設定状況に応じて「放送局リスト」または「登録した放送局」から任意のラジオ放送局を選択できます。または、CDなど現在再生しているオーディオ・ソースの任意のトラックを選択できます。

1. メイン・メニュー：「**オーディオ**」を選択し、決定してください。
2. 任意の放送局または曲を選択し、決定してください。

オーディオ・メニューの調節に関するインフォメーション：

▷ 「オーディオ・メイン・メニューの表示項目を変更する＊」（130ページ）を参照してください。

電話メニュー＊

メイン・メニュー「**電話**」では、電話帳、最近の通話履歴、または着信履歴から電話番号を呼び出すことができます。

1. メイン・メニュー：「**電話**」を選択し、決定してください。

電話番号をダイヤルする

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Phonebook（電話帳）**」または「**Previous calls（発信履歴）**」または「**Received calls（着信履歴）**」を選択し、決定してください。
3. 任意の電話番号を選択し、決定してください。

着信を受ける

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Answer（応答）**」を選択し、決定してください。

着信を拒否する

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Reject（拒否）**」を選択し、決定してください。

通話を終了する

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**End call（通話終了）**」を選択し、決定してください。

複数の通話を同時に受ける

通話中に、別の相手と通話を開始できます。1つの電話から別の電話に切り替えることも、両方の相手と同時に通話することもできます。

別の相手と通話を開始する

通話中に次の操作をしてください：

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**New call（新しい通話）**」を選択し、決定してください。

電話を切り替える

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Swap（切り替え）**」を選択し、決定してください。

両方の相手と通話する

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Conference（会議）**」を選択し、決定してください。

地図メニュー＊

メイン・メニュー「**地図**」では、ナビゲーション・システムの地図画面を表示し、変更することができます。

1. メイン・メニュー：「**地図**」を選択してください。

地図画面の変更

1. メイン・メニュー：「**地図**」を選択し、決定してください。
2. 表示オプションを選択し、決定してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 機能が作動します。
   ☐ 機能が停止します。

選択できる表示オプションの種類：

– 「**オートズーム**」
  現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
– 「**3D マップ**」
  3次元地図を表示します。
– 「**北向き**」
  常に地図の上方が北になります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

地図の縮尺を切り替える

地図の縮尺を自由に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**地図**」
   >「**ズーム手動**」を選択し、
   決定してください。
2. 任意の縮尺を選択し、
   決定してください。

現在地または目的地を表示する

現在地または目的地を地図上で拡大表示できます。

1. メイン・メニュー：「**地図**」
2. 「**目的地を表示**」または
   「**現在地を表示**」を選択し、
   決定してください。

ナビゲーション・メニュー＊

メイン・メニュー「**ナビ**」では、ナビゲーション目的地の入力、ルート案内の開始、ルート上のナビゲーション情報の呼び出しができます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
   を選択し、決定してください。

ナビゲーション目的地の入力

マルチファンクション・ディスプレイでナビゲーションの目的地を入力できます。
ここでは、過去にルート案内した目的地のリスト、POI情報のリスト、または登録されている目的地からの選択のみができます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
   >「**Destination input（目的地入力）**」
2. 「**最終目的地**」または
   「**Stored destinations（保存された目的地）**」
   または
   「**POIs（POI情報）**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意のナビゲーション目的地を選択し、
   決定してください。

ルート案内の開始

ルート案内を停止した状態で新しい目的地を入力した場合、新しい目的地へのルート案内を開始できます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
2. 「**Start route guidance**
   （ルート案内の開始）」
   を選択し、決定してください。

ルート案内の停止

実行中のルート案内を停止できます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
2. 「**End route guidance（ルート案内の停止）**」
   を選択し、決定してください。

トリップ・メニュー

メイン・メニュー「**トリップ**」では、以下のドライビング・データの呼び出しとリセットができます。

– 走行時間
– 走行距離
– 平均燃費
– 平均車速

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」を
   選択してください。

ドライビング・データを表示する

3種類のドライビング・データが利用できます。

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」
2. 「**1 – Since（最新）**」または
   「**2 – Total（累積）**」または
   「**3 – To destination（目的地まで）**」＊
   を選択し、決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

選択できるドライビング・データの種類：
– 「**Since（最新）**」
  現在運転中のドライビング・データです。
  イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
– 「**Total（累積）**」
  累積したドライビング・データです。
  手動でリセットするまでデータが蓄積されます。イグニッションをOFFにしてもデータはリセットされません。
– 「**To destination（目的地まで）**」
  ナビゲーション目的地までのドライビング・データです。
  ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。

ドライビング・データをリセットする

選択したドライビング・データをリセットできます。

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」

2. 任意のドライビング・データを選択し、決定してください。

3. 「**リセット**」を選択し、決定してください。

タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）

タイヤ空気圧モニタリング・システムは4輪すべてのタイヤ空気圧とタイヤ温度を常時監視し、空気圧が異常に低下したときはマルチファンクション・ディスプレイで運転者に警告します。ただし実際のタイヤ空気圧は、タイヤそのもので調整しなければなりません。

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20°C)」(343ページ)を参照してください。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が正常でない場合、安全な走行に支障をきたす恐れがあります。タイヤ空気圧モニタリング・システムには、様々な利点があります。しかしマルチファンクション・ディスプレイの設定を常に更新したり、タイヤ空気圧を適正に維持することは運転者の責務です。

▷ タイヤ空気圧が適正であることを確認してください。
  車両の積載荷重も考慮してください。

▷ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング(TPM)設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致しているか点検してください。

⚠ 警告 突発的なタイヤの損傷

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、タイヤの損傷の原因となる自然な空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。
その一方、突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

⚠ 警告 タイヤ空気圧の不足

タイヤ空気圧が不足すると車両の走行安全性が低下するだけでなく、タイヤやホイールを損傷する恐れがあります。

▷ 赤色のタイヤ空気圧警告が表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、タイヤの損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

▷ いかなる場合も、タイヤの不具合を放置したまま運転を続けないでください。

▷ パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離移動のみに使用してください。
  このときの最高許容速度は**80km/h**です。

▷ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。

▷ 不具合があるタイヤは、直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。
  いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。

▷ タイヤ空気圧モニタリング・システムに不具合が発生した場合、直ちにポルシェ正規販売店で修理を受けてください。
タイヤ空気圧モニタリング・システムに不具合があると、タイヤ空気圧を監視できません。

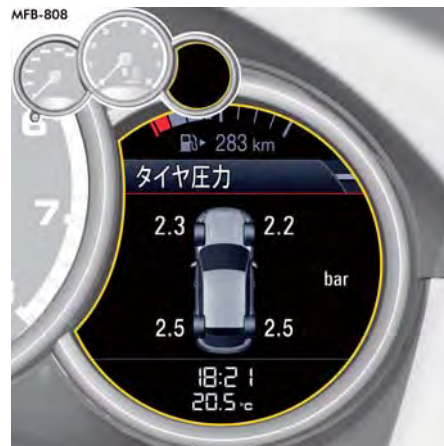
▷ マルチファンクション・ディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。
タイヤを交換したときや、積載荷重が変化したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新しなければなりません。

▷ タイヤ空気圧を補正するときは、「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」ディスプレイに表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用してください。

▷ パンク等の不具合が発生していなくとも、タイヤ空気圧は徐々に低下します（自然放散）。この場合も、マルチファンクション・ディスプレイに黄色の空気圧警告が表示されます。
次の機会に空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの概要

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

– 走行中の実際のタイヤ空気圧を表示します。
– 空気圧の低下を2段階（黄色/赤色）で警告します。
– 「**タイヤ空気圧**」メニューでは、停車時に「**充填情報**」（規定空気圧との差、補充する空気圧の表示）、「**タイヤ種類**」、「**全積載**」の設定が行えます。

マルチファンクション・ディスプレイでのタイヤ空気圧の表示

マルチファンクション・ディスプレイでタイヤ空気圧機能を選択する

1. メイン・メニュー：「**タイヤ空気圧**」を選択してください。

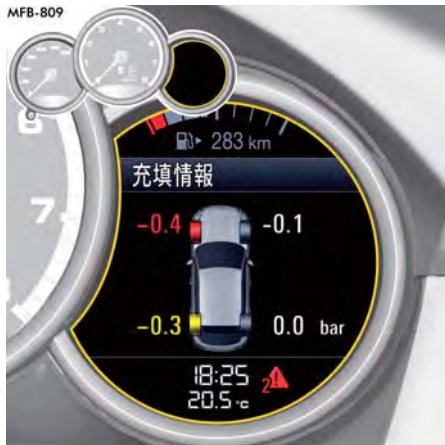
「**タイヤ空気圧**」機能は、速度が約25km/hを超えると、温度により変化するタイヤ空気圧（現在の空気圧）を4輪すべてについて表示します。走行中の温度の上昇に伴うタイヤ空気圧の増加を読み取ることができます。

 インフォメーション

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。

▷ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

インフォメーション

イグニッションをONにした後、車両の速度が約25km/hを超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-.-」を表示します。通常、タイヤ空気圧の表示には約1分かかります。

タイヤ空気圧メニューの現在の設定を見る（停車中のみ）

この表示でタイヤ空気圧の設定を見ることができます。

1. メイン・メニュー：「**タイヤ空気圧**」を選択し、決定してください。

タイヤ空気圧メニューの充填情報を見る

この表示で補正すべきタイヤ空気圧を読み取ることができます。

1. メイン・メニュー：「**タイヤ空気圧**」
2. 「**充填情報**」を選択し、決定してください。

ディスプレイの各輪の位置に、補正すべきタイヤ空気圧（補充する空気圧）が表示されます。

例：右リヤ・タイヤの位置に「**－0.1bar**」と表示された場合は、このタイヤに0.1barの空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▷ タイヤ空気圧を補正するときは、「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」に表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用してください。

タイヤをまだ「登録」していない場合、現在の空気圧差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの登録に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録」（121ページ）を参照してください。

 インフォメーション

約5分以上車両を停止し、イグニッションをOFFにして再度ONにした後、タイヤ空気圧は表示されません。タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、タイヤ空気圧が更新されて表示されます。

タイヤ空気圧メニューのタイヤ種類を選択する（タイヤの種類とサイズ）

タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、改めて選択しなければなりません。

1. メイン・メニュー：「**タイヤ空気圧**」

2. 「**タイヤ種類**」を選択し、決定してください。

3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**18" サマー**」
– 「**18" ウインター**」
– 「**18" All Season（オール・シーズン）**」
– 「**19" サマー**」
– 「**19" ウインター**」
– 「**19" All Season（オール・シーズン）**」
– 「**20" サマー**」
– 「**20" ウインター**」
– 「**20" All Season（オール・シーズン）**」
– 「**21" サマー**」

選択した設定が、タイヤ空気圧メニューの「**タイヤ種類**」に表示されます（例：「**19"All Season（オール・シーズン）**」を選択した場合は「**19"(AS)**」）。

マルチファンクション・ディスプレイに次のようなメッセージが表示されたときのみ、タイヤの設定が完了になります（例）：

「**監視システムが学習されていません 25 km/h以上で走行**」。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録」（121ページ）を参照してください。

 インフォメーション

設定のプロセスが中断されると、「**Action cancelled（設定キャンセル）**」のメッセージが表示されます。この時点までの入力情報がすべて無効になり、元の設定に戻ります。

マルチファンクション・ディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、ポルシェ正規販売店でマルチファンクション・ディスプレイに不足情報を追加する必要があります。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

タイヤ空気圧メニューの項目は、車両のモデル・タイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、お客様の車両のマルチファンクション・ディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

タイヤ空気圧メニューの負荷を選択する

1. メイン・メニュー：「**タイヤ空気圧**」
2.「**全積載**」を選択し、決定してください。
3. 選択を決定してください。 ☑ 全積載が選択されます。 ☐ 部分積載が選択されます。

▷ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。補正すべきタイヤ空気圧に関するインフォメーション：「タイヤ空気圧メニューの充填情報を見る」（119ページ）を参照してください。

インフォメーション

選択した荷重タイプが表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。

マルチファンクション・ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。例：「**監視システムが学習されていません 25 km/h以上で走行**」

タイヤ登録のプロセスは、車両が動いているとき（速度が25km/h以上のとき）のみ実行されます。

タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。

– すべてのタイヤの登録が完了するまで、タイヤ空気圧警告灯が点灯したままになります。
– 「**タイヤ空気圧**」機能のディスプレイに「-.-」が表示されます。
– 「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」に、冷間時(20℃)のタイヤ空気圧が表示されます。

タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

▷ 「**充填情報**」ですべてのタイヤの空気圧を点検してください。

▷ 必要に応じてタイヤ空気圧を適正値（空気圧の差「**0.0**」）に調整してください。

タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階（黄色/赤色）で異常を知らせます。

黄色の警告 –「空気を充填」

タイヤ空気圧が**0.3～0.5bar**不足しています。タイヤ空気圧警告は、空気圧が不足しているタイヤを特定し、補充すべき空気圧を表示します。

▷ 次の機会に空気圧を調整してください。

タイヤ空気圧警告灯は次のような状況で表示されます：

– 停止してイグニッションをOFFにしたときに約10秒間、**または**
– イグニッションを再度ONにしたとき

イグニッションをONにすると警告を確認できます。

タイヤ空気圧を補正した（空気圧の差「**0.0**」）場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

赤色の警告 -「タイヤ 要点検」

速度が**160km/h以下**で走行している場合：

– タイヤ空気圧が**適正値より20%**または**少なくとも0.5bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。

速度が**160km/h以上**で走行している場合：

– タイヤ空気圧が**少なくとも0.4bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。

▷ タイヤ空気圧警告が表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行い、タイヤ空気圧を適正値に調整してください。
「タイヤ・シーラントの充填」（310ページ）を参照してください。

このタイヤ空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

タイヤ空気圧を補正した（空気圧の差「**0.0**」）場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

警告灯

以下の場合インストルメント・パネルの警告灯が点灯します：

– 空気圧の低下を検出した場合（警告灯が点灯し続ける）
– タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障、または一時的な不具合が生じた場合（警告灯：60秒間点滅し、その後点灯し続ける）
– 新しく装着したホイール/ホイール・トランスミッターを学習している場合、またはホイールを認識できない場合（警告灯：60秒間点滅し、その後点灯し続ける）

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージも表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

不具合が解消した場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

タイヤ/ホイールの交換

▷ 新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング・システムの無線式トランスミッターを取り付けなければなりません。
タイヤ交換の前に、ホイール・トランスミッターのバッテリーの充電状態を点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

設定を更新しなかった場合、マルチファンクション・ディスプレイに「**ホイールを交換しましたか?選択し直します**」のメッセージが表示されます。

▷ 次回車両が停止したときにマルチファンクション・ディスプレイの設定を更新してください。

温度が上昇することによる空気圧の上昇

物理原則に従い、空気圧は温度変化に応じて変動します。タイヤ空気圧は10℃の温度変化につき、約0.1bar増加、または減少します。

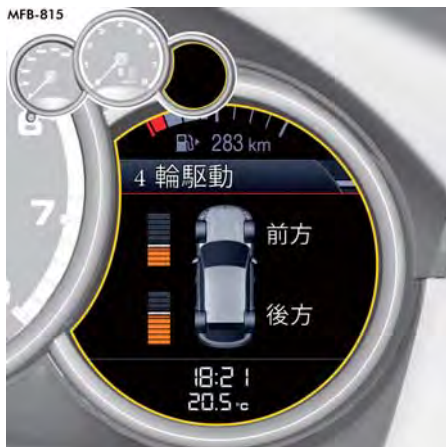
タイヤ空気圧の監視が行えない場合

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

以下の場合、タイヤ空気圧の監視を行うことができません：

– タイヤ空気圧モニタリング・システムまたはタイヤ空気圧モニタリング構成部品が故障した場合
– タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
– タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
– ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
– 4個以上のホイール・トランスミッターが検出された場合
– ワイヤレス・ヘッドホンなどの外部からの電波干渉を受けている場合
– タイヤの温度が高すぎる場合

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

4輪駆動メニュー

(ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM))

「**4輪駆動**」メイン・メニューでは、フロント・アクスルとリヤ・アクスル間の現在のトルク配分がバー・グラフで表示されます。
橙色のバーの数は、フロント・アクスルとリヤ・アクスル間の現在のトルク配分を表しています。

1. メイン・メニュー：「**4 輪駆動**」を選択し、決定してください。

PTMの基本的な作動に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)」(215ページ)を参照してください。

クロノ・メニュー（ストップウォッチ）

ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCMおよびCDRプラス）装備車では測定したラップ時間を保存したり、必要に応じて評価することができます。＊

▷ PCM 取扱説明書の「スポーツ・ディスプレイ」の章を参照してください。＊

ダッシュボードのストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ・ディスプレイとデジタル・ディスプレイがあります。
アナログ・ディスプレイの長針は秒を計測し、短針2本は時間と分を計測します。このディスプレイは12時間が経過するとゼロから再スタートします。
秒および1/10秒、1/100秒の単位はデジタル・ディスプレイで読み取ることができます。
デジタル・ディスプレイおよびマルチファンクション・ディスプレイは99時間と59分まで表示できます。

ストップウォッチ・ディスプレイの明るさを調節できます：

▷ 「インストルメント・ライト」(94ページ)を参照してください。

ストップウォッチ・タイミング・ディスプレイ

ストップウォッチの時間はダッシュボードの別の場所に表示されます：

– ダッシュボードのストップウォッチ
– マルチファンクション・ディスプレイの「**クロノ**」メニュー
– PCMおよびCDRプラスの「CAR」メイン・メニュー＊

ストップウォッチ時刻の表示

マルチファンクション・ディスプレイでダッシュボードのストップウォッチが時刻を表示するように設定することができます。

ストップウォッチの時刻表示に関するインフォメーション：

▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」(132ページ)を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・ディスプレイのクロノ

すべてのストップウォッチ・ディスプレイはマルチファンクション・ディスプレイの「**クロノ**」メニューから開始/停止できます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（107ページ）を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」を選択し、決定してください。

 インフォメーション

ストップウォッチ作動中に「**クロノ**」メニューから抜けても、計測は続きます。

ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度ONにすると、ストップウォッチは作動を再開します。

ストップウォッチをゼロにリセットするには、「**クロノ**」メニューの「**リセット**」を選択してください。

ストップウォッチのリセットに関するインフォメーション：

▷「ストップウォッチ・タイムのリセット」（125ページ）を参照してください。

A - 周回したラップ数
B - 現在のストップウォッチ時間
C - 基準タイム（最速ラップ）
D - サークル・ディスプレイ：現在のラップ・タイムと基準タイムとの比較

計時の開始

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」

2.「**開始**」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイム**B**は車両のすべてのストップウォッチ・ディスプレイに同時に表示されます。

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムをラップ・タイムとして保存できますが、ストップウォッチは停止しません。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」

2.「**周回**」を選択し、決定してください。

ラップ・カウンターの値**A**が1ずつ増えます。
最速コンプリート・ラップのタイムが参照値**C**として一時的に保存されます。
ストップウォッチ・タイム**B**とサークル・ディスプレイ**D**の色が変更されることによって、現在のラップ・タイムが参照値より速いか、遅いか、または同一かを表します。

– 緑：現在のラップ・タイムが速い
– 黄：現在のラップ・タイムと同一
– 赤：現在のラップ・タイムが遅い

 インフォメーション

参照値がまだ保存されていない場合は、参照タイムの位置**C**は空白のままです。
セグメント・ディスプレイに色の変化はありません。

1回のセッションで最高63ラップを保存することができます。
走行中は、現在のストップウォッチ・タイム**B**とサークルディスプレイ**D**のみが色でハイライト表示されます。

中間ラップの保存

中間タイムを保存できますが、ストップウォッチは停止しません。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」
2.「**中間**」を選択し、決定してください。

中間タイムは、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。保存はされません。時間測定はバックグランドで継続しています。

計時の停止

ストップウォッチはいつでも止めることができます。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」
2.「**停止**」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイムBが停止します。

計時の継続

ストップウォッチを停止後、再開することができます。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」 >「**停止**」
2.「**継続**」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイムBが継続します。

ストップウォッチ・タイムのリセット

計時をゼロにリセットすることができます。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」 >「**停止**」
2.「**リセット**」を選択し、決定してください。

すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。

制限速度表示メニュー＊

制限速度表示に関するインフォメーション：

▷「制限速度表示＊」（195ページ）を参照してください。

ACCメニュー

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の操作および表示に関するインフォメーション：

▷「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（179ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの車両設定機能

車両の装備仕様により、マルチファンクション・ディスプレイで様々な設定を変更できます。

コンフォート・メモリー装備車は、車両の設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

コンフォート・メモリーに関するインフォメーション：

▷「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

設定メニューの選択

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」を選択し、決定してください。

設定オプションの選択/車両機能の作動

各設定メニュー・オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が作動しているかを示します。

複数のオプションから1つを選択してください

◉ 選択されたオプション
○ 選択されていないオプション

機能の作動/停止

☑ 機能が作動します
☐ 機能が作動解除されます

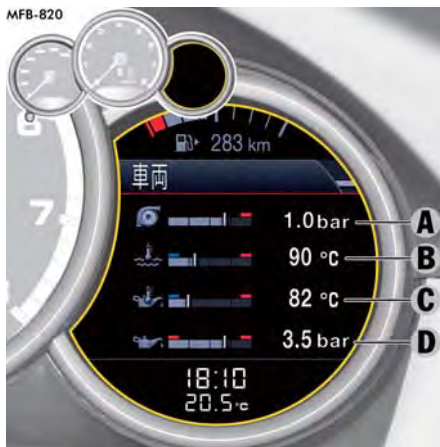
＊ 日本仕様に設定はありません。

工場出荷時の設定に戻す

マルチファンクション・ディスプレイのすべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

 インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、それまでに設定したすべての個別設定が失われます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**リセット**」
2. 「**工場設定**」を選択し、
   決定してください。
3. 「**はい**」を選択し、
   決定してください。

マルチファンクション・ディスプレイ情報エリアの構成例
A - ブースト圧表示（装備仕様による）
B - 水温計
C - 油温計
D - 油圧計

マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する

マルチファンクション・ディスプレイに表示するメニュー項目や、表示方法を個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**表示**」を選択し、
   決定してください。

A – ブースト圧表示（装備仕様による）

マルチファンクション・ディスプレイにブースト圧（過給圧）を表示できます。

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」（126ページ）を参照してください。

この車両のエンジンは、ブースト圧制御機能を装備しており、ブースト圧が変化します。
ブースト圧は速度、大気圧、燃料のオクタン価などに応じて変化します。

B – 水温計

エンジンのクーリング・システムに異常がある場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バーが左にあるとき – エンジン冷間時

▷ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

バーが中央にあるとき – エンジン通常作動温度

気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとバーがレッド・ゾーンに入ることがあります。

水温警告

エンジン水温が異常に高まると、水温計が最高温度マークまで動き、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに**「エンジン温度超過 停車して冷まして下さい」**の警告メッセージが表示されます。

▷ エンジンをOFFにして冷やしてください。

▷ 車体前部のラジエーター表面や空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。

▷ クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（301ページ）を参照してください。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

 インフォメーション

エンジンの過熱を防ぐため、冷却風の取り入れ口をフィルムやストーン・ガードなどで塞がないでください。

クーラント・レベル警告

エンジン温度が**60°C以下**のとき：

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ**「冷却水要充填 エンジン温度要監視」**が表示され、クーラント・レベルが低すぎることを知らせます。

▷ クーラントを補充してください。

エンジン温度が**60°C以上**のとき：

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ**「すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可」**が表示され、クーラント・レベルが低すぎることを知らせます。水温計が最高温度マークまで動きます。

▷ エンジンをOFFにして冷やしてください。

▷ クーラントを補充してください。

エンジン水量が少ない場合、急な坂道などで車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると警告灯が点灯することがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告灯が消灯しない場合、クーラント・レベルを点検してください。

▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（301ページ）を参照してください。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

▷ クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けないでください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

C – 油温計

エンジン油温が異常に高まると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ レッド・ゾーンに達した場合、直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

D – 油圧計

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が3,000rpmのときは少なくとも2.0bar、5,000rpmのときは少なくとも3.0barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

エンジン作動中または走行中に油圧が突然低下し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されたときは：

▷ 直ちに適切な場所に停車してください。
▷ エンジンをOFFにしてください。
▷ エンジンまたは車両下部に明らかなオイル漏れがないか点検してください。
▷ マルチファンクション・ディスプレイ上で「**オイルレベル**」を選択してください。
▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」(112ページ）を参照してください。
▷ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

▷ 明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けないでください。
▷ オイル・レベルが適正でも警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

燃料計の表示変更

燃料残量での走行可能距離は表示または非表示にできます（上のライン）。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
  >「**設定**」
   >「**表示**」
2. 「**上のライン**」を選択し、
  決定してください。
3. 表示項目を選択し、決定してください。

選択できる表示項目の種類：
「**燃料残量での可走距離**」

情報エリアの表示項目を変更する

「**車両**」メニューでは、様々な車両情報の中から4種類を選び出し、ディスプレイ**1**、**2**、**3**、**4**のエリアに割り当てることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
  >「**設定**」
   >「**表示**」
2. 「**車両メニュー**」を選択し、
  決定してください。
3. 「**フィールド1：**」または
  「**フィールド2：**」または
  「**フィールド3：**」または
  「**フィールド4：**」を選択し、
  決定してください。
4. 任意の表示項目を選択し、
  決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**電圧**」
– 「**ブースト圧**」（装備仕様による）
– 「**オイル圧力**」
– 「**オイル温度**」
– 「**冷却水温度**」– 水温
– 「**燃料残量での可走距離**」
– 「**目的地：到着**」– 目的地への到着時刻＊
– 「**経由：到着時刻**」－中間目的地への到着時刻＊
– 「**目的地：走行時間**」– 目的地までの走行時間＊
– 「**経由：走行時間**」– 中間目的地までの走行時間＊
– 「**コンパス**」（マルチファンクション・ディスプレイ上）＊
– 「**GPS高さ**」– 車両の海抜標高＊
– 「**時刻**」
– 「**日付**」
– 「**放送局/曲**」– 現在のラジオ放送局/トラック＊
– 「**電話情報**」– 信号の強さ/ネットワーク名＊
– 「**表示なし**」– 空白

インフォメーション

車両情報の１つの項目を複数のディスプレイ・エリアに同時に割り当てることはできません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ステータス・エリアの変更

マルチファンクション・ディスプレイのステータス・エリアに、現在時刻および外気温度を表示させることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**表示**」
2. 「**下のライン**」を選択し、決定してください。
3. 任意の表示項目を選択し、決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**時刻**」
– 「**温度**」
– 「**時間 & 温度**」

メイン・メニューの表示項目を選択する

メイン・メニューの各項目を表示/非表示させることができます。

メニュー項目「**車両**」および「**ACC**」は非表示にできません。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**表示**」
2. 「**メニュー種類**」を選択し、決定してください。
3. 任意のメイン・メニュー項目を選択してください。
4. 選択を決定してください。
   ☑ メニュー項目が表示されます。
   ☐ メニュー項目が非表示になります。

選択できる表示項目の種類：

– 「**オーディオ**」＊
– 「**電話**」＊
– 「**地図**」＊
– 「**ナビ**」＊
– 「**トリップ**」
– 「**タイヤ空気圧**」
– 「**4輪駆動**」
– 「**クロノ**」
– 「**制限速度**」＊
– 「**ACC**」

マルチファンクション・ディスプレイにPCMおよびCDRプラスのインフォメーションを表示する＊

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCMおよびCDRプラス）に関連する様々な情報を、マルチファンクション・ディスプレイに一時的に表示させせることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**表示**」
2. 「**PCM 表示**」を選択し、決定してください。
3. 任意の PCM および CDR プラス情報を選択してください。
4. 選択を決定してください。
   ☑ 情報が表示されます。
   ☐ 情報は表示されません。

選択できるPCMおよびCDRプラス情報：

– 「**地図情報**」
  ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
– 「**注記 矢印**」
  ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
– 「**電話情報**」
  着信/発信電話の情報が表示されます。
– 「**音声操作**」
  ボイス・コントロール・ボタンを押すとヘルプ・テキストが表示されます。
– 「**制限速度**」
  ナビゲーション地図に制限速度が表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、「**制限速度**」メニュー項目は表示されません。

制限速度表示に関するインフォメーション：

▷「制限速度表示＊」（195ページ）を参照してください。

オーディオ・メイン・メニューの表示項目を変更する＊

「**オーディオ**」メイン・メニューでは、「現在受信できるすべてのラジオ放送局リスト」または「登録しているすべてのラジオ放送局リスト」のいずれかを表示できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**表示**」
2. 「**オーディオ**」を選択し、決定してください。
3. 任意の表示項目を選択し、決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**ラジオ局一覧**」
  現在受信可能な放送局のリスト
– 「**事前設定一覧**」
  登録している放送局のリスト

現在受信できる放送局、登録している放送局のリストに関するインフォメーション：

– PCM取扱説明書（別冊）を参照してください。＊

ディスプレイの明るさを調節する

マルチファンクション・ディスプレイの明るさをお好みに調節することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**表示**」
2. 「**明るさ**」を選択し、決定してください。
3. 任意の明るさを選択し、決定してください。

ヘルプ・テキスト機能の表示/非表示

メニュー項目のヘルプ・テキストの表示を設定することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**表示**」
2. 「**ヘルプテキスト**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

日付と時刻の設定

車内に表示される日時を個別に設定できます。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)装備車は、GPS衛星からの信号を利用して日時を自動的に同期することができます。＊
衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

---

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**日付&時刻**」を選択し、決定してください。

時刻の設定

「**時刻**」メニューでは、時刻、時刻の表示モード、タイム・ゾーンを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**日付&時刻**」
   ＞「**時刻**」を選択し、決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

現在時刻の設定

「時」と「分」をそれぞれ設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**時間/分**」を選択してください。
3. 任意の時間を設定し、
   決定してください。

タイム・ゾーンの設定

タイム・ゾーンを個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**ゾーン**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意のタイム・ゾーンを選択し、
   決定してください。

時刻表示の設定

時刻は12時間表示/24時間表示を切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**形式**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**12h（12時間表示）**」
– 「**24h（24時間表示）**」

GPS時刻の表示＊

時刻はGPS信号と同期させて表示することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**GPS時刻**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 時刻をGPSと同期します。
   ☐ 時刻をGPSと同期しません。

インフォメーション

GPS時刻に設定した場合、日時を手動で設定することはできません。

日付の設定

「**日付**」メニューでは、日付、日付の表示モードを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**日付**」を選択し、
   決定してください。

日付表示の設定

日付の表示方法を切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**日付**」
2. 「**形式**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**DD.MM.YYYY（日.月.西暦年）**」
– 「**MM/DD/YYYY（月/日/西暦年）**」
– 「**YYYY/MM/DD（西暦年/月/日）**」

＊ 日本仕様に設定はありません。

現在の日付の設定

ナビゲーション非装備車では、「日」、「月」、「西暦年」をそれぞれ設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**日付**」を選択し、
   決定してください。
2. 「**日付**」を選択してください。
3. 任意の日付を設定し、
   決定してください。

サマー・タイムの設定

サマー・タイムに合わせて時計の表示時刻を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
2. 「**夏時間**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ サマー・タイムが有効になります。
   ☐ サマー・タイムが無効になります。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

ダッシュボードのストップウォッチに時刻を表示させる設定をすることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
2. 「**時刻 クロノ**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 時刻が表示されます。
   ☐ 時刻は表示されません。

ダッシュボードのコンパスの時刻表示＊

ダッシュボードのコンパスに時刻を表示させる設定をすることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
2. 「**時刻コンパス**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 時刻が表示されます。
   ☐ 時刻は表示されません。

ダッシュボードのアナログ・クロック照明のON/OFF

ダッシュボードのアナログ・クロック照明のON/OFFを切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
2. 「**時計照明**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 照明が ON になります。
   ☐ 照明が OFF になります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

アシスタンス・システム

ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)

「**ポルシェ・アクティブ・セーフ**」機能は全体または部分的に無効にできます。
設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**Assist.Systems**
   （アシスタンス・システム）」
   >「**アクティブセーフ**」を選択し、決定してください。

システムON

すべての「**ポルシェ・アクティブ・セーフ**」機能はON/OFFできます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**Assist.Systems**
   （アシスタンス・システム）」
   >「**アクティブセーフ**」
2. 「**システム オン**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ アクティブ・セーフがONになります。
   ☐ アクティブ・セーフがOFFになります。

すべてのポルシェ「**アクティブセーフ**」機能をOFFにすると、マルチファンクション・ディスプレイの下方にグレーのシンボルが表示されます。

ポルシェ「**アクティブセーフ**」に関するインフォメーション：

▷ 「アクティブ・セーフティー –「ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)」」（188ページ）を参照してください。

予期警告作動

潜在的および予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は作動状態になっています。
潜在的および予期警告機能は「**事前警告 オン**」から作動させます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**Assist.Systems**
   （アシスタンス・システム）」
   >「**アクティブセーフ**」
2. 「**事前警告 オン**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 予期警告がONになります。
   ☐ 予期警告がOFFになります。

レーン・チェンジ・アシスト(LCA)

ドア・ミラーの警告インジケーター（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

ドア・ミラーの警告表示の明るさを調節する

基本的な明るさを調節できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**Assist. systems**
   （アシスタンス・システム）」
   >「**LCA**」
2. 「**明るさ**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**暗い**」
- 「**中**」
- 「**明るい**」

設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーション・ステージで表示される明るさのレベルです。警告ステージの明るさはインフォメーション・ステージの明るさに基づきます。

▷ インフォメーション・ステージの明るさは、ドア・ミラーを見た際に警告インジケーターの点灯がはっきりと確認でき、フロント・ウィンドウを通してまっすぐ前を見ているときはこの点灯が確認できないように設定してください。

レーン・チェンジ・アシストのインフォメーション・ステージおよび警告ステージに関するインフォメーション：

▷ 「インフォメーションおよび警告ステージ」（191ページ）を参照してください。

制限速度表示＊

マルチファンクション・ディスプレイのアイコンによって制限速度表示のON/OFFが設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**Assist. systems（アシスタンス・システム）**」
 >「**Speed limit display（制限速度表示）**」
2. 「**制限速度表示**」を選択し、決定してください。

トレーラーけん引中の制限速度表示＊

「**トレーラー運転**」機能を使用すると、トレーラーけん引用の制限速度を表示できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**Assist. systems（アシスタンス・システム）**」
 >「**Speed limit display（制限速度表示）**」
2. 「**トレーラー運転**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**停止中**」
 トレーラーをけん引していない場合の制限速度が表示されます。この設定は、バイク・ラックなどを装着した車両に使用できます。
- 「**自動**」
 トレーラーを検出すると（トレーラー・ヒッチおよびトレーラー・コネクター接続状態）、トレーラーけん引用の制限速度が自動的に表示されます。

⚠ 警告 集中力の低下

ドライバーは、制限速度表示に関係なく、適切な速度で走行するなど、トレーラーけん引時の安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時は細心の注意を払ってください。
制限速度表示には、車両が制限速度を超過した場合の警告機能はありません。設定した制限速度に車両の速度を調整する機能でもありません。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 走行中の道路標識に常に注意を払ってください。
▷ 交通状況に応じた速度で運転してください。
▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
▷ トレーラーをけん引する場合、「**自動**」が選択されていることを確認してください。

インフォメーション

- トレーラーをけん引している車両の最高制限速度は80km/hです。
- ポルシェ以外のサプライヤーのトレーラー・ヒッチを後付けした車両では、トレーラーけん引用の制限速度は表示できません。

車線逸脱警告

警告音が鳴るタイミングおよび音量はマルチファンクション・ディスプレイで個別に調整できます。

警告タイミングの設定

気づかないうちに車線を逸脱していることをドライバーに警告するタイミングを調整することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**Assist. systems（アシスタンス・システム）**」
 >「**LDW**」
2. 「**警告タイミング**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**遅**」
- 「**中**」
- 「**早**」

＊ 日本仕様に設定はありません。

警告音量の設定

気づかないうちに車線を逸脱しているときの警告音量を調整することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**Assist. systems** （**アシスタンス・システム**）」 >「**LDW**」
2.「**音量 警報音**」を選択し、 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、 決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**高**」
- 「**中**」
- 「**低**」

レーン・キープ・アシスト

警告音量はマルチファンクション・ディスプレイで個別に調整できます。

警告音量の設定

気づかないうちに車線を逸脱しているときの警告音量を調整することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**Assist. systems** （**アシスタンス・システム**）」 >「**LKS**」
2.「**音量 警報音**」を選択し、 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、 決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**高**」
- 「**中**」
- 「**低**」
- 「**オフ**」

 インフォメーション

「**オフ**」を選択している場合、車両が車線を逸脱しても警告音は鳴りません。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの警告表示とステアリング補正は作動しています。
▷ 「レーン・キープ・アシスト」（200ページ）を参照してください。

ライト/視界の設定

エクステリア・ライト、インテリア・ライト、リバース（後退）ギヤ選択時の運転支援機能などを個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**ライト&ビュー**」を選択し、 決定してください。

エクステリア・ライトの設定

「**外部ライト**」メニューでは、デイタイム・ドライビング・ライト＊、ダイナミック・ハイ・ビーム、ウェルカム・ホーム/エントリー機能の遅延消灯モードなど、車両に装備されているエクステリア・ライトの機能を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**ライト&ビュー**」 >「**外部ライト**」を選択し、 決定してください。

ウェルカム・ホーム/エントリー機能（遅延消灯）の設定

ウェルカム・ホーム/エントリー機能の遅延消灯モードは個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**ライト＆ビュー**」 >「**外部ライト**」
2.「**遅延消灯**」を選択し、 決定してください。
3. 任意の遅延消灯を選択し、 決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

右側/左側通行でヘッドライトを切り替える（ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム）

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム装備車では、右側/左側通行でヘッドライトを切り替えることができます。

 インフォメーション

停車中のみ、ヘッドライトの右側/左側通行の切り替えができます。

---

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**ライト＆ビュー**」
   ＞「**外部ライト**」
2. 「**左/右側通行**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**標準**」
  ヘッドライトが右側通行の位置になります（左ハンドル車）。
– 「**反転**」
  ヘッドライトが左側通行の位置になります（左ハンドル車）。

 インフォメーション

ヘッドライトの位置を「**反転**」にすると、イグニッションをONまたはヘッドライトを点灯したときに毎回、マルチファンクション・ディスプレイに「**ライト 左側通行/右側通行が切り替えられました**」のメッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

ダイナミック・ハイ・ビーム・コントロールの作動/停止が切り替えられます。設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**ライト＆ビュー**」
   ＞「**外部ライト**」
2. 「**Dyn. full beam（ダイナミック・ハイ・ビーム）**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ ダイナミック・ハイ・ビームが作動します。
   ☐ ダイナミック・ハイ・ビームが停止します。

インテリア・ライトの設定

「**内部ライト**」メニューでは、車両に装備しているインテリア・ライトの機能を個別に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**ライト&ビュー**」
   ＞「**内部ライト**」を選択し、決定してください。

ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効（装備仕様による）

ドアを開いたときにインテリア・ライトが点灯するように設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**ライト＆ビュー**」
   ＞「**内部ライト**」
2. 「**ドアを開く際の車内ライトの設定**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ インテリア・ライトが点灯します。
   ☐ インテリア・ライトは点灯しません。

オリエンテーション・ライトの明るさの調整

オリエンテーション・ライトの明るさを個別に調節できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」
   ＞「**ライト＆ビュー**」
   ＞「**内部ライト**」
2. 「**Orientation（オリエンテーション）**」を選択し、決定してください。
3. 任意の明るさを選択し、決定してください。

アンビエント・ライト

アンビエント・ライトの明るさを個別に調節できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 ＞「**設定**」 ＞「**ライト＆ビュー**」 ＞「**内部ライト**」
2.「**Ambient light（アンビエント・ライト）**」を選択し、決定してください。
3. 任意の明るさを選択し、決定してください。

インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する

車両のドアを閉じた後の車内照明の遅延消灯モードを個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 ＞「**設定**」 ＞「**ライト＆ビュー**」 ＞「**内部ライト**」
2.「**遅延消灯**」を選択し、決定してください。
3. 任意の遅延消灯を選択し、決定してください。

レイン・センサーの作動/解除

雨天時にフロント・ワイパーの速さを自動調整するよう設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 ＞「**設定**」 ＞「**ライト&ビュー**」 ＞「**ワイパー**」
2.「**レインセンサー**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**自動**」
  ワイパーの速さが自動調節されます。
– 「**手動**」
  ワイパー・レバーを使用してワイパーの速さを手動で調節する必要があります。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定

雨天時にリバース（後退）ギヤを選択したとき、リヤ・ワイパーを自動的に作動させるかどうかを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 ＞「**設定**」 ＞「**ライト&ビュー**」 ＞「**ワイパー**」
2.「**リヤワイパー**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**自動**」
  リバース（後退）ギヤを選択したとき、リヤ・ワイパーが自動的に作動します。
– 「**手動**」
  リバース（後退）ギヤを選択しても、リヤ・ワイパーが自動的に作動しません。

駐車時に助手席ドア・ミラーを下向きにする

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、助手席側の車体後方下部にある障害物を視認しやすくするため、リバース（後退）ギヤを選択したときに、助手席ドア・ミラーを自動で下向きに切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ライト & ビュー**」
 >「**後退オプション**」
 を選択し、決定してください。
2. 「**ミラー下向き**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
 ドア・ミラーが下向きになります。
 ドア・ミラーは下向きになりません。

ロックの設定

車両のロック/ロック解除の設定を変更できます。

イージー・エントリー機能をON/OFFすることができます。

イージー・エントリー機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷「イージー・エントリーのON/OFF」（139ページ）を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」を選択し、
 決定してください。

ドアのロック解除機能の設定

車両のロックを解除したときに、ロックが解除されるドアを特定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**ロック解除**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**すべてのドア**」
 車両のロックを解除すると、すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。
– 「**運転席ドア**」
 車両のロックを解除すると、運転席ドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

乗車した後の自動ロック機能を選択できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**ドアロック**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**オフ**」
 乗車後にドアは自動でロックされません。
– 「**イグニッションONの後**」
 イグニッションをONにすると、ドアが自動的にロックされます。
– 「**発車後**」
 車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

自動再ロックの遅延時間の設定

ロック解除後、ドアまたはリヤ・リッドを自動的に再ロックするまでの遅延時間を設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ロック**」
2. 「**再ロック**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**ロック解除**」
  ロック解除後、ドアを開かなかった場合の再ロックするまでの遅延時間を設定します。
– 「**トランク**」
  リヤ・リッドを開いた後、ドアを開かなかった場合の再ロックするまでの遅延時間を設定します。

イージー・エントリーのON/OFF

運転者の乗降性を高めるため、運転席シートとステアリング・ホイールを自動的に遠ざけることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ロック**」
2. 「**コンフォートエントリー**」
   を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ イージー・エントリーが作動します。
   ☐ イージー・エントリーは作動しません。

オート・メモリーのON/OFF

車両をロックしたとき、パーソナル設定を自動的にキーに保存するかどうかを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ロック**」
2. 「**オートメモリ**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ オート・メモリーが作動します。
   ☐ オート・メモリーは作動しません。

パーソナル設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（158ページ）を参照してください。

エアコン設定

オートマチック・エアコン・システムの設定を個別に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**エアコン**」を選択し、
   決定してください。

風量調節

送風の強さと送風量を調節できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**エアコン**」
2. 「**エアフロー**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**弱**」：
  エア・ベントからの送風が和らぎます。
  空気の流れに敏感な乗員に適しています。
– 「**標準**」：
  標準の設定です。
– 「**強**」：
  室内への送風が強くなります。
  風の流れをはっきりと感じられるようになります。

内気循環モードのON/OFF

外気の汚れ具合に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**エアコン**」
2. 「**自動内気循環**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 自動内気循環モードが作動します。
   ☐ 自動内気循環モードは作動しません。

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの**MFS**ボタンに、マルチファンクション・ディスプレイまたはPCM/CDRプラスの任意の機能、またはホーンを割り当てることができます。＊

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ステアリング・ホイール・オプション**」
2. 「**MFSボタン**」を選択し、決定してください。
3. 「**PCM機能＊**」または
   「**組み合わせ機能**」または
   「**車両機能**」
   を選択し、決定してください。
4. 任意の機能割り当てを選択し、決定してください。

選択できるPCMおよびCDRプラス機能：＊
- 「**オーディオ**」
  オーディオを切り替えます。
- 「**音声操作**」
  音声操作を作動します。
- 「**音声案内繰返**」
  ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- 「**放送局/曲<**」
  前の放送局/オーディオ・トラック
- 「**放送局/曲>**」
  次の放送局/オーディオ・トラック
- 「**地図**」
  PCMにナビゲーション地図を表示します。
- 「**Surround View（サラウンド・ビュー）**」
  PCMのサラウンド・ビューのON/OFFを切り替えます。

利用できるインストルメント・パネルの機能：
- 「**計時開始/停止**」
  開始/停止タイミング
- 「**車両メニュー**」
  車両メニューを表示します。
- 「**オーディオ設定＊**」
  オーディオ・メニューを表示します。
- 「**電話メニュー＊**」
  電話メニューを表示します。
- 「**地図メニュー＊**」
  マルチファンクション・ディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- 「**ナビメニュー＊**」
  ナビゲーション・メニューを表示します。
- 「**トリップメニュー**」
  トリップ・メニューを表示します。
- 「**TPMメニュー**」
  TPMメニューを表示します。
- 「**4WDメニュー**」
  4輪駆動メニューを表示します。
- 「**クロノメニュー**」
  スポーツ・クロノ・メニューを表示します。
- 「**制限速度＊**」
  マルチファンクション・ディスプレイに交通標識を表示します。
- 「**ACCメニュー**」
  ACCメニューを表示します。

利用できる車両機能：
- 「**スタート/ストップ**」
  オート・スタート/ストップ機能のON/OFFを切り替えます。
- 「**SES（スポーツ・エキゾースト・システム）**」
  スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFFを切り替えます。
- 「**LKS（レーン・キープ・アシスト）**」/「**LDW（車線逸脱警告）**」
  レーン・キープ・アシスト/車線逸脱警告システムのON/OFFを切り替えます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ダッシュボードのコンパス・ディスプレイをOFFにする＊

ダッシュボード上にあるコンパス･ディスプレイは、ON/OFFを切り替えることができます。

コンパス･ディスプレイに関するインフォメーション：

▷「ダッシュボードのコンパス＊」(106ページ)を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**コンパス**」
2. 「**表示なし**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ コンパス・ディスプレイがOFFになります。
   ☐ コンパス・ディスプレイがONになります。

警告/インフォメーション音量を設定する

警告/パーキング･アシスタント･インフォメーション音量を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**音量**」を選択し、
   決定してください。

パーキング･アシスタントの警告音量を設定する

パーキング・アシスタント・インフォメーションの音量を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**音量**」
2. 「**駐車アシスト**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**高**」
- 「**中**」
- 「**低**」

警告音量を設定する

警告音のボリュームを個別に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**音量**」
2. 「**警告トーン**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**高**」
- 「**中**」
- 「**低**」

ポルシェ・カー・コネクトの設定＊

お客様の車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信を無効にすることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**Car Connect（カー・コネクト）**」
2. 「**プライバシー**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 通信が無効になります。
   ☐ 通信が有効になります。

「**プライバシー**」機能を作動すると、車両とアプリ間の通信が無効になります。車両固有の情報がポルシェ・カー・コネクト・アプリに送信されません。このアプリを使用した車両の設定変更はできません。

契約が有効でない場合、「**Car Connect（カー・コネクト）**」メニューは使用できません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリに関するインフォメーション：
▷ 「ポルシェ・カー・コネクト＊」(205ページ)を参照してください。
▷ 更に詳しい情報は www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。

インフォメーション

– 「**プライバシー**」機能を作動していても、故障時、緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両位置に関する情報が送信可能になります。
ポルシェ・カー・コネクト・アプリ機能に関する更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます
– 次に購入されるお客様に「**プライバシー**」機能を作動することが可能であることについて説明してください。

単位の設定

インストルメント・パネルのデジタル・スピード・メーター、コンパス、エアコン・ディスプレイの温度計、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧表示など、車両の測定単位を設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**単位**」を選択し、
   決定してください。

スピードメーターおよびコンパスの単位設定

スピードメーターのスピードおよび距離の表示、コンパス表示の単位を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**単位**」

2.「**スピードメーター**」を選択してください。

3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**km / km/h**」
– 「**マイル / mph**」

温度計の単位の設定

温度計の測定単位を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**単位**」

2.「**温度**」を選択してください。

3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**°C（摂氏）**」
– 「**°F（華氏）**」

タイヤ空気圧モニタリング・システムの表示単位の設定

タイヤ空気圧モニタリング・ディスプレイの測定単位を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**単位**」

2.「**タイヤ空気圧**」を選択してください。

3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**bar**」
– 「**psi**」

ブースト圧計（過給圧計）の単位の設定

ターボ・エンジン装備車ではブースト圧計（過給圧計）の単位を設定することができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**単位**」
2.「**チャージ圧力**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、 決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**bar**」
– 「**psi**」

油圧計の単位の設定

油圧計の測定単位を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**単位**」
2.「**オイル圧力**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、 決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**bar**」
– 「**psi**」

平均燃費の表示単位の設定

平均燃費の表示単位の設定ができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**単位**」
2.「**平均燃費**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、 決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**l/100km**」
– 「**MPG（米国）**」
– 「**MPG（英国）**」
– 「**km/l**」

言語の変更

マルチファンクション･ディスプレイに表示するテキストの言語を切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」 >「**設定**」 >「**言語**」
2. 任意の言語を選択し、 決定してください。

警告と情報メッセージの概要

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する説明を必ず読んでください。
すべての作動条件が満たされた場合のみ、警告メッセージが表示されます。
このため、すべてのフルード・レベルを定期的に点検してください。特にエンジン・オイル・レベルは、給油の前に毎回、点検してください。

警告メッセージの分類

赤色 **システムの故障または警告**

▷ 直ちにポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。

黄色 **作動の不具合、またはシステム故障を知らせる警告**

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。

白色 **インフォメーション / メッセージ**

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。または、お客様ご自身で対処してください。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	油圧が低すぎます **停車して下さい**	直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。 マルチファンクション・ディスプレイ上で「**オイルレベル**」を選択してください。必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 オイル・レベルが適正でも警告灯が点灯するときは、運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	故障 油圧測定 **継続走行可** **整備工場へ**	油圧を自動的に測定することができません。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	故障 油量測定 **整備工場へ** **継続走行可**	オイル・レベルを自動的に測定することができません。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	最大xx オイル充填 **継続走行可能**	早急に表示された量のエンジン・オイルを補充してください。
	油量最低以下 **最大xx 要オイル充填** **継続走行不可**	運転を続けないでください。早急に表示された量のエンジン・オイルを補充してください。
	油量上限超過 **整備工場へ** **継続走行可**	次の機会にポルシェ正規販売店でオイル・レベルを適正値に調整してください。 *
	現在オイルレベルへの情報信号は利用できません	オイル・レベルは、エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約1分間待った後測定可能になります。エンジン冷間時にエンジン・コンパートメント・リッドを開くと（エンジン・オイルを補充するためなど)、オイル・レベルが一定時間表示されません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	故障 表示油温 整備工場へ 継続走行可	油温を自動的に測定することができません。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	油温 高過ぎ 負荷軽減	油温が高すぎます。エンジンをOFFにして冷やしてください。 エンジン・オイル・レベルを点検してください。必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。
	エンジン温度超過 停車して冷ましてください	クーラント温度または油温が高すぎます。エンジンをOFFにして冷やしてください。 クーラントまたはエンジン・オイルのレベルを点検してください。 クーラントまたはエンジン・オイルを、必要に応じて補充してください。
水温計の警告灯が点滅します。	故障表示 冷却水温 継続走行可 整備工場へ	水温を自動的に測定することができません。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 冷却システム 整備工場へ 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
水温計の警告灯が点滅します。	すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可	エンジンをOFFにして冷やしてください。 クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
	冷却水要充填 エンジン温度 要監視	安全な場所に停車してください。エンジンをOFFにして冷やしてください。 運転を続けないでください。 クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
	故障 ジェネレーター 停車して下さい	安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	バッテリー弱 エンジンを始動し しばらく稼働させて下さい	バッテリーを充電するため、早急にエンジンを始動してください。
	バッテリー弱 消費装置オフ	バッテリーの放電を防ぐため、様々なコンフォート機能への電源供給が停止されます。
	停車中にバッテリー保護が 有効でした	バッテリーの放電を防ぐため、様々なコンフォート機能への電源供給が停止されます。
	イグニッションをOFFにして 下さい	バッテリー上がりを防ぐため、エンジンが自動的に停止した後、車両から離れるときはイグニッションをOFFにしてください。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	ブースト圧表示 故障 要修理	ブースト圧表示が故障しています。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	低下したエンジン出力 継続走行可 整備工場へ	ポルシェ正規販売店にご相談ください。*
	故障 エンジン制御 整備工場へ 継続走行可	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	エンジンを手動で始動してください	イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。
	選択レバーをP位置にします	イグニッション・ロックからキーを抜き取る前にセレクター・レバーをPの位置にしてください。 危険：セレクター・レバーをPの位置にしなかった場合、車両が不意に動き出す危険があります。
	選択レバーをP位置またはN位置にします	セレクター・レバーがPまたはNの位置にあるときのみ車両を始動することができます。
	T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能	スムーズな変速ができなくなります。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	T/M故障 安全に停車してください	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	T/M温度 高すぎる負荷を下げる	トランスミッションの温度が高すぎます。エンジン・トルクが制限されます。例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。警告が消えるまでセレクター・レバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングしてください。
	ディーゼル粒子フィルタ 要点検	ディーゼル・パティキュレート・フィルターがすすでいっぱいです。フィルターを自動清掃するためのドライビング・スタイルで運転してください。約15分間、60km/h以上の速度と2,000rpm以上のエンジン回転数を維持して走行してください。法定速度を遵守してください。＊警告メッセージが消えない場合、ポルシェ正規販売店で修理してください。*

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	ブレーキを踏みます	始動時はフットブレーキを踏んでください。
	エンジン始動	このメッセージは、ディーゼル・エンジン車の始動時に外気温やエンジン温度に応じて、グロー・プラグ予熱フェーズ中に表示されます。エンジンが始動すると、メッセージは消えます。＊
	ブレーキブースタ圧力低下 要修理 継続走行可	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 ブレーキバランス 安全な場所に停車して下さい	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 ABS/PSM 慎重に走行してください	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	摩耗限度 ブレーキパッド要交換 継続走行可能	直ちにポルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。*
点滅	パーキングブレーキ解除	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・ボタンを押してください。
	ブレーキペダルを操作	エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
	故障 パーキングブレーキ	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	電動パーキングブレーキがサービスモードです	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅	緊急ブレーキ	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動しています。
	故障 PSM 整備工場へ 慎重に走行してください	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PSM オン	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントがONになっています。
OFF	PSM オフ	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントがOFFになっています。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
点滅	PSMが診断モードです	ポルシェ・スタビリティー・マネージメントが診断モードです。
	ロールモード有効	ロール・モードがONになっています。
	オフロード 使用不可 要減速	オフロード・モードは90km/h以下の速度でのみONにできます。速度を落としてください。
	故障 4WD 後輪のみ駆動 慎重に走行してください	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	4WDシステム 温度限界 負荷軽減	ポルシェ・トラクション・マネージメントの負荷が過大です。負荷を小さくしてください。
	4WD過剰負荷 後輪のみ駆動 負荷軽減 継続走行可	ポルシェ・トラクション・マネージメントの負荷が過大です。負荷を小さくしてください。
	故障 デフロック 継続走行可能	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	デフロック 過負荷 慎重に走行してください	ポルシェ・トラクション・マネージメントの負荷が過大です。負荷を小さくしてください。
	スポーツモード不可 オフロード 要無効化	スポーツ・モードをONにするためにオフロード・モードをOFFにしてください。
燃料計の警告灯が点灯	目的地までの距離に注意してください	最寄りの給油所で給油してください。
	故障 燃料計表示 修理が必要です	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ウォッシャー液を補充します	ウォッシャー液を補充してください。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	安全ベルトを装着します	車両に乗車したら、安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用してください。
	故障 エアバッグ表示灯 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリングを解除します	ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	故障 パワーステアリング 操作力増大 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	パワーステアリング制限中 慎重に走行してください	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	イグニッションキーを抜いて下さい	キーを抜き取ってください。
	キーが見つからない/障害あり キーの位置を変更して下さい	キーを携行していることを確認してください。
	車両キー内のバッテリーを交換します	キーの電池を交換してください。
	スイッチ部：左へ回し、取り外し、キーを差し込む	キーが車両内で検出されない場合、イグニッションをONにすることができず、エンジンを始動することができません。 コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。 イグニッション・キーを使用してイグニッションをONにしてください(エマージェンシー・キーは除く)。
	故障 サスペンションシステム 慎重に走行してください	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 サスペンションシステム 安全な場所に停車して下さい	車高が正しく設定されていません。直ちに適切な場所に停車してください。発進または走行を続行しないでください。レベリング・システムが車高を自動的に再度調整します。 調整には数分かかることがあります。 不具合が繰り返す場合、ポルシェ正規販売店で点検/修理を行ってください。*
	ドロップフレーム 有効	車両の後部を下げています。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	タイヤ 要点検	タイヤ空気圧モニタリング・システムが空気圧の低下を検出しました。160km/h以下で走行中は空気圧が少なくとも20%または0.5bar不足しており、160km/h以上で走行中は空気圧が規定空気圧より少なくとも0.4bar不足しています。 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。 必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行い、タイヤ空気圧を適正値に調整してください。または、タイヤを交換してください。
	空気を充填	タイヤ空気圧モニタリング・システムが少なくとも0.3barの空気圧の低下を検出しました。 次の機会にタイヤ空気圧を調整してください。
	監視システムが学習されていません 25 km/h以上で走行	タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を完了するまでには一定の時間および車速が必要です。このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。
	故障 タイヤ空気圧監視 要修理	タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	タイヤ空気圧監視 一次的に無効	外部からの干渉など（別のホイール・トランスミッターなど）のためにタイヤ空気圧モニタリング・システムの一時的な不具合が発生、またはホイール・トランスミッターがオーバーヒートしています。タイヤ空気圧は監視されません。
	ホイールを交換しますか? 選択し直します	ホイールを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。
	ヘッドライト 点灯	ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しています。
	パーキングライトオン	左または右のパーキング・ライトが点灯しています。
	左前ウィンカーを点検します 以下にも適用： 車幅灯、ロー/ハイ・ビーム・ヘッドライト、デイタイム・ドライビング・ライト＊、方向指示灯、リバース・ライト、ライセンス・ライト、ブレーキ・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライト、トレーラー方向指示灯、トレーラー・ブレーキ・ライト、トレーラー・テール・ライト、フロント・フォグ・ライト、リヤ・フォグ・ライト、サイド・インジケーター	表示されたライトが点灯していません。該当するライトを点検してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 * テール・ライトはブレーキ・ライトと共にモニターされます。テール・ライトの故障はブレーキング中にのみ検出され、故障がある場合は「リヤライト 右/左 確認」と表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	ヘッドライトレベリング制御 故障 要修理	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅	ヘッドライト制御 故障 要修理	ヘッドライト・コントロールが故障しています。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ライト 左側通行/右側通行が切り替えられました	ヘッドライトが国別の交通状況に応じて変更されています。
点滅	ダイナミックコーナリングライト 故障要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	自動ヘッドライト制御 故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	コーナリングライト 左/右 故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 PDLS+ ハイビーム 手動で操作 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PDLS+ 制限中 カメラ視野 無 場合により 要センサー洗浄	PDLS+がカメラ故障のために一時的に利用できなくなっています。
	雨/光センサー 故障 修理が必要です	ワイパーおよびライトは手動でONにしてください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ワイパー故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	サンルーフ 完全に閉める	スライディング・ルーフを完全に閉じてください。
	故障 アシスタントシステム/ カメラ 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	視野 前面カメラ 制限中 場合により 要ガラス洗浄	アシスタンス・システム/カメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。必要であればウィンドウを清掃してください。
	LCA 現在使用不可	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。ボタンを押してLCAを再作動させてください。
	LCA 故障 要修理	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)が故障しています。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	LCA センサー遮断 リヤバンパー要洗浄	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)センサーがキャリア、ステッカー、汚れまたは氷結などにより阻害されています。原因を取り除き、ボタンを押してLCAを再作動させてください。
	LCA トレーラー運転中 使用不可	けん引しているときはレーン・チェンジ・アシスト(LCA)を使用できません。
	LKS 制限中 カメラ視野無 要ガラス洗浄	レーン・キープ・アシストが天候状態やフロント・ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。必要であればウィンドウを清掃してください。
	LKS 現在 使用不可	レーン・キープ・アシスト機能が一時的に制限されています。
	LKS 使用不可	レーン・キープ・アシストが故障しています。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	LKS 中断 要運転操作	ステアリング・ホイールが操作されていないため、レーン・キープ・アシストはOFFになっています。ドライバーのステアリング操作によってレーン・キープ・アシストは再びONになります。
	車線逸脱警告 制限中 カメラ視野無 要ガラス洗浄	車線逸脱警告が天候状態やフロント・ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。必要であればウィンドウを清掃してください。
	車線逸脱警告 現在使用不可	車線逸脱警告機能が一時的に制限されています。
	故障 車線逸脱警告 要修理	車線逸脱警告が故障しています。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	安全な場所に停車して トレーラー連結部をロック	直ちに適切な場所に停車してください。走行を続けないでください。 ボール・ヒッチがロック位置になっていません。 ロック位置になるまでボタンを押してください。
	監視無 トレーラーロック 安全な場所に停車して下さい	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	車間距離 ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。ブレーキを踏んで、車間距離を調節してください。
	ACC/PAS 使用不可 要修理	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)：車両前部のセンサーがほこりや雪などに覆われているか、または悪天候の影響を受けている可能性があります。
	故障 音声出力 メーターパネル/ フロントパークアシスタント 要修理	方向指示灯の音、警告音および距離信号（パーキング・アシスタントなど）が作動していません。駐車するときなどは注意してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 音声出力 パークアシスタント 要修理	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号などが使用できません。駐車するときなどは注意してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	制限1/制限2を越えました	設定した速度制限1または2を超過しています。
	制限速度表示 制限中 カメラ視野無 要ガラス洗浄	悪天候またはフロント・ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。＊必要であればウィンドウを清掃してください。
	制限速度表示 現在制限中	ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。＊
	制限速度表示 現在使用不可	一時的にカメラ画像を評価できなくなっています。＊
	故障 制限速度表示 要修理	カメラまたはナビゲーション・システムが故障しています。＊ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	制限速度表示 現在地域では使用不可	制限速度表示は一時的に使用できません。＊
	VTS 強化、コードを入力して 確定してください	リモート・キーパッドを使用してコードを入力し、選択を決定し、PVTSプラスを停止してください。＊
	VTS 強化、X分以内に コードを入力して下さい	リモート・キーパッドを使用してコードを入力し、選択を決定し、PVTSプラスを停止してください。＊
	ドライバー カードが 検知されません	ボタンを押してドライバー・カードを再度作動してください。必要に応じてセキュリティー・オペレーティング・センター(SOC)に連絡してください。＊

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	ドライバーカード電池不足 交換して下さい	バッテリー電圧が低すぎます。ドライバー・カード・バッテリーを交換してください。＊
	リモートキーパッド電池不足 交換して下さい	バッテリー電圧が低すぎます。リモート・キーパッド・バッテリーを交換してください。＊
	コードが 間違っています 再入力して下さい	リモート・キーパッドの数字キーを使用して入力したコードが間違っています。コードを再入力し、選択を決定してPVTSプラスを停止してください。＊
	システム エラー 継続走行可能 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PSMシステム 故障 安全な場所に停車して下さい	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	表示外気温 故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 要修理 継続走行可	サービス・インジケーター 追加メンテナンスを行ってください。
	ローンチコントロールが有効です	ローンチ・コントロールが作動しています。
	燃料残量低下 補助ヒーター 使用不可	燃料がリザーブ・レベルに下がっています。補助ヒーターは使用できません。＊
	外気温 補助ヒーター 使用不可	外気温度が高すぎるため、補助ヒーターは使用できません。＊
	補助ヒータータイマー <><日付/時間> 有効化/無効化	補助ヒーター用タイマー <>で作動/停止の<日付/時間>を設定できます。＊
	AdBlueを充填してください 残り走行距離xxx km	表示の距離内でAdBlue®を補充してください。＊
	AdBlueを充填してください xxx kmでエンジン始動不可	表示の距離内でAdBlue®を補充してください。＊

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ	意味/対処法
	AdBlueを充填してください エンジン始動不可	直ちにAdBlue®を補充してください。＊
	AdBlue故障 xxx kmで エンジン始動不可	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	AdBlue故障 エンジン始動不可	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

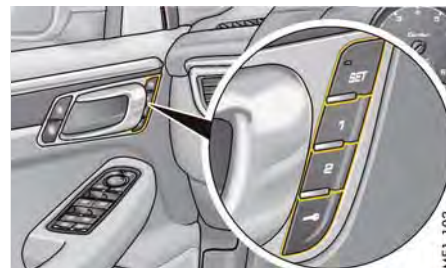
* この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

パーソナル設定

概要 – パーソナル設定

この概要説明は後述の「パーソナル設定」に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

設定のキーへの自動保存
（「オート・メモリー」機能作動時）

設定の運転席ドア・ボタンへの手動保存

どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？	どのような設定の保存/呼び出しができますか？
キーを使用して車両をロック/ロック解除すると自動的に行われます。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シートおよびドア・ミラー（運転席メモリー・パッケージ） – 運転席シート、ドア・ミラー、電動ステアリング・コラム（コンフォート・メモリー・パッケージ） **コンフォート設定**（コンフォート・メモリー・パッケージ） – エアコン、マルチファンクション・ディスプレイおよびポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊またはCDRプラス＊ 必要条件：マルチ・ファンクション・ディスプレイで、「**オート・メモリー**」機能を有効にしてください。 ▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（139ページ）を参照してください。 **知識**：「**オート・メモリー**」機能を有効にした場合、キーまたはキー・ボタン🔑に保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。
ボタン**1**、**2**、または**3**（助手席ドア）を使用して手動で行います。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シートおよびドア・ミラー（運転席メモリー・パッケージ） – 運転席シート、ドア・ミラー、助手席シート、電動ステアリング・コラム（コンフォート・メモリー・パッケージ）
運転席ドアのキー・ボタン🔑を使用して手動で行います。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シートおよびドア・ミラー（運転席メモリー・パッケージ） – 運転席シート、ドア・ミラー、電動ステアリング・コラム（コンフォート・メモリー・パッケージ） **コンフォート設定**（コンフォート・メモリー・パッケージ） – エアコン、マルチファンクション・ディスプレイおよびポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊またはCDRプラス＊ 設定は運転席ドアのキー・ボタン🔑およびキーに保存されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

運転席ドアのメモリー・ボタン（運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー）

助手席ドア・メモリー・ボタン（コンフォート・メモリー）

パーソナル設定の保存

運転席メモリー機能またはコンフォート・メモリー機能と併用することで、パーソナル設定をキーおよびドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

運転席メモリー装備車の場合、運転席ドアにメモリー・ボタンがあります。コンフォート・メモリー装備車の場合、運転席ドアと助手席ドアにメモリー・ボタンがあります。

運転席メモリー

運転席メモリー機能では、以下の**人間工学に基づいた設定**を保存することができます：

– 運転席シート
– ドア・ミラー

コンフォート・メモリー

コンフォート・メモリー機能では、以下の**人間工学に基づいた設定**を保存できます：

– 運転席シート
– 助手席シート（設定は助手席ドアのメモリー・ボタンにのみ保存されます）
– 電動ステアリング・コラム
– ドア・ミラー

以下の**コンフォート設定**も保存できます：

– エアコン
– マルチファンクション・ディスプレイ
– ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊またはCDRプラス＊

⚠ 注意

シート、ミラー、および電動ステアリング・コラムの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

▷ メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
▷ お子様のみを車内に残さないでください。

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイで自動保存機能を作動状態に設定している場合、車両をロックすると、設定内容がキーに自動的に保存されます。

自動保存機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（139ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイで自動保存機能が作動状態に設定されているかどうかに関係なく、設定内容はキー（キー・ボタン🔑を押す）およびメモリー・ボタン**1**または**2**に保存でき、そこから呼び出すことができます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

 インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。更にキーを追加する場合は、4本目のキーのメモリー情報が保存されます。

車両のロックによる自動保存

マルチ・ファンクション・ディスプレイで、この機能を作動させる設定に切り替えてください。

自動保存機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（139ページ）を参照してください。

– 車両をロックすると、設定が使用中のキーに保存されます。

– ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車の場合、ドア・ハンドルのロック・ボタンを押すと、設定が保存されます。

「オート・メモリー」機能が役立つ状況

各ドライバーは個別のキーを使用しています。車両をロックすると、最後に選択した設定がキーに保存されます。ドライバーが交代すると、パーソナル設定が個々のキーから呼び出されます。

 インフォメーション

「**オート・メモリー**」機能を有効にした場合、手動操作でキーに保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。

運転席ドアのキー・ボタン🔑による保存

▷ イグニッションをONにしてください。

1. **SET**ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー・ボタン🔑を押してください。
3. 人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定（キー特定）が保存されます。保存されると確認音が鳴り、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

設定をキー・ボタン🔑に保存することが役立つ状況

車両のロック/ロック解除時に加えて、停車中に設定の保存/呼び出しを行いたい場合があります。「**オート・メモリー**」機能が無効になっていることを確認してください。有効のままだと、車両ロック時に設定が更新されます。

キーから設定を呼び出す

人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定をキーから個別に呼び出すことができます。

車両ロック解除による自動呼び出し

車両をロック解除して、運転席ドアを開くと、使用中のキーから設定が呼び出されます。

運転席ドアのキー・ボタン🔑を押す

▷ すべての設定が**呼び出されるまで**キー・ボタン🔑を押し続けてください。

または

▷ 運転席ドアを開いてイグニッションをOFFにした状態で**短く**キー・ボタン🔑を押してください。

設定が自動的に呼び出されます。

キー・ボタン🔑の設定が保存した内容と違う場合

「**オート・メモリー**」機能をマルチファンクション・ディスプレイで有効にした場合、人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定は車両ロック時にキーに保存されます。このとき、キー・ボタン🔑に保存された設定が更新されます。

ボタン1、2および3への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのボタン**1**と**2**に個別に割り当てることができます。

助手席シートの設定を助手席ドアのボタン**1**、**2**および**3**に個別に割り当てることができます。

▷ イグニッションをONにしてください。

1. **SET**ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にボタン**1**、**2**または**3**（助手席側のみ）を押してください。
3. 人間工学に基づいた設定または助手席シートの設定が該当するボタンに保存されます。保存されると確認音が鳴り（運転席側のみ）、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

ボタン1、2または3による設定の呼び出し

運転席ドアのボタン1または2による人間工学に基づいた設定の呼び出し

▷ すべての設定が適用される**まで**ボタン**1**または**2**を押し続けてください。
または

▷ 運転席ドアを開き、イグニッションをOFFにしてボタン**1**または**2**を**短く**押してください。
設定が自動的に呼び出されます。

助手席ドアのボタン1、2または3による助手席シートの設定の呼び出し

▷ すべての設定が適用される**まで**ボタン**1**、**2**または**3**を押し続けてください。
または

▷ 助手席ドアを開き、イグニッションをOFFにしてボタン**1**、**2**または**3**を**短く**押してください。
設定が自動的に呼び出されます。

ロック時にキーの設定を自動保存する機能のキャンセル

マルチ・ファンクション・ディスプレイで、この機能を作動解除する設定に切り替えてください。

自動保存機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（139ページ）を参照してください。

安全運転について

＊ 日本仕様に設定はありません。

お出かけの前に

▷ すべてのタイヤの空気圧、トレッドおよびその他の状態に異常はありませんか？
▷ ヘッドライト・レンズ、リヤ・ライト、ウィンドウ、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサー、リバース・カメラ・レンズが汚れていませんか？
▷ イグニッションをONにしたとき、ヘッドライト、ブレーキ・ライト、方向指示灯が正常に作動しますか？
▷ イグニッションON（エンジン停止）状態で、各種警告灯/インジケーター・ライトが正常に作動しますか？
▷ 燃料が不足していませんか？
▷ ルーム・ミラーおよびドア・ミラーは、後方がきちんと確認できる位置にありますか？
▷ 運転者および同乗者は、シートベルトを着用していますか？
▷ 各種オイル/フルード・レベルは、指定された点検時期以外でも定期的に点検してください。

運転中は

インフォメーション

燃費とCO_2排出量は、定期的なメンテナンスを行い、車両を正しく使用することによって削減できます。
これには、不必要なアイドリングや積荷をしない、安全運転、控えめな速度、予測ブレーキ、適正なタイヤ空気圧などが含まれます。

慣らし運転の知識

車両の性能を最良の状態で維持するために、新車時は慣らし運転を行うことをお薦めいたします。
最新鋭の精密な製造技術を採り入れても、可動部分が馴染む過程で初期摩耗することを完全には防げません。この初期摩耗は、主に新車時から3,000kmまでの期間に生じます。

インフォメーション

走行距離が3,000kmに達するまでに遵守しなければならない事項：
▷ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨いたします。
▷ 冷間始動と近距離運転の繰り返しは、できる限り避けてください。
▷ 自動車レース、スポーツ・ドライビング・スクール等に参加しないでください。
▷ エンジンを高回転域まで回さないでください。特に、エンジンの暖機が完了するまでは、高回転を避けてください。

オイル消費量/燃費

慣らし運転中は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。
オイルと燃費料の消費量については「テクニカル・データ」の章を参照してください：
▷ 「燃費と排出ガス（メーカー発表値）」（341ページ）を参照してください。
▷ 「エンジン・データ（メーカー発表値）」（340ページ）を参照してください。

新しいブレーキ・パッドの慣らし運転

新品のブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。通常よりも、わずかながらブレーキの効きが弱くなるので、強めにペダルを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

新しいタイヤの慣らし運転

▷ 注意してください：新しいタイヤは、そのグリップ性能を十分に発揮できません。
新品のタイヤを装着してから最初の100～200kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

車両へのテクニカル・データの保存

車両のエアバッグ・コントロール・ユニットやエンジン・コントロール・ユニットなどの電装部品は、故障発生時のメッセージ、車速、制動力、および事故時のドライバー・アシスタンス・システムや乗員拘束システムの作動に関する情報など、車両のテクニカル・データを保存するデータ・メモリーを備えています（音声データや動画データは保存されません）。

データは、故障メッセージの発生時など（事故発生時、またはコンポーネント負荷評価などのため）に、極短時間（最大で数秒）の間に概略化された形式でスナップショットとして選択的に揮発性メモリに保存されます。不具合の診断と修理のため、トレーニングを受けたテクニシャンは、保存されたデータをインターフェース経由で読み出すことができます。同様にポルシェ社でも車両機能の分析および改善のため、このデータを使用/処理することができます。

ご要望に応じて、データを追加サービス・オプションのベースとして使用することもできます。データは、法律で認められている場合または契約上の合意がある場合にのみ、データ保護法を考慮した上で、車両からポルシェ社、または第三者に転送することができます（ポルシェ・カー・コネクト、ポルシェ車両追跡システム・プラスなど）。
▷ 「ポルシェ・カー・コネクト＊」（205ページ）を参照してください。

▷ 「ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊」（272ページ）を参照してください。

車両の技術的な仕様変更

▷ 車両の技術的な仕様変更はポルシェ正規販売店で実施してください。
これにより、お客様のポルシェの信頼性と走行安全性を維持することができ、改造に起因する不具合を回避できます。
ウインター・タイヤについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店では、お客様のご要望に応じた適切なアドバイスを行います。

知識

▷ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。ポルシェ純正部品は、ポルシェ正規販売店で入手することができます。安全性に関係するアクセサリーを取り付けるときは、ポルシェ・テクイップメント製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。アクセサリーについてご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお気軽にご相談ください。
ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が承認した以外の部品やアクセサリーの使用は、車両に悪影響を及ぼす可能性があります。この結果として生じた損害、損傷に対してポルシェ社は責任を負いかねます。
ポルシェ純正部品や承認部品、アクセサリーを供給しているメーカーの製品でも、特定の部品を使用することで車両の安全性に悪影響を与える可能性があります。
マーケットには膨大な数の部品、アクセサリーが流通しているため、ポルシェ社はそれらのすべてについて評価と承認を行うことができません。

▷ また、ポルシェ純正部品または承認部品以外の部品を使用した場合、保証期間内であってもメーカー保証を適用できなくなる可能性がありますのでご注意ください。

⚠ 警告 空力特性の変化

スポイラーやアンダー・パネルなど、空力に影響する部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

▷ 不具合の兆候などがないか、日頃から定期的な点検を実施してください。

▷ これらの不具合が発生したときは、直ちに修理してください。

国外での走行

すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

▷ 国外への旅行前に確認しておくこと

– 車両が故障した場合、修理は可能ですか？

– 車両の技術的な調整は必要ではありませんか？

– 条件を満たす品質の燃料は入手可能ですか？

燃料の品質に関するインフォメーション：

▷ 「燃料の給油」（284ページ）を参照してください。

サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、モーター・スポーツ・イベントなど）

ブレーキ・フルード、ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。ブレーキ液が水分を含むと沸点が下がり、サーキット走行時（スポーツ・ドライビング・スクール、モーター・スポーツ・イベント）の高温、高負荷時においてブレーキ性能に悪影響を及ぼします。

このため、使用開始から1年以上経過したブレーキ液は、サーキット走行時（スポーツ・ドライビング・スクール、モーター・スポーツ・イベント）に使用しないでください。

▷ 「整備手帳」のインフォメーションも参照してください。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、運転の仕方やメンテナンスによって大きく左右されます。サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、モーター・スポーツ・イベント）によって高温、高負荷がかかるとブレーキ構成部品は激しく摩耗します。

▷ サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、モーター・スポーツ・イベント）の前後に、必ずブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないか目視点検してください。

リサイクル

使用済み自動車のリサイクルは、日本国内の法律により定められています。

ポルシェ社の車両はリサイクル性を考慮して開発されています。

▷ 法に定められた適切なリサイクル処理を行うため、廃車の際はポルシェ正規販売店にご相談ください。

テール・パイプ

⚠ 警告 高温のテール・パイプ

エンジン作動中や、エンジンを停止してからしばらくの間はテール・パイプが熱くなっています。

▷ 車両後方に近づくときは、テール・パイプの近くで立ち止まったり、テール・パイプに触れないでください。

▷ お子様がテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

故障診断用ソケット

⚠ 警告 車両エレクトリカル・システムへの不当な介入

外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

▷ いかなる機器も故障診断用ソケットに接続しないでください。

⚠ 警告 運転席足元の機器がゆるんでいる、またはケーブルが垂れ下がっている場合

運転席足元の機器の取り付けがゆるんでいる場合、またはケーブルが垂れ下がっている場合、制動時またはカーブ走行時にペダル操作の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

▷ 運転席の足元に、機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

知識

故障診断用ソケットはポルシェ正規販売店で診断装置を接続するために使用されます。

イグニッションをOFFにした状態で外部機器（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続して作動させると、バッテリーが放電します。車両を長期に渡って駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

▷ 故障診断用ソケットにはいかなる機器も接続しないでください。

イグニッション・ロック、ステアリング・ロック

知識

過剰な負荷により損傷する恐れがあります。

差し込んだキーに過剰な負荷（重たいキーの束、キー・ホルダーなど）がかかると、イグニッション・ロックが損傷する恐れがあります。

▷ 差し込んだキーに過剰な負荷がかからないようにしてください。

イグニッション・キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、キーを携行していればイグニッション・ロックにキーを差し込む必要がありません。キーはイグニッション・ロック内のコントロール・ユニットに変更されました。このコントロール・ユニットは、けん引のときを除いて**常時**イグニッション・ロックに差し込んでおいてください。

キーの位置
0 - 初期位置
1 - イグニッションON
2 - エンジン始動

イグニッション・ロックには3つのスイッチ位置があります。

 インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合にのみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます：

▷ 「緊急操作 – キー /コントロール・ユニットのロック解除」（166ページ）を参照してください。

イグニッション・ロック位置0 – イグニッションOFF（初期位置）

イグニッション・ロックが位置**0**のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。キーはこの位置で抜き取ることができます。

イグニッション・ロック位置1 – イグニッションON

▷ キーまたはコントロール・ユニットを位置**1**に回してください。

すべての電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。

最初に、キー /コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**（初期位置）に戻してください。

イグニッションをONにする、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

キーを抜き取るには：

▷ 停車してください。
▷ PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
▷ イグニッションをOFFにしてください。
▷ キーを抜き取ってください。

イグニッション・ロック位置2 – エンジン始動

▷ キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**2**に戻してください。

エンジンが始動すると、キーまたはコントロール・ユニットがロック位置**2**から**1**に自動的に戻ります。

ステアリング・コラム・ロック

ポルシェ・エントリー &ドライブ非装備車

キーをイグニッション・ロックから抜き取ると、ステアリング・ホイールが自動的にロックされ、キーをイグニッション・ロックに差し込むと、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車

イグニッションをOFFにして運転席ドアを開いた場合、または車両をロックした場合、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。

警報システムをキーで無効にした場合、ポルシェ・エントリー &ドライブで運転席ドアを開いた場合、またはイグニッションをONにした場合、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

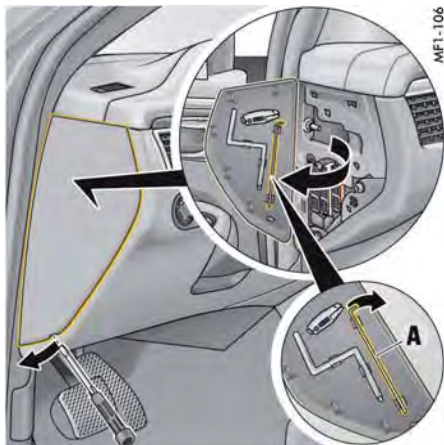
 インフォメーション

ステアリング・コラム・ロックは国によって異なり、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

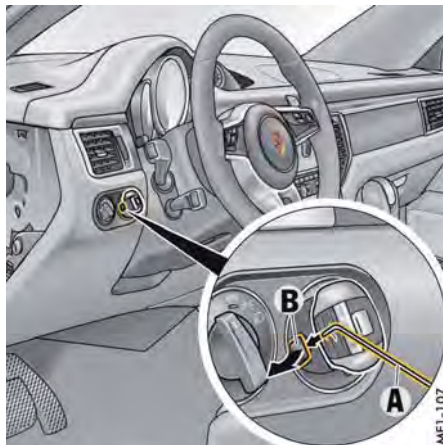
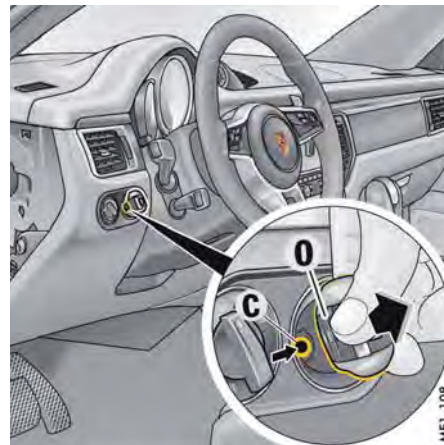
ポルシェ・エントリー&ドライブの緊急操作

車両とイグニッション・ロックの電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ポルシェ・エントリー &ドライブが正常に機能しなくなります。

このような場合、イグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。

▷ 「緊急操作 – キー /コントロール・ユニットのロック解除」（166ページ）を参照してください。

緊急操作 – キー/コントロール・ユニットのロック解除

バッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急操作を行う必要があります。
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車のイグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外す場合も緊急操作を行わなければなりません。

1. 運転席側のヒューズ・ボックス・カバーをスクリュードライバーで慎重にこじ開け、取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納してある金属製フック**A**を取り出してください。
3. メタル・フック**A**を使用して、イグニッション・ロックからプラスチック・カバー**B**を取り外してください。
   取り外したプラスチック・カバー**B**は紛失しないように十分注意してください。
4. キー/コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**（初期位置）に回してください。
5. 金属製フック**A**を開口部**C**に解除音が聞こえるまで押し込んでください。
6. キー/コントロール・ユニットをロック位置**0**（初期位置）に回して抜き取ってください。
7. プラスチック・カバー**B**を元の位置に取り付けてください。

エンジンの始動および停止

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

▷ 「イモビライザー」（271ページ）を参照してください。

⚠ 危険　有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす危険があります。オート・スタート/ストップ機能によってエンジンが自動停止した場合、降車後、エンジンが再始動することがあります。

▷ 換気の悪い場所でエンジンを始動したり、アイドリングをしないでください。

▷ 車両から離れるときは、**必ず**キーを抜いてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、必ずコントロール・ユニットをイグニッション・ロックに差し込んだままにしてください。
「停止」（168ページ）を参照してください。

⚠ 警告　高温の排気ガスおよびエキゾースト・システム

エンジン作動中のエキゾースト・システムや排気ガスは非常に熱くなっています。火傷を負ったり、火災が起きる恐れがあります。

▷ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触するような場所に駐車したり、走行しないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：

▷ 「エミッション・コントロール・システム」（283ページ）を参照してください。

エンジンの始動

▷ フット・ブレーキを踏んでください。

▷ PDKセレクター・レバーを**P**または**N**位置にしてください。

▷ アクセル・ペダルは踏まないでください。
エンジン・コントロール・ユニットが、エンジン始動に適切な燃料補正を行います。

▷ キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）をロック位置**2**に回してください。
ロック位置**2**（エンジン始動）にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
キーまたはコントロール・ユニットが、ロック位置**1**（イグニッションON）に自動的に戻ります。

▷ エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置**0**（初期位置）に戻してください。
1回でエンジンが始動すると、スターターが自動的に停止します。
1回でエンジンが始動しない場合は、引き続きスターターが作動し、自動停止はしません。

▷ 停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないよう注意して運転してください。

▷ バッテリー電圧が低すぎる場合は、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動してください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：

▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」（322ページ）を参照してください。

インフォメーション

バッテリー上がりを防止し、エンジンの始動性を確保するためにも、エンジンを停止したままイグニッションをONにしているときや、渋滞などでエンジン回転数が低いまま運転を続けるときは、不要なアクセサリーの電源をOFFにしてください。

インフォメーション

Macan Sディーゼル＊：車両の始動時（イグニッション・ロック位置**2**）、外気温やエンジン温度に応じて、グロー・プラグ予熱フェーズ中に、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**エンジン 始動**」が表示されます。
エンジンが始動すると、メッセージは消えます。

エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。
エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。はじめに、キー /コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**（初期位置）に戻してください。

Macan Sディーゼル＊：ガス欠後の始動

燃料タンクが完全に空になるまで走行し、その後ディーゼル燃料を給油した場合、燃料システムのエア抜きが行われるため、エンジンの始動に時間がかかる場合があります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

Macan Sディーゼル＊：ディーゼル予熱インジケーター・ライト

イグニッションをONにしたときにインジケーター・ライト が点灯する場合、グロー・プラグが予熱中であることを示しています。インジケーター・ライトが消灯したら、すぐにエンジンを始動してください。エンジンがすでに通常の作動温度にある場合、インジケーター・ライトはライト点検用に短い時間のみ点灯します。エンジンはすぐに始動することができます。

停止

⚠ 警告 車両が不意に動き出す恐れがあります

車両を正しく駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える危険があります。

▷ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

エレクトリック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（171ページ）を参照してください。

Porsche Doppelkupplung(PDK)セレクター・レバーを**P**の位置にしてください：

▷ 「Porsche Doppelkupplung(PDK)」（205ページ）を参照してください。

▷ 車両が停止している状態でのみ、キーを抜き取ってください。

▷ エンジンをOFFにすると、パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動も停止するため、車両が停止状態にあるときのみイグニッションをOFFにしてください。

▷ 車両から離れるときは、**必ず**キーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、必ずコントロール・ユニットをイグニッション・ロックに差し込んだままにしてください。

オート・スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停止した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより燃料の消費を節約します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションはONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

– オート・スタート/ストップ機能がONになっている
– ブレーキ・ペダルが踏み込まれている
（MacanおよびMacan Sディーゼル＊に適用：運転席シートベルトを着用しており、運転席ドアが閉じられている）
– PDKセレクター・レバーが **D**、**N**または**P** の位置にある、またはトランスミッション・レンジ**1**または**2**が手動選択されている
– エンジン・コンパートメント・リッドが閉じている
– エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している
– 前回エンジンが自動停止してから、少なくとも1.5秒間、約2km/h以上の速度で走行した

インフォメーション

イグニッションがONのとき、バッテリーは消耗します。車両を長期にわたって駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

エンジンの停止

車両を停止する、または停車操作を行うと、オート・スタート/ストップ機能が直ちにエンジンを停止します。

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。
または
停車中にPDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

インフォメーション

停車中にブレーキ・ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキ・ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（220ページ）を参照してください。

エンジンはアクセル・ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

– 車両を停車させた後でエンジンが自動停止するための条件が満たされた場合、遅れてエンジンが停止することもあります（車両が停止した直後ではない場合があります）。

▷ 「オート・スタート / ストップ機能の例外」（169ページ）を参照してください。

– アダプティブ・クルーズ・コントロールがONの場合、前走車が停車すると、車両が停車し、エンジンが自動的に停止します。
車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

エンジンの始動

次の条件を満たすとオート・スタート/ストップ機能がエンジンを始動します：

▷ PDKセレクター・レバーが**D**、または**N**の位置にある、またはトランスミッション・レンジ**1**または**2**が手動選択されているときに：
ブレーキ・ペダルを放してください。
または
アクセル・ペダルを踏んでください。
または
ステアリング・ホイールを動かしてください。
または
PDKセレクター・レバーを**R**の位置にしてください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

 インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールがONの場合は、次の条件が満たされるとエンジンが自動的に始動します：

– 前走車が発進した
または
アクセル・ペダルが踏まれた
または
コントロール・レバーを操作してクルーズ・コントロール/車間距離制御を再開した（位置**4**、**RESUME**）

▷ 「クルーズ・コントロールの再開(RESUME)」（175ページ）を参照してください。

– アダプティブ・クルーズ・コントロールをOFFにすると、HOLD機能は解除されます。

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（220ページ）を参照してください。

– Macan Turbo、Macan Sのみ：
アダプティブ・クルーズ・コントロールがOFFの場合、エンジンが自動的に始動し、ギヤが締結されている場合ゆっくり発進します。

 インフォメーション

坂道などで車両が動きはじめたとき、エアコンの快適性が低下したときなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

オート・スタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は**使用できません**：

– スポーツ・モードが作動しているとき
– PSMがOFFのとき
– クリーピング時
– A/C MAXモードが作動しているとき
– 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
– 標高が高いとき
– 車高を変えているとき
– オフロード・モードがONのとき
– 連結されたトレーラー車両が検出されたとき（バイク・ラック・コネクターまたはトレーラー・コネクターが接続されていると検出されます。）
イグニッションをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイに「**「スタート-ストップ」モードが無効です**」のメッセージが表示されます。
MacanおよびMacan Sディーゼル＊では、車両が停止しているときにインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライト が黄色く点灯します。

▷ 他社製のトレーラー・ヒッチを車両に連結している場合はオート・スタート/ストップ機能を手動で停止してください。

オート・スタート/ストップ機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF」（170ページ）を参照してください。

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は作動解除されます：

– エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき、またはデフロスターを長時間作動させているとき
– バッテリー電圧が低下したとき
– 上り坂や下り坂で停車したとき
– オート・エンジン・チェック機能など車両が初期点検を実行しているとき

 インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

降車後の作動（セレクター・レバーが、D、MまたはNの位置にあるとき）

エンジンが自動停止した後、PDKセレクター・レバーが**D**、**M**または**N**に締結されている状態で降車しようとした場合（運転席ドアが開かれ、ブレーキが解除されている場合）、エンジンが**自動的に**始動し、オート・スタート/ストップ機能がONであることを運転者に知らせます（MacanおよびMacan Sディーゼル＊には適用されません）。

セレクター・レバーが**D**または**M**の位置にある場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキも作動します。

(P)ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点灯します。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

 インフォメーション

MacanおよびMacan Sディーゼル＊では、降車するために運転席ドアを開いた、またはシートベルトを外した場合、エンジンは自動的に**始動しません。**

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**エンジンを手動で始動してください**」が表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

降車時の作動（セレクター・レバーが、Pの位置にあるとき）

エンジンが自動的に停止した後、PDKセレクター・レバーを**P**位置にして、ガレージ・ドアを開くためなどの理由で降車しようとした場合（運転席ドアが開かれ、ブレーキが解除されている場合、MacanおよびMacan Sディーゼル＊：運転席シートベルトを外す、または運転席ドアを開いた場合）、エンジンは自動的に**始動しません。**

ドライバーが30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてフット・ブレーキを踏むと、オート・スタート/ストップ機能が再開します。MacanおよびMacan Sディーゼル＊では、シートベルトの着用も作動条件です。

上記の条件が満たされなかった場合、エンジンは**手動操作**で始動する必要があります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**エンジンを手動で始動してください**」が表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF

OFFにする

▷ (A)ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
エンジンの自動停止と惰性走行モードがOFFになります。

ONにする

▷ (A)ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
車両が停止すると、自動的にエンジンが停止し、惰性走行モードがONになります。

▷ 「惰性走行モードで走行する」(208ページ)を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

オート・スタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが黄色に点灯します。

オート・スタート/ストップ・システムは、次の状態を検出します：

– エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。

または

– オート・スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。

エンジンを自動停止するための条件に関するインフォメーション：

▷ 「エンジンを自動停止するための条件」（168ページ）を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の例外に関するインフォメーション：

▷ 「オート・スタート / ストップ機能の例外」（169ページ）を参照してください。

インフォメーション

停車時にマルチファンクション・ディスプレイの黄色のインジケーター・ライトが点灯し、自動停止の条件が満たされているにもかかわらずエンジンが自動停止しない場合、バッテリー電圧の低下が考えられます。

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店でオート・スタート/ストップ機能の点検を受けてください。

故障の表示

システムが故障したときは、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**「スタートーストップ」モードが無効です**」が表示されます。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、駐車中に車両が動き出さないように固定します。

パーキング・ブレーキを作動させる

▷ (P)ボタンを引いてください。
(P)ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点灯します。

インストルメント・パネルのインジケーター・ライトおよび警告灯に関するインフォメーション：

「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

パーキング・ブレーキを解除する

エレクトリック・パーキング・ブレーキは、イグニッションがONのときのみ解除できます。

1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。

2. (P)ボタンを押してください。(P)ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が消灯します。

ドライバーの発進操作検出時のエレクトリック・パーキング・ブレーキの自動解除

エンジンが作動中で運転席ドアが閉じており、運転席シートベルトを着用している場合、通常、パーキング・ブレーキをかけたままでも発進することができます。
エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。
(P)ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が消灯します。

運転席ドアが閉じていない、または運転席シートベルトを着用していない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキは自動解除されません。
このとき、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**パーキングブレーキ解除**」が表示されます。(P)ボタンのインジケーター・ライトと、インストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点滅します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

エレクトリック・パーキング・ブレーキの自動ロック

PDKセレクター・レバーが**D**、**R**または**M**の位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的にロックされます。(P)ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点灯します。

インストルメント・パネルのインジケーター・ライトおよび警告灯に関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

緊急ブレーキ機能

フット・ブレーキ操作で車両を停止できない場合は、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停止させることができます。
▷ (P)ボタンを引き続けてください。
(P)ボタンのインジケーター・ライトと、インストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点滅します。
緊急ブレーキ機能はボタンから手を放すと解除されます。

⚠ 警告 急減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。
▷ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
▷ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

(!) ブレーキ警告灯

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキが確実にかからない場合、(P)ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点滅します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

フット・ブレーキ

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、ペダル操作の妨げになる可能性があります。
▷ フロア・マットなどでブレーキ・ペダルの動きを妨げないようにしてください。
正しいサイズのすべり止め加工がされたフロア・マットが、ポルシェ正規販売店で入手できます。

⚠ 警告 ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。
▷ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

けん引およびけん引によるエンジンの始動に関するインフォメーション：
▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(332ページ)を参照してください。

警告 ブレーキ・ブースターの故障

ブレーキ・ブースター機能に不具合が起きたとき、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに黄色の警告メッセージ「**ブレーキブースタ圧力低下 要修理**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になり、ブレーキ操作に対する快適性が明らかに低下します。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告 ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

▷ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

警告 制動力の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

ブレーキ・ディスクは鋳鉄合金製ですが、長期間に渡り車両を駐車したまま放置した場合、腐食することは避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

腐食の程度や範囲、影響は、駐車していた期間、凍結防止剤（塩分）や砂塵の付着、洗車時に油脂溶剤を使用したかどうかなどの条件で変わります（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く）。

▷ ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く）。

▷ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。
急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション：

▷ 「ブレーキ・フルード」(302ページ)を参照してください。

ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適の制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によって、ブレーキから異音が発生することがあります。

警告メッセージ

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

▷ 直ちにポルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適の制動効果が得られるように設計されています。
このため、特定の速度、ブレーキング力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

▷ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

A - クルーズ・コントロールのON/OFF
1 - 加速/速度の設定
2 - 減速
3 - 中断(OFF)
4 - クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まずに希望する速度を維持したまま走行できます。
クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作してください。

インフォメーション

アクティブ・ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全距離を保って走行できない場合、または一定の速度で走行できない場合は、クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす恐れがあります。

▷ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

クルーズ・コントロールON（スタンバイ）

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。

クルーズ・コントロールON

スタンバイ状態になると、マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。

速度の設定（維持）

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
   そのときの速度が保存され、自動的に維持されます。

設定速度

保存された速度がマルチファンクション・ディスプレイのシンボル・マークの下に表示され、全体が橙色になります。

加速（追い越しなど）

オプション1

▷ 通常走行と同じようにアクセル・ペダルを踏むと加速します。
アクセル・ペダルから足を放すと、設定速度に戻ります。

オプション2

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
速度が1km/h単位で上がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで前方（**1**の位置）に押し続けてください。
速度が10km/h単位で上がります。

新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

減速

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前（**2**の位置）に素早く引いてください。
速度が1km/h単位で下がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（**2**の位置）に引き続けてください。
速度が10km/h単位で下がります。

新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

クルーズ・コントロールの中断(OFF)

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

▷ 「クルーズ・コントロールの再開(RESUME)」(175ページ）を参照してください。

▷ 操作レバーを下方（**3**の位置）に押してください。
または
スピード・リミッター装備車では、クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**B**を押してください。＊
または
ブレーキ・ペダルを踏むか、**または**PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

Porsche Doppelkupplung(PDK)装備車に関する追加インフォメーション：

▷ 「Porsche Doppelkupplung(PDK)」（205ページ）を参照してください。

クルーズ・コントロールの自動中断：

– 設定速度より約10km/h以上速い速度で、120秒以上走行した場合
– ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)が0.5秒以上作動した場合

クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

▷ 操作レバーを上方（**4**の位置）に押してください。
設定速度に加減速します。

インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみクルーズ・コントロールを再開させてください。

クルーズ・コントロールOFF

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。
設定速度が消去され、シンボル・マークが消灯します。

駐車してイグニッションをOFFにすると、保存されている設定速度が消去されます。

インフォメーション

– クルーズ・コントロール作動中はPSMをOFFにすることはできません。警告メッセージは表示されません。
PSMがOFFのときにクルーズ・コントロールを作動させると、PSMは自動的にONになります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**PSM オン**」が表示されます。
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

スピード・リミッター＊

スピード・リミッターは、約30～240km/hの範囲内で選択された任意の速度に最高速度を制限することができます。例えば、市街地に定められた制限速度を車両が超えることを防止します。

スピード・リミッター作動時は、設定した最高速度を超えて車両が加速することを制限するため、フルスロットル位置までのアクセル開度が小さくなります。追い越し時などには、アクセル・ペダルを踏み込むことにより、いつでもフルスロットルで抵抗を感じる位置を超えて加速することができます（キックダウン）。

スピード・リミッターは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作してください。

インフォメーション

選択された最高速度を維持するために、エンジン・トルクが自動的に減少します。アクティブ・ブレーキ機能は作動しません。

⚠ 警告 集中力の低下

スピード・リミッターにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。スピード・リミッターが有効な場合であっても、ドライバーは走行中に車両が定められた制限速度を超えないよう、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 意図しない速度制限を防ぐため、使用後は必ずスピード・リミッターをOFFにしてください。
▷ 必要が無い場合はフルスロットルで走行しないでください。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の速度で走行できない場合、スピード・リミッターを使用すると事故を起こす恐れがあります。

▷ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でスピード・リミッターを使用しないでください。

⚠ 警告 下り坂走行中のスピード・リミッターの制限

下り坂を走行している時、スピード・リミッターは車両の最高速度を制限することはできません。車両本体の重量により速度が上昇します。

▷ シフトダウンするかブレーキ・ペダルを踏んで車両を減速してください。

ステータス・ディスプレイ

スピード・リミッターをONにすると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイ**B**が表示されます（**図を参照**）。

スピード・リミッターが作動すると、ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。

スピード・リミッターの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

例：

最高速度を設定せずにスピード・リミッターを作動させると、スピード・リミッターのシンボル・マークが灰色で表示されます。

最高速度を設定しスピード・リミッターを作動しないと、最後に設定された最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが灰色になります。

最高速度を設定しスピード・リミッターを作動すると、設定された最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが橙色になります。

点滅

設定された最高速度を超えた場合（追い越し中または下り坂走行時など）、警告音が鳴り、設定された最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが橙色に点滅します。

A - クルーズ・コントロールのON/OFF
B - クルーズ・コントロール/スピード・リミッターの切り替え
1 - 最高速度の設定/上昇
2 - 最高速度の低下
3 - 速度制限の中断(OFF)
4 - 速度制限の再開(RESUME)

スピード・リミッターの作動

必要条件

– クルーズ・コントロールをON（スタンバイ）にしてください。

クルーズ・コントロールON（スタンバイ）に関するインフォメーション：

▷ 「クルーズ・コントロールON（スタンバイ）」（174ページ）を参照してください。

▷ クルーズ・コントロールがON（スタンバイ）の時に、操作レバーのボタン**B**を押してください。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**スピードリミッター**」が表示されます。

最高速度を設定する、保存する、上げる

オプション1

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加速してください。
2. ステアリング・コラムの操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
そのときの最高速度が保存され、自動的に維持されます。

オプション2

▷ ステアリング・コラムの操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
最高速度が1km/h単位で上がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで前方（**1**の位置）に押し続けてください。
最高速度が10km/h単位で上がります。

新しく設定した最高速度がインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

インフォメーション

最高速度は、車両が停止していてイグニッションがONのときにステアリング・コラムの操作レバーを使用して設定することもできます。

保存された最高速度を下げる

▷ ステアリング・コラムの操作レバーを手前（**2**の位置）に素早く引いてください。
最高速度が1km/h単位で下がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（**2**の位置）に引き続けてください。
最高速度が10km/h単位で下がります。
新しく設定した最高速度がインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

スピード・リミッターの中断(OFF)

▷ 操作レバーを下方（**3**の位置）に押してください。
または
操作レバーのボタン**B**を押してください。

中断前に保存された最高速度はメモリに保存され、操作レバーを押して呼び出すことができます。

▷ 「保存された最高速度の再開(RESUME)」（178ページ）を参照してください。

キックダウンによるスピード・リミッターの一時的な解除

キックダウンによって設定された最高速度を超えた場合（追い越し中など）、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイのステータス・ディスプレイ**B**の最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが橙色に点滅します。スピード・リミッターは一時的に解除されます。車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピード・リミッターが再度作動します。

下り坂の走行

下り坂を走行している時、車両本体の重量によりスピード・リミッターは設定された最高速度を維持することはできません。設定された最高速度を超えた場合、連続的な警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイのステータス・ディスプレイ**B**の最高速度とスピード・リミッターのシンボル・マークが橙色に点滅を開始します。

▷ シフトダウンするかブレーキ・ペダルを踏んで車両を減速してください。

▷ 車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピード・リミッターは設定された最高速度に車両の速度を調節します。

保存された最高速度の再開(RESUME)

▷ 操作レバーを上方（**4**の位置）に押してください。スピード・リミッターは保存された最高速度を設定します。

インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみ、保存された最高速度を呼び出してください。

スピード・リミッターの解除

▷ 操作レバーのボタン**B**を押してください。
最後に選択した最高速度が保存されます。
スピード・リミッターのシンボル・マークが消え、クルーズ・コントロールがON（スタンバイ）になります。

駐車してイグニッションをOFFにするか、ボタン**A**を押すと、保存されている最高速度が消去されます。

自動

以下の場合、スピード・リミッターが自動的に解除されます：

– スピード・リミッターの機能が損なわれるシステム故障が発生した場合
– エアバッグが作動した場合

インフォメーション

システム故障によりスピード・リミッターが解除された場合、アクセル・ペダルを放すか、ボタン**A**または**B**を押してシステムをOFFにしたたときのみ完全に解除されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)

前走車のいない道路を走行する場合に、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)を使用すると、約30～210km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

⚠ 警告 集中力の低下

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなど、常に安全運転に努めてください。このシステムはドライバーの代わりになるものではありません。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ アダプティブ・クルーズ・コントロールの減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。

▷ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の速度で走行できない場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす恐れがあります。

▷ 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面）などでアダプティブ・クルーズ・コントロールを使用しないでください。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などを検出できません。

▷ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。

▷ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

レーダー・センサー

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、フロント・バンパー中央（**矢印**）のレーダー・センサーを使用します。

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界の妨げ

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

▷ 上記のような状況下ではアダプティブ・クルーズ・コンロールを使用しないでください。

例外

レーダー・センサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に作動を停止することがあります。

このような場合、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC/PAS 不可**」が表示されます。

▷ システムの正常な機能を維持するために、レーダー・センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
 車両のお手入れについて：
 「車両のお手入れ」(291ページ) を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ) を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの基本的な作動

前走車がいないとき – 一般道路での運転

アダプティブ・クルーズ・コンロールはクルーズ・コントロールと同様に作動します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき – フォロー・モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）を再開することができます。

追い越し加速

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が解除されます。

このとき、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC 停止中**」が表示されます。

設定された希望の速度は保存されています。

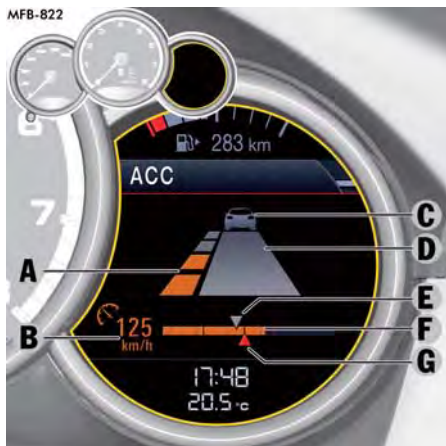
アクセル・ペダルを放すと、アダプティブ・クルーズ・コントロールは車両の速度を設定された希望の速度に調整し、自動車間距離制御を行います。

「**ACC 停止中**」の状態に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロールON時の作動モード」（182ページ）を参照してください。

インフォメーション

– アダプティブ・クルーズ・コントロールがONの場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。
– 前走車が発進したとき、アクセル・ペダルを踏んだとき、またはクルーズ・コントロール/車間距離制御がコントロール・レバーの操作により再開されたときなどにエンジンが自動的に始動します。
– アダプティブ・クルーズ・コントロールをOFFにすると、停止している車両のエンジンが自動的に始動し、ギヤが締結されている場合ゆっくり発進します。
 オート・スタート/ストップ機能に関するインフォメーション：

▷ 「オート・スタート/ストップ機能」（168ページ）を参照してください。

A - 前走車との設定車間距離
B - ステータス表示/設定速度
C - 前走車を検出
D - 前走車との現在の車間距離
E - 前走車の現在の速度
F - 速度制御範囲のバー・グラフ(0～210km/h)
G - 現在の速度

アダプティブ・クルーズ・コントロールの表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

「ACC」メイン・メニュー

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタン操作により、マルチファンクション・ディスプレイにアダプティブ・クルーズ・コントロールの操作画面を呼び出すことができます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（107ページ）を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**ACC**」
   を選択してください。

ステータス・ディスプレイ

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイ**B**が表示されます（**図を参照**）。

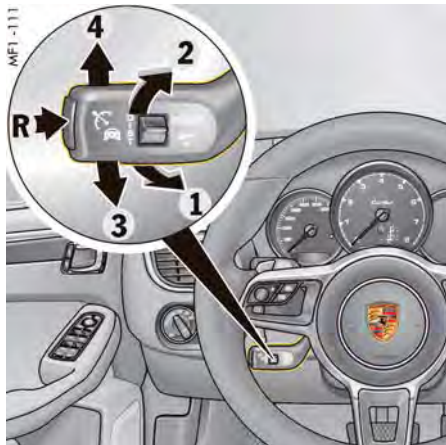
アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。

例：

アダプティブ・クルーズ・コントロールをON（スタンバイ状態）にすると、クルーズ・コントロールのシンボル・マークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズ・コントロールのシンボル・マークと設定速度が表示されます。

設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボル・マークと設定速度が表示されます。

R - アダプティブ・クルーズ・コントロールのON/OFF
1 - 加速/速度の設定
2 - 減速
3 - 中断(OFF)
4- スイッチON/クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

アダプティブ・クルーズ・コントロールの使用

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作してください。

 インフォメーション

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールのON/OFF

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにする

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロールはスタンバイ状態になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールをOFFにする

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC オフ**」が表示されます。
設定速度が消去されます。
設定車間距離が初期値（デフォルト値）にリセットされます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。
ステータス･ディスプレイ**B**が橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールのスタンバイ

ブレーキ・ペダルを踏んだときや、クルーズ・コントロール操作レバーを下方（**3**の位置、**OFF**）に押したときは、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）が解除されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス･ディスプレイ**B**が灰色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の再開に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の中断と再開」（185ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの速度超過

アクセル・ペダルを踏み込むと、自動車速制御と自動車間距離制御が解除されます。
このとき、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC 停止中**」が表示されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス･ディスプレイ**B**が灰色になります。
アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）は再開されます。

速度の設定/設定速度の変更

前提条件

– アダプティブ・クルーズ・コントロールがON
– 車両が動いている
– 前方に静止した物体を検出していない

速度の設定

1. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
   そのときの速度が保存され、自動的に維持されます（30～210km/hの制御範囲内）。ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。
   速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。
2. 自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

 インフォメーション

– 車両が30km/h未満または210km/hを超える速度で走行しているときは、30km/hまたは210km/hの設定速度が保存されます。
– 停車中にクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押すと、マルチファンクション・ディスプレイに「**ACC不可 停車中**」のメッセージが表示されます。
  前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC不可 静止物体 前方**」が表示されます。

設定速度を上げる

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
  速度が1km/h単位で上がります。
  または
  ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで前方（**1**の位置）に押し続けてください。
  速度が10km/h単位で上がります。（例えば64km/hからレバーを押すと70km/hに設定され、更にレバーを押すと80km/hに設定されます。）
  ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
  速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

設定速度を下げる

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前（**2**の位置）に素早く引いてください。
  速度が1km/h単位で下がります。
  または
  ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（**2**の位置）に引き続けてください。
  速度が10km/h単位で下がります。（例えば、64km/hで走行中にレバーを引くと、最初は60km/hに設定され、更にレバーを引くと50km/hに設定されます。）
  ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
  速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階で設定できます。

 インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクション・ディスプレイにアダプティブ・クルーズ・コントロールの「**ACC**」メイン・メニューが一時的に表示されます。
最初にロッカー・スイッチ**Z**を操作すると、設定車間距離を変更することなく、「**ACC**」メイン・メニューが表示されます。

インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

▷ ロッカー・スイッチ**Z**を上方向に押してください。
設定車間距離が長くなります。
前走車との設定車間距離を示すセグメント**A**の数が増えます。

車間距離を短くする

▷ ロッカー・スイッチ**Z**を下方向に押してください。
車間距離が短くなります。
前走車との設定車間距離を示すセグメント**A**の数が減ります。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイとステータス・ディスプレイ**B**に車両のシンボル・マーク**C**が表示されます。
灰色のゾーン**D**が、前走車との現在の車間距離を示します。

車間距離の設定オプション

走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は1秒です。この場合、120km/hのときに約33mの車間距離になります。

少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は1.3秒です。この場合、120km/hのときに約43mの車間距離になります。

デフォルト（初期設定値）
道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は1.8秒です。この場合、120km/hのときに約60mの車間距離になります。

前走車との車間距離は2.3秒です。この場合、120km/hのときに約77mの車間距離になります。

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。
インストルメント・パネルのインジケーター・ライトHOLDが点灯します。
車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD機能に関するインフォメーション：

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（220ページ）を参照してください。

インフォメーション

– 周囲の交通の流れによっては（例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では）、車両はゆっくりと徐行してから停車します。
– アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD 機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。
これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動

1. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方（4の位置、RESUME）に押してください。
   または
2. アクセル・ペダルを短く踏んでください。
   車両が自動的に再発進します。

 インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ・クルーズ・コントロールのスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方（4の位置、RESUME）に押してください。
   または
   速度を設定してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の中断と再開

OFF（自動車速制御と自動車間距離制御の中断）

▷ ブレーキ・ペダルを踏んでください。
または
ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを下方（3の位置、OFF）に押してください。
アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス・ディスプレイBが橙色から灰色に変わります。

RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方（4の位置、RESUME）に押してください。
自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、設定速度まで加速します。
または
ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方（4の位置、RESUME）で保持してください。
通常よりもスポーティーなドライビング・スタイルで、設定速度まで加速します。
ステータス・ディスプレイBが灰色から橙色に変わります。

 インフォメーション

クルーズ・コントロール操作レバーを3の位置（OFF）に押して、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

警告メッセージ

アダプティブ・クルーズ・コントロール作動中（ACC active）のドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断した場合、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**車間距離 ブレーキを操作**」が表示されます。

⚠ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールによるオート・ブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

▷ 直ちにブレーキをかけてください。

マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ

アダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に解除されたときや、正常な作動を実行できないときは、マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが青色で表示されます。

– **「ACC不可 ABS/PSM介入」**
  ABSやPSMが制御を実行しているため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「パーキング ブレーキ 解除」**
  エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動したため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「ACC不可 ギアセレクター D/Mへ切替」**
  PDKセレクター・レバーが**D**またはマニュアル・ポジション**M**の位置にないため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「ACC不可 停車中」**
  停車中のため、要求した制御（速度の設定など）を実行できません。
– **「ACC不可 回転数超過」**
  PDKセレクター・レバーが**M**のマニュアル位置のときにエンジン回転数が許容限度に到達したため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「ACC不可 傾斜過大」**
  坂道の傾斜度が大きすぎるため、速度または車間距離を設定できません。
– **「ACC不可 静止物体 前方」**
  前方に静止物を検出したため、制御を実行できません。
– **「ACC不可 PSMをONにしてください」**
  PSMがOFFになっているため、アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用できません。
  ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)に関するインフォメーション：
  「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」（215ページ）を参照してください。
– **「ACCは使用できません」**
  アダプティブ・クルーズ・コントロールが解除されています。
– **「ACC不可 ステアリング角過大」**
  ステアリングの操作が速すぎます。
– **「ACC不可 PHC有効」**
  ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)が作動中またはスタンバイ状態になっています。

一般的なインフォメーション

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モードでは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが通常の制御よりも運動性能が向上した制御になります。

トレーラー車両のけん引

トレーラー車両をけん引しているときもアダプティブ・クルーズ・コントロールを使用できます。ただし、通常に比べて運動性能が低下します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの例外

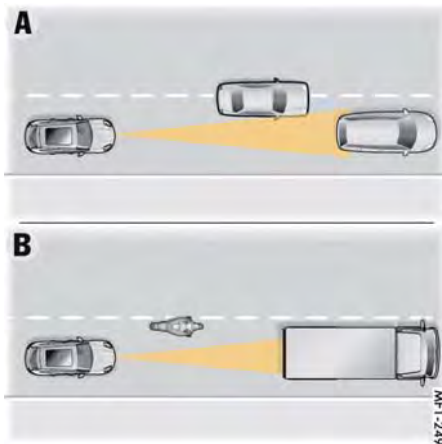
次のような状況では、アダプティブ・クルーズ・コントロールは**利用できません。**

– イグニッションがOFFのとき
– PSMがOFFのとき
– 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
– 駐車するとき、または非常に狭い場所を運転するとき
– エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
– PDKセレクター・レバーが**N**、**R**、または**P**の位置にあるとき
– 上り坂や下り坂の傾斜が20%以上のとき
– ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)が作動中（またはスタンバイ状態）のとき

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールはOFFになります。
マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

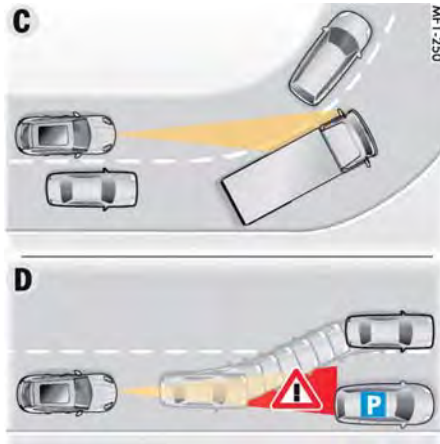
レーダー・センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。
このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検知できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。停車中の車両は検出されません。アダプティブ・クルーズ・コントロールは停車中の車両に反応できません。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 必要に応じて減速してください。

A – 前走車の車線変更/前方への割り込み

隣の車線を走行する車両が車線変更したり、前方に割り込んだときは、自車と同一車線に完全に移動するまで、その車両を検出しません。

B – 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両

小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

C – コーナーへの進入/脱出

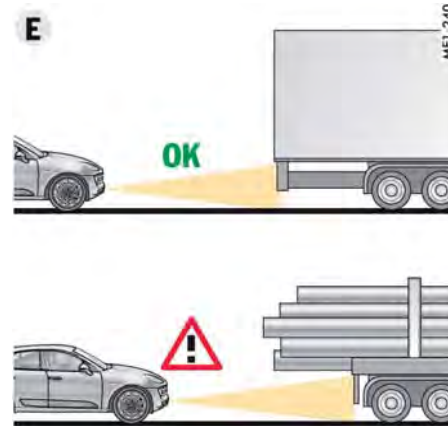
コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、早すぎるタイミングで検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D – 停車中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき（前走車が車線変更したときなど）は、アダプティブ・クルーズ・コントロールはその車両を検出しません。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは停車中の車両を検出しません。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ 必要に応じて減速してください。

E – オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後部は検出しません。

⚠ 警告 前走車の後端が正しく検出されない

前走車に長いオーバーハングがある場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーはその車両の後端を検出できないか、または正しく検出することができません。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ 必要に応じて減速してください。

アクティブ・セーフティー－「ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS)」

アダプティブ・クルーズ・コントロール・センサーは「ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)」機能に使用されます。

機能内容：

– **ブレーキ・システム・プレフィル**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・システムの圧力をあらかじめ少し高めてブレーキ・パッドをブレーキ・ディスクに軽く押し付け、制動時の応答性を向上させます。
– **ブレーキ・アシスト**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・アシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキ・アシスト機能の作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。
– **ターゲット・ブレーキ**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出し、更にブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します（必要に応じて最大の制動力まで）。

インフォメーション

すべての「ポルシェ・アクティブセーフ(PAS)」機能は約30km/h以上の速度で作動します。

MFB-825

潜在的な警告（表示）

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクション・ディスプレイに潜在的な警告を表示してドライバーに警告します。

▷ 必要に応じて前走車から離れて後方に下がってください。

MFB-824

予期警告（警告音、表示）

前走車に危険なほど近づいており、前走車と衝突しそうなことをレーダー・センサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▷ 直ちにブレーキをかけてください。

緊急警告（警告音、表示、触知）

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。

ブレーキ圧力を素早く高め、ブレーキ振動を発生させて警告します。これによりドライバーに交通状況を警告します。

警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▷ 直ちにブレーキをかけてください。

 インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

– 急カーブを走行しているとき
– ブレーキをかけているとき
– 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

「ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)」警告のON/OFF

潜在的または予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は作動状態になっています。

潜在的な警告と予期警告はマルチファンクション・ディスプレイの「**事前警告 オン**」の設定で作動できます。

設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。

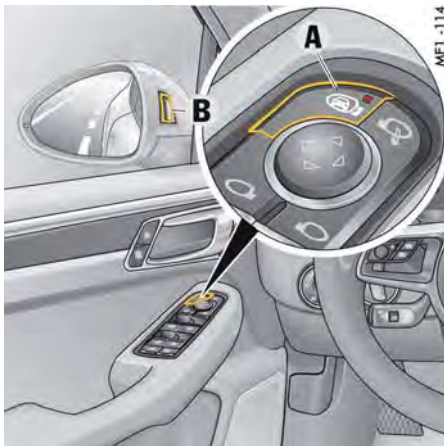
▷ 「ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)」（133ページ）を参照してください。

規格との適合（欧州圏における）

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は周波数帯域77GHzで作動するレーダー・センサーを使用します。車両を使用する国によっては、アダプティブ・クルーズ・コントロールをOFFにする必要があります。

用途に基づいて使用する場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールが「欧州議会および理事会指令1999/5/EC」の§3および他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは下記の国で使用できます。

– オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、ドイツ、英国/北アイルランド、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア（サン・マリノ、バチカン市国）、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン（アンドラ、バレアレス諸島、カナリア諸島）、スウェーデン、スイス

レーン・チェンジ・アシスト(LCA)

レーン・チェンジ・アシスト(LCA)はレーダー・センサーを使用し、車両後方の死角と交通状況をドライバーが確認することを補助します。

警告インジケーターは両方のドア・ミラーに組み込まれています。レーン・チェンジ・アシスト・システムが車両を検出したことを、左または右側のドアミラーの警告インジケーターを点灯させて表示し、車線変更を行う際の危険に注意を促します。

例えば、左ドア・ミラーの警告インジケーター**B**はドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

この警告インジケーターはドライバーがドア・ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

ドライバーが方向指示灯を操作し、レーン・チェンジ・アシストが危険とみなす車両を検出すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

レーン・チェンジ・アシストのON/OFF

レーン・チェンジ・アシストをONにする

▷ ボタン**A**を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストをOFFにする

▷ ボタン**A**を再度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

i インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストは高速道路や郊外道路での走行に役立ちます。このためシステムは約30～250km/hの速度で走行する場合に機能します。

⚠ 警告 集中力の低下

レーン・チェンジ・アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

▷ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 LCAの車両検出不良

センサーは状況により車両を検出できない場合があります。

レーン・チェンジ・アシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。

レーン・チェンジ・アシストは急カーブ（半径約100m未満のカーブ）では機能しません。

レーン・チェンジ・アシストは約30km/h以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。

▷ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界の妨げ

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

▷ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

インフォメーション

▷ レーン・チェンジ・アシストを適切に機能させるには：
リヤ・バンパーのレーダー・センサーの周囲（図を参照）をステッカー、バイク・ラックなどで塞がないでください。
この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
▷ ドア・ミラーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。
– 運転席側または助手席側ドアのサイド・ウィンドウを着色フィルムで暗くした場合、ドライバーがドア・ミラーの警告インジケーターを視認しにくくなる可能性があります。

検出エリア

レーダー・センサーの検出エリア：
– 後方の約70mの範囲
– 死角エリア

レーダー・センサーは左右の隣接レーンを検出します。その他のレーンは、レーダー・センサーで**検出されません。**

作動原理

レーン・チェンジ・アシストは自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドア・ミラーに表示します。

他車に追い抜かれるとき、または他車を追い越す場合に、警告インジケーターが点灯することがあります。

他車をゆっくり（速度差約15km/h未満）と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン・チェンジ・アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドア・ミラーには表示されません。

インフォメーションおよび警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストには、2種類の警告インジケーター・ステージがあります：
– インフォメーション・ステージ
– 警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作することで、車線変更の意思を示した場合に、該当する警告インジケーター・ステージを作動させ、ドライバーを補助します。

インフォメーション・ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーン・チェンジ・アシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーン・チェンジ・アシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドア・ミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

インフォメーション・ステージのインジケーターの明るさは、車線変更の意思がなく、路面を見て走行する際に眩惑しないよう意図的に弱くしてあります。インフォメーション・ステージの表示は、ドア・ミラーを見た際にはっきり確認できます。

警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した場合に車線変更するには危険と見なされる車両を検出すると、検出した側のドア・ミラーの警告インジケーターを明るく点滅させます。警告ステージの数回の明るい点滅は、ドア・ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

インフォメーション

ドア・ミラーの警告インジケーターの明るさは変更可能です。
▷ 「ドア・ミラーの警告表示の明るさを調節する」（194ページ）を参照してください。

運転状況 – 高速で接近する車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーは車両を検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

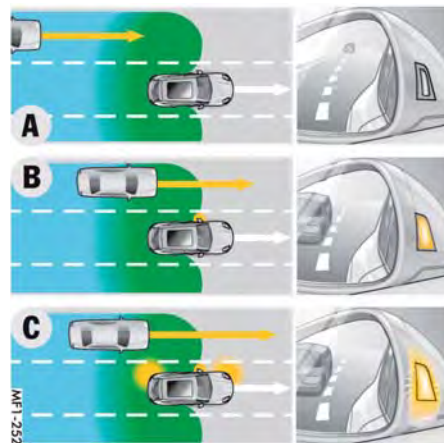
B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しました（図の例は左レーンを示しています）。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドア・ミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドア・ミラーの警告インジケーターがまだ表示されていなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

運転状況 – ゆっくりと接近する車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました（図の例は左レーンを示す）。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドア・ミラーに表示されません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

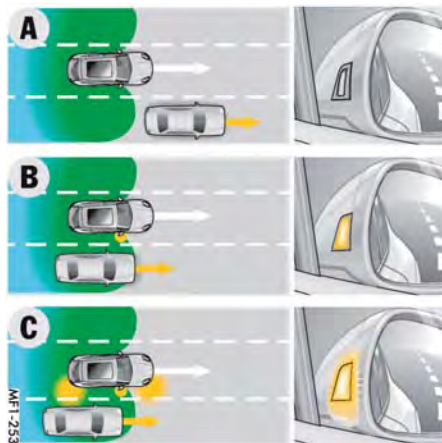
車両がゆっくりと接近してきています。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア・ミラーに表示されます。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

インフォメーション

– 車両がより高速で接近してくると、ドア・ミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
– ドア・ミラーの警告インジケーターがまだ表示されていなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

運転状況 – ゆっくりと遠ざかる車両

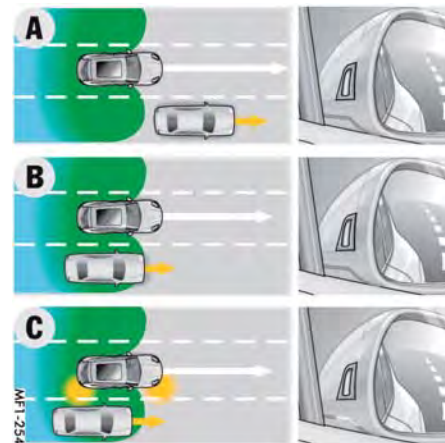
A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストはドライバーが追い越した車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

レーン・チェンジ・アシストはゆっくりと遠ざかる車両（速度差約15km/h未満）を右側車線で検出しました。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

走行状況 – 高速で遠ざかる車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストはドライバーが追い越した車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストは高速で遠ざかる車両（速度差約15km/h以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

C – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

ドア･ミラーの警告表示の明るさを調節する

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

必要に応じて、基本的な明るさをマルチファンクション･ディスプレイで調節することもできます。

▷「レーン・チェンジ・アシスト (LCA)」（133ページ）を参照してください。

周囲が非常に暗いまたは明るい場合、警告インジケーターは明るさをすでに最低または最高レベルに自動的に調整している場合があります。この場合、基本的な明るさを調整する際にドア･ミラーの警告インジケーターの明るさが著しく変化しない可能性があります。

周囲が非常に明るい、または暗い場所で基本的な明るさを変更した場合、周囲の明るさが適度な場所に戻るまで明るさの変化に気づかないことがあります。

インフォメーション

– 明るさを調整している間はレーン・チェンジ・アシストが作動しません。警告インジケーターは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

レーン・チェンジ・アシスト・システムの例外

レーン・チェンジ・アシストは以下の場合には利用できません：

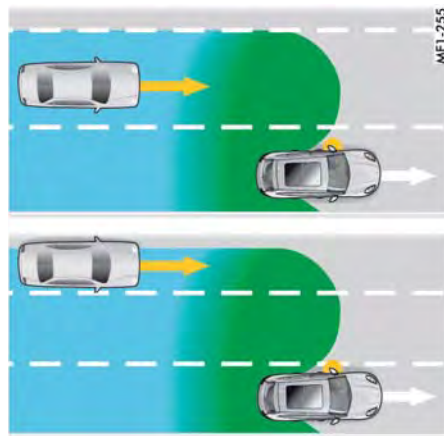
– レーン・チェンジ・アシストのレーダー・センサーが覆われていることが検出された場合
– トレーラー・ソケットにコネクターが接続された場合

システムの制限

レーン・チェンジ・アシスト・システムに関連する制限値は走行中に設定されます。

– 急カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

カーブを走行する

– レーン・チェンジ・アシストは急カーブでは車両を検出できません（約100m未満の半径のカーブ）。
– カーブを走行する場合、レーン･チェンジ･アシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドア･ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーンの幅

– 標準的な幅のレーンの場合、ドライバーがレーンの中央部またはレーンの端を走行していても、レーン・チェンジ・アシスト検出エリアは隣接するレーン（左/右）を含むよう設計されています。
– 狭いレーンを走行する場合、検出エリアにはより多くのレーンが含まれます（特にレーンの端を走行している場合）。このような状況では1つ離れたレーンを走行する車両が検出されることもあり、レーン・チェンジ・アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。
– 同様に、非常に幅の広いレーンの場合、隣のレーンの車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

 インフォメーション

– レーン・チェンジ・アシストは急カーブ、凹凸のある道路、悪天候では機能が制限されることがあります。
– レーダー・センサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。
– レーン・チェンジ・アシストはレーンの幅を測定しませんが、システムはレーンが固定した幅であると想定します。センサーはこの想定されたレーン幅で左右のレーンを検出します。狭い道を走行するとき、またはレーンの中心以外を走行している場合、レーン・チェンジ・アシストはすぐ隣のレーンを走行している車両**以外**の車両を検出することがあります。
▷ 衝突修理後などレーダー・センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずポルシェ正規販売店でレーン・チェンジ・アシスト・システムを点検してください。

規格との適合（欧州圏における）

レーン・チェンジ・アシストは2つの周波数帯域のいずれかにおいて、24GHzで作動するレーダー・センサーを使用します。

国によってはこの2つの周波数帯域のうち1つしか許可されていません。国別にポルシェ正規販売店で該当する許可された周波数帯域に設定するか、またはレーン・チェンジ・アシストを解除してください。

用途に基づいて使用する場合、レーン・チェンジ・アシストが「欧州議会および理事会指令1999/5/EC」の§3および他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。

レーン・チェンジ・アシストは下記の国で使用できます。

– オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、ドイツ、英国/北アイルランド、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア（サン・マリノ、バチカン市国）、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン（アンドラ、バレアレス諸島、カナリア諸島）、スウェーデン、スイス

制限速度表示＊

制限速度表示は、カメラ**A**を使用して、制限速度と追い越し禁止ゾーンの始点と終点を検出します。

交通標識はナビゲーション・システムの地図データと連動して評価され、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

濡れた路面、出口車線、特定時間、トレーラーけん引車両によって速度が制限されている場合、検出された追加標識の情報は車両から供給される情報（レイン・センサー、ナビゲーション・データ、時刻、トレーラー・ヒッチなど）と同期されます。

制限速度表示は国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の制限速度表示に関するインフォメーションは、取扱説明書（別冊）を参照してください。＊

＊ 日本仕様に設定はありません。

警告 集中力の低下

ドライバーは、制限速度表示に関係なく、適切な速度で走行するなど安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時は細心の注意を払ってください。制限速度表示には、車両が制限速度を超過した場合の警告機能はありません。設定した制限速度に車両の速度を調整する機能でもありません。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
▷ 交通状況に応じた速度で運転してください。

警告 交通標識を検出するカメラの不良

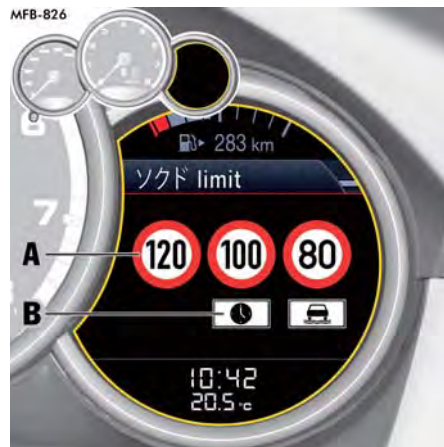
雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは交通標識を検出できない、または正しく検出できない場合があります。このような場合、制限速度が表示されなかったり、誤った制限速度が表示されることがあります。マルチファンクション・ディスプレイに表示された制限速度よりも、実際の道路交通標識を常に優先して確認してください。

▷ 走行中の道路標識に常に注意を払ってください。
▷ 十分注意して運転してください。
▷ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

インフォメーション

▷ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
ルーム・ミラー上のカメラの視界（図を参照）をステッカーなどで遮断しないでください。
▷ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
車両のお手入れについて：
「車両のお手入れ」(291ページ) を参照してください。

インフォメーション

交通標識がカメラによって検出されない場合、ナビゲーション・システムに保存されている制限速度が自動的に表示されます。

A - 主要交通標識
B - 補助標識

制限速度の表示 *

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタン操作により、マルチファンクション・ディスプレイに制限速度の表示を呼び出すことができます。

最大 3 つの主要交通標識**A**と補助標識**B**を表示できます。最も優先順位の高い交通標識が左側に表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」(107ページ) を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**速度制限**」を選択してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

イグニッションをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイに有効な最新の制限速度が表示されます。

制限速度が検出されない場合（制限速度がない高速道路など）、「**制限速度表示 認識不可**」がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

現在のエリアで制限速度表示が利用できない場合は、「**制限速度表示 現在地域では使用不可**」と表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

インフォメーション

– 交通静音化対策地域または住宅地では、制限速度表示は「5km/h」と表示されます。
– 交通標識のない高速道路や幹線道路の入口／出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

トレーラー用制限速度の表示

トレーラーけん引車両用の制限速度をマルチファンクション・ディスプレイに表示できます。

▷ 「トレーラーけん引中の制限速度表示＊」（134ページ）を参照してください。

制限速度表示の例外

以下の場合、制限速度表示の機能が制限されます：

– カメラの視界に汚れ、凍結、またはステッカーによる遮断がある
– 悪天候（豪雨など）
– 高速で走行している
– 交通標識が見えにくい状態、または損傷している

車線逸脱警告システム

車線逸脱警告システムは、気づかないうちに車線を逸脱していることを検出すると、警告音および表示によりドライバーに知らせます。システムがONの場合でも、車線変更前に方向指示灯が作動していれば、ドライバーへの警告はなされません。

カメラ**A**が車線区分線を検出し、車線のコースを継続して再計算します。

約65km/h以上で走行中、システムが車線区分線との距離が危険な状態になったことを検出すると、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線がハイライトされます。

⚠ 警告 集中力の低下

ドライバーは走行中は常に（車線逸脱警告システムが有効になっている場合は特に）安全運転に努めてください。システム自体は車両を正しい車線に維持することも、ドライバーの継続的な集中力の代わりになることもありません。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
▷ 交通状況に応じた速度で運転してください。

警告 車線を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは車線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。そのため、システムが警告を出せなくなったり、誤って警告音を鳴らしたりする恐れがあります。
▷ 十分注意して運転してください。
▷ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。

インフォメーション
▷ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
ルーム・ミラー上のカメラの視界（図を参照）をステッカーなどで遮断しないでください。
▷ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
車両のお手入れについて：
「車両のお手入れ」（291ページ）を参照してください。

インフォメーション
車線逸脱警告機能は国によって異なり、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

車線逸脱警告システムのON/OFF

車線逸脱警告システムをONにする
▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
ドライバーが気づかないうちに車線を逸脱すると、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線が橙色になります。

車線逸脱警告システムをOFFにする
▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
ドライバーが車線を逸脱しても警告は行われません。

A - ACCメイン・メニュー
B - 車線区分線の表示
C - ステータス・ディスプレイ

車線逸脱警告表示
すべての重要な情報、メッセージおよび警告はインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)装備車では、車線区分線**B**が「**ACC**」メイン・メニュー**A**に表示されます。「**ACC**」メイン・メニューを選択していない場合、車線区分線はステータス・ディスプレイ**C**に表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)非装備車では、この情報はステータス・ディスプレイ**C**にのみ表示されます。
車線逸脱警告システムが作動し、有効である場合、車線区分線は緑色になります。
車線逸脱警告システムが該当する車線区分線からの距離が危険な状態になったことを検出すると、該当する区分線が橙色になります。車線逸脱警告システムが無効である場合（走行速度が約65km/h未満など）は、車線区分線は灰色になります。

ACCメイン・メニュー

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタン操作により、マルチファンクション・ディスプレイにアダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の操作画面を呼び出すことができます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（107ページ）を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**ACC**」を選択してください。

ステータス・ディスプレイ

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)非装備車、または「**ACC**」メニューを選択していない場合、車線区分線はマルチファンクション・ディスプレイ左下のステータス・ディスプレイ**C**に表示されます。

「ACC」メイン・メニューの例：

車線逸脱警告システムがONで無効である場合、車線区分線は灰色になります。

車線逸脱警告システムがONで有効である場合、該当する車線区分線は緑色になります。

車線逸脱警告システムがONで有効である場合に、ドライバーが気づかずに車線を逸脱すると、該当する車線区分線が橙色になります。

ステータス・ディスプレイの例：

車線逸脱警告システムがONで無効である場合、車線区分線は灰色になります。

車線逸脱警告システムがONで有効である場合、車両両側の車線区分線が緑色になります。

車線逸脱警告システムがONで有効である場合に、ドライバーが気づかずに車線を逸脱すると、該当する車線区分線が橙色になります。

例えば、車線逸脱警告システムに加えてアダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)をONにすると、ステータス・ディスプレイに両方のメッセージが表示されます。

警告タイミングおよび警告音量の調整

警告音が鳴るタイミングおよび音量はインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで個別に調節できます。

▷「車線逸脱警告」（134ページ）を参照してください。

車線逸脱警告システムの例外

以下の場合、車線逸脱警告システムは利用できません：

- 方向指示器がON
- PSM作動中
- 走行しているカーブの半径が小さすぎる（約300m以下）
- ブレーキを踏む力が強すぎる
- 車線区分線が隠れている、はっきり見えない、または消えている
- カメラの視界が汚れ、凍結、またはステッカー等によって遮断されている
- 悪天候（豪雨、薄暮など）

レーン・キープ・アシスト

レーン・キープ・アシストは、ドライバーが意図せず車線を逸脱したり、方向指示灯を操作せずに車線変更をしたことを検出すると、元の車線に戻すためにステアリングの補正を行います。システムは警告音と警告表示によってドライバーに注意を促します。ドライバーはいつでも思い通りにステアリングを操作することができます。

カメラ**A**が車線区分線を検出し、車線のコースを継続して再計算します。

約65km/h以上で走行中、システムが車線区分線との距離が危険な状態になったことを検出すると、車両を元の車線に戻すためにステアリングの補正を行います。更に警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線がハイライトされます。

⚠ 警告 集中力の低下

ドライバーは走行中、レーン・キープ・アシストが有効な場合であっても常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。

▷ 交通状況に応じた速度で運転してください。

⚠ 警告 車線を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは車線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。そのため、ステアリングの補正が行われなかったり、予期しない補正を行う場合があります。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 急カーブではステアリングの補正は行われません

急カーブでは、ステアリング補正機能は車線を維持するために十分ではありません。

レーン・キープ・アシストが作動せず、ステアリングの補正は**行われません。**

▷ 十分注意して運転してください。

▷ ステアリング・ホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

インフォメーション

レーン・キープ・アシストがONの場合、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングを操作していない状態を検出すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**LKS 中断 要運転操作**」が短時間表示されます。レーン・キープ・アシストが無効である場合、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの該当する車線区分線が灰色になります。ドライバーがステアリングを操作することで、レーン・キープ・アシストは再びONになります。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

インフォメーション

▷ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
ルーム・ミラー上のカメラの視界（図を参照）をステッカーなどで遮断しないでください。

▷ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
車両のお手入れについて：
「車両のお手入れ」(291ページ)を参照してください。

レーン・キープ・アシストのON/OFF

レーン・キープ・アシストをONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
車両が車線から外れると、レーン・キープ・アシストによるステアリング補正によって、走行していた車線に戻されます。更に警告音が鳴り、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線が橙色になります。

レーン・キープ・アシストをOFFにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
ドライバーが車線を逸脱しても警告は行われません。

A - ACCメイン・メニュー
B - 車線区分線の表示
C - ステータス・ディスプレイ

レーン・キープ・アシストの表示

すべての重要な情報、メッセージおよび警告はインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)装備車では、車線区分線**B**が「**ACC**」メイン・メニュー**A**に表示されます。「**ACC**」メイン・メニューを選択していない場合、車線区分線はステータス・ディスプレイ**C**に表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)非装備車では、この情報はステータス・ディスプレイ**C**にのみ表示されます。

レーン・キープ・アシストがONで有効である場合、現在走行中の車線の区分線が緑色になります。

車両が車線区分線を逸脱すると区分線が橙色になります。

レーン・キープ・アシストが無効である場合（車線マークがないなど）は、車線区分線は灰色になります。

ACCメイン・メニュー

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタン操作により、マルチファンクション・ディスプレイにアダプティブ・クルーズ・コントロールの操作画面を呼び出すことができます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（107ページ）を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**ACC**」
を選択してください。

ステータス・ディスプレイ

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)非装備車、または「**ACC**」メニューを選択していない場合、車線区分線はマルチファンクション・ディスプレイ左下のステータス・ディスプレイ**C**に表示されます。

「ACC」メイン・メニューの例：

レーン・キープ・アシストがONで無効である場合、車線区分線は灰色になります。

レーン・キープ・アシストがONで有効である場合、現在走行中の車線の区分線が緑色になります。

レーン・キープ・アシストがONで有効である場合に、ドライバーが気づかずに車線を逸脱すると、該当する車線区分線が橙色になります。

ステータス・ディスプレイの例：

レーン・キープ・アシストがONで無効である場合、車線区分線は灰色になります。

レーン・キープ・アシストがONで有効である場合、車両両側の車線区分線が緑色になります（ステアリング補正中を含む）。

レーン・キープ・アシストがONで有効である場合に、ドライバーが気づかずに車線を逸脱すると、該当する車線区分線が橙色になります。

例えば、レーン・キープ・アシストに加えてアダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、ステータス・ディスプレイに両方のメッセージが表示されます。

警告音量の調節

警告音量はマルチファンクション・ディスプレイで個別に調整できます。

▷ 「レーン・キープ・アシスト」（135ページ）を参照してください。

レーン・キープ・アシストの例外

以下の場合、レーン・キープ・アシストは利用できません：

– 方向指示器がON
– PSM作動中およびPSMがOFFのとき
– 走行しているカーブの半径が小さすぎる
– ブレーキを踏む力が強すぎる
– ステアリング操作が連続的に検出できない
– 速度が約60km/h以下
– 車線区分線が隠れている、はっきり見えない、または消えている
– カメラの視界が汚れ、凍結、またはステッカー等によって遮断されている
– 悪天候（豪雨、薄暮など）

インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストに加えレーン・キープ・アシストがONのときに、車線変更を行うには危険とみなされる車両を検出すると、警告インジケーターが点灯している状態でもステアリングの補正を行います。

レーン・チェンジ・アシストに関するインフォメーション：

▷ 「レーン・チェンジ・アシスト(LCA)」（190ページ）を参照してください。

自動車電話＊、無線装置＊

▷ 自動車電話を使用する前に、必ず自動車電話の取扱説明書をお読みください。

▷ 運転中の電話の操作や通話については、各国の法律などを遵守してください。

⚠ 警告 運転中の自動車電話の使用

走行中、自動車電話を使用すると運転に対する注意力が低下することがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 安全上の理由から、自動車電話での通話はハンズフリー・システムのみを使用してください。

⚠ 注意 電磁波

外部アンテナに接続せずに車内で自動車電話や無線装置を使用すると、車内の電磁波のレベルが限界値を超えることがあります。

▷ 自動車電話や無線機を使用するときは必ず車外に設置した外部アンテナに接続してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・コミュニケーション・システム（PCMおよびCDRプラス）＊

▷ ポルシェ・コミュニケーション・システムを使用する前に、別冊の取扱説明書をよくお読みください。

受信の状態

ポルシェ・コミュニケーション・システムPCMまたはCDRプラスの受信状態は走行中、常に変化します。
建物、地形および天候による受信障害は避けられません。
特にFMステレオは周囲の状況変化に敏感です。

電子アクセサリーの取り付けは、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。

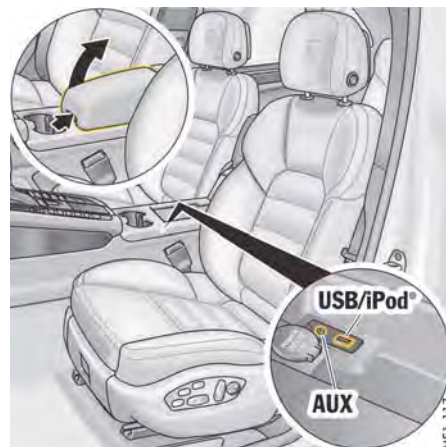
ポルシェ社がテストを実施し、承認したアクセサリーのみを使用してください。それ以外のアクセサリーを使用すると、ラジオの受信状態に悪影響を及ぼす恐れがあります。

ポルシェ・コミュニケーション・システム・カバー（SIMカードおよびCD/DVDスロット）＊

カバーを開く

▷ ハンドルをつかみ、カバーが自動的に固定されるまで下に引いてください。

カバーを閉じる

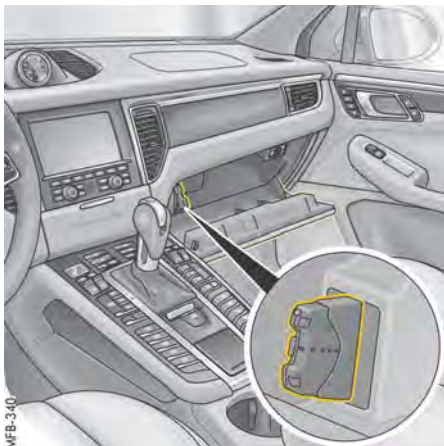
▷ 固定されているカバーのハンドルを軽く押してください。
カバーが自動的に閉じます。

USB/iPod®およびAUX＊

USB/iPod®およびAUXインターフェースは、フロント・シート間の小物入れにあります。

▷ PCM取扱説明書（別冊）＊の「外部オーディオ・ソース」の章を参照してください。

インフォメーション

車内は過酷な条件（気温の変化、湿度）になることがあるため、iPod®、USBメモリー、または外部オーディオ・ソースを長時間車内に放置しないでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ETC受信機

ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されております。

ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

ボイス・コントロール＊

ボイス・コントロール・システムを使用すると、音声によるポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊の操作ができます。

▷ PCM取扱説明書（別冊）＊の「ボイス・コントロール」の章を参照してください。

ボイス・コントロールの作動

▷ ボタンを押してください。
確認音が鳴り、最も重要な5種類の音声コマンドのヘルプ・テキストが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
音声コマンドを入力してください。

マルチファンクション・ディスプレイのヘルプ・テキストのON/OFFについては：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイにPCMおよびCDRプラスのインフォメーションを表示する＊」（129ページ）を参照してください。

ETCアンテナ

耐熱防音ガラスを装備した車両のフロント・ウィンドウの内側にETCアンテナを取り付けた場合、受信状態が制限され、作動に影響します。

▷ 受信状態を最適にするために、ETCアンテナはフロント・ウィンドウの内側のマーク位置（**図を参照**）に合わせて取り付けてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・カー・コネクト＊

スマートフォン･アプリケーション｢ポルシェ･カー・コネクト」を使用して、移動通信システムを利用して車両に接続することが可能です。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を直接車両で実行することが可能になります。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリケーションのインストール、機能および管理に関する詳細情報は www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。

車両とアプリケーション間の通信の停止

車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリケーション間の通信は、インストルメント・パネルのマルチファンクション･ディスプレイから停止できます。

▷ 「ポルシェ・カー・コネクトの設定＊」（141ページ）を参照してください。

⚠ 警告 運転中の設定および操作

運転中にアプリケーションを使用すると運転に対する注意力が低下することがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 操作、設定は必ず車両を停車させてから行ってください。

インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリケーションを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。第三者の不正なアクセスからデータを保護してください。

インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリケーションを使用すると、データは移動通信システムにより送信されるため、サービス・プロバイダーから追加費用を請求される場合があります。

Porsche Doppelkupplung(PDK)

Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。

オートマチック・モード（セレクター・レバーが**D**の位置）では、変速が自動的に行われます。

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのシフト・パドルを操作することにより、一時的にオートマチック・モードからマニュアル・モードに切り替えることができます。

マニュアル・モード（セレクター・レバーが**M**の位置）では、マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのシフト・パドルの操作、またはセレクター・レバーを前後に押すことで変速できます。

セレクター・レバーの**D**と**M**は、走行中でも切り替えることができます。

現在のギヤは、**D**から**M**にシフトしてもそのまま維持されます。

Mから**D**にシフトした場合は、現在のドライビング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

インフォメーション

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのシフト・パドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

セレクター・レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター・レバーは動かないように**P**位置に固定されます。セレクター・レバーは下記の一連の操作を行った場合のみ、**P**の位置から動かすことができます：

– イグニッションをONにしてください。
– ブレーキ・ペダルを踏んでください。
– ロック解除ボタン（**矢印**）を押してください。

ロック解除ボタン

セレクター・レバーのロック解除ボタン（**矢印**）は、ギヤ・シフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクター・レバーを**R**または**P**の位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

電気系統に故障がある場合は、セレクター・レバーを操作することができません。

▷ セレクター・レバーが動かなくなった場合の緊急ロック解除に関するインフォメーション：
「PDKセレクター・レバーの緊急解除」（212ページ）を参照してください。

始動

セレクター・レバーが**P**または**N**の位置にあり、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、エンジンを始動できます。

発進

▷ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（**D**、**M**、**R**）にシフトしてください。
▷ セレクター・レバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキ・ペダルから足を放さないでください。
▷ ギヤを選択した後、ギヤがシフトされたことを感じるまで加速しないでください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（220ページ）を参照してください。

停止

▷ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを走行位置のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
▷ 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
▷ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

エレクトリック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（171ページ）を参照してください。

駐車

▷ アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
▷ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。

けん引による始動、けん引

▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（332ページ）を参照してください。

セレクター・レバー・ポジション

セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

エンジン作動中に、セレクター・レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合

影響：

– インストルメント・パネルの対応するセレクター・レバー・ポジションが点滅します。

処置：

▷ フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクター・レバーが**P**または**N**位置から動いてギヤに入ってしまった場合（故障または誤った操作で）、シフト・インジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。

▷ 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望するギヤに入れてください。

インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因：

– フット・ブレーキを踏まずにセレクター・レバーを切り替えた

処置：

▷ ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望するギヤに入れてください。

トランスミッションに異常がある場合：

– マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**T/M故障 リバースギヤ不可運転可能**」または「**T/M故障 安全に停車してください**」または「**T/M温度 高すぎる 負荷を下げる**」が表示されます。

▷ 「走行制限プログラム」（212ページ）を参照してください。

▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セレクター・レバー・ポジション

P – パーキング・ロック

セレクター・レバーを**P**の位置にすると、駆動輪は機械的にロックされます。

▷ 車両が完全に停止してからパーキング・ロックをかけてください。

▷ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させた**後に**パーキング・ロックをかけてください。また、エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除する**前に**パーキング・ロックを解除してください。

▷ 車両から離れる前に必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキをかけてください。

エレクトリック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：
「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（171ページ）を参照してください。

キーは、セレクター・レバーが**P**の位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

R – リバース・ギヤ

▷ 車両が完全に停止した状態で、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N – ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

▷ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときにのみ、走行位置（**D**、**M**、**R**）にシフトしてください。

D – オートマチック・モード

▷「通常」の走行時には、セレクター・レバーのDの位置を使用してください。
速度とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

ドライバーのドライビング・スタイル（エコ走行、快適走行、またはスポーティーな走行）や、車両に作用する負荷（坂道など）に応じて、ギヤが切り替わるタイミングがエンジン低回転域から高回転域まで変化します。また変速の特性は、アクセル・ペダルの踏み込み方、車速、エンジン回転数、前後方向の加速度、横方向の加速度および地形に応じて変化します。

▷ コーナー手前などで素早くアクセル・ペダルを戻すと、不必要なシフトアップを回避できます。

コーナリング中は横方向の加速度に応じて、エンジン回転数がレブリミットに達するまでシフトアップは行われません。

ブレーキを踏むと、減速の程度に応じてPDKトランスミッションが早めにシフトダウンします。

コーナー手前でブレーキをかけると最適なギヤが選択されます。適切なギヤでコーナリングすることができます。これらの機能により、コーナーを曲がりきってアクセルを踏むときにシフトダウンする必要はありません。

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのギヤ・シフト操作

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのギヤ・シフト操作により、一時的にオートマチック・モードDからマニュアル・モードMに切り替えることができます。

次のような状況では、マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールでのギヤ・シフトが役立ちます。

– カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
– 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
– 急加速時にシフトダウンしたいとき

次の場合は、マニュアル・モードが維持されます：

– コーナリング時（横方向の加速度に応じて）やオーバーラン時
– 車両が交差点などで停車した場合

次の場合は、オートマチック・モードに戻ります：

– コーナリング時やオーバーラン時以外は自動的に約7秒後

惰性走行モードで走行する

環境に配慮した運転をしたい時は、惰性走行モードで燃料を節約することができます。車両はエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

自動惰性走行モードの作動条件

– セレクター・レバー D位置で走行している
– オート・スタート/ストップ機能/惰性走行モードがONである
Aボタンのインジケーター・ライトが消灯している
– スポーツ、スポーツ・プラス・モードおよびオフロード・モードがOFFである
– PSMが作動している
– クルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コンロールが作動していない
– エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
– 穏やかな/エコ走行スタイル
– ゆるやかな上り/下り勾配

▷ ゆっくりとアクセル・ペダルから足を放してください。
エンジンは切り離され、アイドル回転数で走行します。走行中、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

惰性走行モードは、タコメーターに表示されるアイドル回転数で認識できます。

インフォメーション

スポーツ走行や素早くアクセル・ペダルを戻した場合は、エンジン・ブレーキを使用できるように惰性走行モードは抑制されます。急な上り坂では、傾斜の影響で惰性走行距離が短くなり、十分な燃料の節約ができないため、「惰性走行」が行われない場合があります。急な下り坂などでは、エンジン・ブレーキがかかっていても減速せず、オーバーラン・カットオフにより燃料が消費されないため、惰性走行モードの作動は抑制されます。

惰性走行モードを終了する/エンジン・ブレーキを使用する

▷ アクセル・ペダルまたはブレーキ・ペダルを踏んでください。
または
シフト・パドルを操作してください。
または
セレクター・レバーでギヤをシフトしてください。

惰性走行モードを手動で開始する

– セレクター・レバー D 位置または M 位置で走行する。

惰性走行モードが抑制されている場合（スポーツ走行、アクセル・ペダルを急に放す、またはエンジン温度が非常に低い場合など）に、惰性走行モードを手動で開始することができます。

▷ アクセル・ペダルから足を放し、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを使用して、可能な最も高いギヤにシフトしてください。

オート・スタート/ストップ・ボタンを使用した惰性走行モードのON/OFF

OFFにする

▷ Ⓐボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
惰性走行モードがOFFになり、エンジンの自動停止が抑制されます。

ONにする

▷ Ⓐボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
惰性走行モードがONになり、車両が停止すると自動的にエンジンが停止します。

「スポーツ」モードが作動しているとき

PDKトランスミッションがスポーティーな変速特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。
ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。

減速時のシフトダウンが早いタイミングで実行されます。またエンジン回転数が高いときでも、わずかな減速でシフトダウンされます。

▷ 「「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード」（232ページ）を参照してください。

「スポーツ・プラス」モードが作動しているとき

「スポーツ・プラス」モードでは、PDKトランスミッションがレース・サーキットでの走行に適したシフト特性に切り替わります。
「スポーツ」モードと比べて、ギヤチェンジ性能が更に格段に向上します。

▷ 「「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード」（232ページ）を参照してください。

キックダウン

キックダウン機能はセレクター・レバーが**D**または**M**のときに機能します。

▷ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル・ペダルをフルスロットルよりも更に（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。

速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。
そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

ローンチ・コントロールを使用した発進

ローンチ・コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

⚠ 警告 車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。そのため、車両のコントロールが失われたり、他のドライバーに危険が及ぶ恐れがあります。

▷ ローンチ・コントロールはサーキットでの使用をお薦めします。
▷ 路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合に限って、ローンチ・コントロールを使用してください。
▷ 他の通行者を危険にさらしたり、他人の迷惑になるような状況ではローンチ・コントロールを使用しないでください。

知識

通常の発進に比べ、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。ローンチ・コントロールの使用回数には制限があります。
ローンチ・コントロールを多用した場合、トランスミッションを損傷する恐れがあります。

▷ 十分注意してローンチ・コントロールを使用してください。

作動条件

– ローンチ・コントロールはエンジンが作動温度になってから使用してください。
– 「スポーツ・プラス」モードをONにしてください（ボタンのインジケーター・ライトが点灯し、SPORT PLUSがデジタル・スピードメーターとステアリング・ホイールに表示されます）。

1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル・ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください（キックダウンが作動）。
   エンジン回転数が約5,000rpm（Macan Sディーゼル＊では約3,400rpm）に維持されます。
   マルチファンクション・ディスプレイに「**ローンチコントロールが有効です**」と表示されます。
3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

ローンチ・コントロール状態で長時間停車しているとトランスミッションに過負荷がかかります。
トランスミッションの損傷を防ぐため、エンジン出力が制限されてローンチ・コントロールのプロセスがキャンセルされます。

インフォメーション

発進するには、最初にアクセル・ペダルを完全に放してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

「オフロード・モード」が作動しているとき

トランスミッションがオフロード用の変速特性に切り替わります。

変速ポイントは様々な地形に対応して最適なコントロールができるように選択されます。

急な下り坂では、エンジン回転数が中速域に達するまでシフトアップは行われません。

 インフォメーション

オフロード・モード中のマニュアル・モード**M**では、エンジン回転数がレブリミットに達しても、自動的なシフトアップは行われません。

PDKセレクター・レバー

M – マニュアル・モード

現在のギヤは、**D**から**M**にシフトしてもそのまま維持されます。

Mから**D**にシフトした場合は、現在のドライビング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

セレクター・レバーおよびステアリング・ホイール・スポークの後ろの2つのシフト・パドルによって、快適で正確な7速前進ギヤのシフト・チェンジができます。

シフト・パドル付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

▷ PDKセレクター・レバーを前方に押してください。またはマルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの右側シフト・パドルを手前に引いてください。

セレクター・レバーまたは左「−」シフト・パドルでのシフトダウン

▷ PDKセレクター・レバー、またはマルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの左側シフト・パドルを手前に引いてください。

インフォメーション

ノーマル、スポーツおよびスポーツ・プラス・モード

セレクター・レバーが**M**の位置にあるときは、エンジンが許容最高回転数に達しても自動的にシフトアップされません。

アクセル・ペダルをフルスロットル位置よりも更に踏み込む（キックダウン操作）ことにより、シフトアップ禁止制御をキャンセルすることができます。

速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションは最適な低いギヤにシフトダウンされます。

例えば、追い越し加速中などでエンジンが最高回転数に達したときでも自動的なシフトアップは実行されませんが、キックダウン操作を行うとシフトアップすることができます。

 インフォメーション

オフロード・モード

オフロード・モードでは、セレクター・レバーが**M**の位置にあるときは、キックダウン機能は使用できません。

例えば、追い越し加速中などでエンジンが許容最高回転数に達したときでも自動的なシフトアップは実行されません。右側シフト・パドル(+)を手前に引くか、またはセレクター・レバーを短く(+)方向に押すことでのみシフトアップすることができます。

▷ 「オフロード・モード」(223ページ) を参照してください。

セレクター・レバーまたはシフト・パドルの連続操作による素早いギヤシフト

シフト・パドル、またはセレクター・レバーを素早く連続操作した数と同じ数のギヤ段をシフトアップまたはダウンできます。変速したときにエンジンの回転数が最高回転数または最低回転数を超える場合、トランスミッションを保護するため、コントロール・ユニットは変速を行いません。

マニュアル・モードの故障

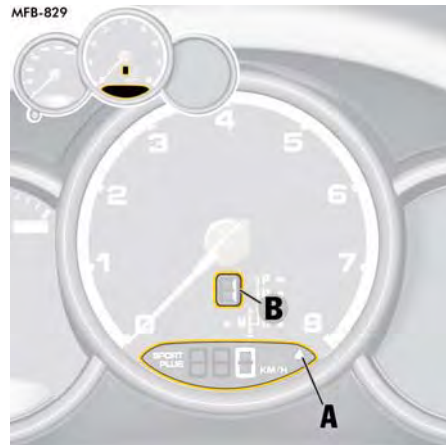
マニュアル・モードで異常が発生した場合は、電子制御システムによりオートマチック・モードに切り替わります。

このとき、インストルメント・パネルにセレクター・レバー位置**D**が表示されます。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

 インフォメーション

– 速度とエンジン回転数に応じて、いつでもシフトアップ/シフトダウンが可能です。
– アイドル回転数に達する直前に自動的にシフトダウンされます。

▷ 上り坂ではエンジン・パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン・ブレーキがかかるように、適切な低いギヤにシフトダウンしてください。

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケーター

タコメーター内のデジタル・スピードメーター右横にあるシフトアップ・インジケーター**A**は、経済的な運転を促すシフトアップのタイミングを知らせます。

現在選択しているギヤ**B**、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▷ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

走行制限プログラム

トランスミッションに故障が発生した場合

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに以下の警告メッセージが表示されます：

T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能

影響：
– スムーズな変速ができなくなります。
– リバース・ギヤに入らないことがあります。

処置：
▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
または

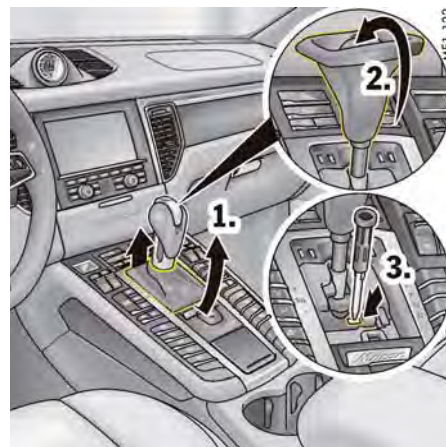
T/M故障安全に停車してください

影響：
– 次に停車するまでは走行が可能です。

処置：
▷ そのまま運転を続行することはできません。
直ちに安全な場所に停車してください。
ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。
「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（332ページ）を参照してください。
または

T/M温度高すぎる 負荷を下げる

影響：
– 車両発進時にエンジン出力が制限されます。

処置：
▷ 例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。フット・ブレーキをかけて停車してください。エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。警告が消えるまでセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。

PDKセレクター・レバーの緊急解除

電気系統に故障が発生した場合、セレクター・レバーを**N**位置に動かすためには、セレクター・レバーの緊急解除を行う必要があります。（車両をけん引するときなど）

知識

車両が不意に動き出して損傷する恐れがあります。PDKセレクター・レバーを緊急解除している場合は、車両が動き出さないように固定されていません。
▷ 緊急解除を行う前に、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させるか、必要に応じて輪止めを使用して、車両が動き出すのを防止してください。
「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（171ページ）を参照してください。
「車両の固定」（309ページ）を参照してください。

セレクター・レバーの解除

1. 最初に、シフト・カバーのフレームを握って前側のクリップを外し、後ろ側のクリップを外してください。
2. シフト・カバーを引き上げてセレクター・レバーから外してください。
3. 工具セットのスクリュードライバーを緊急解除用の開口部（黄色のプラスチック部分）に差し込み、スプリングの反発力に対抗して押し下げてください。
   同時にセレクター・レバーの解除ボタンをしっかりと押して、セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

工具セットに関するインフォメーション：

▷ 「工具セット」（300ページ）を参照してください。

トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

車両にはパワー・トランスミッションおよびシャーシに作用する全コントロール・システムで構築された、複合一体型システムが搭載されています。
この連携作動により、走行安全性を最大限に高めつつ、優れたドライビング・パフォーマンスを実現します。
車両の装備仕様により、次のコントロール・システムを備えています：

システム/名称	適用
PTM ポルシェ・トラクション・マネージメント	– マップ・コントロール多板クラッチ付き可変電子制御4WDシステム
PSM ポルシェ・スタビリティ・マネージメント	– ドライビング・スタビリティ・コントロール – アンチロック・ブレーキ・システム(ABS) – ブレーキ・システム・プレフィル – ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト） – オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD) – アンチ・スリップ・コントロール(ASR) – エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR) – ステアリング・トルク・アシスト – HOLD機能：停止制御 – トレーラー・スタビリティ・マネージメント
PTVプラス ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス	– より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御 – 可変電子制御式リヤ・ディファレンシャル・ロック
PASM ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	– 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム
エア・サスペンション レベル・コントロールおよび車高調整機能付き	– インテグレーテッド・ショックアブソーバー付きフルロード・ベアリング・エア・スプリング・ストラット（フロント・アクスル）、セパレート・ショックアブソーバー付きフルロード・ベアリング・エア・スプリング・ストラット（リヤ・アクスル） –「スポーツ・プラス」モードのロー・レベル設定付き車高調整機能、およびオフロード・モードのレベル設定 – プレッシャー・アキュムレーター付きエア・サプライ・システム

ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)

ポルシェ・トラクション・マネージメントは、車両前後方向および横方向のドライビング・ダイナミクスを高めるアクティブ4輪コントロール・システムです。

リヤ・アクスルは常に駆動され、フロント・アクスルへの駆動力は走行状態に合わせて配分されます。

PSMと連動して、PTMシステムはあらゆる走行状態で4輪の駆動力を適切に配分します。

このシステムにより、特に滑りやすい路面でトラクションが向上します。更に走行安定性が向上し、俊敏でダイナミックなレスポンスを実現します。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PTMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PTMまたは4WDが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PTMまたは4WDは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

PTMの利点

– 車両のトラクション、走行安定性、ステアリング性能が大幅に向上します。
– 性能限界域で走行しているときのコントロール性が高まります。
– 直進安定性が向上します。
– 4WDの利点をフルに活用すれば、よりスポーティーな車両設定が可能です。
– アンチ・スリップ・コントロール(ASR)、オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)およびポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス（PTVプラス）により更に4輪のトラクションが向上します。

ASRおよびABDに関するインフォメーション：

▷「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」（215ページ）を参照してください。

PTVプラスに関するインフォメーション：

▷「ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス（PTVプラス）」（220ページ）を参照してください。

マルチファンクション･ディスプレイに表示されるフロントおよびリヤ･ホイール間の現在のトルク配分に関するインフォメーション：

▷「4輪駆動メニュー」（123ページ）を参照してください。

ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

PSMの利点

– 様々な路面状況、運転状況で最適なトラクション性能と直進安定性を確保します。
– コーナリング中、ドライバーがアクセル・ペダルやブレーキ・ペダルから足を放したときの安定性の損失を補正します。この補正は、対横G限界に達するまで持続します。
– PSM は、車線変更や連続したカーブでの急なステアリング操作を行ったときなどに積極的に走行安定性を維持します。
– コーナリング中や変化に富んだ路面状況下でブレーキをかけたときの走行安定性を確保します。
– 急ブレーキをかけたときの制動力を高め、制動距離を短くします。
– トレーラー・スタビリティー・マネージメントが、トレーラー車両の不安定な挙動を検出して走行安定性を高めます。

作動条件

PSMは、エンジンを始動すると自動的にONになります。

機能

センサーが常に車両の状態を監視しています：
– 走行速度
– 作動方向（ステアリング角）
– 横方向加速度
– 縦方向加速度
– 上下軸の回転率

PSMはこれらの数値を利用して、ドライバーの望む進行方向を検出します。
PSMは、ステアリングの切れ角と実際の進行方向の偏差を検出し、その偏差を補正するため、必要に応じて個々のホイールにブレーキをかけます。更に必要であれば、エンジン出力の制御を行います。次の状況ではPSMがドライバーに危険を知らせ、路面状況や走行状態に応じた運転を促します：
– インストルメント・パネルの PSM 警告灯が点滅します。
– 油圧作動音が聞こえます。
– PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
– エンジン出力が低下します。
– ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。
  このような場合は最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルを踏む力を弱めず、更に強く踏み込んでください。

PSMの作動例

– コーナリング中、「フロント・ホイールの横滑り」をセンサーが検出すると、エンジン出力を抑えます。更に、必要に応じてコーナー内側のリヤ・ホイールにブレーキをかけます。
– コーナリング中、リヤ・ホイールの横滑りをセンサーが検出すると、コーナー外側のフロント・ホイールにブレーキをかけ、軌道を修正します。
– ブレーキ予圧：
  ドライバーがアクセル・ペダルから素早く足を放すと、急ブレーキに備えてブレーキ・システムの圧力を少し高めます。このときブレーキ・パッドが弱い力でブレーキ・ディスクに押し付けられ、ドライバーが急ブレーキをかけたときに素早く制動力が立ち上がるようにします。
– ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト）：
  急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏む力が弱いと、ブレーキ・ブースターが4輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。

PSMおよびPTVプラスの連動作動

車両の安定性を最大限確保するため、PTVプラス装備車でPSMの介入が発生した場合、リヤ・ディファレンシャル・ロックが調節されます。

PSMおよびPTMの連動作動

車両の安定性を最大限確保するため、PSMの介入により、フロントとリヤ・ホイール間で適切なトルク配分を行います。
PSMをOFFにしても、PTMに不具合が発生するとPSMは自動的にONになります。
ボタンを再度押すとPSMはOFFになります。

オフロードPSM（オフロード走行プログラムのPSM）

オフロード・モードが作動した場合、特にオフロード走行に適したオフロードPSMが作動し、自動的にトラクションを強化します。
オフロード走行プログラムが設定されている場合、低速走行時にオフロードPSMの反応が遅くなり、様々な地形に対する安定性を向上させます。

オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)

ABDシステムは、フロントおよびリヤ・アクスルを個別に制御します。いずれかのアクスルで一方のホイールが空転しはじめると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

ABDは走行状況を検出し、適切な制御方法で作動します。水平な砂利道で発進する場合など、トラクションがほとんどかからない状況では、エンジン低回転域からトラクション・コントロールが作動します。上り坂での発進や急加速時など、大きな推進力が必要な場合、その状況に応じてABDシステムが作動します。

アンチ・スリップ・コントロール(ASR)

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかける場合に運転者のステアリング・アシストを行います。
カウンター・ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

マルチコリジョン・ブレーキング

マルチコリジョン・ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

作動条件

マルチコリジョン・ブレーキングは以下の場合にのみ作動します：

– 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
– エアバッグ・コントロール・ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき
– 車速約10km/h以上で走行しているときに事故に遭った場合

インフォメーション

事故後にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させます。

例外

以下の状況では自動的にブレーキが作動しません：

– ドライバーが急激にアクセル・ペダルを踏んだとき
– ドライバーがブレーキ・ペダルを踏み込んだときのブレーキ油圧がシステムのブレーキ油圧より高いとき

PSMをOFFにする

▷ ボタンを1秒以上押してください。
ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。
ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。マルチファンクション・ディスプレイに「**PSM オフ**」警告が表示されます。

車両の安定度に応じて、ブレーキ力が増加したとき、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。

片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしていてもブレーキをかけて空転を抑制します。

⚠ 警告 PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御範囲外の走行状況でPSMサポートが行われません。
▷ 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨いたします。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：
– ぬかるんだ路面（砂など）
– 深い積雪路
– ぬかるみなどから脱出するとき

インフォメーション

– PSM OFF時でもブレーキ・システム予圧機能が高い制動性能を維持します。
– PSMをOFFにすると、ホイールの個別ブレーキ制御や、アンチ・スリップ・コントロール(ASR)の作動もOFFになります。
なおオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)はOFFになりません。
– PSMがOFFになっている場合、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)も解除されます。

PSMを再度ONにする

▷ ボタンを押してください。
直ちにPSMが復帰します。
ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が消灯します。
マルチファンクション・ディスプレイに「**PSM オン**」のメッセージが表示されます。

インフォメーション

PSMがOFFでパノラマ・ルーフが開いているとき、車速が約120km/h以上になるとPSMは自動的にONになります。

「スポーツ・プラス」モード

「スポーツ・プラス」モードをONにすると、よりスポーティーな走行が可能となります。
PSMの作動はノーマル・モードより遅めになります。ドライバーは緊急時のPSMの介入を無効にすることなく、性能限界値ぎりぎりで車両をより機敏に操ることができます。これにより、特にドライ・コンディションのサーキットではラップ・タイムの短縮に貢献します。

PSM 警告灯

– イグニッションをONにすると、ライト作動点検のためにインストルメント・パネルのPSM警告灯が点灯します。
– インジケーター・ライトは、PSMが作動していることを示します。PSMが解除されているときでも、片方の駆動輪がスピンしてブレーキ制御した場合は点灯します。
– 警告灯およびマルチファンクション・ディスプレイの警告がPSMに不具合が発生したことを表示します。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**故障 PSM 整備工場へ 慎重に走行して下さい**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。
▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コラプシブル・スペア・ホイール

▷ コラプシブル・スペア・ホイールを装着して走行している場合は、PSMをOFFにしないでください。

けん引

▷ けん引に関するインフォメーション：
「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(332ページ）を参照してください。

トレーラー・スタビリティ・マネージメント

(国別仕様により異なる)
トレーラー・スタビリティー・マネージメントは、PSMの機能の一部です。
トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、トレーラー車両の不安定な横揺れを検出します。
このような危険な走行状況を検出すると、挙動が安定するまでフロント・アクスルのブレーキに個別にブレーキをかけます。ドライバーはこの時点ではまだトレーラー車両を加速させることができます。より大きな横揺れが発生した場合、トレーラー・スタビリティー・マネージメント機能は挙動が安定するまで車両にブレーキをかけます。

ただし、トレーラー・スタビリティ・マネージメントはあらゆる状況で走行安定性を確保できるものではありません。例えば滑りやすい路面やぬかるんだ路面では、トレーラー車両のジャックナイフ現象が発生する恐れがあります。トレーラー車両の重心位置が高いと、転倒する恐れがあります。

▷ この制御が作動したときは、慎重にステアリングを操作してください。
▷ トレーラー車両をけん引するときの運転に関するインフォメーション：
「トレーラーを連結しての運転」（256ページ）を参照してください。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

トレーラー・スタビリティ・マネージメントを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。トレーラー・スタビリティ・マネージメントが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。
トレーラー・スタビリティ・マネージメントは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

⚠ 警告 トレーラーのジャックナイフ現象

滑りやすい路面やぬかるみなどで、トレーラー車両のジャックナイフ現象が発生した場合、トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、走行安定性を維持することができません。

▷ 路面状況に応じた適切な運転を心がけてください。

⚠ 警告 トレーラーの横転

トレーラー車両の重心位置が高いと、転倒する恐れがあります。

▷ 慎重に運転してください。

⚠ 警告 速度超過

トレーラー車両をけん引するときは、道路条件、交通状況、路面状態、車両/トレーラー車両重量に合わせて適切な速度で運転してください。トレーラーけん引中の速度の出し過ぎは、車両およびトレーラーのコントロールを失う可能性があります。

▷ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。
▷ トレーラー車両を連結した場合の走行安定性は、速度が上がるにつれて悪化します。下り坂や悪路、悪天候（強風）のときは特に速度を落として運転してください。
▷ 長い下り坂では適切な低速ギヤに入れ、エンジン・ブレーキを使用してください。
▷ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。
やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。
▷ トレーラー車両が軌道から外れたときは、直ちに減速してください。カウンターステアで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。車両とトレーラー車両の姿勢をまっすぐに立て直すために加速しないでください。

最大けん引重量およびトレーラー車両の最大重量に関するインフォメーション：

▷ 「重量（メーカー発表値）」（344ページ）を参照してください。

前提条件

– トレーラー・コネクターが接続され、トレーラー車両が検出されていること。
– トレーラーのライト類（ライト、ブレーキ・ライト、インジケーター）が正常に作動すること。
– 方向指示灯をセットすると、インストルメント・パネル上でトレーラーの方向指示灯インジケーター・ライトが作動すること。「タコメーターの警告灯およびインジケーター・ライト」（102ページ）を参照してください。
– トレーラー車両の整備状況が良好であること。

作動条件

– トレーラー・スタビリティー・マネージメントは、PSMがONのときに約65km/h以上の速度で作動します。

▷ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。

ℹ インフォメーション

– PSMをOFFにすると、トレーラー・スタビリティ・マネージメントの作動もOFFになります。
– ブレーキ・ペダルを踏むと、PSMがOFFでもトレーラー・スタビリティ・マネージメントがONになります。
– 電動可倒式トレーラー・ヒッチ装備車両では、ヒッチを完全に拡張させ、作動位置にしてください。

ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス（PTVプラス）

ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラスは車両にかかる縦方向と横方向の加速度によって、リヤ・ディファレンシャルの制御を行います。リヤ・アクスルのブレーキ制御とともに電子制御式リミテッド・スリップ・ディファレンシャルによる制御を行います。

以下の利点があります：

- 高速走行時の走行安定性の向上
- 車両安定性およびコーナリング性能の向上
- 特に滑りやすい路面でのトラクションの大幅な向上
- 特に急なカーブでの俊敏性

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PTVプラスを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PTVプラス機能が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。
PTVプラスは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

HOLD機能：発進アシスタント、停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。
この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。
HOLD機能が作動すると、メーター・パネルの表示灯HOLDが点灯します。

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合、HOLD機能は自動ブレーキの後、停止した車両を保持します。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

HOLD機能が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。上り坂で発進するときは、HOLD機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。
HOLD機能によるアシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。このような路面では車両がスリップすることがあります。

▷ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

HOLD機能が機能していないときは、坂道発進時に運転支援を利用することはできません。

▷ フット・ブレーキをかけて停車してください。

i インフォメーション

- 車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。
  エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。
- HOLD機能が作動中に運転席ドアを開いた場合、または運転席ドアが開いている状態でドライバーが運転席シートベルトを外した場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。
  エレクトリック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（171ページ）を参照してください。

HOLD機能の例外

次のような状況では、HOLD機能は利用できません：

- PDKセレクター・レバーが**P**または**N**の位置にあるとき
  HOLD機能が作動中にPDKセレクター・レバーを操作すると、HOLD機能は解除されます。
- 車両が停止していない
- エンジンが停止している
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない
- 坂道の勾配率が5%以下のとき

インフォメーション

– 車両が停止している間に素早くブレーキ・ペダルを踏み込むと、勾配に関係なくHOLD機能が作動します。
  この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、PDKセレクター・レバーを操作しても、HOLD機能は解除されません。
– アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。
– ブレーキを使用せずに急な上り坂で車両を停止した場合、HOLD機能で車両が維持される前に後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフット・ブレーキを踏んで後退を抑制することができます。
▷ フット･ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

ABSブレーキ・システム（アンチロック･ブレーキ･システム）

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。
ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABSの特徴：

– **ステアリングの操作性の確保**
  安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
– **優れた走行安定性**
  ホイール・ロックによるスリップを回避します。
– **制動距離の短縮**
  ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
– **ホイール・ロックの回避**
  ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット・スポットを回避できます。

機能

ABSが最も効果を発揮するのは､緊急回避が必要な状況でブレーキをかけたときです。このような状況下でABSは走行安定性を確保し､安定したステアリング・コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までスリップ（ホイール・ロック）を回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたとき（急ブレーキ時）にABSは作動しはじめます。このときドライバーは、ABSのコントロール状況（大変小刻みなポンピング･ブレーキをかけるような状態）をブレーキ・ペダルの脈動とノイズから感じ取ることができます。

この脈動やノイズは､ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。
▷ 急ブレーキ操作が必要な場面では、安全な速度になるまでしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください｡ABSが作動してブレーキ・ペダルが振動しても、ペダルを踏む力をゆるめないでください。

ABS 警告灯

エンジン作動中もインストルメント･パネルにABS警告灯が点灯する場合、何らかの不具合によりABSの作動がOFFになっていることを示します。
インストルメント・パネルのマルチファンクション･ディスプレイに黄色の警告メッセージ「**故障 ABS/PSM 慎重に走行してください**」が表示されます。

マルチファンクション･ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

この場合、ブレーキ・システムはロックを回避できない状態、つまりABSを装備していない車両と同じ作動になります。
▷ 制動性能の変化に合わせて慎重に運転してください。
  更に思わぬ悪影響を及ぼすような不具合の発生を防止するため、ポルシェ正規販売店でABSの点検を受けてください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ABSコントロール・ユニットは、ポルシェ社が認可した正規サイズのタイヤに合わせてプログラム調整されています。
不正なタイヤを使用した場合、プログラムと異なったホイール回転速度が検出され、ABSがOFFになることがあります。

オフロードABS（オフロード・モードでのABS）

オフロード・モードが作動した場合、特にオフロード走行に適したABS設定が自動的に作動します。

ぬかるんだ路面上でブレーキをかけた場合、ABSの許容スリップ値が上がり、オフロードでの制動距離が短縮されます（ホイールが路面に食い込む）。
ドライバーがステアリングを操作する必要がある場合、オフロード・モードが自動的に解除され、ステアリング操作ができるようになります。

オフロード・モードに関するインフォメーション：

▷ 「オフロード・モード」（223ページ）を参照してください。

ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)

ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)は、急な坂道、冬場の山道などで約3km/h～30km/hの速度で下り坂を前進または後退でゆっくり走行するときにドライバーを支援するアシスタンス・システムです。

システムは4つのホイールすべてにブレーキをかけて、速度を制限します。ABSは作動を継続し、ホイールのロックを防ぎます。

通常のブレーキと同様にポルシェ・ヒル・コントロールのブレーキ性能は路面状況（凍結路やぬかるみなど）によって制限されます。

⚠ 警告 ブレーキの効きの低下

滑りやすい路面ではブレーキの効きが低下します。

▷ 常に走行状況に応じた適切な運転を心がけてください。

前提条件：

- ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)がONになっている
- 約3km/h～30km/hの速度で走行している
- 坂道の勾配率が約12%以上
- ドライバーがアクセルまたはブレーキを踏んでいない

ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)をONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

ポルシェ・ヒル・コントロールのスタンバイ

スタンバイ状態になると、マルチファンクション・ディスプレイに灰色のPHCシンボル・マークが表示されます。

ポルシェ・ヒル・コントロールが作動/設定速度

設定速度がPHCシンボルの下に橙色で表示され、その後白色に変わります。

ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)をOFFにする

▷ ボタンを再度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

坂道の勾配率が約6%以下の場合、作動状態のシステムはもう一度作動スタンバイ状態になります。

速度の変更

ポルシェ・ヒル・コントロールをONにしたときの速度を変更できます：

▷ ブレーキまたはアクセル・ペダルを踏んでください。
または
クルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロールがONの場合、クルーズ・コントロール操作レバーを使用して設定します。

ブレーキまたはアクセル・ペダルを放したとき、およびクルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロール操作レバーを使用して希望する速度を設定したときに、新しい速度が保存されます。

クルーズ・コントロールおよびアダプティブ・クルーズ・コントロールに関するインフォメーション：

▷ 「クルーズ・コントロール」（174ページ）を参照してください。
▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（179ページ）を参照してください。

オフロード・モード

オフロード・モードでは、トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム（ABSなど）がオフロード走行に適した設定に自動的に調整され、最適なドライビング・ダイナミクスを実現するとともに安全性を最大限に高めます。
PASMは自動的に「スポーツ・プラス」モードに切り替わります。
エア・サスペンションも車高がノーマル・レベルより40mm上昇します。

▷ 「オフロード・レベル（ハイ・レベルI）」（230ページ）を参照してください。

オフロード・モードのON/OFF切り替え

必要条件：車両が約90km/h以下の速度で走行している

▷ OFF ROAD ボタンを押してください。
オフロード・モードがONのとき、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
更に、選択した走行プログラムはマルチファンクション・ディスプレイに数秒間表示されます。

以下の状況ではオフロード・モードを使用してください：

– スノー・チェーンを装着して走行するとき
– 深雪やぬかるみを走行するとき
– 滑りやすい下り坂でブレーキをかけながら走行するとき
– ホイール荷重が減少するような凹凸路を走行するとき
– 雪や砂などでスタックした車両を脱出させるとき

インフォメーション

– 走行条件が変化しても（車両が舗装路を走行する場合など）、選択したオフロード・モードは作動し続けます。ボタンのインジケーター・ライトは点灯したままですが、トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システムは変化した走行条件に合わせて最適化されます。
– ギヤシフト・システムに故障がある場合、インストルメント・パネルに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

オフロード走行

オフロード走行に先立って本章を熟読してください。

この車両の優れたオフロード性能がおわかりいただけるとともに、目的地までの安全な走行を可能にします。

まず、適度なオフロードで練習されることをお勧めします。

SportDesignパッケージ装着車

知識

損傷する恐れがあります。SportDesignパッケージ装着車は、フロント、リヤ、サイド・スカートに塗装が施されています。

オフロード走行によってトリムに重大な損傷を及ぼす恐れがあります。

▷ オフロード走行時にこれらの部品が損傷しないよう注意してください。
▷ 障害物と車両下面の間に十分な空間があることを確認してください。
▷ 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
▷ サイド・スカートを足かけとして使用しないでください。

 インフォメーション

オフロード走行では、通常運転時よりもはるかに激しく車両部品が摩耗します。走行のたびに専門家による点検およびメンテナンスを受けることが車両を正しく安全に機能させることの必須条件です。

砂粒、ほこりの粒子など研磨作用のある物質がブレーキ内に入り込むと、過度の摩耗または予測不能なブレーキ作動を引き起こすことがあります。

オフロード走行時のルール

▷ 車両の地上高に注意してください。
▷ オフロード走行を開始する前に、オフロード・モードをONにしてください。
「オフロード・モード」（223ページ）を参照してください。
▷ 荷物をしっかり固定してください。
荷物の積載に関するインフォメーション：
「荷物の積載」（243ページ）を参照してください。
▷ 路面状況が運転席から確認しづらい場合、一度車外に出て歩いて状況を確認した上で慎重に運転してください。
確認することで、障害物が発見しやすくなり、車両への損傷を防ぐことができます。
▷ 必ずエンジンを作動させて走行してください。
パワー・ステアリングはエンジン作動時にのみ使用することができます。
▷ ゆっくり一定の速度で運転してください。
▷ 常に全ホイールが接地した状態で運転してください。
▷ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
▷ 岩、穴、丸太、わだちなどの障害物に十分注意してください。
▷ 走行中には、パノラマ・ルーフおよびサイド・ウィンドウを必ず閉じてください。
▷ 路肩に目印がある場合は、そこから外れないようにしてください。
▷ 自然を大切にしてください。
進入禁止標識には必ず従ってください。

オフロード走行用ドライビング・システム

オフロード走行では特別仕様の走行プログラムまたはパワー・トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システムが使用できます：

– オフロードPTM
– オフロードPTVプラス（車両の装備仕様による）
– オフロードPSM
– オフロードABS

▷ シャーシ・コントロール・システムの機能に関する詳しいインフォメーション：
「トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム」（214ページ）を参照してください。

オフロード走行前

タイヤ

▷ トレッドの深さが十分あるか、タイヤ空気圧は適正か点検してください。
▷ 損傷がないか点検し、トレッドに異物（石など）がある場合は取り除いてください。
▷ バルブ・キャップが紛失している場合は新しいものを取り付けてください。

ホイール

▷ ホイールにへこみや損傷がある場合はオフロード走行前に交換してください。

オフロード走行後

オフロード走行では通常のオンロード走行時より車両に大きな負担がかかります。

オフロード走行後には車両点検を行うことをお勧めします。見えない損傷でも事故の危険があり、走行快適性も損なわれます。車両点検を行うことにより、損傷の拡大を防ぐことができます。

⚠ 警告 車両の損傷

車両の損傷は後に乗員や通行者に事故を引き起こす原因になる恐れがあります。

▷ 故障の疑いがある場合は正規ポルシェ販売店で点検してください。
▷ タイヤの異常（亀裂、損傷、空気圧過多、異物の挟まり）がないか確認してください。必要な場合は、タイヤを交換してください。
▷ 損傷がある場合は正規ポルシェ販売店でお早めに修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

推奨手順

▷ オフロード・モードをOFFにしてください。
▷ ヘッドライトおよびテールライトを清掃し、損傷していないか点検してください。
▷ フロントおよびリヤのナンバー・プレートを清掃してください。
▷ ウォーター・ジェットでタイヤ・トレッドを洗浄して異物を取り除いてください。
▷ ウォーター・ジェットでホイール、ホイール・ハウジング、車両下周りを洗浄してください。
▷ 車両に木の葉や枝などが挟まっていないか点検してください。
これらは車両火災の原因となる恐れがあります。また、フューエル・ライン、ブレーキ・ホース、アクスル・ジョイント・ブーツ、ドライブ・シャフトなどが損傷する原因になる場合があります。
▷ オフロード走行後にフロア部品全体、タイヤ、ボディ、ステアリング・システム、シャーシ、エキゾースト・システムが損傷していないか、必ず点検してください。
▷ ぬかるんだ道、砂道、水たまりや浅瀬などを長時間走行した場合は、ブレーキ・ディスク、ホイール、ブレーキ・パッド、ホイール、アクスル・ジョイントを点検して、清掃してください。
▷ オフロード走行後に振動が激しくなった場合は、ホイールに異物がないか点検してください。異物があるとホイール・バランスが損なわれ、振動の原因になる恐れがあります。異物を取り除くと、振動が解消する場合があります。

上り坂でのオフロード走行

⚠ 危険 車両の横転

▷ 上り坂走行時には方向転換しないでください。
▷ 勾配がきつく登れない場合は、必ずリバース・ギヤに入れてバックしてください。
▷ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
▷ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
▷ 上り坂走行時にニュートラル状態やギヤを入れていない状態で車両を後退させないでください。
この状態でフット・ブレーキを使用するのは非常に危険です。

インフォメーション

▷ 急坂路を上り下りする場合は、その前にオフロード・モードを作動させてください。
▷ 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
▷ エンジンを過回転させないでください。

上り坂でのトラクション

インフォメーション

▷ オフロード・モードをONにしてください。
▷ 上り坂走行時にはアクセル・ペダルの踏み込みを加減して、ホイールが十分なトラクションを得られる（スピンしない）ようにしてください。
▷ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
▷ エンジンを過回転させないでください。
▷ スピードを落として運転してください。

下り坂でのオフロード走行

⚠ 危険 車両の横転

▷ 土手や下れそうにない急坂路には進入しないでください。
▷ 下り坂はフロント・ホイールを直進位置に保ち、スピードを落として走行してください。
▷ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
▷ 下り坂をアイドリング状態で下りないでください。
▷ エンジン・ブレーキを使用してください。
エンジン・ブレーキでは十分な制動効果が得られない場合は、フット・ブレーキを軽く踏んでください。
▷ ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)を作動させてください。
「ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)」(222ページ)を参照してください。

インフォメーション

▷ オフロード・モードを ON にしてください。
オフロードABSが自動的に作動します。
▷ 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
▷ 坂道で車高レベルを調整しないでください。

オフロードABSの特別制御メカニズムにより、フロント・ホイールが意図的に短時間ロックアップされ、ゆるんだ路面に効果的に食い込みます。
ロックされたホイールはスリップし、ステアリング操作ができなくなります。
▷ 舗装されていない急坂路を下る場合は、ブレーキ操作を慎重に行い、滑らないように注意してください。

隆起

▷ 車両の地上高に注意してください。

インフォメーション

▷ オフロード・モードをONにしてください。
▷ 隆起部分にさしかかる前にアクセル・ペダルをゆるめて、慣性運動を利用して隆起を越えてください。隆起を越える際に車両がジャンプせず、下り部分への激しい着地を防ぐことができます。
▷ エンジンを過回転させないでください。

水たまりや浅瀬の走行

▷ 車両の地上高に注意してください。

⚠ 危険 車内への水の浸入

▷ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
深さが300mmを超える水たまりや浅瀬を走行しないでください。
▷ 運転前にドア・シルおよびラバー・シールを清掃してください。
▷ 深く流れの速い場所には進入しないでください。
山間部の小川など、深く流れの速い場所では、意図したコースから外れてしまう場合があります。
▷ 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。
▷ 水たまりや浅瀬を走行中は絶対にドアを開かないでください。

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクの水膜または汚れ

濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。
▷ ブレーキが汚れていないか点検し、必要に応じて清掃してください。

知識

水の浸入により、エンジンやアクセサリーが損傷する恐れがあります。
▷ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
深さが300mmを超える水たまりや浅瀬を走行しないでください。
▷ 深く流れの速い場所には進入しないでください。
▷ 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。

知識

電気系統が故障する恐れがあります。
▷ 塩水の中を走行するのは避けてください。

- ▷ オフロード・モードをONにしてください。
- ▷ エアコン・コンプレッサーをOFFにしてください。
- ▷ ヘッドライトをOFFにしてください。
- ▷ エンジンを過回転させないでください。
- ▷ 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
  水たまりや浅瀬では、抵抗が大きく地面がぬかるんでいるため、発進が困難になる場合があります。
- ▷ 水たまりや浅瀬を渡る場合は浅い場所から歩く速度で進入してください。
- ▷ 水の状態を確認した後、最短距離で渡ってください。
- ▷ 高速で水たまりや浅瀬に進入しないでください。波をかぶりエンジンやアクセサリーが損傷する恐れがあります。
- ▷ 状況の変化に対処できるよう慎重に運転してください。
- ▷ 水たまりや浅瀬はゆっくり一定の速度で走行してください。
- ▷ 水たまりや浅瀬を渡るときは方向転換しないでください。
- ▷ 渡り切れない場合はリバース・ギヤに入れ、車両をバックさせて水から出てください。

インフォメーション

長時間水たまりや浅瀬を走行すると、オルタネーターが故障する恐れがあります。

インフォメーション

水たまりや浅瀬を走行した後は特別な点検が必要になります。
- ▷ タイヤ・トレッドから泥を落としてください。
- ▷ 水たまりや浅瀬を走行した後はブレーキを軽くかけて、ブレーキ・パッドを乾かしてください。

障害物の乗り越え

知識

車両下周りやシャーシ部品を損傷する恐れがあります。
障害物を乗り越える際に誤った運転方法を採ると、これらの部品を損傷する恐れがあります。
- ▷ 車両の地上高を必ず点検してください。
- ▷ 切り株や岩などの障害物を乗り越える場合は、一方のフロント・ホイールが障害物の中央を通るようにゆっくり走行してください。
- ▷ リヤ・ホイールも同様にして障害物を乗り越えてください。

インフォメーション

- ▷ オフロード・モードをONにしてください。
- ▷ 必要に応じて同乗者の指示を受けてください。
- ▷ エンジンを過回転させないでください。
- ▷ スピードを落として運転してください。

砂上走行

インフォメーション

- ▷ オフロード・モードをONにしてください。

柔らかい砂道はオフロード走行の中でも特に運転しにくい路面です。
運転を誤ると、すぐに立ち往生することになります。
- ▷ すみやかに通過し、決して途中で停車しないでください。立ち往生することになります。
- ▷ わだちが浅く、砂で覆われていない場合、また地上高に余裕がある場合は、わだちに沿って走行してください。
  車両の地上高に注意してください。
- ▷ 砂道の傾斜に停車する必要がある場合は、より容易に発進できるようにできるだけ下り坂を選択してください。

柔らかい砂道の傾斜を走行する場合：
- ▷ エンジンを高回転で維持するため、必要に応じてオフロード・モードを作動させ、マニュアル・モード**M**を使用してください。

万一車両の動きが取れなくなった場合：
- ▷ ホイール・スピンは避けてください。木の枝やマットなどを使用して、トラクションを確保し、脱出してください。

わだちでのオフロード走行

オフロードや砂利道の多くにはわだちができています。

▷ 車両の地上高に注意してください。

知識

車両の下周りを損傷する恐れがあります。

深いわだちを走行する場合は、車両の下周りを損傷する恐れがあります。

▷ 車両の地上高を常に念頭においてください。

▷ 深すぎるわだちは走行しないでください。

 インフォメーション

▷ オフロード・モードをONにしてください。

▷ 片方のホイールが脇の草の上を通過するように走行すると、比較的安全にわだちを通過することができます。

▷ エンジンを過回転させないでください。

▷ スピードを落として運転してください。

ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM)

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、3種類のシャーシ設定を選択できます：

– 「コンフォート」
– 「スポーツ」
– 「スポーツ・プラス」

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーシ設定になります。

「スポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。

「スポーツ・プラス」モードでは、サーキットでの走行などに特化したよりスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

PASMモードをONにする

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを（繰り返し）押してください。

ボタンのインジケーター：

– 「コンフォート」（初期設定）を選択した場合、インジケーター・ライトは点灯しません。
– 「スポーツ」を選択すると、インジケーター・ライトが1つ点灯します。
– 「スポーツ・プラス」を選択すると、インジケーター・ライトが2つ点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに約4秒間表示されます。

 インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告メッセージ

このシステムはPASMの不具合を自動的に検出し、マルチファンクション・ディスプレイに表示します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きPASMはアクティブ・ショック・アブソーバー調整および車高バランス・システムです。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて適切なダンパー・レベルを選択します。レベル・コントロール・システムは自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、3種類のシャーシ設定を選択できます：

– 「コンフォート」
– 「スポーツ」
– 「スポーツ・プラス」

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーシ設定になります。

「スポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。

「スポーツ・プラス」モードでは、サーキットでの走行などに特化したよりスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。ロー・レベルに切り替えると、車両がノーマル・レベルより約10mm低く設定されます。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

インフォメーション

– 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。各レベルはエンジン作動中にのみ設定することができます。
– レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリング・システムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整します。

PASMモードをONにする

1. イグニッションをONにしてください。
2. エンジンを始動してください。
3. ボタンを（繰り返し）押してください。

ボタンのインジケーター：

– 「コンフォート」（初期設定）を選択した場合、インジケーター・ライトは点灯しません。
– 「スポーツ」を選択すると、インジケーター・ライトが1つ点灯します。
– 「スポーツ・プラス」を選択すると、インジケーター・ライトが2つ点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに約4秒間表示されます。

 インフォメーション

ドアまたはリヤ・リッドが開いているか、またはエンジンがOFFの場合は、モードの変更はできません。
停車中は車体の負荷のバランスを取るため、車高が自動的に調整されます。

ノーマル・レベル

ノーマル・レベルの地上高は約190mmです。

オフロード・レベル（ハイ・レベルI）

オフロード・モードでの車高は、オフロード、野原、林道などの走行に適しています。
車高はノーマル・レベルから約40mm高くなります。

オフロード・レベルのON/OFF切り替え

オフロード・レベルは車速約90km/h以下で走行している場合にマニュアルでのみ設定できます。

オフロード・モードを作動させると、車高が自動的にオフロード・レベルまで上昇します。

オフロード・モードに関するインフォメーション：

▷ 「オフロード・モード」（223ページ）を参照してください。

 インフォメーション

– オフロード・モードがONの状態で車速が約120km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルまで下がります。
  車速が約40km/hを下回ると、車高は自動的に再びオフロード・レベルまで上昇します。
– オフロード・モードを解除した場合、車速が約15km/hを超えると、車高はノーマル・レベルまで下がります。
– リフレクターの位置が法定取り付け高さを超えてしまうため、オフロード・モードは一般道では使用しないでください。

ロー・レベル

ロー・レベルはすべての速度域でマニュアルで設定することができます。
車高がノーマル・レベルから約10mm低くなります。

ロー・レベルのON/OFF切り替え

1. イグニッションをONにしてください。
2. エンジンを始動してください。
3. ボタンを押してください。
ロー・レベルを選択すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
インストルメント・パネルのマルチファンクション･ディスプレイにメッセージ「**ローレベル 選択**」が表示されます。

インフォメーション

– イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているレベルがメモリーに保存されます。
「スポーツ・プラス」モードが作動している状態で、ロー・レベルが選択されている場合、イグニッションをOFFにしたときに車高レベルがメモリーに保存されません。
– 「スポーツ・プラス」モードでは車高が自動的にロー・レベルに切り替わります。
– ドアが開いていると、車高レベルは変更されません。
ドアを閉じると、直ちに選択した車高レベルが設定されます。

レベル・コントロールのON/OFF

車両をリフトで持ち上げたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合、オート・レベル・コントロールは必ずOFFにしてください。

車両のジャッキ･アップに関するインフォメーション：

▷ 「レベル・コントロール・システム装備車のリフト・アップ」（308ページ）を参照してください。

レベル・コントロールをOFFにする

必要条件：レベル・コントロール・システムは、車両が停止している場合にのみOFFにできます。

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを約10秒間押し続けてください。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**レベル制御 オフ**」が表示されます。
これで車両をジャッキ・アップできます。

レベル・コントロールをONにする

必要条件：レベル・コントロール・システムは、車両が停止している場合にのみONにできます。

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを約10秒間押し続けてください。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**レベル制御 オン**」が表示されます。

インフォメーション

車速が約7km/hを超えると、レベル・コントロール・システムは自動的にONになります。

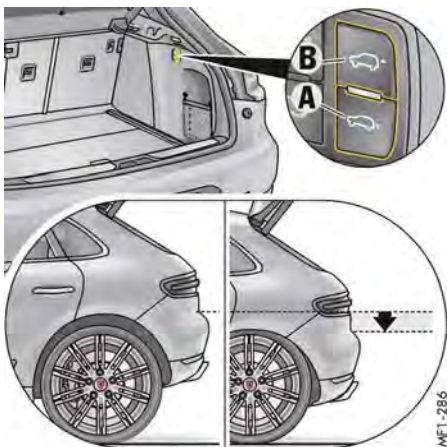
警告メッセージ

このシステムはPASMの不具合を自動的に検出し、マルチファンクション･ディスプレイに表示します。

マルチファンクション･ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。
▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

エア・サスペンション装備車を数週間停止したまま放置すると、車高が下がることがあります。エンジンが始動すると、自動的に適切な車高に再調整されます。これには、作動状態に応じて、数分かかる場合があります。車高を調整する間、地面からのクリアランスは小さくなります。

ローディング・レベル

ラゲッジ・コンパートメントへの荷物の積載を容易にするため、車両後部をノーマル・レベルより約40mm下げることができます。車両後部を下げるには、ラゲッジ・コンパートメント右側トリム・パネルのボタン**A**および**B**を使用してください。

知識

シャーシ部品、アッセンブリーおよび車両下周りを損傷する恐れがあります。

車両をローディング・レベルにしたまま、縁石などから発進すると、地上高が不十分なため車両の下周りが地面に接触することがあります。

▷ 発進前に必ず車両後部をノーマル・レベルに調整してください。

作動条件

– すべてのドアが閉じている
– リヤ・リッドが開いている

車両後部を下げる

▷ ボタン**A**を押し続けてください。
ボタン**A**および**B**の間にあるインジケーター・ライトが点灯します。
車両後部がローディング・レベルまで下がります。

車両後部を上げる

▷ ボタン**B**を押し続けてください。
ボタン**A**および**B**の間にあるインジケーター・ライトが点灯します。
車両後部が初期レベルに切り替わるとインジケーター・ライトは消灯します。

インフォメーション

– 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。
– ローディング・レベル機能が作動しているときは、その他のレベル・コントロールの調整はできません。
– ボタン**A**および**B**の間にあるインジケーター・ライトが点滅し続ける場合、(例えばドアが開いているなど）車両後部を下げることはできません。

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード

全体的によりスポーティーで多様なシャーシ設定の選択が可能です。
「スポーツ」モードは日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようコントロール・システムを切り替えます。
「スポーツ・プラス」モードでは、レース・サーキットでの走行に適した最高性能を発揮できる設定に切り替わります。

– エンジンはスロットル操作に対してより機敏に反応します。スポーツ・モードがONの状態で車速が40km/hを下回った場合、この機能を作動させるには、アクセル・ペダルをいっぱいまで踏み込むか素早く放す必要があります。
– エンジン回転数リミッター特性は「よりハードな設定」になります。言い換えると、エンジンが性能限界に達したときにスロットルが直ちに反応します（PDKマニュアル・モードのみ）。
– ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS)およびダイナミック・ハイ・ビーム（PDLSプラス）は、コーナリング中または対向車がいるときの走行などの場合により速く、よりダイナミックな制御を行います。

▷ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)」(91ページ) を参照してください。
▷ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)」（91ページ）を参照してください。

– オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードは解除されます。

▷ 「オート・スタート/ストップ機能」(168ページ）を参照してください。

– アダプティブ・クルーズ・コントロールはよりダイナミックに速度と距離を制御します。

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（179ページ）を参照してください。

– PDKトランスミッションがスポーティーな変速特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。
ギヤ・シフトがより高回転で行われます。シフトアップはより遅く始まり、シフトダウンはより早く行われます。ギヤ・シフトが素早く実行されます。

▷ 「「スポーツ」モードが作動しているとき」(209ページ）を参照してください。

– PTM（ポルシェ・トラクション・マネージメント）は「スポーツ・プラス」モードがONのとき更にダイナミックな制御マップに切り替わります。

▷ 「ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)」（215ページ）を参照してください。

– PSM（ポルシェ・スタビリティ・マネージメント）コントロールは、「スポーツ・プラス」モードで更にスポーティーな設定になります。PSMの介入がノーマル・モードより遅めになります。ドライバーは緊急時のPSMの介入を無効にすることなく、性能限界域で車両をより俊敏に操ることができます。これにより、特にドライ・コンディションのサーキットではラップ・タイムの短縮に貢献します。

▷ 「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」（215ページ）を参照してください。

– PTVプラス（ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス）は「スポーツ・プラス」モードが ON のとき更にダイナミックな制御マップに切り替わります。

▷ 「ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス(PTVプラス）」（220ページ）を参照してください。

– PASM（ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）は自動的に「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードに変わり、サスペンションはハードな設定となります。
「スポーツ・プラス」モードのとき、PASMはエア・サスペンションおよびレベル・コントロールを制御して車高をロー・レベルまで約10mm下げます。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（228ページ）を参照してください。

「スポーツ」モードのON/OFF

前提条件：
– イグニッションをONにしてください。
– オフロード・モードをOFFにしてください。
「オフロード・モード」（223ページ）を参照してください。

▷ SPORTボタンを押してください。
「スポーツ」モードがONになると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーターに「SPORT」の文字が表示されます。

PDKトランスミッションがスポーティーな変速特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。

ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。

減速時のシフトダウンが早いタイミングで実行されます。またエンジン回転数が高いときでも、わずかな減速でシフトダウンされます。

「スポーツ・プラス」モードのON/OFF

前提条件：
– イグニッションをONにしてください。
– オフロード・モードをOFFにしてください。
「オフロード・モード」（223ページ）を参照してください。

▷ SPORT PLUSボタンを押してください。
「スポーツ・プラス」モードがONになると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーターに「SPORT PLUS」の文字が表示されます。

「スポーツ・プラス」モードでは、PDKトランスミッションがレース・サーキットでの走行に適したシフト特性に切り替わります。

インフォメーション

オフロード・モードがONのときに「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードの選択はできません。
インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**スポーツモード不可 オフロード 要無効化**」が表示されます。

「スポーツ」/「スポーツ・プラス」および「PASMスポーツ」/「PASMスポーツ・プラス」モード

「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードのON/OFFを切り替えると、それに対応してPASMモード（「スポーツ」または「スポーツ・プラス」）も同時にON/OFFされます。

「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードの特性を使用しながら、より快適なシャーシ設定を選択したい場合、PASMモードを手動操作で切り替えることができます。

▷ ボタンを（繰り返し）押してください。
選択したシャーシ設定のボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに約4秒間表示されます。

PASMに関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（228ページ）を参照してください。

警告メッセージ

不具合が発生した場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**スポーツモードは使用できません**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、スポーツ・モードは自動的にノーマル・モードにリセットされます。

スポーツ・エキゾースト・システム

ON/OFF

スポーツ・エキゾースト・システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

ボタンを押してください。
スポーツ・エキゾースト・システムがONになると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

収納スペース、ラゲッジ・コンパートメントおよびルーフ・トランスポート・システム

収納

⚠ 警告

固定されていない、正しく固定されていない、または不適切な位置にある荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▷ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。

▷ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。

▷ 走行中は必ず小物入れのカバーを閉じてください。

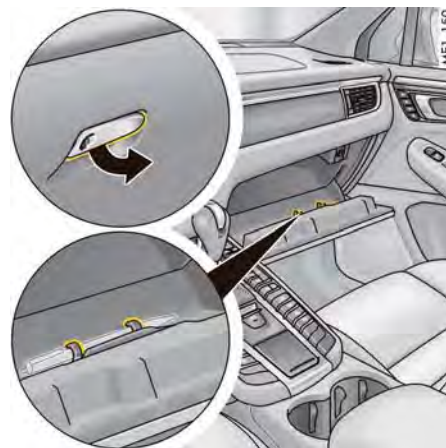
▷ ラゲッジ・コンパートメント・カバーで乗員スペースを常に保護してください。

荷物の積載に関するインフォメーション：

▷ 「荷物の積載」(243ページ) を参照してください。

収納オプション

車両の装備仕様により、様々な収納オプションが用意されています：

– ペーパー/ペン・ホルダー付きグローブ・ボックス
– フロント・シート間のセンター・コンソールの小物入れ
– 助手席ドアのドア・ハンドルの収納ボックス
– フロント・ドア・パネルの小物入れおよび書類入れ
– フロントおよびリヤ・ドア・パネルの小物入れおよびボトル・ホルダー
– フロント・センター・コンソールの小物入れ（灰皿の代わり）
– リヤ・センター・コンソールの小物入れ(3ゾーン・エアコン非装備車)
– フロント・シート下の小物入れ
– フロントおよびリヤのカップ・ホルダー
– フロント・シートのバックレスト背面のマップ・ポケット
– リヤ・グローブ・ハンドルの衣類用フック
– ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にある鞄かけ
– ラゲッジ・コンパートメント・カバー下側のラゲッジ・ネット
– ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にある収納ネット
– ラゲッジ・コンパートメント・フロア下の収納コンパートメント

グローブ・ボックス

グローブ・ボックス内にはペン・ホルダーとペーパー・クリップがあります。

開く

▷ ラッチ・ハンドル（**矢印**）を引いて、グローブ・ボックス・リッドを開いてください。

ロック

▷ 盗難防止のため、大切な物を収納したときは、エマージェンシー・キーでラッチ・ハンドルを常にロックしておいてください。

グローブ・ボックスのクーラー機能に関するインフォメーション：

▷ 「クーラー機能付きグローブ・ボックス」(74ページ）を参照してください。

フロント･シート間のアームレストの小物入れ

アームレストは前方位置または後方位置でロックすることができます。2箇所のロック位置は、アームレストを動かした際にはっきりと感じ取れます。

アームレストの移動

1. アームレストのハンドルの取っ手（**矢印**）を掴んでください。
2. アームレストを前後に動かし、前方位置または後方位置でロックしてください。

小物入れを開く

1. アームレストのハンドルの取っ手（**矢印**）を掴んでください。
2. 小物入れを引き上げてください。

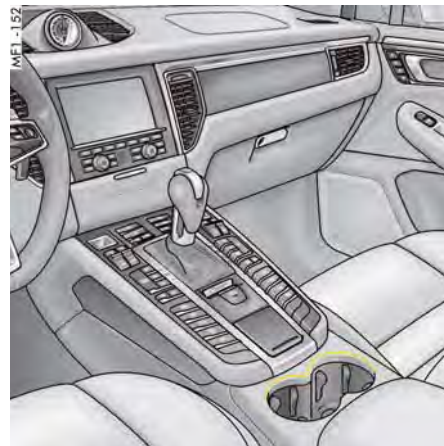
フロント・シート下の小物入れ

両側フロント・シート下の小物入れには、サングラス･ケースなどを収納することができます。

開く

▷ ラッチ・ハンドル（**矢印**）を引いて、小物入れを開いてください。

閉じる

▷ 小物入れを閉じてください。
ラッチ・ハンドルがカチッと音がしてロックされます。

ドリンク・ホルダー /カップ・ホルダー

カップ･ホルダーには飲み物を置くことができます。

⚠ 注意 液体が入った容器

飲み物がこぼれて乗員がケガ（火傷など）をする恐れがあります。
▷ 容器をいっぱいに満たさないでください。半分程度にとどめてください。
▷ こぼれることのない、蓋付きの容器のみを使用してください。
▷ 飲み物が入った容器から目を離さないでください。
▷ 熱い飲み物を置かないでください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。
▷ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
▷ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

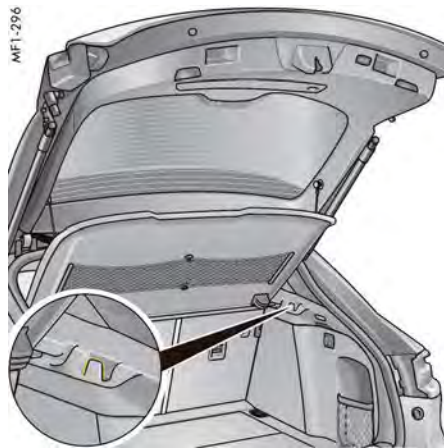
リヤ・アームレストのカップ・ホルダー

リヤ・アームレストには2個のカップ・ホルダーがあります。

▷ アームレストを完全に倒してください。

知識

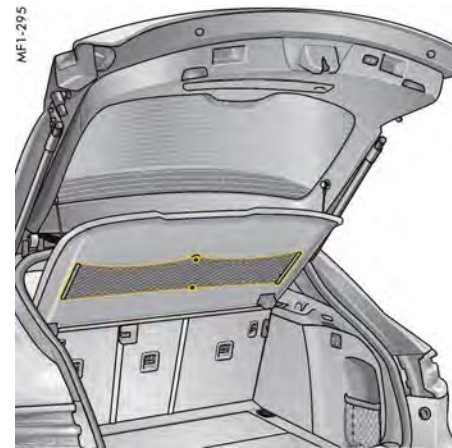
飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

▷ 走行中、リヤ・カップ・ホルダーは閉じておいてください。

鞄かけ

荷室に小さな荷物（買い物袋など）をかけておくための鞄かけが、ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側に取り付けられています。

知識

重い荷物によって鞄かけを損傷する恐れがあります。

▷ 鞄かけには約7.5kg以上のものをかけないでください。

ラゲッジ・ネット

ラゲッジ・コンパートメント・カバー下側のラゲッジ・ネットは、柔らかく、小さな荷物を積載するときに便利です。

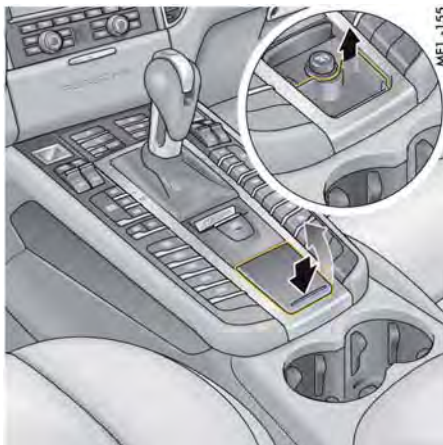
⚠ 警告 ラゲッジ・ネット内の重く大きな荷物

ブレーキやステアリングの操作時、または事故の際に、ラゲッジ・ネットに収納した重く大きな荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▷ ラゲッジ・ネットには重量が約1.5kg未満で柔らかいもののみを収納してください。

知識

尖った荷物によりラゲッジ・ネットを損傷する恐れがあります。

▷ ラゲッジ・ネットの中には尖った荷物を収納しないでください。

フロント灰皿

知識

熱い灰により小物入れを損傷する恐れがあります。

▷ 熱い灰でいっぱいにしないでください。

開く

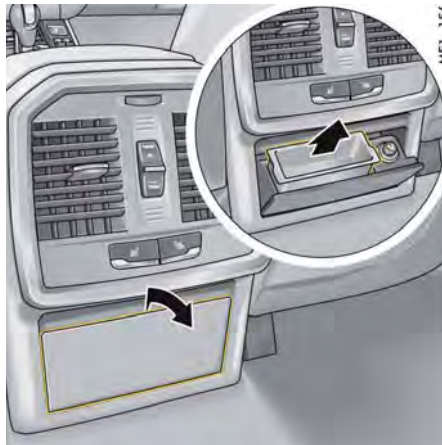
▷ 灰皿のリッドを素早く押してください。

掃除する

▷ 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。

▷ 灰皿を掃除した後は、元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

インフォメーション

禁煙仕様車では、灰皿が小物入れに交換されています。

リヤ灰皿

リヤ灰皿はフロント・シート間のセンター・コンソールにあります。

開く

▷ 灰皿の上端（**矢印**）を持って開いてください。

掃除する

▷ 灰皿をいっぱいに開いてください。

▷ 灰皿のインサートを取り外してください。

フロント・シガー・ライター

シガー・ライター

⚠ 警告 高温のシガー・ライター

使用中のシガー・ライターは非常に熱くなるため、火災や火傷の原因となることがあります。

▷ お子様のみを車内に残さないでください。

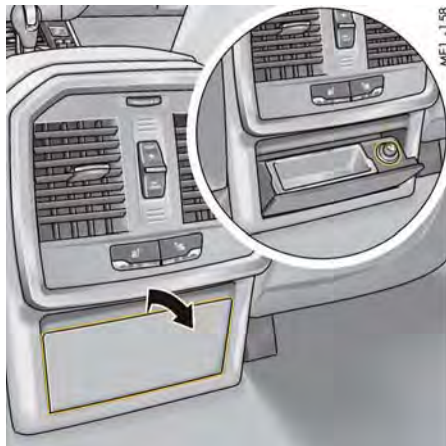
▷ 加熱されたシガー・ライターを持つときは、ノブのみを持ってください。

リヤ・シガー・ライター

シガー・ライターを使用する

シガー・ライターはイグニッションの位置に関係なく使用できます。

1. 前席ではリッドを短く押して開き、後席では灰皿を開いてください。
2. ライターをソケットに押し込んでください。ライターのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。

▷ シガー・ライター・ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：「12Vソケット/シガー・ライターでの充電アダプターの使用」（241ページ）を参照してください。

12Vソケット

12Vソケットには、12V仕様の電装品（アクセサリー）を接続できます。
車両の装備仕様により、次のいずれかの位置にソケットが取り付けられています：

- フロント・センター・コンソール内
- フロント・シート間センター・コンソールの小物入れ内の右側
- リヤ・センター・コンソール内
- ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側

インフォメーション

- ソケットは、イグニッションがOFFのときでも、キーを抜いていても使用できます。
  エンジンを停止したままアクセサリーを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。
- 他の電装品がOFFになっているときのソケットの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、1つのソケットの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオ、TVおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

A - 使用可能な充電アダプター
B - 使用できない充電アダプター

12Vソケット/シガー・ライターでの充電アダプターの使用

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

▷ 下記の条件を満たした使用可能な充電アダプター（**A**）のみを使用してください：
グラウンド（アース）端子と充電アダプターの上端の寸法**1**が16mm**以下**であること。

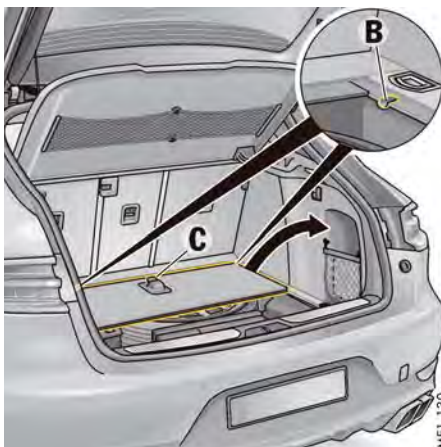
▷ グラウンド（アース）端子と充電アダプターの上端の寸法**1**が16mm以上ある使用できない充電アダプター（**B**）を使用すると、ソケットが損傷することがあります。

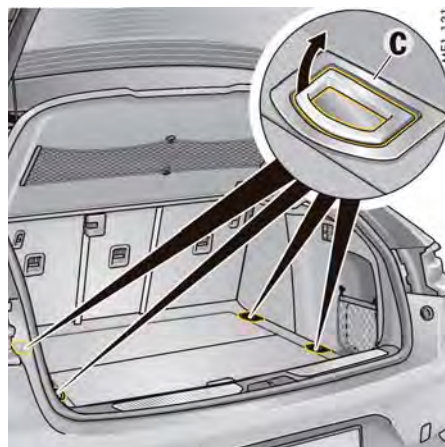
ラゲッジ・コンパートメント

荷室フロアの最大許容積載量は400kgです。荷室全体に荷重がかかるように荷物を積んでください。

▷ 荷物の積載に関するインフォメーション：「荷物の積載」（243ページ）を参照してください。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

1. ハンドル**A**を引いて、ラゲッジ・コンパートメント・フロアを半分に折りたたんでください。
2. 半分に折りたたんだラゲッジ・コンパートメント・フロアをホルダー**B**から外し、取り外してください。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを閉じる

1. 半分に折りたたんだラゲッジ・コンパートメント・フロアをホルダー**B**に差し込み、車両の床面に取り付けてください。
2. ハンドル**C**を引いて、ラゲッジ・コンパートメント・フロアを元に戻してください。

タイダウン・リング

ラゲッジ・コンパートメント・ルームの荷物は移動しないように固定することができます。タイダウン・ストラップはタイダウン・リング**C**に固定することができます。

▷ 荷物を固定したときは、各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。

インフォメーション

タイダウン・リングは事故の際に重量物を支えることはできません。

荷物の積載

⚠ 危険 有毒な排気ガスの吸引

エンジンが作動している状態で、リヤ・リッドが開いている、または正しく閉じられていない場合、排気ガスが室内に侵入する危険があります。

▷ エンジンが作動しているときは、必ずリヤ・リッドを閉じてください。

▷ リヤ・リッドを開いたまま走行しないでください。

⚠ 警告 固定されていない、正しく固定されていない、または不適切な位置にある積載物

荷物を固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置に置いていると、ブレーキやステアリングの操作時や、事故の際に荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▷ ブレーキやハンドル操作、事故等の際に飛び出さないように、積み荷は必ず固定してください。

▷ 荷物は常にラゲッジ・コンパートメントに積載してください。乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。

▷ 荷物は可能な限りシート・バックレストで支えてください。バックレストは常に所定の位置でロックしてください。

▷ 重い荷物は必ずリヤ・シート・バックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。

▷ 荷物は可能な限り乗員が着座していないシートの後方に積載してください。

▷ 重い荷物はできるだけフロアの前方に寄せ、軽い荷物はその後ろに置いてください。

▷ 荷物はシート・バックレストの上端を越えないように置いてください。

▷ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットで乗員スペースを常に保護してください。
ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置いたまま走行しないでください。

▷ リヤ・シートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシート・バックレストを補助的に支えることができます。外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。

▷ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて走行しないでください。

▷ 走行中は必ず小物入れのカバーを閉じてください。

タイダウン・ベルトで荷物を固定する：

▷ 荷物を固定するために、伸縮性のあるベルトやストラップを使用しないでください。

▷ ベルトやストラップを鋭利な部分にかけないでください。

▷ タイダウン装置の使用方向および注意事項を遵守してください。

▷ せん断強さが700kg以上、幅が25mm以内のベルトのみを使用してください。

▷ 荷物の上でベルトを交差させてください。

⚠ 警告 積載時の車両操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

▷ 変化したハンドリング特性に合わせて慎重に運転してください。

▷ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

この情報は「テクニカル・データ」の章に掲載されています：

▷ 「重量（メーカー発表値）」（344ページ）を参照してください。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が正常でない場合、安全な走行に支障をきたす恐れがあります。

▷ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。

マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングの設定に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ空気圧メニューの負荷を選択する」（121ページ）を参照してください。

部分積載時と全積載時のタイヤ空気圧に関するインフォメーションは「テクニカル・データ」の章に掲載されています：

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20℃)」（343ページ）を参照してください。

知識

リヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびアンテナ・ワイヤーを損傷する恐れがあります。

▷ 荷物によるリヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびサイド・ウィンドウのTVアンテナの損傷に注意してください。

カーゴ・マネージメント

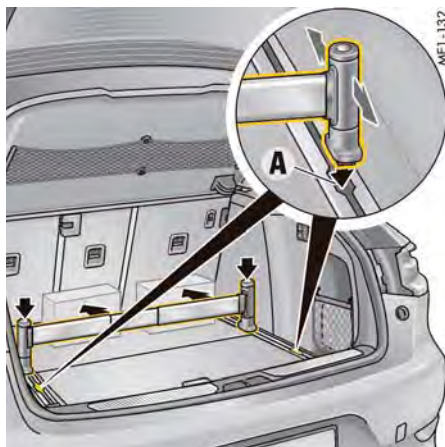
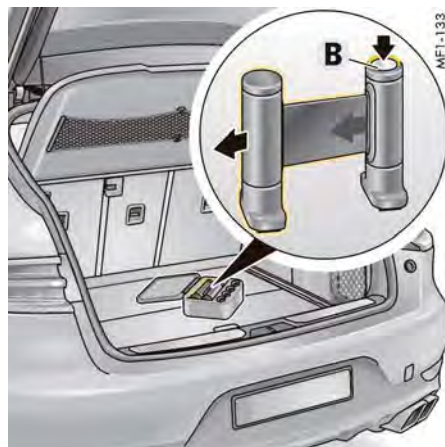
カーゴ・マネージメント・システムはラゲッジ・コンパートメントに荷物を固定する可変システムです。

ラゲッジ・コンパートメントに組み込まれている2個のマウント・レール、テレスコピック・バー、4個のタイダウン・リング、ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット、リバーシブル・マットから構成されています。

▷ 荷物の積載に関するインフォメーション：「荷物の積載」(243ページ) を参照してください。

 インフォメーション

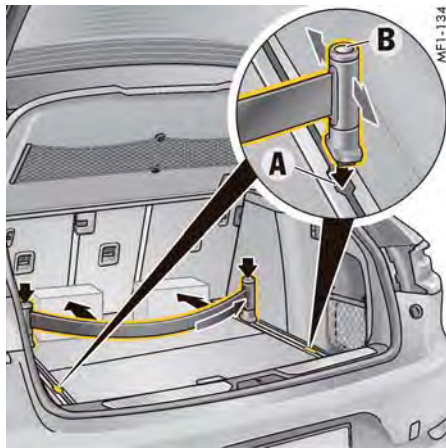
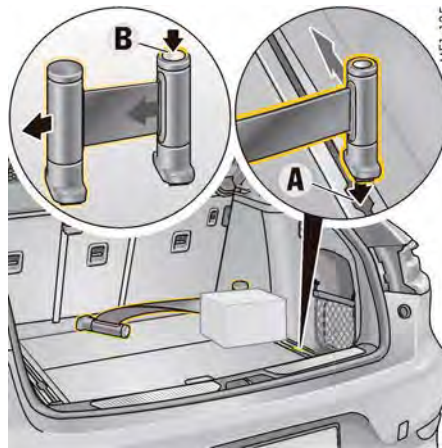
ラゲッジ・コンパートメント内のリバーシブル・マットは底面が滑り止め加工されており、濡れた荷物、重い荷物を積載するときに使用します。

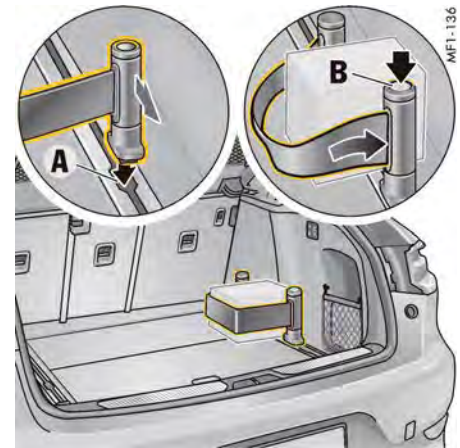
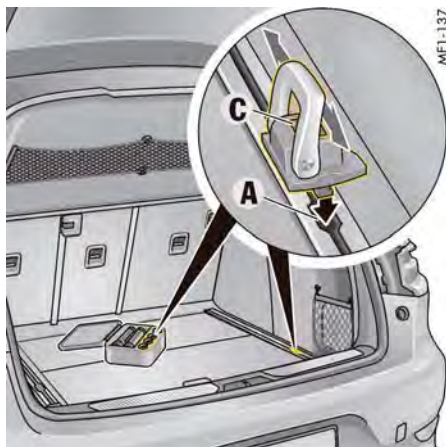
▷ 濡れた荷物または重い荷物（ケースに入った飲み物など）を輸送するときは、リバーシブル・マットに埃や傷が付くのを防ぐため、滑り止め加工が施された底面を使用してください。

テレスコピック・バーを差し込み、調整する

1. テレスコピック・バーの2個のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部**A**に差し込んでください。
2. エンド・エレメントを押し込み、荷物側に押してください。バーが正しく位置決めされると、荷物はそれ以上動きません。
3. エンド・エレメントを放してください。
4. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。

ストラップ・リールを差し込み、調整する

ストラップ・リールはタイダウン・リングと共に供給バッグに収納されて、ラゲッジ・コンパートメントまたはスペア・ホイールの中に収納されています。

1. バッグからストラップ・リールを取り出してください。
2. ストラップ・リールのエンド・エレメントのボタン**B**を押して、両方のエレメントを2個のマウント・レールの幅まで引き出してください。

3. ストラップ・リールの2個のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部**A**に差し込んでください。
4. 両方のエンド・エレメントを押し込み、荷物側に押してください。
5. エンド・エレメントを放してください。
6. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
7. ボタン**B**を押して、荷物が動かないようにストラップを張ってください。
8. ボタン**B**を放してください。

ストラップ・リール - 片方のレールに差し込む

1. エンド・エレメントのボタン**B**を押して、両方のエレメントを少し引き出してください。
2. ストラップ・リールの片方のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部**A**に差し込み、押し込んで所定の位置までスライドさせてください。

3. 2個目のエレメントを同じ開口部**A**に差し込み、押し込んで反対方向にスライドさせてください。
4. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
5. ボタン**B**を押して、ストラップを荷物の周囲に取り回してください。
   荷物が動かないようにストラップを張ってください。
6. ボタン**B**を放してください。

タイダウン・リングを差し込み、調整する

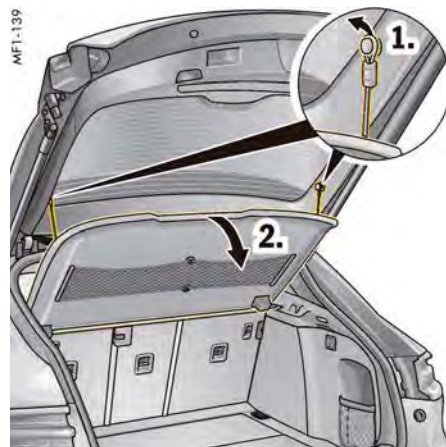
タイダウン・ストラップまたはラゲッジ・コンパートメント・パーテーションはタイダウン・リングに固定することができます。

荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。

タイダウン・リングは事故の際に重量物を支えることはできません。

1. タイダウン・リングをマウント・レールの開口部**A**に差し込んでください。
2. ボタン**C**を押し込んで、タイダウン・リングを対応する方向にスライドさせてください。
3. ボタン**C**を放してください。
4. タイダウン・リングを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
5. 残りのタイダウン・リングを差し込んでください。

インフォメーション

反対側のタイダウン・リングは必ず反対向きに差し込んでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバー

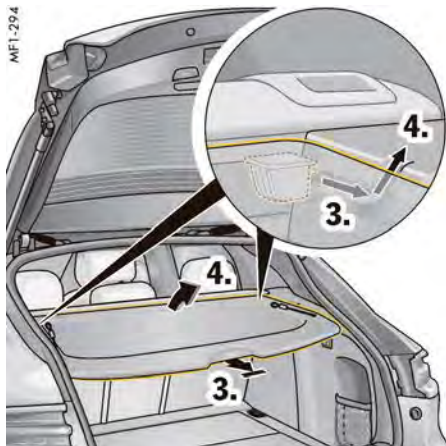
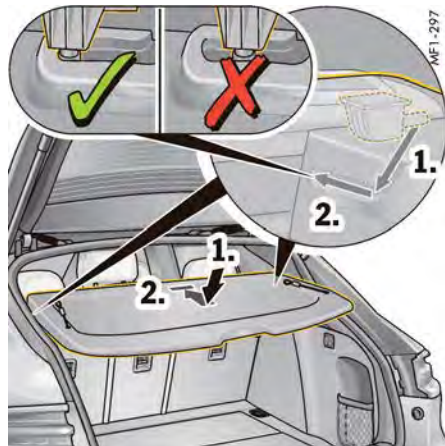
⚠ 警告 ラゲッジ・コンパートメント・カバー上の荷物

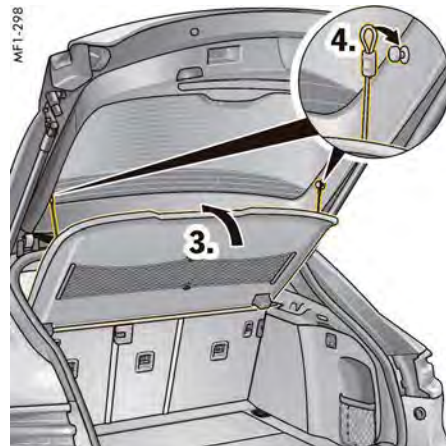
ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が乗員スペースに飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▷ ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置かないでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーは、リヤ・シート後方の左右に固定された取り外し可能な装備です。ラゲッジ・コンパートメント・カバーは必要に応じて取り外すことができ（清掃時など）、開いたテール・ゲートから車外に取り出すことができます。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外す

1. 両側のリテーニング・ストラップを外してください。
2. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをサイド・サポートの上に置いてください。

3. ラゲッジ・コンパートメント・カバーを矢印の方向に引いてラッチ・メカニズムから外してください。
4. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをマウントから外してください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り付ける

1. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをマウントに上から押し込んでください。
2. ラゲッジ・コンパートメント・カバーの左右にあるピンがフロント位置にはまるまで、矢印の方向にスライドさせてください。

3. ラゲッジ・コンパートメント・カバーを持ち上げてください。
4. 両側のリテーニング・ストラップをはめてください。

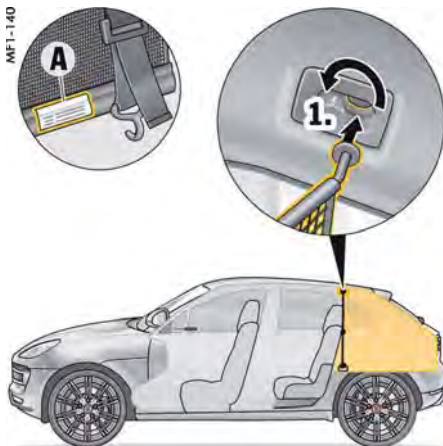
ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットにより、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に軽い荷物が荷室から飛び出すのを防ぐことができます。

▷ 荷物の積載に関するインフォメーション：「荷物の積載」（243ページ）を参照してください。

⚠ 警告 固定されていない荷物または損傷したラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット

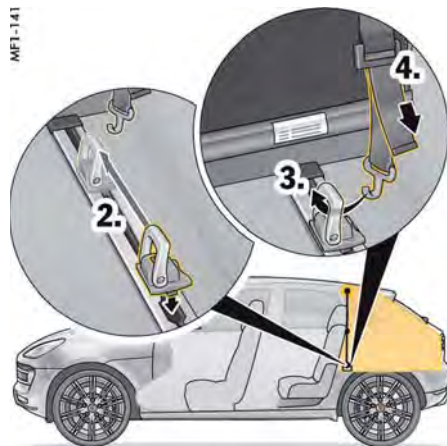
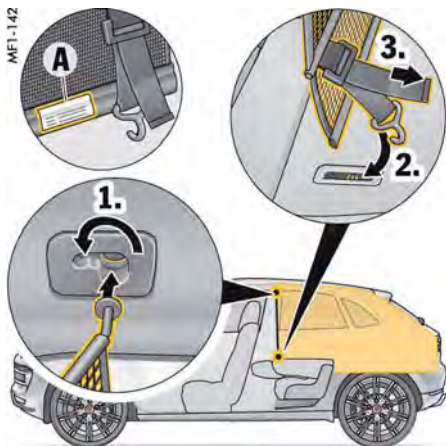
ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に、固定されていない荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▷ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットを使用して乗員スペースを常に保護してください。
▷ 荷物は必ずタイダウン・リングで固定してください。
▷ 荷物はシート・バックレストの上端を越えないように置いてください。
▷ ブレーキまたは事故などの際にラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットに大きな力がかかったり損傷した場合、パーテーション・ネットとリテーニング・ブラケットをポルシェ正規販売店で点検してください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの取り付け

インフォメーション

▷ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットを取り付ける際、ネットの適切な面が後ろ向きになっているか確認してください（ネットのラベル**A**を参照）。

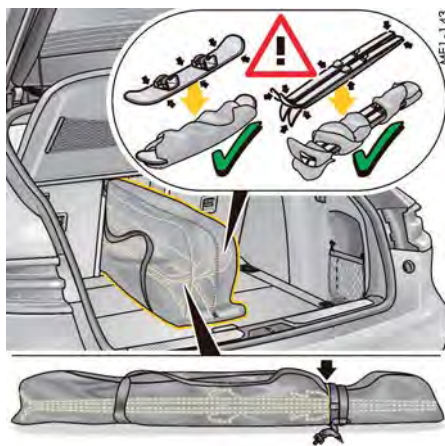
リヤ・シート・バックレストを前方に折りたたまないでください

1. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの左右の固定フックを天井の後ろ側固定リングに掛けてください。

2. タイダウン・リングをレール端からの距離が同じになるように、ラゲッジ・コンパートメント内で位置決めしてください。できるだけネットを垂直に張り、またネットがリヤ・シート周辺で曲がらないようにしてください。
3. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの下部フックをラゲッジ・コンパートメント・フロアの位置決めしたタイダウン・リングに掛けてください。
4. ベルト・ストラップを引っ張ってネットを張ってください。

リヤ・シート・バックレストを前方に倒す

▷ リヤ・シート・バックレストを前方に倒すには：
「リヤ・シートのバックレストを倒す、垂直位置に戻す」（38ページ）を参照してください。

1. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの左右の固定フックを天井の前側固定リングにはめ込んでください。
2. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの下部フックをバックレストに掛けてください。
3. ベルト・ストラップを引っ張り、ネットを張ってください。

インフォメーション

▷ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットは、荷物を積んだときの位置やシート・バックレストの位置などに応じて張ってください。

スキー・バッグ

スキー板やスノー・ボードなどを車室内を損傷することなく、安全に運搬することができます。

知識

荷物の鋭い端（スノー・ボードなど）によってスキー・バッグが損傷する恐れがあります。

▷ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに収納する

スキー・バッグはトランク・ルーム内の所定のギア・バッグの中に収納されています。

1. スノー・ボードやスキー板の端部にプロテクターを取り付けてください。
2. スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに入れて、バッグを閉じてください。
スキー板の後端を前方に向けてスキー・バッグに入れてください。スキー・バッグのファスナーは車両後方に向けてください。

3. スキー板を締め付けストラップで締め付けてください。
スキー・ビンディングはこのストラップの後方になければなりません。

スキー・バッグの荷積みと固定

1. 中央のリヤ・シートのベルト・バックルを収納位置から移動してください。
2. 中央のリヤ・シートのバックレストを前方に折りたたんでください：
「中央のリヤ・シートのバックレストを倒す」（38ページ）を参照してください。
3. スキー・バッグを荷室側から折りたたんだシート・バックレスト越しに押し込んでください。
スキー・バッグでセンター・コンソールを損傷しないように注意してください。
4. スキー・バッグのベルト・タングをバックルに差し込んでください。
5. ベルトを締め付けてください。

スキー・バッグを収納する

1. 中央のリヤ・シートのベルト・バックルを外してください。
2. スキー・バッグを取り外し、収容物を取り出してください。
3. 中央のリヤ・シートのバックレストを垂直位置に調整してください：
   「リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す」（38ページ）を参照してください。
4. スキー・バッグは必ず乾かしてから折りたたみ、ギア・バッグに収納してください。
5. ギア・バッグをラゲッジ・コンパートメントにマジック・テープで固定してください。

 インフォメーション

スキー・バッグの最大積載量（総重量34kg）：
– 4組の標準スキー板とスキー・ストック
または
– 3組の標準スキー板とスキー・ストックおよび1枚のスノー・ボード

ルーフ・トランスポート・システム

▷ ポルシェ・テクイップメント製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。市販のルーフ・ラック・システムは**装着できません。**

ポルシェ・ルーフ・トランスポート・システムには、様々なスポーツ用品やホビー用品を積載できます。
ルーフ・トランスポート・システムの様々な使用方法については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告 固定されていない、または不適切に固定されたルーフ・トランスポート・システムまたは積載機器

適切に固定されていないルーフ・トランスポート・システムが走行中に脱落し、重大事故を起こす恐れがあります。
▷ 走行を開始する前に、ルーフ・トランスポート・システム、積載機器、および荷物が固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。必要に応じて締め付け直し、しっかりと固定してください。

⚠ 警告 ルーフ・トランスポート・システムを装着した積載時の操縦性の変化

ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、車両のハンドリング特性が普段と変化します（重心が高くなり、空気抵抗が大きくなるため）。
▷ 慎重な運転を心がけてください。
▷ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。
▷ ルーフ・トランスポート・システムを装着して何も積んでいない場合、180km/h以上の速度で走行しないでください。
▷ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を載せるときは、ルーフ・トランスポート・システムの左右両端から荷物が突出しないようにしてください。車幅よりも外側には荷物を載せないでください。
▷ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

⚠ 警告 固定されていない、または不適切に固定された荷物

固定されていないまたは適切に固定されていない荷物が、走行中にルーフ・トランスポート・システムから脱落し、重大事故を起こす恐れがあります。
▷ 走行中に荷物が動かないように固定してください。
▷ 伸縮性があるゴム製の固定具は使用しないでください。
▷ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、運転中に全高に注意を払わなかったり、許容積載荷重を超過すると、車両やルーフ・トランスポート・システムを損傷する恐れがあります。

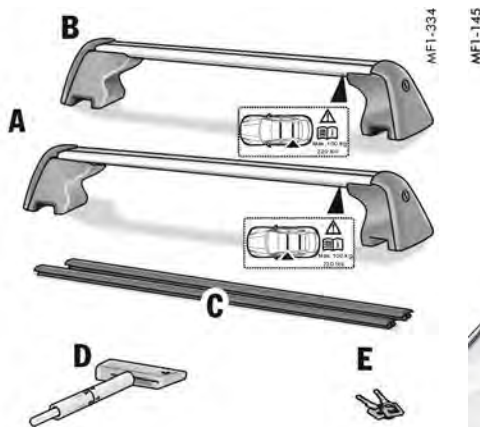
▷ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。

▷ 立体駐車場、屋根付き車庫、トンネルなどに進入するときは、ルーフ・トランスポート・システムを含めた全高を確認してください。

▷ ルーフへの積載荷重は、最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。許容最大荷重と重量に関するインフォメーション：

▷ 「重量（メーカー発表値）」（344ページ）を参照してください。

▷ ルーフ・トランスポート・システムの最大許容荷重を超えないようにしてください。

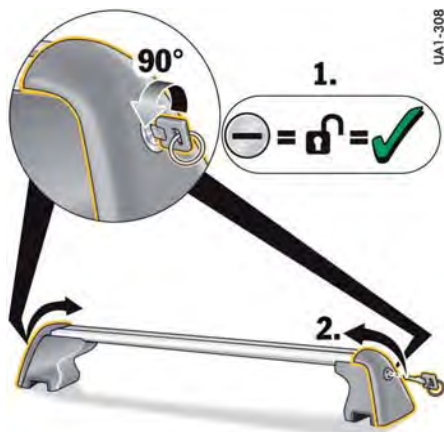
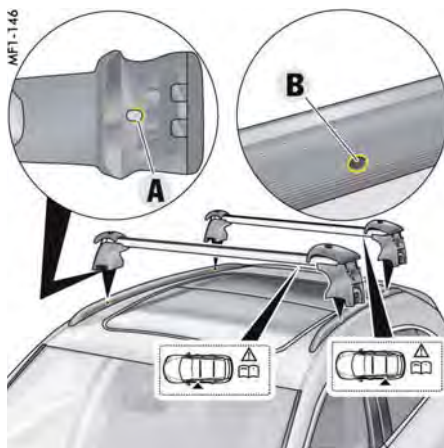
▷ ルーフ・トランスポート・システムを装着した状態では、燃費が悪化し、騒音が大きくなるため、使用しないときは車両から取り外すようにしてください。

A - フロント・キャリア・バー
B - リヤ・キャリア・バー
C - カバー・トリム
D - トルク・レンチ
E - キー

ルーフ・トランスポート・システムの取り付け

ルーフ・トランスポート・システムのキャリア・バーの下側にあるステッカーによりフロント・バーとリヤ・バーを識別してください（**図を参照**）。

▷ ステッカーが車両の左側になるようにキャリア・バーを取り付けてください。
キャリア・バーをルーフ・レールに取り付けるとき、必ずこれらのマークを遵守してください。

▷ 取り付ける前に、ルーフ・レールのキャリア・バーのサポート部分を清掃してください。

1. マークが付いた箇所のみにキャリア・バーを固定してください。各ルーフ・レールの内側に穴が1つあります（**図を参照**）。
サポート・アームのロック・ピンをこの穴にはめ込んでください。

2. キャリア・バーを取り付けるため、サポートのカバーを開いてください。このとき、キーを差し込み、反時計回りに水平位置まで回してください。
次にカバーを持ち上げてください。

3. カバーを持ち上げてください。

4. キャリア・バーを取り付ける前に、できるだけファスニング・スクリューをゆるめてください。

5. キャリア・バーをルーフ・レールに慎重に位置決めし、まっすぐはめ込んでください。
ロック・ピン**A**をルーフ・レールの該当する穴**B**に差し込み、この位置で固定してください。

6. 2本のキャリア・バーを順番に、サポート内のファスニング・スクリューを動かない程度に少しだけ締め付けて固定してください。
ロック・ピンが確実に固定されているか確認してください。

7. トルク・レンチを使用して、固定用スクリューを8Nmで締め付けてください。このとき、トルク・レンチの2つの矢印マークが完全に一致するまで締め付けてください(8Nm)。これにより、2つのキャリア・バーは縦方向、横方向ともに固定されます。

8. すべてのカバーを閉じ､ロックしてください｡このとき、キーを時計回りに垂直位置まで回して抜き取ってください。必要に応じてカバー・トリムを取り付けてください。

インフォメーション

▷ 短距離を走行させた後、スクリューと留め具を点検してください。必要であれば締め直し、適切な頻度で点検してください。
▷ 悪路ではスクリューをより頻繁に点検してください。点検を行わなかった場合、ルーフ・トランスポート・システムがゆるんで脱落し、他の運転者や歩行者などを負傷させる恐れがあります。

アクセサリーの取り付け

1. アクセサリーを取り付けるには、サポート・カバーを開いて引き下げてください。
   引き下げたカバーに負荷をかけないでください。
2. キャリア・バー上のプロファイル・トリムを取り外し、アクセサリーをT溝にはめ込んでください。サポート・カバーを再度閉じてください。
3. アクセサリーの取り付けと固定に関する注意事項を遵守してください。

トレーラー・ヒッチ

トレーラー・ヒッチ

▷ トレーラー車両の取扱説明書をよくお読みください。

▷ トレーラー・ヒッチを改造および修理しないでください。

後付け

トレーラー・ヒッチの後付けは、ポルシェ正規販売店でのみ行ってください。ポルシェ正規販売店は、メーカーが指定している仕様やトレーラー・ヒッチを後付けするために必要な方法を熟知しています。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電気系統の接続

この車両には、トレーラー車両の電気系統を接続するために13ピンのプラグが用意されています。

▷ トレーラー車両のプラグが7ピンの場合、適切なアダプターを使用してください。

トレーラー車両の検出

車両がトレーラー車両が連結されたことを検出すると、オート・スタート/ストップ機能が作動解除されるなど、様々な点で車両操作に影響を与えます（イグニッションをONにしたとき、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**「スタート−ストップ」モードが無効です**」が表示されます）。
スピードメーターのインジケーター・ライト 1 がトレーラー車両が検出されているかどうかを表示します。このインジケーター・ライトは方向指示灯を操作した際に点滅しなければなりません。

定義

車両のけん引能力（トレーラー車両の総重量）とは、トレーラー車両の空車重量と積載重量を合算したものです。

垂直連結荷重とは、トレーラー・ドローバーの重量（この車両のトレーラー・ヒッチが支える重量）です。

リヤ軸荷重とは、この車両のリヤ・アクスルの軸荷重、積載重量、およびトレーラー車両の垂直連結荷重を合算したものです。

車両およびトレーラー車両の総重量とは、この車両（けん引する車両）の重量とトレーラー車両の重量を合算したものです。

▷ それぞれの最大許容値を超えないようにしてください。

トレーラー車両のけん引

▷ 車両のけん引能力、垂直連結荷重、リヤ軸荷重を必ず遵守してください。

これらの重量と荷重の詳細は「テクニカル・データ」の章に掲載されています：

▷ 「重量（メーカー発表値）」（344ページ）を参照してください。

▷ 車両にトレーラー車両を連結した状態で、トレーラー車両が水平になるよう調整してください。必要に応じて、調整可能なドローバーを使用してください。

▷ 山岳地帯を走行する場合、高度（標高）が上がるにつれてエンジン出力が低下します。
テクニカル・データの許容重量は海抜0mでの数値です。この車両がけん引できる「車両およびトレーラー車両の総重量」は、高度が1,000m上昇するにつれて10%ずつ低下します。このことを念頭において走行ルートを計画してください。

荷物の配置

▷ トレーラー車両に積載する荷物はできるだけアクスルの近くに配置してください。
すべての荷物を動かないように、必ず確実に固定してください。

▷ トレーラー車両に荷物を積載するときは、トレーラー・ヒッチの許容垂直連結荷重を絶対に超過しないようにしてください。

タイヤ空気圧

▷ トレーラー車両をけん引するときは、タイヤ空気圧を全積載時の値に調整してください。

タイヤ空気圧の仕様は「テクニカル・データ」の章に掲載されています：

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20°C)」(343ページ)を参照してください。

▷ トレーラー・メーカーの取扱説明書に従って、トレーラー車両のタイヤ空気圧を点検してください。

ドア・ミラー

▷ トレーラー車両の幅が広く、後方視界が妨げられる場合は、補助ドア・ミラーを装着してください。

ヘッドライト、ライト類

▷ トレーラー車両をけん引する前は、必ずヘッドライトの光軸を点検してください。
必要であればヘッドライトの光軸を調整してください。

▷ トレーラー車両のプラグが正しく接続されており、すべてのライトが正常に作動するか点検してください。

トレーラーを連結しての運転

⚠ 警告 トレーラー車両けん引時の車両のハンドリング特性の変化

トレーラー車両のけん引は車両のハンドリング特性に大きく影響します。

▷ トレーラー車両を連結したときのハンドリング特性やブレーキ特性に慣れるまでは、特に慎重に運転してください。

▷ ブレーキング、コーナリング、追い越し、駐車をするときなど、車両のハンドリング特性や車両寸法がいつもと異なることを常に念頭に置いてください。

▷ 急なステアリング操作やブレーキ操作は避けてください。

▷ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。
やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。

⚠ 警告 速度超過

トレーラー車両をけん引するときは、道路条件、交通状況、路面状態、車両/トレーラー車両重量に合わせて適切な速度で運転してください。トレーラーけん引中の速度の出し過ぎは、車両およびトレーラーのコントロールを失う可能性があります。
地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。

▷ トレーラー車両を連結した場合の走行安定性は、速度が上がるにつれて悪化します。下り坂や悪路、悪天候（強風）のときは特に速度を落として運転してください。

▷ 長い下り坂では適切な低速ギヤに入れ、エンジン・ブレーキを使用してください。

▷ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。
やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。

▷ トレーラー車両が軌道から外れたときは、直ちに減速してください。カウンターステアで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。車両とトレーラー車両の姿勢をまっすぐに立て直すために加速しないでください。

⚠ 警告 後退時に距離警告が利用できないことによる事故

後退中、トレーラー車両の接続（トレーラー・コネクターの接続）を検出すると、パーキング・アシスタントが自動的に解除されます。

▷ 十分注意して運転してください。
「パーキング・アシスタント」（261ページ）を参照してください。

⚠ 警告 車線変更時に警告が利用できないことによる事故

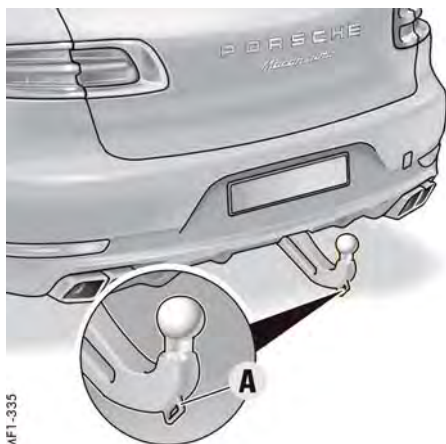
トレーラー車両の接続（トレーラー・コネクターの接続）を検出すると、レーン・チェンジ・アシストが自動的に解除されます。

▷ 十分注意して運転してください。
「レーン・チェンジ・アシスト(LCA)」（190ページ）を参照してください。

インフォメーション

▷ トレーラー車両を連結すると、車両のあらゆる部分に大きな負荷がかかります。車両の機能を正常かつ安全に作動させるには、トレーラー車両をけん引するたびに、専門家による点検およびメンテナンスが必要です。

▷ 急な坂道での発進時には、オフロード・モードを作動させてください。
「オフロード・モード」（223ページ）を参照してください。

▷ 車両が動いているときに、車両とトレーラーの間に人、動物、物が入らないようにしてください。

トレーラーの連結

▷ トレーラー車両を連結する前に、必ず警報システムをOFFにしてください。傾斜センサー＊が作動して、警報が鳴ることがあります。
傾斜センサー＊に関するインフォメーション：「室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊をOFFにする」（270ページ）を参照してください。

▷ 連結しているときに車両からトレーラーが外れることを防ぐため、セーフティー・ワイヤーをトレーラー・ヒッチのボール・ジョイントにある固定用フック**A**に取り付けてください。

トレーラーの切り離し

▷ トレーラー車両を切り離す前に、必ず警報システムをOFFにしてください。プラグを外すときに警報が鳴ることがあります。

▷ トレーラー車両にオーバーラン（惰性走行用）・ブレーキが装着されている場合、トレーラー車両のブレーキがかかっているときにトレーラー車両を切り離さないでください。

インフォメーション

トレーラー車両のすべてのライトがLEDの場合、トレーラー・プラグを切り離しても警報は鳴りません。

アタッチメントおよびアクセサリー

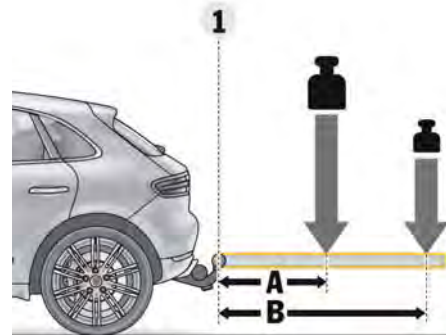
警告 不適切なアタッチメント

不適切なアタッチメントを使用すると、トレーラー・ヒッチが破損する恐れがあります。

▷ アタッチメントおよびアクセサリーのメーカーがトレーラー・ヒッチでの使用を承認していることを確認してください。

▷ アタッチメントおよびアクセサリーがポルシェ車での使用に適合しており、承認されていることを確認してください。

アタッチメントおよびアクセサリー（バイク・ラック・システムなど）使用時には以下に注意してください：

– 荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量は75kgです。
ただし、ボール・ヒッチから荷物の重心までの距離が長くなると、許容最大総重量は減少します（図を参照）。
「荷物を含めたキャリア・システムの許容最大総重量」（257ページ）を参照してください。
– バイク・ラックは最大3台まで積載できるもののみが許可されています。
– アクセサリー/アタッチメントからボール・ヒッチ**1**までの最大長さは700mmを超えてはいけません。

アタッチメントおよびアクセサリーの負荷配分図

荷物を含めたキャリア・システムの許容最大総重量

ボール・ヒッチ**1**から荷物の重心までの距離が長くなると、キャリア・システムの許容最大総重量は減少します。

許容値は以下の通りです：

重心までの距離	荷物を含めたキャリア・システムの許容最大総重量
A=300mm	75kg
B=600mm	35kg

＊ 日本仕様に設定はありません。

電動格納式トレーラー・ヒッチ

電動式トレーラー・ヒッチのボタン**A**または**B**の該当するインジケーター・ライトが点灯していれば、該当する機能が作動します。

警告 トレーラー・ヒッチの拡張/格納

トレーラー・ヒッチの拡張/格納の際に、動いているトレーラー・ヒッチと車両の固定パーツの間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。
- ▷ ボール・ヒッチの作動を緊急停止するときは、ボタン**A**または**B**を再度押してください。
- ▷ ボール・ヒッチの可動範囲に人や動物がいないか、物がないか確認してください。

知識

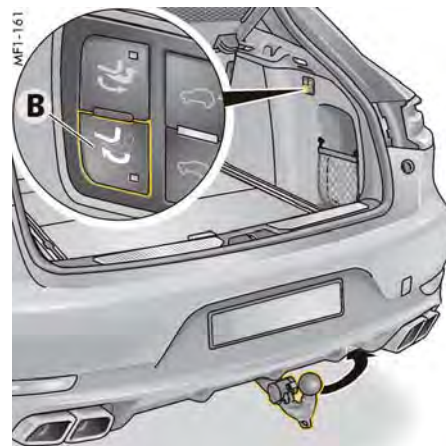
ボール・ヒッチの拡張や格納時に車両を損傷する恐れがあります。
- ▷ トレーラー車両をけん引しているときや、バイク・ラックなどがボール・ヒッチに取り付けられている場合、またはボール・ヒッチにより支えられている場合は、ボール・ヒッチを回転させないでください。
- ▷ トレーラー・ヒッチは、ボール・ヒッチを完全に拡張した状態で使用してください。
- ▷ 補助具やツールなどを使用してボール・ヒッチの作動を妨げないでください。ロック機構が損傷します。この場合、トレーラー・ヒッチの安全性が保証できません。
- ▷ 運転する前にボール・ヒッチが所定の位置に正しくロックされているか確認してください。

ボール・ヒッチの拡張

作動条件
- – 停車してください。
- – リヤ・リッドを開いてください。

拡張
- ▷ ボタン**A**を押してください。
  ボール・ヒッチが自動的に拡張して、けん引位置になります。
  ヒッチの拡張中は、ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。
  作動位置になると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

知識

トレーラー・ヒッチにアダプターが接続された状態でトレーラー・ヒッチを格納すると、車両またはトレーラー・ヒッチに損傷を与える恐れがあります。
- ▷ トレーラー・ヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。

ボール・ヒッチの格納

作動条件
- – 停車してください。
- – リヤ・リッドを開いてください。
- – トレーラー車両の連結を外してください。
- – プラグ（および、すべてのアダプター）をソケットから切り離してください。
- – ボール・ヒッチの保護キャップ、バイク・ラックなど、ボール・ヒッチに取り付けられているものがあれば取り外してください。

格納
- ▷ ボタン**B**を押してください。
  ボール・ヒッチが自動的に格納します。
  ヒッチの格納中は、ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。
  ヒッチが完全に格納されると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

– ボール・ヒッチの格納中、ボール・ヒッチのロックは自動的に解除されます。格納中に音が発生する場合がありますが、これは正常で故障ではありません。
– ボール・ヒッチを使用しないときは格納してください。
– トレーラー・ヒッチを使用するときは、トレーラー（バイク・ラックなど）のプラグを必ず接続してください。
– ボール・ヒッチの作動を緊急停止するときは、ボタン**A**または**B**を再度押してください。このときボタン**A**および**B**のインジケーター・ライトが交互に点滅し、作動が中断されたことを知らせます。
作動の途中位置でトレーラー・ヒッチを使用しないでください。

トレーラー・ヒッチが故障した場合は、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**トレーラー連結部 アンロック**」の警告メッセージが表示されます。

▷ マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

トレーラー・ソケット

ソケットは拡張したボール・ヒッチの右側にあります。

オーバーロード・プロテクション（過負荷時の保護機能）

動きを妨げる抵抗を検知するとボール・ヒッチの作動が中断されます。

オーバーロード・プロテクションの一時的な停止

▷ ボール・ヒッチが作動位置または格納位置になるまで、ボタン**A**または**B**を押し続けてください。

インフォメーション

高圧洗浄機、スチーム・クリーナーなどを使用して車両を洗浄するときは、回転アームのシール部分やトレーラー・ソケットに直接噴射ノズルを向けないでください。ボール・ヒッチに水分が入ります。

トレーラー・カップリングの固定位置の保存

バッテリーの接続を切り離したときや故障の後では、電子回路に保存されているトレーラー・ヒッチの固定位置が消去されます。
この場合は、ボタン**A**および**B**のインジケーター・ライトが同時に点滅します。

固定位置の保存方法：

▷ ボール・ヒッチが一度作動位置になり、次に完全に格納されるまで、ボタン**A**または**B**を押し続けてください。
固定位置が保存されます。

故障

▷ 取り扱い中に異常に気づいた場合、あるいは故障した場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

駐車

＊ 日本仕様に設定はありません。

パーキング・アシスタント

ドライバーが車庫入れをする場合にパーキング・アシスタントが車両と障害物の距離を警告音でお知らせします。

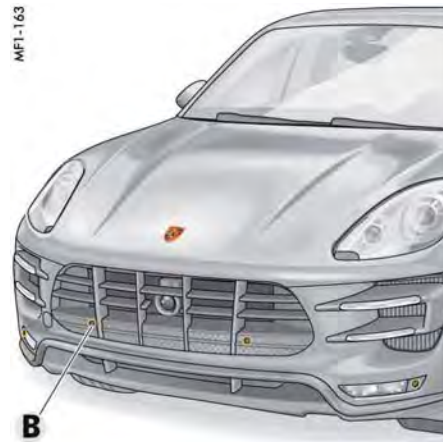
▷ パーキング・アシスタントのディスプレイ表示とリバース・カメラに関するインフォメーションは、ポルシェ・コミュニケーション・システムPCM操作説明書＊の「パーキング・アシスタント」の章も参照してください。

イグニッションがONのときにリバース（後退）ギヤを選択すると、パーキング・アシスタントが自動的に作動します。

フロント・パーキング・アシスタント装備車では、次の場合にもパーキング・アシスタントが作動します：

– 車両と車両前方の障害物の距離が約 120cm以下になると、警告音が鳴ります。
– 車両と車両前方の障害物の距離が約80cm以下になると、ポルシェ・コミュニケーション・システムのセンター・スクリーンにパーキング・アシスタントのディスプレイが表示されます。＊

次の場合、パーキング・アシスタント（フロントおよびリヤ）は**作動しません**：

– 速度が15km/h以下のとき
– エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
– トレーラー車両が連結されていることが検出されたとき（トレーラー・コネクターが接続されているとき）

⚠ 警告 運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合でも、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。

このシステムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

▷ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず確認してください。

センサー

車両の装備仕様により、リヤ・バンパーに4個の超音波センサー**A**、フロント・バンパーに4個の超音波センサー**B**が組み込まれており、直近の障害物との距離を測定します：

– 車両後方の検出範囲：約180cm
– 車両側方の検出範囲：約60cm
– 車両前方の検出範囲：約120cm

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキング・アシスタントが障害物として検出できません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

- ▷ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などはすぐに取り除いてください。
- ▷ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▷ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ▷ ナンバー・プレート・ホルダーの改造、またはナンバー・プレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

警告音/機能

リバース（後退）ギヤを選択すると、パーキング・アシスタントがONになったことを知らせる**短い確認音**が鳴ります。

フロント・パーキング・アシスタント装備車では、リバース（後退）ギヤを選択しても確認音が**鳴りません。**

その代わり、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊のセンター・スクリーンにパーキング・アシスタントのディスプレイが表示されます。

障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。

障害物との距離が約35cm未満になると、警告音が**連続して鳴ります。**

- ▷ 警告音が聞こえるようにオーディオの音量を調節してください。

警告音量は個別に調節することができます。

警告音量の調節に関するインフォメーション：

- ▷ 「パーキング・アシスタントの警告音量を設定する」（141ページ）を参照してください。

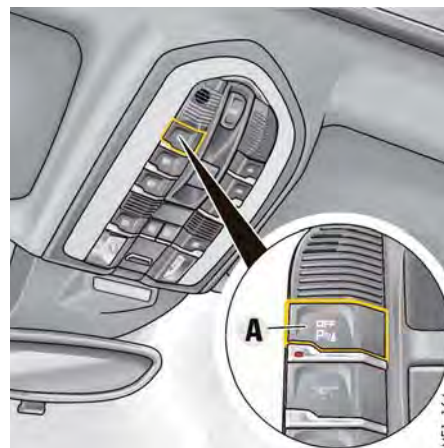
⚠ 警告 連続した警告音の無視

警告音が連続して鳴った後も運転を続けると、検出された障害物と衝突する可能性があります。その結果、車内または車外の人が負傷する恐れがあります。

- ▷ 警告音が連続して鳴ったときは、車両を停止してください。

超音波センサーの限界

- 粉雪、布や毛皮の衣類など、音波を吸収する物体があるとき、
- ガラスの表面や平らな塗装面など、音波を反射する物体があるとき、
- または細い棒状の物体などに対して、パーキング・アシスタントは正常に作動しません。

その他、大型車の排気ブレーキやエア・ジャッキなどを近くで使用したときも、超音波が乱れて正常な作動が妨げられることがあります。

パーキング・アシスタントの停止

- ▷ オーバーヘッド・コンソールのボタン**A**を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  パーキング・アシスタントがOFFになります。

故障の表示

一時的な故障（センサーへの氷結や泥汚れなど）があると、正常な作動が保証できません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

一時的な故障の原因が取り除かれると、パーキング･アシスタントの作動が正常に復帰します。

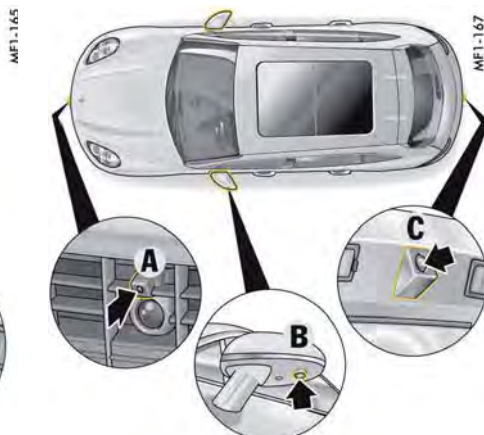
パーキング･アシスタントに**継続的な故障**が発生した場合、リバース（後退）ギヤを選択したときに3秒間の連続音が鳴ります。

考えられる原因：

– センサーに汚れ、氷、雪が付着したとき
▷ センサーを丁寧に清掃してください。
– システムの作動不良や故障が発生したとき
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

トレーラー車両のけん引

トレーラー・ヒッチを拡張位置にしたときは、車体後方の障害物との距離が約45cm以下になると、警告音が連続して鳴ります。

トレーラー電源が接続されると、パーキング・アシスタントの後方エリアのモニタリングがOFFになります。

リバース・カメラ

リバース･カメラはバンパーのライセンス･プレート・ライトの間に取り付けられています（図を参照）。

▷ 別冊のポルシェ純正ナビゲーションシステムにある「リアカメラ」の章を参照してください。
▷ リバース・カメラはいつもきれいな状態を維持し、氷や雪が付着したときは取り除いてください。カメラの視界が遮られます。

車両のお手入れについて：

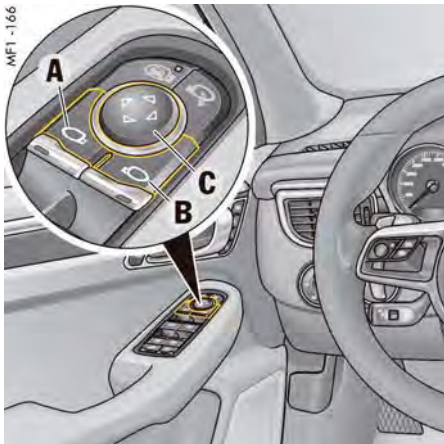
▷ 「車両のお手入れ」（291ページ）を参照してください。

サラウンド・ビュー (RTV)

サラウンド・ビュー・カメラはフロント・バンパー **A**の中央、両側のドア・ミラー **B**、およびリヤ・バンパーのライセンス・プレート・ライトの間**C**に取り付けられています。

▷ 別冊のポルシェ純正ナビゲーションシステムにある「リアルトップ・ビュー」の章を参照してください。
▷ サラウンド・ビュー・カメラはいつもきれいな状態を維持し、氷や雪が付着したときは取り除いてください。カメラの視界が遮られます。

車両のお手入れについて：

▷ 「車両のお手入れ」（291ページ）を参照してください。

駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、リバース（後退）ギヤを選択すると、**助手席ドア・ミラー**が自動的に下向きになり、助手席側の車体後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

作動条件

– イグニッションをONにしてください。
– マルチ・ファンクション・ディスプレイで、この機能を作動させる設定に切り替えてください。

助手席ドア・ミラーの下向き自動切り替えの設定に関するインフォメーション：

▷ 「駐車時に助手席ドア・ミラーを下向きにする」（138ページ）を参照してください。

ドア・ミラーを手動で下向きにする

マルチファンクション・ディスプレイで、この機能の作動を解除しているときでも、手動操作で助手席ドア・ミラーを下向きにすることができます。

1. ギヤをリバース（後退）に入れてください。
   運転席ドア・ミラーを調節するためのボタン**A**のインジケーター・ライトが点灯します。
2. 助手席側ドア・ミラーを調節するためのボタン**B**を押してください。
   助手席のドア・ミラーが下向きになります。

i インフォメーション

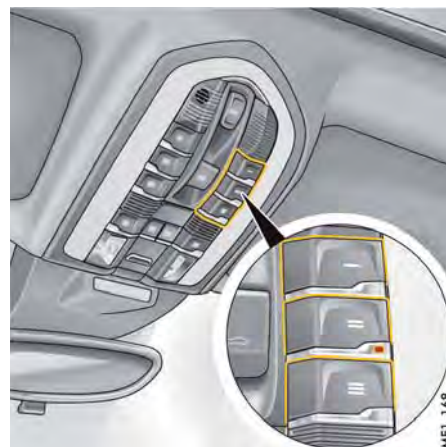
自動的に下向きになっているミラー・ガラスの位置は、調節ボタン**C**を使用して必要に応じて変更することができます。運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

ドア・ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドア・ミラーが通常の位置に戻ります：

– リバース（後退）以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、**または**
– 速度が約15km/h以上になったとき

手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻すこともできます。

▷ 運転席ドア・ミラーのボタン**A**を押してください。

ガレージ・ドア・オープナー＊（汎用リモート・コントロール）

この車両のガレージ・ドア・オープナーを使用して、様々なリモート・コントロール装置（ガレージ・ドア、自宅の門や警報システム、ライトなど）を車内から作動させることができます。

ホームリンク®は最大3種類のリモート・コントロールを登録することができます。オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの3つのメモリー・ボタン—、=、≡にリモート・コントロール信号を割り当てることができます。プログラミングしたメモリー・ボタンを使用して、各装置を作動させることができます。

信号の送信はボタン=のインジケーター・ライトに表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

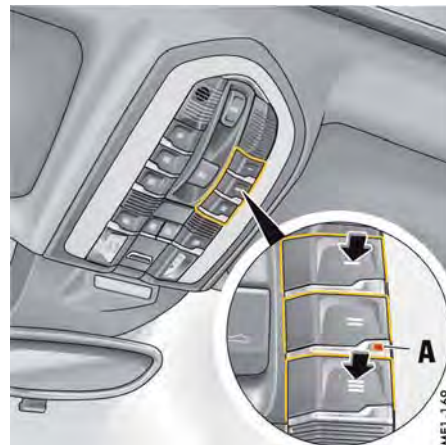
- ▷ 各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよくお読みください。
- ▷ ホームリンク®システムと各種装置のリモート・コントロールの互換性に関する情報は、ポルシェ正規販売店、ホームリンク®のウェブサイト(www.homelink.com)、またはホームリンク®のフリーコール(0800 0466 35465)から確認することができます。

⚠ 警告 操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫

ガレージ・ドア・オープナーの使用時またはプログラミング時に、ガレージ・ドア・オープナーで操作する装置の可動範囲に人や動物がいると、ケガを負わせる恐れがあります。

- ▷ ホームリンク®システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいないか、物がないか確認してください。
- ▷ 装置のリモート・コントロール取扱説明書の注意事項を遵守してください。

 インフォメーション

- ▷ ボタンを押すと、トランスミッター・ユニットが車両の正面前方に向けて信号を送ります。必ず装置の受信機の方向に車両を向けてください。
  これを怠ると、信号の送信エリアから外れることがあります。
- ▷ 車両を売却するときは、ガレージ・ドア・オープナーのプログラム信号をキーパッドから消去してください。
- ▷ プログラミング作業を初めて実施した後、装置が作動しない場合は、各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよく読み、各種装置のリモート・コントロールが固定コード式か、可変コード式かを確認してください。

ガレージ・ドア・オープナーの操作

イグニッションをONにしてください。

- ▷ オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの該当するホームリンク®ボタンを押し続けてください。
  信号送信中にインジケーター・ライト**A**が点灯します。

ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング：登録した信号の消去

ホームリンク®システムは、オーバーヘッド・コンソールとラジエーター・グリル付近でプログラミングをします。

前提条件

プログラミングした信号を消去するときや、ガレージ・ドア・オープナー信号を登録するときは:

– イグニッションをONにしてください。
– 方向指示灯の作動をOFFにしてください。
  および
– エンジンをOFFにしてください。

▷ ガレージ・ドア・オープナーを使用するときは、信号の送信エリア内に装置の受信機がなければなりません。

プログラミングした信号をボタンから消去する

この操作では、ホームリンク®のすべてのプログラミングを消去します。各ボタンのプログラムを個別に消去することはできません。
ボタンに信号を追加登録するときは、この操作を行わないでください。

1. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、2つの外側ボタンおよびを約20秒間押し続けてください。
2. ボタンを放してください。
   ホームリンク®ボタンは消去され、再プログラミングすることができます。

固定コード式システムのガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する

オーバーヘッド・コンソールから：

1. イグニッションをONにしてください。
2. プログラミング作業を**初めて**実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

新車出荷時に設定されているコードの消去に関するインフォメーション：

▷ 「ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング：登録した信号の消去」（265ページ）を参照してください。

3. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンのインジケーター・ライト**A**がゆっくりと点滅し始めるまで、お好みのボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
4. プログラミングする**装置のリモート・コントロール**を持って車両の前方に移動してください。

車両の前側（ラジエーター・グリル付近）：

5. 受信部（**図を参照**）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が**3回**点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、**送信ボタン**を押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、各種装置のリモート・コントロールのLEDを消灯するときに、各種装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう一度押す必要があります。

6. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順3～5を繰り返してください。
7. 上記の手順3～5を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

可変コード式システムのガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する

システムによっては、可変式コードもホームリンク®システムにプログラミングする必要があります。作業を2人で行うと、プログラミングが容易になります。

可変コード式を識別する

▷ プログラミング済みのホームリンク®ボタンを再度押し続けてください。

オーバーヘッド・コンソールのボタンのインジケーター・ライト**A**が最初に素早く点滅し、約2秒後に常時点灯する場合、装置は可変コード式・システムです。

▷ 同期に関するインフォメーションは、プログラミングするシステムの取扱説明書も参照してください。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する

▷ リモート・コントロールされる装置の作動範囲内に車両を慎重に停車してください。

オーバーヘッド・コンソールから：

1. イグニッションをONにしてください。
2. プログラミング作業を**初めて**実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

新車出荷時に設定されているコードの消去に関するインフォメーション：

▷ 「ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング：登録した信号の消去」（265ページ）を参照してください。

3. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンのインジケーター・ライト**A**がゆっくりと点滅し始めるまで、お好みのボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
4. プログラミングする**装置のリモート・コントロール**を持って車両の前方に移動してください。

車両の前側（ラジエーター・グリル付近）：

5. 受信部（**図を参照**）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が**3回**点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、**送信ボタン**を押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、各種装置のリモート・コントロールのLEDを消灯するときに、各種装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう一度押す必要があります。

6. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順3～5を繰り返してください。
7. 上記の手順3～5を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。
8. ガレージ・ドア・オープナーのモーター・ユニットなどプログラミングする装置の受信機のプログラミング・ボタンの位置を特定してください。

システムを同期する

9. **モーター・ユニットを作動する：**
   ガレージ・ドア・オープナーの受信機のプログラミング・ボタンを押してください。その後、約30秒以内に次の手順10に進んでください（通常、モーター・ユニットの設定インジケーターが点灯します）。
10. **オーバーヘッド・コンソールからプログラミングする：**
   手順3で選んだオーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンを押してください。（装置によっては、登録を完了するまでにキーパッドのボタンを数回押さなければならない場合があります。）
11. 上記の手順3～10を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。
12. オーバーヘッド・コンソールのプログラミングが完了した後、イグニッションをONにしてメモリー・ボタンを押したとき、速やかにホームリンク®信号を認識して起動することを確認してください。

キーパッドの各ボタンを再プログラミングする

ホームリンク®ボタンは、残りのボタンの登録を消去せずに個別に再プログラミングすることができます。

オーバーヘッド・コンソールから：

1. イグニッションをONにしてください。
2. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンのインジケーター・ライト**A**がゆっくりと点滅するまで、プログラミングしたいボタンを（約20秒間）押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする**装置のリモート・コントロール**を持って車両の前方に移動してください。

車両の前側（ラジエーター・グリル付近）：

4. 受信部（**図を参照**）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が**3回**点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、**送信ボタン**を押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、各種装置のリモート・コントロールのLEDを消灯するときに、各種装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう一度押す必要があります。
5. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が**1回**点滅します。手順1～4を繰り返してください。
6. 上記の手順1～4を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

インフォメーション

▷ 本書の手順、および各装置のリモート・コントロール取扱説明書の記述に従って正確に登録作業を行っても、ボタンに信号を登録できない場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にはガレージ・ドア・オープナー信号に関する情報が取り揃えてあります。

▷ ガレージ・ドア・オープナーのリモート・コントロールに新品の電池が入っていることを確認してください。
電池が弱っていると、信号の送信不良が生じることがあります。その結果、ガレージ・ドア・オープン機構が正しく認識できない誤ったコードが登録されます。

警報システムおよび盗難防止

＊ 日本仕様に設定はありません。

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：
– ドア、リヤ・リッド、エンジン・コンパートメント・リッド、およびヘッドライトの警報接点
– 室内モニタリング・システム（装備による）：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
– 傾斜センサー＊：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）
– トレーラー・ヒッチ・ソケット（例えばトレーラー車両を不正に外そうとしたとき）

これらの警報接点のうち、いずれか1つでも不正な動きを検出すると、アラーム・ホーンが約30秒間鳴り、ハザード・ライトが点滅します。それから5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なります）。

ONにする

▷ 車両をロックすると、警報システムが作動します。

OFFにする

▷ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

インフォメーション

– 運転席ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両をロック解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロック位置**1**）にしなければなりません。運転席以外のドアはロックされたままになります。運転席ドアを開かなかった場合、30秒後に車両は自動的に再ロックされます。
エマージェンシー・キーを使用した車両のロック解除に関するインフォメーション：
▷ 「エマージェンシー・キーを使用したロック解除」（26ページ）を参照してください。
– 警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

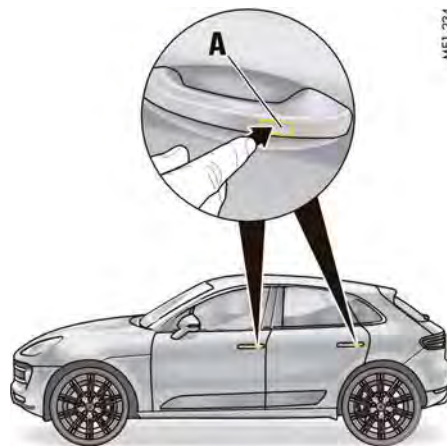
▷ ドアをロック解除してください。
または
イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊をOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を一時的にOFFにする必要があります。

▷ 「ドアをロックする」（22ページ）を参照してください。
▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

キーを使用する

▷ キーの🔒ボタンを2秒以内に**2回**押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、内側から開くことができます。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車

▷ ドア・ハンドルのタッチ・センサー**A**に2秒以内に**2回**触れてください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、内側から開くことができます。

インフォメーション

室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊は、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

A - 運転席ドアの警報システムのインジケーター・ライト

機能表示

車両のロック状態は、運転席ドアのインジケーター・ライト**A**の点滅頻度で示されます。
車両をロック解除すると、インジケーター・ライトが消灯します。

警報システムを起動させたとき

– 車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊がOFFのとき）

– 車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケーター・ライトが10秒間点灯し、次に通常の倍の速さで20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムの誤作動を回避するために

▷ 車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を一時的にOFFにする必要があります。
「ドア・ロックを解除してドアを開く」（16ページ）を参照してください。
▷ パノラマ・ルーフおよびすべてのドア・ウィンドウを必ず閉じてください。
▷ トレーラー車両を連結または切り離す前に、必ず警報システムをOFFにしてください。傾斜センサー＊が作動して、警報が鳴ることがあります。
▷ 「ドアをロックする」（22ページ）を参照してください。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションをONにする前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。
あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、データを電波通信で伝達します。

ステアリング・コラム・ロック

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

▷ キーのリモート・コントロールによって車両をロック解除してください。
または
キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

▷ キーを抜き取ってください。

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

▷ キーのリモート・コントロールによって警報システムを解除し、運転席ドアを開いてください。
または
ポルシェ・エントリー &ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。
または
イグニッションをONにしてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

▷ 運転席ドアを開いてください（イグニッションをOFFにした状態で）、または車両をロックしてください。

インフォメーション

ステアリング・コラム・ロックは国によって異なり、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

▷ すべてのドア･ウィンドウを閉じてください。

▷ パノラマ・ルーフを閉じてください。

▷ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。

▷ キーを抜き取ってください（またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください）。

▷ グローブ･ボックスをロックしてください。

▷ すべての小物入れを閉じてください。

▷ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。

▷ ラゲッジ・コンパートメントをラゲッジ・コンパートメント・カバーで覆い隠してください。

▷ リヤ・リッドを閉じてください。

▷ すべてのドアをロックしてください。

ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊

ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊はGSM/GPSベースの追跡システムで、車両が盗難された場合、セキュリティ・オペレーティング・センター(SOC)がこのシステムを使用して車両の位置を特定し、警察などの関係当局が車両の確保を行います。

ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊は、車両盗難時の警告を検出すると、即時当該車両の位置をSOCに送信します。

PVTSプラス＊には3つの異なる装備仕様があります：

– ドライバー・カード付きPVTSプラス＊
– リモート・キーパッド付きPVTSプラス＊
– ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしのPVTSプラス＊

各国の車両保険および法律に応じて、PVTSプラスの装備仕様が異なります。車両に装備されているPVTSプラスの仕様についてご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

インフォメーション

スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」装備車では、アプリを使用して直接ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）を設定することができます。＊

ポルシェ・カー・コネクト・アプリケーションのインストール、機能および管理に関する詳細情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

▷ 「ポルシェ・カー・コネクト＊」(205ページ)を参照してください。

付属品およびシステムの初回アクティベーション

ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊はポルシェ正規販売店によりテストを行っています。アクティベーションに関するご質問はポルシェ正規販売店までお問い合わせください。

システムのアクティベーション後、お近くのセキュリティ･オペレーティング･センター(SOC)およびサービス･プロバイダーの電話番号などの重要な情報が与えられます。

システムのアクティベーションに関する更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

機能

車両の位置特定は、盗難にあった場合にのみ実施されます。盗難が発生した場合、登録した携帯電話にメッセージが送信されます。車両の位置は安全上の理由からメッセージには記載されません。

▷ 車両の盗難が発生した際はSOCにご相談ください。盗難が発生したときは、最寄りの警察に届け出る必要があります。

以下の場合、警報が作動します：

– **車両の不正な移動**：イグニッションがOFFの状態で車両が移動された場合（ドライバー・カード/リモート・キーパッド装備車：ドライバー・カード/リモート・キーパッドがない状態で車両が移動された場合）
– **妨害**：PVTSプラス＊が許可されていない何者かに使用された場合
– **侵入警報**：警報システムが作動し、警報が15秒間以上作動し続けます。（ポルシェ純正警報システム装備車にのみ適用されます。）
– **イグニッション･ロック警報**（リモート･キーパッド付きPVTSプラス用）：イグニッションをONにした後、3分以内にリモート･キーパッドにコードが入力されなかった場合
– **コード警報**（リモート･キーパッド付きPVTSプラス用）：間違ったコードがリモート・キーパッドで連続5回入力された場合

＊ 日本仕様に設定はありません。

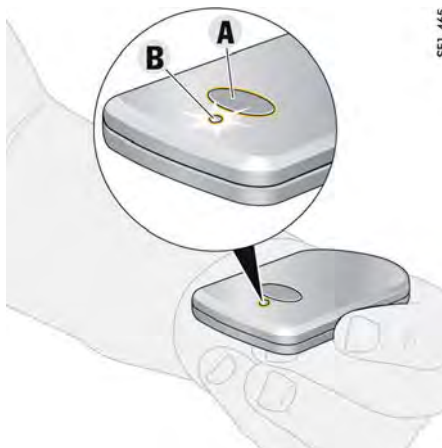
インフォメーション

– どのような場合でも必ず車両の盗難を検出できるわけではありません。
– PVTSプラス警報は、バッテリーが上がった場合にも起動します。
バッテリーに関するインフォメーション：「バッテリー（12V）」（319ページ）を参照してください。

インフォメーション

– 車両が盗難された場合、SOCは当該車両のエンジンを始動できないように操作することができます。
– スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト＊」装備車では、盗難された際にアプリを使用しての車両へのアクセスを禁止できます。

ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしのPVTSプラス＊の操作

ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊が通常作動していれば、お客様が操作を行う必要はありません。

ドライバー・カードによるPVTSプラス＊の操作

作動中のドライバー・カードにより、PVTSプラスが自動的に作動を停止します。

ドライバー・カードのスイッチON

▷ ドライバー・カードのボタン**A**を押してください。
インジケーター・ライト**B**が早く点滅します。ボタン**A**から手を離すと、インジケーター・ライトが約3秒間隔で点滅します。

作動中のドライバー・カードのインジケーター・ライトが3秒間隔で点滅しなくなった、またはドライバー・カードのボタン**A**を押したときに点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。

電池交換に関するインフォメーション：

▷ 「ドライバー・カード/リモート・キーパッド用電池の交換」（275ページ）を参照してください。

ドライバー・カードのスイッチOFF

▷ ドライバー・カードのボタン**A**を押し、インジケーター・ライト**B**が消灯するまで約8秒間押し続けてください。
▷ 電池の寿命を延ばすため、長期間使用しない場合はドライバー・カードの電源をOFFにしてください。

インフォメーション

航空便で輸送する場合、ドライバー・カードは航空便で適用されるガイドラインに従ってOFFにする必要があります。

ドライバー・カードでPVTSプラス＊を作動させる

▷ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、ドライバー・カードを持って降りてください。
ドライバー・カードが車両から十分離れると、PVTSプラスが約70秒後に作動します。
車両の盗難を検出します。

ドライバー・カードでPVTSプラス＊を停止する

▷ 車両のセンター・コンソールにドライバー・カードを置くか、常に携行してください。
作動中のドライバー・カードが車内、または車両のすぐ近くにある場合にPVTSプラスが停止します。

インフォメーション

– ドライバー・カードをラゲッジ・コンパートメントやエンジン・コンパートメントに置いたり、コインなどの金属の近くに置かないでください。
– 盗難されたキーを使用して車両が盗難されることがあります。キーにドライバー・カードを取り付けないでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

PVTSプラス＊は、1車両につき最高7個のドライバー・カードを検出できます。ドライバー・カードの追加、消去、または交換を希望される場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。
車両には作動中のドライバー・カードを1枚のみ置いてください。2枚目のドライバー・カードは2人目のドライバーのために用意されています。スペア・カードとして使用することも可能です。

ドライバー・カードの不具合

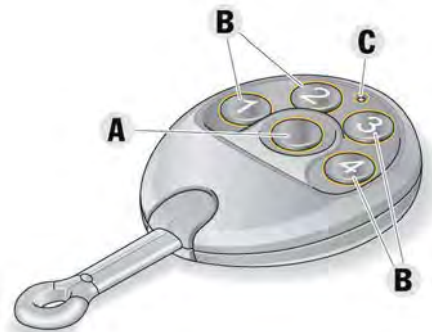
特別な状況下では（電波干渉を受けるなど）、ドライバー・カードが検出できないことがあります。マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ ドライバー・カードのボタン**A**を押して、ドライバーの検出を開始してください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

ドライバー・カードの緊急停止

▷ ドライバー・カードを使用してPVTSプラスが停止できない場合（ドライバー・カードの電池が消耗している、またはドライバー・カードを紛失した場合）は、コントロール・センターでシステムの停止を行ってもらってください。

リモート・キーパッドによるPVTSプラス＊の操作

PVTSプラスを停止するためにはリモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力しなければなりません。PVTSプラスが作動するとすぐに、メッセージによりコードを受信します。

リモート・キーパッドでPVTSプラス＊を作動させる

▷ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、リモート・キーパッドを携行してください。
PVTSプラスは約3分後に作動します。
車両の盗難を検出します。

リモート・キーパッドでPVTSプラス＊を停止させる

1. ボタン**A**を押してください。
リモート・キーパッドのインジケーター・ライト**C**が点滅し始めます。
2. キーパッドの数字キー**B**を使用してコードを入力し、ボタン**A**を押して、決定してください。
インジケーター・ライトが消灯します。PVTSプラスが停止します。

コードを入力してもシステムが停止しない場合、再度コードを入力できます。5回入力に失敗すると、警報がSOCに送信されます。

イグニッションをONにした後、3分以内にPVTSプラスを停止**しなかった場合**、警報がSOCに送信されます。SOCはお客様に電話で連絡します。

マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ

イグニッションONの後1分以内に正しいコードが入力**されなかった場合**、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

正しいコードが入力されていない状態にある場合、1分後に再度警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

– コードを変更しなければならない場合（コードを忘れた、または不正な人がコードにアクセスしようとしたなど）、サービス・プロバイダーにお問い合わせください。新しいコードがテキスト・メッセージで登録した携帯電話に送信されます。
– PVTSプラスは1車両につき最高7個のリモート・キーパッドを検出できます。リモート・キーパッドの追加、消去、または交換を希望される場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

リモート・キーパッドの緊急停止

▷ リモート・キーパッドを使用してPVTSプラスが停止できない場合（リモート・キーパッドの電池が消耗している、またはリモート・キーパッドを紛失した場合）は、コントロール・センターでシステムの停止を行ってもらってください。

輸送

イグニッションをOFFにして車両を輸送する場合（フェリーなど）、トランスポート・モードを作動させてください。
車両をトランスポート・モードで輸送しなかった場合、警報システムの誤作動の原因となることがあり、警報システムが誤作動したときは、支払い義務が発生します（更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectから入手できます）。

トランスポート・モードの作動/停止

▷ 車両の輸送前/車両の輸送完了時には、セキュリティ・オペレーティング・センター（SOC）にご連絡ください。

サービス

PVTSプラスは以下の状況で車両サービス・モードに設定してください：
– カスタマー・サービス（定期点検など）の実施時
– バッテリーの接続を外している場合
車両のサービス点検中に、車両をサービス・モードにしていなかった場合、警報システムが誤作動することがあり、警報システムが誤作動したときは、支払い義務が発生します（更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectから入手できます）。

車両サービス・モードの作動/停止

▷ 車両修理の実施前後には、セキュリティ・オペレーティング・センター（SOC）にご連絡ください。
▷ サービス点検時は、ポルシェ正規販売店にポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊が装備されていることをお知らせください。
更に：
▷ ドライバー・カード付きPVTSプラス＊：PVTSプラスを停止するため、サービス点検時はドライバー・カードを車両に残してください。
▷ リモート・キーパッド付きPVTSプラス＊：サービス点検時は、リモート・キーパッドをポルシェ正規販売店にお渡しください。コードを知らせる必要はありません。

インフォメーション

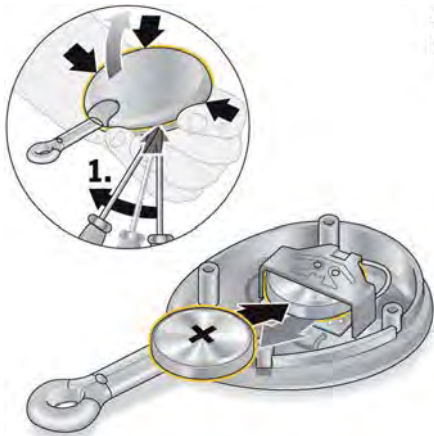
サービス点検後、ドライバー・カード/リモート・キーパッドが返却されたことを確認してください。

ドライバー・カード/リモート・キーパッド用電池の交換

ドライバー・カード/リモート・キーパッドの電池が消耗した場合、登録した携帯電話に自動的にメッセージが送信されます。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。
▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

ドライバー・カード用電池の交換

1. ドライバー・カードをOFFにし、スクリュードライバーを使用して慎重に開いてください。
「ドライバー・カードのスイッチOFF」（273ページ）を参照してください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. ドライバー・カードを組み立てて、確実にはめ合わせてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

リモート・キーパッド用電池の交換

1. スクリュードライバーを使用してリモート・キーパッドを慎重に開いてください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. リモート・キーパッドを組み立てて、確実に閉じてください。

規格との適合

ポルシェ車両追跡システム・プラス（PVTSプラス）＊は、現在の欧州規格に準拠しており、関連するEU指令に従って操作することができます。

この装置は最新の電磁波規制に適合しています。この装置の他の電気機器への電波干渉および他の電気機器からこの装置への電波干渉はほぼ完全に回避されています。

ドライバー・カード/リモート・キーパッド

Vodafone Automotive SpAは、装置2781および8015が使用上の義務であるEU指令の基本的要件に適合しており、特に「R&TTE理事会指令1999/5/EG」および他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。装置にはCE 0678マークが付いています。

テレマチック・ユニット

Vodafone Automotive SpAは、装置ICD45 (2145)が使用上の義務であるEU指令の基本的要件に適合しており、特に「R&TTE理事会指令1999/5/ECおよびECER10」の基本要件に適合していることを承認します。関連法規に従って装置にはE24 10R-04 1146 CE 0678マークが付いています。

GSM認可国（抜粋）

アルバニア、アンドラ、オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、カナダ、中国、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、グルジア、ドイツ、英国、ギリシャ、ガーンジー、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、マン島、イタリア、ジャージー、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マケドニア、マルタ、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、レユニオン、ルーマニア、ロシア、セルビア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、米国

PVTSプラスの使用に関する詳細情報はwww.porsche.com/connectから入手できます。

CE 0678

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両のお手入れ

＊ 日本仕様に設定はありません。

メンテナンスの諸注意

ポルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨いたします。
十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束いたします。
お客様ご自身でメンテナンスされる場合につきましても、細心の注意を払っていただくようお願いいたします。本書に掲載された注意事項を守った場合にのみ、信頼できる走行性能が保証されます。
不適切なメンテナンスを行いますと、保証期間中でも保証が適用されないことがあります。

危険 有毒な排気ガスの吸引

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす危険があります。

▷ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

警告 車両の油脂類、燃料蒸発ガスへの引火、爆発性ガスの爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する恐れがあります。バッテリー充電中は爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

▷ バッテリーや燃料系統の近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

警告 有害な補充液

エンジン・オイル、ブレーキ液、クーラントなどは人体に有害（毒性、刺激性、腐食性）です。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

▷ これらの油脂類は、お子様の手が届かない所に保管し、廃棄する場合は定められた処理方法を遵守してください。

警告 高温のエンジン部品やクーラント

エンジンが作動しているときは、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。
クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。クーラント・リザーバー・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

▷ 加熱した車両部品、特にエンジンやエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。

▷ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。

▷ エンジンが熱いときはリザーバーのキャップを開かないでください。

▷ 水平な場所に駐車し、**エンジンが冷えているとき**のみクーラントを補充してください。

警告 ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン周りの作動部品

エンジン・コンパートメントで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルトなどの作動部品に絡まる恐れがあります。
エンジンをOFFにし、キーを抜き取っている状態であっても、温度によってはラジエーター・ファンが作動を開始することがあります。

▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。

- ▷ 身体の一部、衣服、アクセサリーなどがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、その他の作動部品に巻き込まれないように、十分注意してください。

⚠ 警告 イグニッション・システムによる感電

イグニッションがONのときは、イグニッション・システムのすべてのケーブルと配線に高電圧が作用しています。

- ▷ イグニッション・システムの作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下する恐れがあります。

- ▷ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。**更に**、PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
- ▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず安定したサポート・スタンドで車体を支えてください。
- ▷ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▷ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

テスト・スタンドでの点検

パフォーマンス・テスト

ポルシェ社ではローラー・タイプ・テスト・スタンドでのパフォーマンス・テストを承認していません。

ブレーキ・テスト

ブレーキ・テストはローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。

ローラー・タイプ・テスト・スタンドを使用する場合、次の条件を守ってください：

- 測定速度：7.5km/h以下
- 測定時間：20秒以内

エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキを測定するときは、イグニッションをONにし、PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしなければなりません。

アクセル・ペダルを踏まないでください。

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。

このときインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**電動パーキングブレーキがサービスモードです**」のメッセージが表示されます。

オン・ザ・カー・ホイール・バランス

車両にタイヤを装着した状態でホイール・バランスを計測するときは、車両全体をリフト・アップし、ホイールが自由に回転できる状態にしなければなりません。

エンジン・オイル・レベルの点検

- ▷ オイル・レベルは、給油の前に定期的にマルチファンクション・ディスプレイで点検してください。
- ▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」（112ページ）を参照してください。

エンジン・オイルの補充量

オイル・レベルが下限(Min)まで低下すると、最大補充量がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 上限(Max)を超えてエンジン・オイルを補充しないでください。

オイル・レベルの警告

オイル・レベルが低くなり過ぎた場合、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイのオイル警告灯でお知らせします。

- ▷ 早急にエンジン・オイルを補充してください。
- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

エンジン・オイル補充後、またはエンジン・コンパートメント・リッドを開いたときのオイル・レベルの測定(Macan Turbo、Macan S)

エンジン・コンパートメント・リッドを開いた場合は、少なくとも10km走行してからでないとオイル・レベルは測定できません。

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**現在オイルレベルへの情報信号は利用できません**」のメッセージが表示されます。

エンジン・オイル補充後、またはエンジン・コンパートメント・リッドを開いたときのオイル・レベルの測定（Macan、Macan Sディーゼル＊）

エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約2分間待った後、オイル・レベルが測定可能になります。

⚠ 警告 ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン周りの作動部品

エンジン・コンパートメントで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルトなどの作動部品に絡まる恐れがあります。
エンジンをOFFにし、キーを抜き取っている状態であっても、温度によってはラジエーター・ファンが作動を開始することがあります。

▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。
▷ 身体の一部、衣服、アクセサリーなどがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、その他の作動部品に巻き込まれないように、十分注意してください。

⚠ 警告 高温のエンジン部品

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品が非常に熱くなっています。

▷ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
▷ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。

エンジン・オイルの補充

Porsche recommends Mobil 1

適合オイル：

車両	ポルシェ社認証オイル[1]	粘度等級[2]
Macan Turbo、Macan S	Porsche A40	SAE 0W - 40[3] SAE 5W - 40[4] SAE 5W - 50[4]
Macan	Porsche C30 **または** VW 504 00	SAE 0W - 30[3] SAE 5W - 30[3]
Macan S ディーゼル＊	Porsche C30 **または** VW 507 00	SAE 0W - 30[3] SAE 5W - 30[3]

1) 一般に、メーカーが推奨するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。最新の承認オイルについてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
2) 粘度等級 – 例：SAE 0W - 40
粘度0W = 低温時の粘度（冬）
粘度40 = 高温時の粘度
3) すべての温度範囲に対応
4) –25°C以上の温度に対応

下記の点を必ず守ってください：

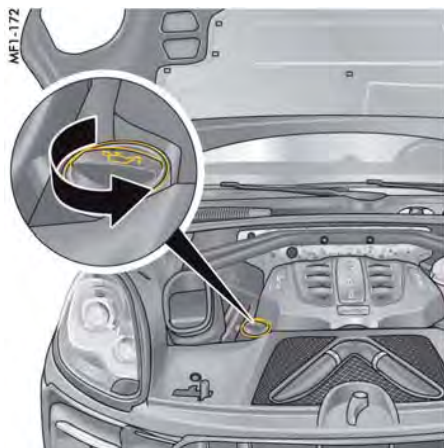
– ポルシェ社が認証したエンジン・オイルのみを使用してください。これは、車両の信頼性を高め、故障を回避するための前提条件です。
– 定期的なエンジン・オイルの交換はメンテナンスの一部です。
「整備手帳」に記載された規定のサービス・インターバルで定期的なサービス（特にオイル交換サイクル）を行うことが重要です。
– エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。
– ポルシェ車のエンジンはオイル添加剤を必要としません。
– エンジン・コンパートメントには、この車両に適したオイルの情報を記したステッカーが貼り付けてあります。

詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告 エンジン・オイルの発火

エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。

▷ エンジン・オイルの補充は十分に注意して行ってください。
▷ エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

Macan Turbo、Macan Sのエンジン・オイル給油口

知識

エンジン・オイルがドライブ・ベルトに付着すると損傷する恐れがあります。
- ▷ エンジン・オイルの補充は十分に注意して行ってください。
- ▷ エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

▷ 「メンテナンスの諸注意」（278ページ）を参照してください。

Macanのエンジン・オイル給油口

1. オイル・フィラー・キャップを取り外してください。
2. マルチファンクション・ディスプレイのオイル・ゲージに従ってオイルを補充してください。

▷ オイル・フィラー・キャップを慎重に取り付けてください。

Macan Sディーゼル＊のエンジン・オイル給油口

＊ 日本仕様に設定はありません。

ウォッシャー液

下記の点を必ず守ってください：

▷ 季節に合わせて、水と適切な溶剤（ウィンドウ・クリーナーの濃縮液、凍結防止剤）を正しい比率で混ぜ合わせてください。
夏季は水とウィンドウ・クリーナーの濃縮液をウィンドウ・クリーナーの容器に記載されている混合比率に従って混ぜてください。
冬季は水とウィンドウ・クリーナーの濃縮液に、凍結防止剤を容器に記載されている混合比率に従って加えてください。

▷ ウィンドウ・クリーナーや凍結防止剤の容器に記載されている注意事項を遵守してください。

▷ 次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナーのみを使用してください：

– 濃度1:100
– 無リン
– プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

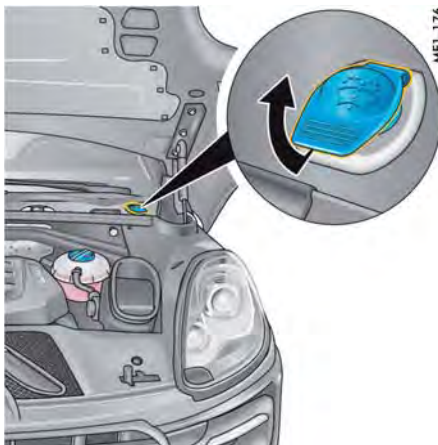
ポルシェ社が推奨するウィンドウ・クリーナー濃縮液の使用を推奨いたします。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

フロント/リヤ・ウィンドウ・ウォッシャーおよびヘッドライト・ウォッシャー・システムのウォッシャー液タンクは、エンジン・コンパートメント内の左奥にあり、青色のキャップが付いています。

警告メッセージ

ウォッシャー液が少ない場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。

このとき、ウォッシャー液の残量は約0.5リットルになっています。ウォッシャー液タンクの容量は約4.5リットルまたはヘッドライト・ウォッシャー・システム装備車では約6リットルです。

ウォッシャー液の補充

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

▷ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください（**矢印**）。
2. ウォッシャー液を補充してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

エア・クリーナーの交換

定期的なフィルター・エレメントの交換は、メンテナンスの一部です。

▷ ほこりの多い場所では、より頻繁に清掃し、必要に応じて交換してください。

▷ 「メンテナンスの諸注意」（278ページ）を参照してください。

室内防塵用フィルターの交換

定期的なフィルターの交換は、メンテナンスの一部です。

フィルターが汚れると、空気の流入量が減り、ウィンドウが曇るなどの現象が起こります。

▷ ポルシェ正規販売店でフィルターを交換してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

室内防塵用フィルターは、車内に取り込む外気から、ほこりや花粉などを取り除きます。

▷ 外気が排気ガスなどで汚れている場所では、内気循環に切り替えてください。

ワイパー・ブレード

知識

ワイパー・ブレードの清掃が適切でない場合、損傷する恐れがあります。

ワイパー・ブレードのグラファイト・コーティングが損傷する場合があります。

▷ 布またはスポンジでワイパー・ブレードを拭き取らないでください。きれいな水で洗い流すのみにしてください。

知識

ワイパー・アームが不意に倒れたり、ワイパー・ブレードが凍結したりすることにより損傷する恐れがあります。

▷ ワイパー・ブレードを交換するときは、ワイパー・アームをしっかり持ってください。

▷ フロント・ウィンドウから剥がす前に、ワイパー・ブレードの凍結を溶かしてください。

ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことで、良好な視界を確保できます。

▷ ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

▷ ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
ポルシェ・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨いたします。ワイパー・ブレードの汚れが激しいとき（昆虫の死骸が頑固に付着しているときなど）は、スポンジまたは布で拭き取ってください。

ワイパー・ブレードのびびりや異音が発生するときは、次の原因が考えられます：

– 自動洗車機を使用すると、フロント・ウィンドウにワックス成分が付着します。このワックスはウィンドウ・クリーナーの濃縮液を使用しないと除去できません。

– ワイパー・ブレードが損傷または摩耗しています。

▷ 損傷または摩耗したワイパー・ブレードは、速やかに交換してください。

▷ 「ウォッシャー液」(282ページ) を参照してください。

ワイパー・ブレードの交換

知識

ワイパー・ブレードの交換が適切でない場合、損傷する恐れがあります。

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

▷ ワイパー・ブレードが正しく取り付けられているか点検してください。
ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。

▷ ワイパー・ブレードの取り付けは、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。

▷ ワイパー・ブレードの交換作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨いたします。

エミッション・コントロール・システム

エミッション・コントロール・システム（三元触媒コンバーター、O2センサー、エレクトロニック・コントロール・ユニット）の効率を維持するために：

– 定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。

– Macan Turbo、Macan S、Macanでは、必ず**金属系添加物を含まない無鉛ガソリンのみ**を使用してください。

– Macan Sディーゼル＊では、必ず**ロー・サルファー・ディーゼル燃料**（低硫黄軽油）のみを使用してください。

インフォメーション

エンジンの空燃比制御システムに不具合が発生すると、触媒コンバーターが過熱して損傷する恐れがあります。

警告　エキゾースト・システム付近の可燃物

エンジン作動中のエキゾースト・システムは非常に熱くなっています。エキゾースト・システムの近くに燃えやすい物があると、引火する恐れがあります。
エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して発火する恐れがあります。

▷ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。走行中、排気系の熱でこれらの素材が発火することがあります。

▷ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト・システムに接触するような場所に駐車したり、走行したりしないでください。

知識

エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

▷ 通常の操作でエンジンが始動しない場合にスターター・モーターを何度も繰り返し作動させたり、長時間作動させ続けたりしないでください。

▷ 走行中にミス・ファイヤーが発生したとき（エンジンの回転が安定しないときや、エンジン出力が低下したとき）は、直ちにポルシェ正規販売店で修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 燃料残量警告灯が点灯した場合は高速でコーナリングしないでください。

▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。

▷ PDKトランスミッション装備車は、トランスミッションの重大な損傷を避けるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動ができません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

予備燃料タンク

⚠ 警告 予備燃料タンクの携行

事故などで予備燃料タンクが損傷した場合、燃料が漏れて発火する恐れがあります。
▷ 走行中は予備燃料タンクを携行しないでください。
▷ 関連する法規制を遵守してください。

⚠ 警告 燃料蒸発ガスの吸引

燃料の蒸発ガスは人体に有害です。
▷ 走行中は予備燃料タンクを携行しないでください。

ディーゼル・パティキュレート・フィルター＊

ディーゼル・パティキュレート・フィルターはディーゼル燃料の燃焼で発生する「すす」を集積し、燃焼させます。

ディーゼル・パティキュレート・フィルターは排出ガスのすすをほぼすべて取り除きます。ディーゼル・パティキュレート・フィルターは運転スタイルに応じた間隔で清掃されます。清掃プロセスには数分かかり、この間に低い頻度で一時的にエンジン・ノイズが変化したり、短時間ギヤシフトの調整をすることがあります。

オートマチック・フィルター・クリーニング機能が、短距離での使用が多いなどの理由から十分に行われなかった場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。
▷ マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。
▷ フィルターを自動清掃するためのドライビング・スタイルで運転してください。
約15分間、60km/h以上の速度と2,000rpm以上のエンジン回転数を維持して走行してください。

⚠ 警告 不適切な速度

▷ 市街地、オフロード、天候など、周囲の交通状況に合わせたドライビング・スタイルと速度で走行してください。
▷ 推奨する運転方法は、交通規則を無視することを促すためのものではありません。

▷ 警告メッセージが消えない場合、ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

警告メッセージが消えると、一定条件下での燃費の向上、出力の向上が期待できます。

⚠ 警告 エキゾースト・システム付近の可燃物

エンジン作動中のエキゾースト・システムは非常に熱くなっています。エキゾースト・システムの近くに燃えやすい物があると、引火する恐れがあります。
エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して発火する恐れがあります。
▷ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、ディーゼル・パティキュレート・フィルター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。
走行中、排気系の熱でこれらの素材が発火することがあります。
▷ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト・システムに接触するような場所に駐車したり、走行したりしないでください。

燃料の給油

イグニッションをONにすると、インストルメント・パネルに燃料の残量が表示されます。
▷ 「N – 燃料計」（104ページ）を参照してください。

⚠ 警告 給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する恐れがあります。
▷ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。
▷ 燃料を給油する前に補助ヒーター＊を OFF にしてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

⚠ 警告 燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

▷ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
▷ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

燃料

触媒コンバーターおよびO2センサーの故障を避けるため、**金属系添加物を含まない無鉛ガソリンのみ**を使用してください。

この車両のエンジンは、**EN228に基づき、オクタン価が 98RON/88MON(Macan：95RON/85MON)の金属系添加物を含まない無鉛プレミアム・ガソリン（Macan：無鉛プレミアム・ガソリン）を使用したときに、最大の出力と燃費を達成するように設計されています。**

この車両のエンジンはエタノール含有量10％以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

オクタン価が**95RON/85MON以上（Macan：95RON/85MON未満）の金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用した場合、エンジンのノック・コントロールが自動的に点火時期を調整します。

オクタン価が95RON/85MON未満の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用すると、エンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

▷ このような燃料を使用した場合はアクセル・ペダルを全開にしないでください。
▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。

 インフォメーション

通常、燃料の品質（オクタン価など）に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。

表示されていない場合などはガソリン・スタンドのスタッフにお問い合わせください。

推奨燃料が入手困難な状況では、緊急措置として無鉛ガソリン(91RON/82.5MON)を使用することもできます。

ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

▷ 無鉛ガソリン(91RON/82.5MON)を使用する場合は、アクセル・ペダルを全開にしないでください。

地域によっては、市販の燃料がポルシェ社の基準を満たしておらず、インテーク・バルブにすすが堆積することがあります。

ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 206 89

▷ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。

「整備手帳」に記載された規定のサービス・インターバルで定期的なサービス（特にオイル交換サイクル）を行うことが重要です。

知識

ポルシェ社が**承認していない**添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに重大な損傷を与える恐れがあります。

▷ ポルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。
ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに損傷を与える恐れがあります。

インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。これは硫化水素(H_2S)の特性です。

ポルシェ社はこの特性に対する責任はなく、車両の故障を示すものではありません。

ディーゼル燃料＊

ディーゼル燃料はヨーロッパ標準のEN 590に準じており、セタン価が51以上のものを使用してください。セタン価はディーゼル燃料の燃焼品質を示す値です。

燃料添加剤

燃料添加剤（いわゆる「フロー・エンハンサー」）、燃焼促進剤または同様の添加剤などを燃料と混ぜないでください。

冬季用ディーゼル燃料

冬季のディーゼル燃料は粘着物を発生させる場合があります。冬季にはガソリン・スタンドで対策されたディーゼル燃料を入手できます（冬季用ディーゼル燃料）。

知識

燃焼促進剤を使用した場合、エンジンまたは燃料系統、またはその両方に損傷を与える恐れがあります。

ディーゼル・エンジン車は燃焼促進剤の使用を考慮して設計されていません。燃焼促進剤を使用して走行しないでください。

▷ 燃焼促進剤を補充した場合は、どのような状況でもイグニッションをONにしたり、エンジンを始動したりしないでください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

低品質な燃料を使用した場合、エンジンに問題が発生する恐れがあります。

低品質な燃料を使用した場合は、燃料フィルターの水抜き栓から指定されたサービス期間より頻繁に排水する必要があります。燃料フィルターに水がたまると、エンジンに問題が発生する場合があります。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

バイオディーゼル燃料を使用した場合、エンジンまたは燃料系統、またはその両方に損傷を与える恐れがあります。

ディーゼル・エンジン車＊はバイオディーゼル燃料(FAME fuel)の使用を考慮して設計されていません。バイオディーゼル燃料を使用して走行しないでください。

▷ バイオディーゼル燃料を給油しないでください。

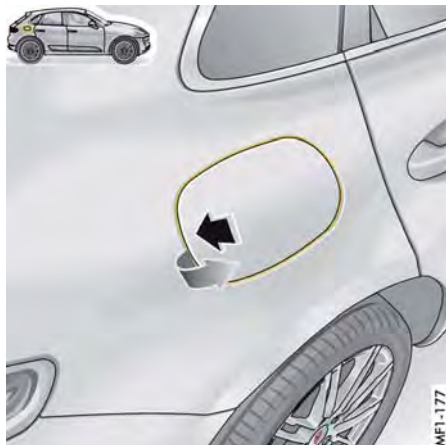
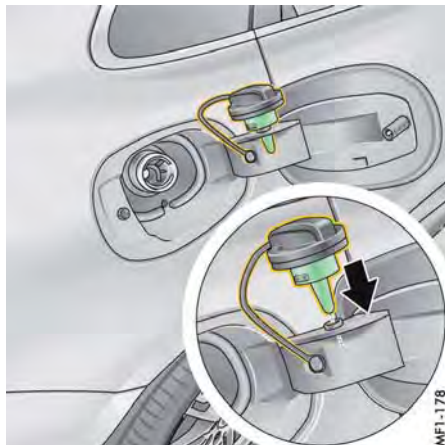
インフォメーション

ディーゼル燃料の製造メーカーでは標準のEN 590に準ずる範囲内でバイオディーゼル燃料をディーゼル燃料に混合することを認証しています。このような混合ディーゼル燃料を使用してもエンジンや燃料系統に損傷を与えることはありません。

補給

この車両に使用できる燃料の種類については、フィラー・フラップの裏のステッカーに明示されています。

車両	燃料タンク容量	予備燃料
Macan Turbo	約75リットル	約10リットル
Macan S Macan	約65リットル（オプション：約75リットル）	約9リットル
Macan S ディーゼル＊	約60リットル（オプション：約75リットル）	約8リットル

＊ 日本仕様に設定はありません。

1. エンジンを停止して、イグニッションをOFFにしてください。
2. ドアとウィンドウを閉じてください。
3. フィラー・フラップの後部（**矢印**）を押すと、フラップが開きます。
   このとき、車両のロックを解除しておいてください。
4. タンクのキャップをゆっくりと回して取り外してください。
   取り外したキャップをホルダー（**矢印**）にかけてください。
5. 必要に応じて、ポルシェ社が推奨する燃料添加剤を入れてください。
6. 給油口の奥まで給油ノズルを差し込んでください。このとき、給油ノズルのハンドルが下向きでなければなりません。
7. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。
   給油ノズルが自動的に停止したら、それ以上に給油を続けないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
8. 給油後は直ちにキャップを取り付け、ロック音と手ごたえを感じるまで、確実に閉じてください。
9. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部（矢印）を押し、確実に閉じてください。

インフォメーション

燃料タンクの給油キャップを紛失したときは、必ずポルシェ純正部品を使用してください。

知識

燃料が付着すると、デコラティブ・フィルムが損傷する恐れがあります。

デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▷ デコラティブ・フィルムに燃料がこぼれたときは、直ちに拭き取ってください。

燃料給油ミス防止装置（Macan Sディーゼル）＊

Macan Sディーゼルには燃料給油ミス防止装置が装着されています。タンクへの給油はディーゼル・ポンプ・ノズルでのみ行うことができます。

インフォメーション

ポンプ・ノズルが摩耗または損傷すると、場合により燃料給油ミス防止装置が開かないことがあります。

▷ 給油口内でポンプ・ノズルを回転させるか、または他のポンプを使用してください。

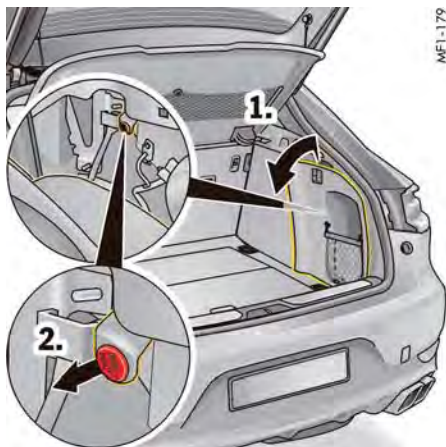
予備燃料タンクから給油するときは、燃料給油ミス防止装置は開きません。

▷ ディーゼル燃料をゆっくりと補充することで対処してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

緊急時のフィラー・フラップの手動ロック解除

フィラー・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、次の手順で開くことができます:

1. 右側ラゲッジ・コンパートメント・トリム・パネルを慎重に取り外してください。
2. 赤色の緊急解除ボタン（**矢印**）を引いてください。
   フィラー・フラップが開きます。

AdBlue®の補充＊

選択式触媒還元(SCR)装備車では、NOx（窒素酸化物）の排出量を低減するため、特殊尿素溶剤(AdBlue®)がエキゾースト・システム内に噴射されます。

AdBlue®はGerman Association of the Automotive Industry（ドイツ自動車工業会）(VDA)の登録商標です。

AdBlue®は車両の独立したタンク（容量約23リットル）に貯蔵されており、ディーゼル燃料給油口の右側にあるAdBlue®フィラー・ネックから補充します。

AdBlue®の消費量は、ドライバーの運転スタイル、システムの作動温度、外気温によって左右されます。

AdBlue®の補充作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨いたします。

⚠ 警告 AdBlue®の不適切な保管

中毒を起こす危険があります。AdBlue®は空になった食品や飲料の容器に入れて保管しないでください。他の人が誤飲する恐れがあります。

▷ AdBlue®はポルシェ純正のAdBlue®補充容器のみに入れて、安全な場所で保管してください。

▷ AdBlue®は常に、お子様の手が届かない場所に保管してください。

⚠ 警告 腐食性の液体による皮膚への刺激

AdBlue®は腐食性の液体です。皮膚に刺激を与えたり、目や粘膜、呼吸器を傷つけたりすることがあります。

▷ 皮膚や目、口などに触れた場合、速やかにきれいな多量の水で洗い流してください（約15分間）。必要に応じて医師の診察を受けてください。

▷ 誤って飲み込んだときは、医師からの指示がない限り、無理に嘔吐しないでください。すぐに医師の診察を受けてください。

知識

AdBlue®タンクは、ポンプによる補充に適して**いません**。AdBlue®をポンプ・ノズルを使用して補充すると、あふれ出して塗装面を痛めることがあります。

▷ AdBlue®を補充する際は、ポルシェ純正のAdBlue®補充容器のみを使用してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

AdBlue®が付着した場合、車両の塗装部品、プラスチック部品、衣服やカーペットに損傷を与える恐れがあります。

▷ AdBlue®がこぼれた場合、速やかに濡れた布と多量の水を使用して清掃してください。

▷ 乾いて結晶化したAdBlue®は温水とスポンジを使用して取り除いてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

知識

不適切なAdBlue®を使用すると、エンジンに損傷を与える恐れがあります。

▷ ポルシェ社が承認するISO 22241-1要件に適合したAdBlue®のみを使用してください。承認されていないAdBlue®を使用した場合、エンジンに損傷を与える恐れがあります。

▷ AdBlue®に水や添加剤などを混ぜないでください。
これによって生じた損傷については、メーカー保証の対象外となります。

▷ AdBlue®を絶対にディーゼル燃料タンクに補充しないでください。

▷ 補充容器を長時間車内に放置しないでください。気温の変化により、補充容器からAdBlue®が漏れ出し、車内に損傷を与える恐れがあります。

マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ＊

残りのAdBlue®充填量での走行可能距離が約2,400kmになると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに補充を促すメッセージが表示されます。

補充を促すメッセージを無視して走行を続けた場合、イグニッションをOFFにした後、エンジンを始動することができなくなる場合があります。
この場合、エンジンはジャンパー・ケーブルによる始動もできなくなります。

マルチファンクション・ディスプレイに赤色の警告 または黄色の警告 が表示された場合、故障していることを示しています。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

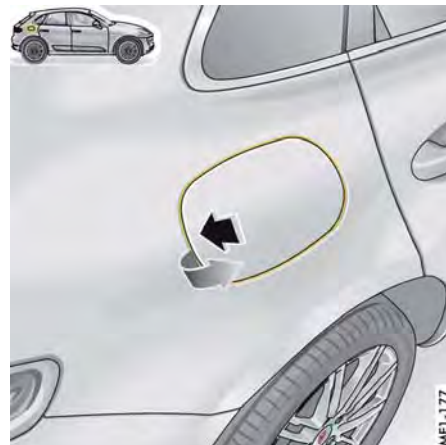
インフォメーション

▷ AdBlue®が空になるまで走行しないでください。

AdBlue®の補充＊

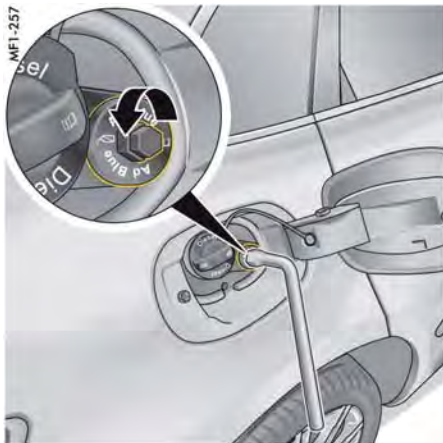
▷ AdBlue®を補充するときは、車両を平坦な場所に駐車してください（車両が傾いている、または片側のホイールを縁石に乗せている状態で補充しないでください）。
車両が平坦な場所に駐車していない場合、充填レベル・ゲージが補充量を正しく測定できない場合があります。

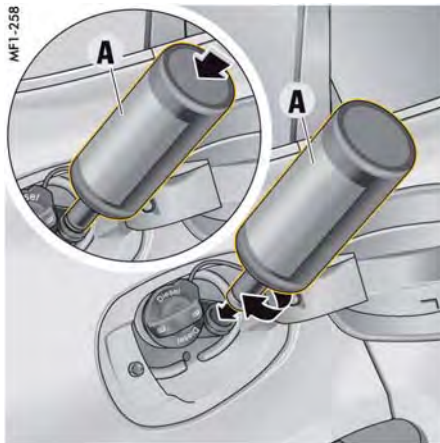
インフォメーション

適切なAdBlue®補充容器については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

AdBlue®フィラー・ネックを開く

必要条件：車両のロックを解除してください。

1. エンジンを停止して、イグニッションをOFFにしてください。
2. フィラー・フラップの後部（**矢印**）を押すと、フラップが開きます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

3. AdBlue®フィラー・ネックのキャップを、ホイール・ボルト・レンチを使用して、反時計回りに回して取り外してください。
   ホイール・ボルト・レンチは工具セットに収納されています。

▷ 「工具セット」（300ページ）を参照してください。

AdBlue®の補充

▷ ポルシェ社が承認するISO 22241-1要件に適合したAdBlue®のみを使用してください。

▷ 最低5.7リットル以上のAdBlue®を補充してください（ポルシェが推奨するAdBlue®補充容器3個分）。

▷ AdBlue®製造メーカーからのインフォメーションをよく読み、有効期限を確認してください。

1. 補充容器**A**のキャップを取り外してください。
2. 補充容器**A**をAdBlue®フィラー・ネックに挿入し、手で時計回りに回して締め付けてください。
3. 補充容器**A**の底を押してフィラー・ネックに軽く押し付け、しっかりと保持してください。
   強く押し付けないでください。補充容器が損傷する恐れがあります。
4. 補充容器の中身が、AdBlue®タンクに充填されるまで待ってください。
   AdBlue®タンク容量の上限に達すると、補充容器からAdBlue®が充填されなくなり、あふれ出すのを防止します。
5. 補充容器を反時計回りに回してゆるめ、慎重に取り外してください。

AdBlue®フィラー・ネックを閉じる

1. AdBlue®フィラー・ネックのキャップをホイール・ボルト・レンチを使用して時計回りに回し、既定の締め付けトルクに達したことを知らせるロック音がするまで締め付けてください。
2. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部を押し、確実に閉じてください。

お出かけの前に

▷ AdBlue®を補充した後に**のみ**、イグニッションをONにしてください。

▷ 30秒以上イグニッションをONにしたままにしてください。この間にシステムが補充作業が行われたことを検出します。

▷ 30秒間はエンジンを始動しないでください。

車両のお手入れ

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。

ポルシェ正規販売店は、車両に相応しいカー・ケア用品を各種取り揃えており、用途に応じて単品またはセットで販売しています。

▷ カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
▷ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください。
▷ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態がしっかりと点検されているか、保証を受けるための条件が満たされているかを調査するため、すべてのポルシェ正規販売店ではお手入れの状態や整備状況を記録しています。このため、ポルシェ正規販売店ではコンディション・リポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

高圧洗浄機、スチーム・クリーナー

⚠ 警告 不適切な清掃

高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用すると、以下のコンポーネントを損傷する恐れがあります：

– タイヤ
– ロゴ、エンブレム
– 塗装面
– ホイール・アーチ・エクステンション
– 電動格納式トレーラー・ヒッチのシール
– オルタネーター、バルブ・カバー
– エンジン・コンパートメント内の電装部品とコネクター
– パーキング・アシスタント・センサー
– アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサー
– リバース・カメラ

▷ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
▷ 洗車の前に、ブレーキ液タンクのキャップにカバーをかけてください。洗車ノズルを直接キャップに向けないでください。
▷ フラット・ジェット・ノズルやダート・ブラスターなどで洗浄する場合は、最低50cm距離を置いてください。
▷ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用しないでください。
▷ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
▷ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。

デコラティブ・フィルム

知識

高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用すると、デコラティブ・フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

▷ デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。

洗車

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。

解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

▷ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。

▷ グリース、オイル、金属粉などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。

▷ 濃色車は塗料の組成上、傷が付きやすい性質があります。淡色車に比べてこまめにお手入れしてください。
また濃色車の塗装は、小さな引っかき傷でも淡色車に比べて傷が目立ちやすい特性があります。

▷ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。

▷ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
ポルシェ・カー・シャンプーの使用を推奨いたします。

▷ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷりと水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。

▷ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。
ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

▷ 洗車後は、ブレーキとステアリングの作動を点検してください。

▷ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

自動洗車機

自動洗車機によっては、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

特に次のパーツは、損傷の可能性が高まります：

– フロント/リヤ・ワイパー：レイン・センサー機能により不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずワイパー・レバーをOFF（**0**の位置）にしてください。
– ドア・ミラー：必ず格納してください。
– 外部アンテナ：必ず取り外してください。
– ルーフ・トランスポート・システム：必ず完全に取り外してください。
– スポイラー
– ホイール：幅広リム、低偏平タイヤは特に注意が必要です。
– 高光沢ホイールまたはシルク・グロス・ホイール：傷が付きやすいので、ホイール洗浄用ブラシで擦らないでください。

▷ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

▷ ドアやリヤ・リッドのすき間、ドア・シルなど洗車機で洗えない部分は手で洗い、手作業で拭き取ってください。

塗装の保護

物理的、化学的な影響に対して最良の状態で車両の塗装を保護するため、次の点に注意してください：

– 定期的にお手入れをしてください。
– 必要に応じて磨いてください。
– 染みや汚れを取り除いてください。
– 塗装の損傷箇所は、速やかに補修してください。

インフォメーション

▷ ほこりの粒子で塗装面を傷めることがあるため、乾いた布で車両のほこりを払わないでください。
▷ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を塗布すると、艶消し効果がなくなります。

保護

塗装面は、経年変化で徐々に艶が失われます。

▷ 定期的にワックスをかけて保護してください。
▷ 洗車後は塗装保護剤を塗布し、塗装面を保護するために丁寧に磨いてください。

この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

つや出し（ポリッシュ）

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。
ポルシェ・ペイント・ポリッシュの使用を推奨いたします。

汚れ、染みの除去

▷ タール、グリース、昆虫の死骸などは色褪せの原因になるため、ポルシェ推奨のタール除去剤か、インセクト・リムーバーで速やかに取り除いてください。
▷ 除去処理を行った後は、直ちに水で洗い流してください。

小さな傷の補修

▷ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

ペイント・データは車両のデータ・キャリアに表示されています。

▷「データ・バンク」(339ページ）を参照してください。

エンジン・コンパートメントの清掃

知識

オルタネーター、コネクター、塗装面、バルブ・カバーなどを損傷する恐れがあります。

▷ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
▷ 丸型ジェット・ノズルが付いた高圧洗浄機を使用しないでください。
▷ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから50cm以上離してください。
▷ 高圧洗浄機を使用して清掃する前に、ブレーキ液タンクのキャップにカバーをかけてください。洗車ノズルを直接キャップに向けないでください。
▷ スパーク・プラグ・シャフトをカバーしてください。
▷ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。

ウィンドウの清掃

▷ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。
ポルシェ・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨いたします。
▷ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。
ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
▷ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。

インフォメーション

フロント・サイド・ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。

このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ワイパー・ブレードのお手入れ

ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことで、良好な視界を確保できます。

▷ 「ワイパー・ブレード」（282ページ）を参照してください。

アンダーコーティングの補修

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

▷ ポルシェ正規販売店で定期的に点検、補修を受けてください。

⚠ 警告 エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して発火する恐れがあります。

▷ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

ヘッドライト、ライト、内外装のプラスチック部品、接着フィルム、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサー、およびカメラの清掃

下記の点を必ず守ってください：

▷ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品およびパーツの表面を清掃するときは、きれいな水と少量の中性洗剤、またはインテリア・ウィンドウ・クリーナー**のみ**を使用してください。
柔らかいスポンジや不織布を使用してください。

▷ 内装のプラスチック部品に直接水やウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。最初はスポンジまたは布にスプレーしてください。洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。

インフォメーション

プラスチック表面の清掃には、インテリア・ウィンドウ・クリーナーを使用することもできます。クリーナーの容器に記載されている注意事項を遵守してください。

ポルシェ・インテリア・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨いたします。

▷ 力をかけずに優しく表面を拭いてください。

▷ 表面が乾いた状態で清掃しないでください。

▷ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

▷ 清掃した部分を、きれいな水で洗い流してください。

軽合金製ホイール

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。

金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

 インフォメーション

保護塗装の酸化被膜を破壊するような光沢剤やpH値の不正なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

▷ ポルシェ指定軽合金製ホイール・クリーナー（pH値9.5）をお使いください。pH値が不正な洗剤を使用すると、ホイール表面の保護層を傷めます。
ポルシェ軽合金製ホイール・クリーナーの使用を推奨いたします。

▷ 可能であれば、2週間ごとにスポンジか洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

▷ 3ヶ月に1回、ホイールを洗浄した後にワックスまたは腐食性がないグリース（例：ワセリン）をホイールに塗布してください。
柔らかい布でホイール表面にグリースをすり込んでください。

▷ 「自動洗車機」（292ページ）を参照してください。

警告 クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどが付着したままにすると、ブレーキ・ディスクに膜ができて、ブレーキ性能を損なう恐れがあります。

▷ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。

▷ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。

▷ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

ステンレス・テール・パイプ

ステンレス製テール・パイプは、ほこり、高温の熱、排気ガスの残留物で変色することがあります。

市販のポリッシュ・ペーストまたは金属用のつや出し剤を使用することによって元の光沢を取り戻すことができます。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

▷ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。

▷ 防錆剤を使用しないでください。

▷ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。

▷ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

本革の表面に見られる天然のしわや傷、虫が刺したような跡、模様の違いや色合いの微妙な変化が、高品質本革の天然素材としての魅力を一層引き立てます。

下記の点に注意して、お手入れを行ってください：

知識

不適切なクリーナー、洗剤、保護剤などを使用すると、本革を傷める原因になります。

▷ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃具を使用しないでください。

▷ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。

▷ 革製品上の水滴は直ちに取り除いてください。

▷ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かな汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。

▷ 汚れがひどいときは、レザー・クリーナーを使用してください（水染み/湿気による染み以外）。
容器の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
ポルシェ・レザー・ケア・リキッドの使用を推奨いたします。

▷ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。
ポルシェ・レザー・ケア・リキッドの使用を推奨いたします。

シート・ベンチレーション付きシート

水染み/湿気による染みのお手入れの諸注意

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革に染みが付く可能性があります。

水染み/湿気による染みを取り除く

前提条件：

– シート・ヒーターおよびシート・ベンチレーションをOFFにしてください。
– 直射日光が当たらないようにしてください。
– 水/湿気による染みを取り除く際、レザー・クリーナーやお手入れ製品を使用しないでください。

▷ 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバックレストの表面全体を軽くたたいてください。
表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。

▷ シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。
シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
▷ 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア・マットの清掃

▷ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
▷ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。
ポルシェ・ステイン・リムーバーの使用を推奨いたします。

フロア・カーペットの汚れや傷つきを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリーとして用意しています。

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

▷ フロア・マットなどでブレーキ・ペダルの動きを妨げないようにしてください。
フロア・カーペットの上に敷くのみのマットを使用しないでください。

エアバッグ・カバーの清掃

⚠ 危険 不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切な方法で清掃すると、エアバッグ・システムが故障する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない恐れがあります。

▷ ステアリング・ホイールのパッド、インストルメント・パネルの下、フロント・シート、ルーフ・ピラー、ルーフ・ライナー、リヤ・インテリア・トリム・パネル、シート・バックレストの周辺などの部品を改造しないでください。
▷ これらの部品を清掃するときは、ポルシェ正規販売店にお任せください。

ファブリック・ライニングの清掃

▷ ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

アルカンターラのお手入れ

アルカンターラの清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。

日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。

研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、アルカンターラの表面が傷むので注意してください。

軽度の汚れの清掃

▷ 柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。

頑固な汚れの清掃

▷ 柔らかい布を、ぬるま湯または薄めたクリーニング用溶剤で濡らして、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シートベルトの清掃

▷ シートベルトは、刺激性の少ない洗剤で清掃してください。
▷ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
▷ 適切な洗剤のみを使用してください。
▷ シートベルトを染色および脱色しないでください。
シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

車両の長期保管

車両を長期間保管する場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。
スタッフが、腐食防止対策、特別なお手入れとメンテナンス、保管方法などについてアドバイスいたします。

また、車両の保管に関する重要な情報が、他の章にも掲載されています。

▷ 「バッテリー(12V)」(319ページ)を参照してください。
▷ バッテリーを切り離した状態で車両をロックする場合のインフォメーション:
「車両のすべてのドアを同時にロックできない」(28ページ)を参照してください。

軽修理

＊ 日本仕様に設定はありません。

軽修理について

ポルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨いたします。
十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束いたします。
お客様ご自身でメンテナンスされる場合につきましても、細心の注意を払っていただくようお願いいたします。本書に掲載された注意事項を守った場合にのみ、信頼できる走行性能が保証されます。
不適切なメンテナンスを行うと、保証期間中でも保証が適用されないことがあります。

インフォメーション

国別の法規によっては、工具セットやスペア・パーツの携行が義務付けられている場合があります。運転前には必ず確認をしてください。

危険 有毒な排気ガスの吸引

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす危険があります。

▷ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

警告 車両の油脂類、燃料蒸発ガスへの引火、爆発性ガスの爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する恐れがあります。バッテリー充電中は爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

▷ バッテリーや燃料系統の近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

警告 有害な補充液

エンジン・オイル、ブレーキ液、クーラントなどは人体に有害（毒性、刺激性、腐食性）です。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
▷ 油脂類はお子様の手が届かない所に保管し、廃棄する場合は定められた処理方法を遵守してください。

警告 高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。
クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。クーラント・リザーバー・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

▷ 高温の車両部品、特にエンジンやエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
▷ エンジン・コンパートメントで作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
▷ エンジンが熱いときはタンクのキャップを開かないでください。
▷ 水平な場所に駐車し、**エンジンが冷えているときのみ**クーラントを補充してください。

⚠ 警告 ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン周りの作動部品

エンジン・コンパートメントで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルトなどの作動部品に絡まる恐れがあります。
エンジンをOFFにし、キーを抜き取っている状態であっても、温度によってはラジエーター・ファンが作動を開始することがあります。

▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。
▷ 身体の一部、衣服、アクセサリーなどがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、その他の作動部品に巻き込まれないように、十分注意してください。

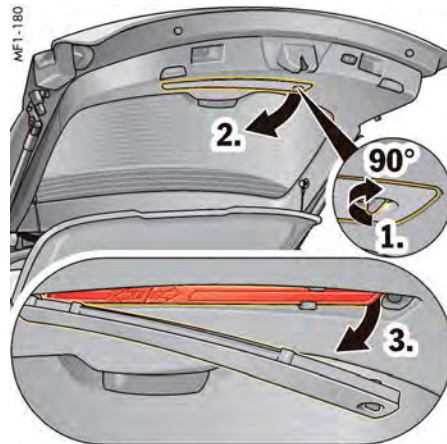
⚠ 警告 イグニッション・システムによる感電

イグニッションがONのときは、イグニッション・システムのすべてのケーブルと配線に高電圧が作用しています。

▷ イグニッション・システムの作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下する恐れがあります。

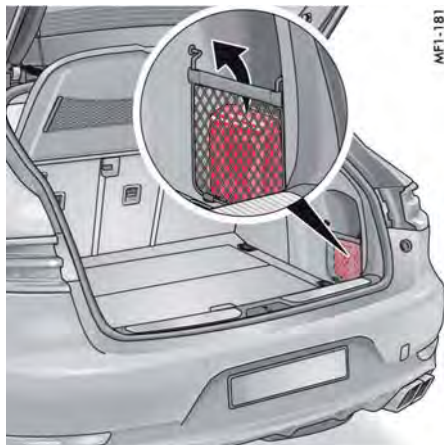
▷ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。**更に**、PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず安定したサポート・スタンドで車体を支えてください。
▷ 必ず車両フロアの指定されたジャッキ・ポイントで車両を持ち上げてください。
▷ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

停止表示板＊

停止表示板は、リヤ・リッド・カバーの裏側に収納されています。

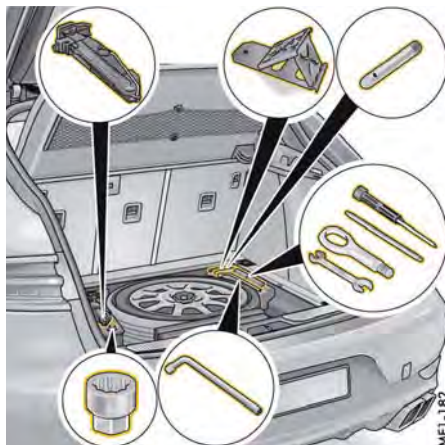
1. ツイスト・ロックを90°回してください。
2. カバーを開いてください。
3. 停止表示板を慎重に外してください。

i インフォメーション

国別の仕様によっては、2個目の停止表示板がラゲッジ・コンパートメントのロード・シル下に収納されています。

＊ 日本仕様に設定はありません。

応急処置セット＊

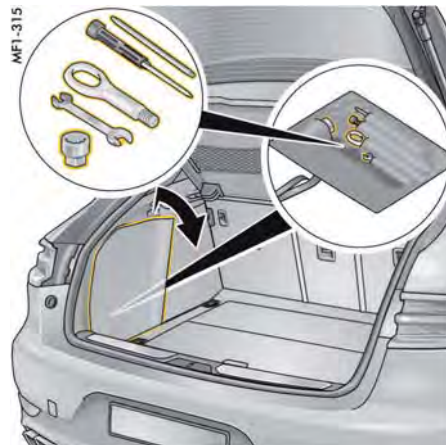
応急処置セットは、ラゲッジ・コンパートメント右側のカバー内に収納されています。

▷ 応急処置セットの内容物を使用したときは早急に補充してください。

コラプシブル・スペア・ホイール装備車

工具セット

コラプシブル・スペア・ホイール装備車では、工具セットはラゲッジ・コンパートメント・フロア下に収納されています。

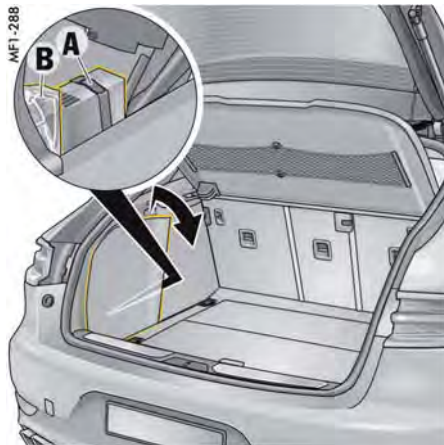
インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、ホイール取り付け補助工具など）は、コラプシブル・スペア・ホイールまたはフルサイズ・スペア・ホイール装備車のみに標準装備されています。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

コラプシブル・スペア・ホイール非装備車

コラプシブル・スペア・ホイール非装備車では、工具セットは左側のサイド・トリム・パネル内に収納されています。

インフォメーション

コラプシブル・スペア・ホイール非装備のMacan Sディーゼルでは、AdBlue®タンク用のレンチが工具セットに含まれています。＊

＊ 日本仕様に設定はありません。

A - 空気圧計付きコンプレッサー
B - タイヤ・シーラント・カートリッジ

左サイド・トリム・パネルの裏側には、空気圧計付きコンプレッサー**A**が収納されています。コラプシブル・スペア・ホイール非装備車では、タイヤ・シーラント・カートリッジ**B**が収納されています。

コンプレッサーを使用したタイヤ空気充填に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ空気の充填」（315ページ）を参照してください。

タイヤ・シーラントの使用に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ・シーラントの充填」（310ページ）を参照してください。

クーラント・レベルの点検と補充

エンジン・クーラントには、年間を通じた腐食防止と、–37℃までの凍結防止の働きがあります。

クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。クーラント・レベルはマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されたときにのみ点検する必要があります。

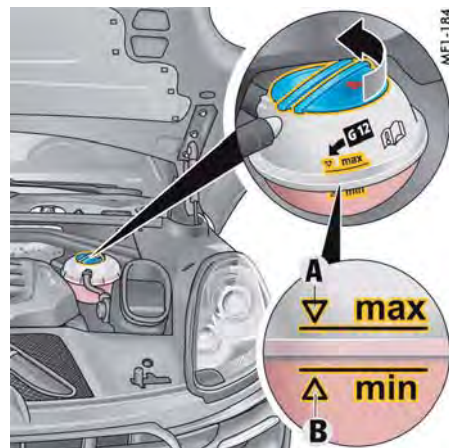
▷ 「警告と情報メッセージの概要」（144ページ）を参照してください。

▷ ポルシェが認証した不凍液のみを使用してください。

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されたときのクーラント・レベルの点検：

▷ カバーを取り外してください。

▷ クーラント・レベルを読み取ってください。水平な場所に停車して**エンジンが冷えているとき**にクーラント・レベルが**A**マークと**B**マークの中間になければなりません。

▷ クーラント・レベルがMINマーク**B**より下にある場合はクーラントを補充してください。

⚠ 警告 高温のクーラント

エンジン作動中のクーラントは非常に熱くなっています。クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。リザーバー・タンク・キャップを開く場合、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。リザーバー・タンク・キャップを開くときは細心の注意を払ってください。

▷ エンジンが熱いときはリザーバーのキャップを開かないでください。

▷ 水平な場所に停車し、**エンジンが冷えているとき**のみクーラントを補充してください。

---

1. 慎重にリザーバーのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
   圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
2. **A**マークを超えないように補充してください。
   不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。
   クーラントの不凍液の割合：
   50％（–35℃までの凍結防止）

3. リザーバーのキャップをしっかりとロックするまでねじ込んでください。
4. 冷却システムを点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

 インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。
クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

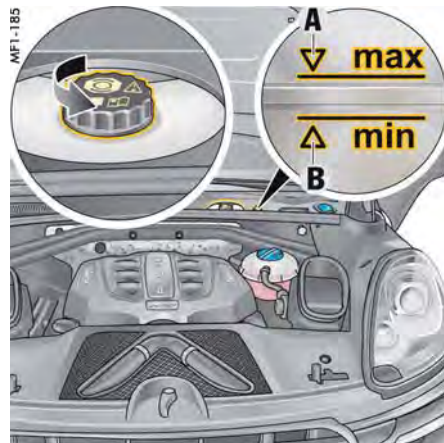
▷ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラジエーター・ファン

ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。

⚠ 警告 ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン周りの作動部品

エンジン・コンパートメントで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルトなどの作動部品に絡まる恐れがあります。
エンジンをOFFにし、キーを抜き取っている状態であっても、温度によってはラジエーター・ファンが作動を開始することがあります。

▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。
▷ 身体の一部、衣服、アクセサリーなどがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、その他の作動部品に巻き込まれないように、十分注意してください。

ブレーキ・フルード

ブレーキ・フルードを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。
フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。
ブレーキ・パッド/ディスクの摩耗に伴って液面が自動的に調整され、液面が少し低下することがありますが、これは正常な現象です。
液量の減少が著しいときや、MINマークを下回ったときは、ブレーキ・システムに漏れが発生していることが考えられます。

▷ ポルシェ正規販売店で、直ちにブレーキ・システムの点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。ブレーキ液が水分を含むと沸点が下がり、ブレーキ性能に悪影響を及ぼします。

▷ 「整備手帳」に記載された規定の使用期間に従って、定期的にブレーキ・フルードを交換することが重要です。

警告灯および警告メッセージ

ブレーキ液量が許容範囲を下回ったときや、ブレーキ回路に不具合が発生してペダルの踏み代が過大になると、インストルメント・パネルの警告灯、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージが異常を知らせます。

インフォメーション

走行中に警告灯および警告メッセージが表示されたときは：

▷ 直ちに適切な場所に停車してください。

▷ 運転を続けないでください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(144ページ)を参照してください。

パワー・ステアリング

⚠ 警告

パワー・ステアリング・アシスト機能の不具合によるステアリング操作力の増大

エンジンを停止しているとき（けん引時など）は、操舵力がアシストされません。
ステアリング操作に大きな力が必要になります。

▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

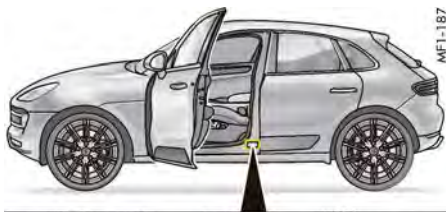
タイヤとホイール

タイヤの寿命は、空気圧やホイール・アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。
急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤのトレッド面の摩耗を早める原因です。エンジンと同様、タイヤも正常な状態で使用しなければなりません。
タイヤを正しく取り扱うことで、長期にわたって安全な走行が可能になります。
いつまでも安全に車両をお使いいただくために、以下のタイヤの取り扱い方法を遵守してください。

荷重と速度

▷ 過積載をしないでください。規定荷重を超える荷物をルーフに積まないでください。

下記のような使用は大変危険です：

- 過積載
- タイヤの空気圧不足
- スピードの出し過ぎ
- 高い外気温度（例：真夏の暑い日のドライブなど）

タイヤ空気圧

規定の空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧の規定値は、以下で確認ができます:

– 運転席ドア開口部にあるタイヤ空気圧プレート**A**、および本書の「タイヤ空気圧とテクニカル・データ」の章に掲載されています:「冷間時のタイヤ空気圧(20℃)」(343ページ)を参照してください。

タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20℃)を基準にしています。

▷ 少なくとも2週間に1回はタイヤ空気圧を点検してください。必ずタイヤが冷えているときに点検してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー(タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(117ページ)を参照してください。

タイヤの温度が上昇すると、空気圧も高まります。

▷ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない(空気を抜かない)でください。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

タイヤのバルブ・キャップは、バルブ部分へのほこりや汚れの侵入を防ぎ、空気漏れを防ぎます。

▷ 必ずキャップをしっかりと締め付けてください。

▷ 紛失した場合は、直ちに新しいキャップを取り付けてください。

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。

タイヤの損傷

高圧洗浄機を使用すると、タイヤを傷付けることがあります。

▷ 「高圧洗浄機、スチーム・クリーナー」(291ページ)を参照してください。

⚠ 警告 目に見えないタイヤの損傷

高速走行時にタイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

▷ 定期的にタイヤの状態(側面も含めて)を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。

▷ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

▷ ホイール・リムを損傷した可能性があるとき(特に内側)は、専門家による点検を受けてください。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください:

– タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき

– タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき

i インフォメーション

いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。

▷ オフロードを走行した後は、タイヤに亀裂、損傷、腫れ、異物の噛み込みなどがないか確認してください。必要に応じて、タイヤを交換してください。

縁石

段差が大きな縁石や尖った物(石など)を急な角度で乗り越えると、その衝撃で目に見えない損傷が生じ、しばらくしてから不具合が現れることがあります。また、衝撃が大きいときは、ホイール・リム・フランジを損傷することもあります。

タイヤの保管

▷ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。

▷ 外気温が–15℃を下回るような場所にサマー・タイヤを保管したり、サマー・タイヤ装着車を停車したりしないでください。

▷ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

製造から6年以上が経過したタイヤは使用しないでください。

「タイヤは、保管して古くなった方が摩耗しにくい」という説がありますが、これは完全な誤りです。

年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。

タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。

コードの下4桁が製造年と週を示しており、例えば「1211」のコードは2011年の第12週目に製造されたタイヤであることを意味します。

トレッド（接地面の溝）

トレッドが摩耗して溝の深さが浅くなると、ハイドロプレーニング現象が発生する危険性が高まります。

▷ 安全のため、トレッドの溝にスリップ・サイン（深さ1.6mm）が**現れる前に**タイヤを交換してください。
　ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

▷ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に調べてください。

ホイール・バランス

▷ 走行安全性を維持するため、サマー・タイヤは春に、マッド/ウインター（スノー）・タイヤは冬に入る前にホイール・バランスを点検してください。

ホイール・バランスは、必ず適切なバランス・ウエイトを使用して行ってください。

接着式のバランス・ウエイトは洗剤などで脱落することがあります。

タイヤ空気圧モニタリング(TPM)用センサー付きホイール

▷ ホイールを交換する前に、この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。
　詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ホイールの交換

▷ 車両からホイールを取り外す場合は、それぞれのタイヤが付いていた位置（前後左右）と、前進時のタイヤの回転方向をマーキングしてください。
　例：
　右前のホイールは「FR」、左前は「FL」、右後ろは「RR」、左後ろは「RL」

▷ ホイールを再度取り付けるときは、マーキングに従って同じ位置に取り付けてください。

ホイール・アライメント

トレッドの摩耗度合いに偏りがあるときは、ホイール・アライメントに狂いがあることを示しています。この場合にはホイール・アライメントを点検してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 警告　走行時にハンドルをとられたり、振動が発生する

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生した場合は、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▷ 急ブレーキをかけないように、スピードを落としてください。

▷ 停車してタイヤを点検してください。
　不具合原因がわからないときは、注意して運転し、最寄りのポルシェ正規販売店で点検を受けてください。
　この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ交換

▷ 新しいタイヤに交換する前に、最新の認証タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ ポルシェ社がテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
タイヤ側面の「N」ではじまる仕様番号（例：N0、N1、N2）を確認してください。

原則として、4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様(N0、N1...)に統一してください。

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

▷ 新品のタイヤを装着してから最初の100～200kmは、高速走行を避けて慎重に運転してください。

フロントまたはリヤ・アクスルのどちらか一方のタイヤのみを交換すると、前後アクスルのタイヤ・トレッド溝の深さに差が生じるため、それまでとは違った走行感覚になります。この違和感は特にリヤ・タイヤを交換した場合に顕著になります。

この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

▷ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。

損傷したタイヤを1本のみ交換する場合、左右のタイヤ・トレッド溝の深さに30%以上の差がないことを確認してください。

▷ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。

タイヤ・バルブ

規定の取り付けまたは交換手順に従ってください：

▷ タイヤ空気圧モニタリング(TPM)用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。

▷ タイヤを交換する場合は、TPMのバルブとセンサーを点検し、必要に応じて交換してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ バルブの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップを取り付けてください。
バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。

▷ プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

ウインター・タイヤ

⚠ 警告 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤが破損する場合があります。その結果、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

▷ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。

▷ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。
法定速度を遵守してください。

▷ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインター・タイヤを4輪すべてに装着してください。
詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ 新しいタイヤに交換する前に、最新の認証タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。

インフォメーション

サマー・タイヤは外気温度が低くなると性能と快適性が低下するため、外気温度が7°C以下の状況ではウインター・タイヤの使用を推奨いたします。サマー・タイヤの使用を続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。

更に外気温度が極端に低くなると（–15°C以下）、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

▷ ウインター・タイヤと同様、オール・シーズン・タイヤやオール・ラウンド・タイヤも「M+S」のカテゴリーに属します。

ホイール交換

▷ 車両からホイールを取り外す場合は、それぞれのタイヤが付いていた位置（前後左右）と、前進時のタイヤの回転方向をマーキングしてください。
例：右前のホイールは「FR」、左前は「FL」、右後ろは「RR」、左後ろは「RL」

▷ ホイールを再度取り付けるときは、マーキングに従って同じ位置に取り付けてください。

インフォメーション

冬季は、雪や氷を除去するためのハンド・ブラシやプラスチック製スクレーパー、凍結した坂道で発進するための乾いた砂の携行を推奨いたします。

スノー・チェーン

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」の章を参照して、スノー・チェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

▷ スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が推奨または承認したファイン・リンク・チェーンのみを使用してください。

ポルシェ社が承認したスノー・チェーンに関するインフォメーション：

▷ 「タイヤとホイール」(303ページ) を参照してください。

▷ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。

▷ 最高速度については各国の法規に従ってください。

A - タイヤ幅(mm)
B - 偏平率(%)
C - タイヤの構造記号（ラジアル）
D - リム径（インチ）
E - ロード・インデックス
F - 速度記号

ラジアル・タイヤの見方

速度記号

速度記号**F**は、そのタイヤの許容最高速度を示します。
この記号はタイヤの側面（サイド・ウォール）に表示されています。

T = 190km/hまで
H = 210km/hまで
V = 240km/hまで
W = 270km/hまで
Y = 300km/hまで

インフォメーション

▷ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないタイヤを装着できます。
ウインター・タイヤと同様、オール・シーズン・タイヤやオール・ラウンド・タイヤも「M+S」のカテゴリーに属します。

A - リム幅（インチ）
B - リムフランジ形状記号
C - ドロップ・センター・リム記号
D - リム径（インチ）
E -ダブル・ハンプ
F - リム・オフセット(mm)

軽合金製ホイールの記号

ホイールの情報は、タイヤ・バルブ近くのホイール・スポーク裏面に表示されています。

ジャッキ

ジャッキは工具セットと共に、ラゲッジ・コンパートメントの左側の床下に収納されています。

▷ 「工具セット」（300ページ）を参照してください。

ジャッキを使用したリフトアップに関するインフォメーション：

▷ 「ジャッキによるリフト・アップ」（312ページ）を参照してください。

リフトおよびトロリー・ジャッキによるリフト・アップ

▷ タイヤ交換に関するインフォメーション：「タイヤ交換」（313ページ）を参照してください。

▷ 車両は必ず、前後にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。

▷ リフトに乗り入れるときは、車両下部とリフト・プラットフォームの間に十分なスペースがあることを確認してください。

▷ エンジン、トランスミッション、アクスルにはジャッキをかけないでください。重大な損傷を招く恐れがあります。

レベル・コントロール・システム装備車のリフト・アップ

リフトに乗り入れる前、またはトロリー・ジャッキ/標準ジャッキで車両を持ち上げる前に、オートマチック・レベル・コントロール・システムをOFFにしてください：

▷ 手動でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムをOFFにしてください。
「レベル・コントロールのON/OFF」（231ページ）を参照してください。

ホイール・ボルト

▷ ホイール・ボルトは、取り付ける前に、必ず清掃してください。

▷ ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。

▷ 損傷したホイール・ボルトは交換してください。
この車両専用のポルシェ純正ホイール・ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。

締め付けトルク

ホイール・ボルトの締め付けトルク：**160 Nm**

盗難防止ホイール・ボルト

盗難防止ホイール・ボルトを脱着するためのアダプター（ソケット・レンチ）は、工具セットに収納されています。

▷ 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。

▷ アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

インフォメーション

▷ 車両を修理工場に預けるときにホイールを脱着する可能性があるときは、キーと一緒に盗難防止ホイール・ボルト用のアダプターも忘れずにお渡しください。

パンク修理

 インフォメーション

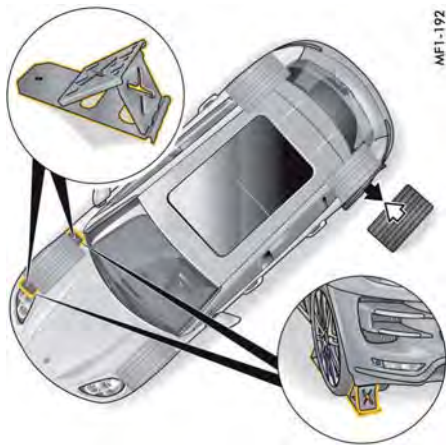
タイヤ交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、ホイール取り付け補助工具など）は、コラプシブル・スペア・ホイールまたはフルサイズ・スペア・ホイール装着車のみに標準装備されています。ご不明な点はポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店では、お客様のご要望に応じた適切なアドバイスを行います。

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。
   ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
4. PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. 誤ってエンジンが始動しないように、またステアリングをロックするため、イグニッション・ロックからキーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）を抜き取ってください。
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。交通状況に注意してください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。

コラプシブル・スペア・ホイール装備車の折り畳み式輪止め

車両の固定

ラゲッジ・コンパートメント・フロア右側に収納されている2個の折り畳み式輪止め**A**は車両を固定するために使用してください。

1. 折り畳まれている輪止めを起こして固定してください。

2. 取り外すタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めを設置してください。

タイヤ・シーラントの充填

タイヤ・シーラントおよび空気圧計付きコンプレッサーは、左サイド・トリム・パネル内に収納されています。

▷ 「工具セット」(300ページ) を参照してください。

タイヤ・シーラントは、タイヤ・トレッドの小さな傷から空気が漏れている場合に使用できます。

パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。パンク修理剤を使うとタイヤの気密性が一時的に保持されますが、緊急の場合の応急処置であり、短距離移動のみに使用してください。

タイヤ・シーラント・セットの構成：

– 充填ボトル
– 充填ホース
– バルブ回し
– スペア・バルブ・インサート
– 許容最高速度表示用ステッカー
– 取扱説明書

⚠ 警告 損傷したタイヤおよびリム

タイヤ・シーラントはタイヤの小さな傷の補修のみに適しています。ホイールが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。

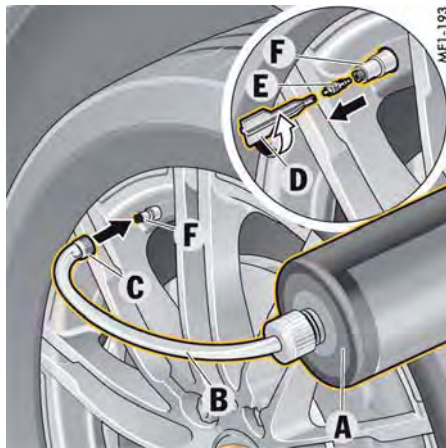
▷ タイヤ・シーラントは4mm以下の切傷や刺傷のみに使用してください。
▷ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。

⚠ 警告 人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性で、人体に有害です。

▷ タイヤ・シーラントを取り扱う際は、裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。
▷ 皮膚、目、衣服にシーラントが付着しないように注意してください。
▷ お子様の手の届かない場所に保管してください。
▷ シーラントの蒸気ガスを吸い込まないようにしてください。

シーラントが付着したとき：

▷ 皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
▷ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
▷ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
▷ 誤って飲み込んだときは、口の周りを多量の水でゆすぎ、更に多量の水を飲んでください。
無理に嘔吐しないでください。
至急医師の診察を受けてください。

A - 充填ボトル
B - 充填ホース
C - 充填ホース・プラグ
D - バルブ回し
E - バルブ・インサート
F - タイヤ・バルブ

シーラントの充填

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラゲッジ・コンパートメントからパンク修理剤と同封のステッカーを取り出してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。
4. 充填ボトル**A**をよく振ってください。
5. 充填ホース**B**を充填ボトルに取り付けてください。
   ここで充填ボトルを開封してください。
6. タイヤ・バルブ**F**からバルブ・キャップを外してください。
7. バルブ回し**D**を使用して、バルブ・インサート**E**をタイヤ・バルブから取り外してください。
   バルブ・インサートは、乾いた汚れのない場所に置いてください。
8. 充填ホース**B**のプラグ**C**を取り外してください。
9. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
10. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
11. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
12. バルブ回し**D**を使用して、バルブ・インサート**E**をタイヤ・バルブにしっかりねじ込んでください。
13. コンプレッサーを接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。
    タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。
    このようなタイヤで走行を続けないでください。
    タイヤ空気の充填に関するインフォメーション：
    「タイヤ空気の充填」(315ページ) を参照してください。
14. バルブ・キャップをタイヤ・バルブ**F**にねじ込んでください。
15. 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。
    タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合は、運転を中止してください。
    タイヤ空気圧が1.5bar以上ある場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
    タイヤ空気圧に関するインフォメーションは「テクニカル・データ」の章に掲載されています：
    「冷間時のタイヤ空気圧(20℃)」(343ページ) を参照してください。
16. ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

⚠ 警告 タイヤの空気圧が検出されない

シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

▷ 損傷したタイヤを交換する際に、タイヤ空気圧センサーも交換してください。

⚠ 警告 タイヤの損傷

タイヤ・シーラントによるタイヤの補修は緊急の場合に限ります。

▷ 不具合があるタイヤは、ポルシェ正規販売店で交換してください。
  ポルシェ正規販売店にタイヤ・シーラントを使用したことを伝えてください。
▷ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
▷ 80km/hの最高速度を遵守してください。
▷ パンク修理剤およびコンプレッサーに添付している安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

ジャッキによるリフト・アップ

⚠ 警告 車両の下に入っての作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。
- ▷ ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- ▷ 必ず車両フロアの指定されたジャッキ・ポイントで車両を持ち上げてください。
- ▷ 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
- ▷ ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- ▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
  車載のジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。

⚠ 警告 タイヤ交換時のレベリング・システムの作動

ジャッキを使用して車両を持ち上げる必要がある場合：
- ▷ 手動でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムをOFFにしてください。
  「レベル・コントロールのON/OFF」（231ページ）を参照してください。

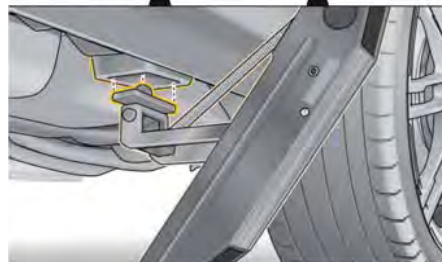
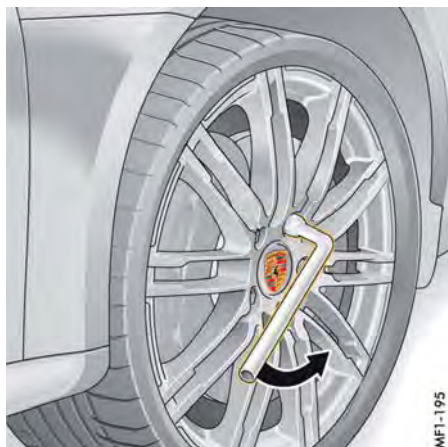
⚠ 警告 固定されていない車両

車両が不意に動き出す恐れがあります。
- ▷ 車両が不意に動き出さないように固定してください：
  「車両の固定」（309ページ）を参照してください。

インフォメーション

車両下部のジャッキ・ポイントを清掃してください。

---

1. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
2. 指定されたジャッキ・ポイントにジャッキをセットしてください。このとき、ジャッキが傾かないように、ジャッキ・ポイントの真下にジャッキを置いてください。
   必要な場合、リジット・ラックを併用してください。

3. ジャッキが動かないように固定し、ジャッキの皿がジャッキ・ポイントに接するまでジャッキを伸ばしてください。
   このとき、ジャッキの皿がジャッキ・ポイントの切り欠き（**図を参照**）にしっかりとはまるようにジャッキの位置を調整してください。
4. 取り外すタイヤが地面から離れるまで車両を持ち上げてください。
5. 車両を下げた後でジャッキを取り外してください。

タイヤ交換

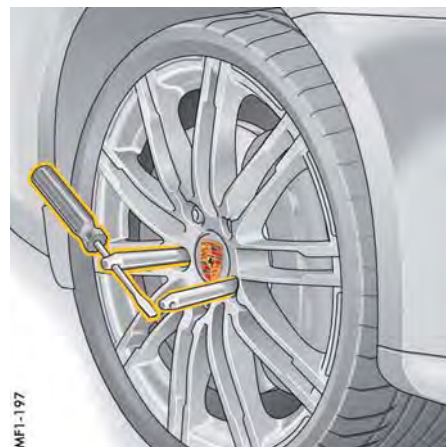
1. ホイール・ボルトを1本または2本取り外してください（図を参照）。

知識

ブレーキ･ディスクを損傷する恐れがあります。

▷ タイヤを交換する場合は、必ず補助工具を挿入してください。

取り付け補助工具1本を使用（PCCB非装備車）

2. 取り外したホイール･ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具をねじ込んでください。

取り付け補助工具**2本**を使用（PCCB**装備車**）

3. 残りのホイール・ボルトを取り外してください。
   ホイール・ボルトに関する詳しいインフォメーション：
   「ホイール・ボルト」（308ページ）を参照してください。
4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
5. ホイール・ボルトを挿入し、手で仮締めしてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。
   すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
   「冷間時のタイヤ空気圧(20°C)」（343ページ）を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。

10. ホイール・ボルトを締め付けたら、直ちにトルク・レンチを使用してホイール・ボルトを160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。

インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)の設定をマルチファンクション・ディスプレイで更新する必要があります。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」（117ページ）を参照してください。

コラプシブル・スペア・ホイール

コラプシブル・スペア・ホイールはラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納されています。

1. スクリューを矢印の方向にゆるめて外し、コラプシブル・スペア・ホイールを取り出してください。
2. 車両をジャッキ・アップした状態で車両に空気の入っていないコラプシブル・スペア・ホイールを取り付けてください。
   タイヤ交換に関するインフォメーション：「タイヤ交換」（313ページ）を参照してください。
3. タイヤに空気を入れてください。
   タイヤ空気圧に関するインフォメーションは「テクニカル・データ」の章に掲載されています：
   「冷間時のタイヤ空気圧(20°C)」（343ページ）を参照してください。

⚠ 警告 車両操縦性の変化

コラプシブル・スペア・ホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

▷ コラプシブル・スペア・ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。
走行安全性を維持するため、トレッドのスリップ・サインが現れる**前**にタイヤを交換してください。スリップ・サインは、溝の深さが1.6mmまで摩耗すると現れます。

▷ ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)システムを解除しないでください。

▷ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
コラプシブル・スペア・ホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも**80km/h**の最高速度を厳守してください。

▷ 他車用のコラプシブル・スペア・ホイールを使用しないでください。

▷ この車両用のコラプシブル・スペア・ホイールを他車で使用しないでください。

▷ 1度に**複数のコラプシブル・スペア・ホイール**を使用しないでください。

コラプシブル・スペア・ホイールを使用した後は

▷ バルブをゆるめて充填されている空気を抜いてください。

インフォメーション

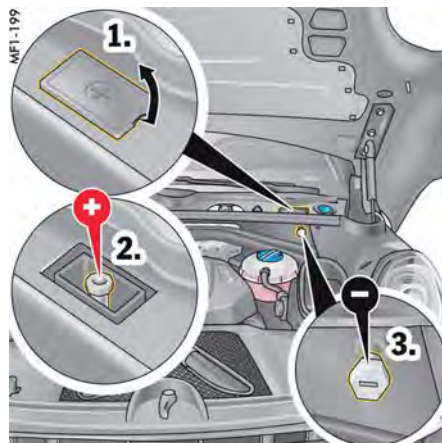
– コラプシブル・スペア・ホイールは元の形状に戻るのに空気を抜いてから数時間かかります。コラプシブル・スペア・ホイールは元の形状に戻ってからでないと、ラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納できません。
– コラプシブル・スペア・ホイールの修理は必ずメーカーに依頼してください。

▷ コラプシブル・スペア・ホイールに不具合が発生した場合は：
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気の充填

タイヤ・シーラントおよび空気圧計付きコンプレッサーは左サイド・トリム・パネル内に収納されています。

▷ コンプレッサーの取扱説明書をよくお読みください。

1. 充填ホースをタイヤ・バルブにねじ込んでください。

+ = ジャンパー・ケーブル接続用のプラス端子
– = ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス端子

2. コンプレッサーの電源クリップをジャンパー・ケーブル接続用の端子に接続してください。
下記の手順を必ず守ってください：
– ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)端子のキャップを開いてください。
– ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)端子にコンプレッサーのプラス・ケーブル（赤）を接続してください。
– ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス(–)端子にコンプレッサーのマイナス・ケーブル（黒）を接続してください。

または

コラプシブル・スペア・ホイール装備車：

▷ コンプレッサーを車両の12Vソケットに接続してください。
「12Vソケット」（241ページ）を参照してください。

⚠ 警告 高温のコンプレッサー充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースは高温になります。

▷ 作業用手袋を着用してください。

3. コンプレッサーをONにしてください。
規定のタイヤ空気圧が充填されるまで、数分間かかる場合があります。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。
もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
6. コンプレッサーの充填ホースをタイヤ・バルブから取り外してください。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

電気系統

車両の電気/電子回路の損傷を回避するため、電装品（アクセサリー）などの取り付け作業はポルシェ正規販売店にお任せください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリー）のみを使用してください。

⚠ 警告 作業時の電気系統のショート

車両の電気系統の作業により回路がショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

▷ 電気系統の作業をするときは事前にバッテリー・マイナス端子を外してください。

リレー

リレーの点検および交換は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

ヒューズの交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

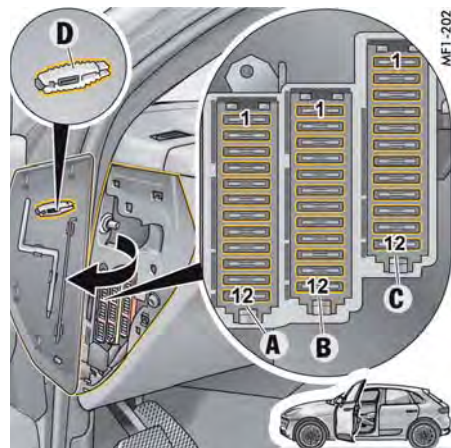
ラゲッジ・コンパートメントの右側にヒューズ・ボックスが1個あります。ダッシュボードの両端に更に2個のヒューズ・ボックスがあります。

1. 交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーを開いてください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製のヒューズ・リムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。
   切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
4. 同じ容量のヒューズと交換してください。
   交換する際は、ポルシェ純正ヒューズの使用を推奨いたします。

インフォメーション

▷ ヒューズが何度も切れる場合は、直ちに修理する必要があります。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ヒューズを交換する際は、ダッシュボードのヒューズ・ボックス・カバーに収納されているプラスチックのヒューズ・リムーバーを使用してください。

▷ ダッシュボードのヒューズ・ボックス・カバーに収納されているプラスチックのヒューズ・リムーバーを使用してください（左：7.5Aと10A、右：20Aと25A）

運転席側ダッシュボードのヒューズ・ボックス・カバーを開く

1. ドライバーでプラスチック・カバーを慎重にこじって取り外してください。
2. プラスチック製のヒューズ・リムーバーを使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。

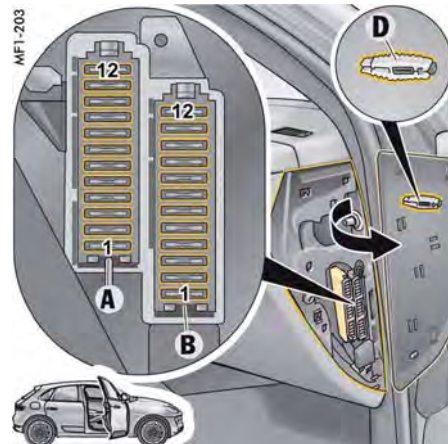
ヒューズ・キャリアA

No.	用途	A（アンペア）
1	パーキング・アシスタント・コントロール・ユニット フロント・カメラ・コントロール・ユニット	7.5
2	シート・センサー・コントロール・ユニット エアバッグ・コントロール・ユニット、 助手席エアバッグOFF/ON警告灯	10
3	フロントBCM、 ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)・コントロール・ユニット、 ホームリンク・コントロール・ユニット（ガレージ・ドア・オープナー） エア・クオリティ・センサー、 サイドビュー・モニター付きルーム・ミラー（日本仕様）、 自動防眩ルーム・ミラー、 インテリア・サウンド・アクチュエーター（シェイカー）	5
4	シート・ベンチレーション・モーター、フロント・シート	5
5	ヘッドライト高さ調整 ハロゲン・ヘッドライト左/右、 オートマチック・ヘッドライト・コントロール・ユニット	5
6	バイキセノン・ヘッドライト、右	7.5
7	バイキセノン・ヘッドライト、左	7.5
8	リヤBCM ポルシェ車両追跡システム・プラス(PVTSプラス)・コントロール・ユニット＊、 DMEコントロール・ユニット	5
9	未使用	
10	冷媒圧力センサー	5
11	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)	5
12	エンジン・エレクトリック	15

ヒューズ・キャリアB

No.	用途	A（アンペア）
1	ターミナル・レジスター	
2	未使用	
3	未使用	
4	未使用	
5	故障診断用ソケット、コンパス＊ ステアリング・コラム・スイッチ・モジュールおよび ステアリング・ホイール・ヒーター、 インストルメント・パネル	30
6	ブレーキ・ブースター（トレーラーけん引、USA、オーストラリア）	30
7	ホーン	15
8	運転席ドア・コントロール・ユニット	20
9	未使用	
10	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)・コントロール・ユニット	30
11	左リヤ・ドア・コントロール・ユニット	20
12	レイン・センサー、エレクトリック・パーキング・ブレーキ、ポルシェ車両追跡システム・プラス(PVTSプラス)・コントロール・ユニット＊	5

ヒューズ・キャリアC

No.	用途	A（アンペア）
1	使用不可	
2	使用不可	
3	未使用	
4	運転席シート・コントロール・ユニット、 運転席シート調節コントロール・ユニット	20
5	タンク漏れ自己診断	5
6	フロント BCM	30
7	フロント BCM	30
8	フロント BCM	30
9	パノラマ・ルーフ	20
10	フロント BCM	30
11	パノラマ・ルーフ	20
12	アラーム・ホーン	5

＊ 日本仕様に設定はありません。

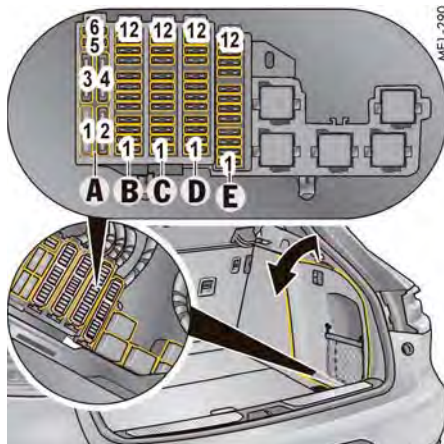
助手席側のダッシュボードのヒューズ・ボックス・カバーを開く

1. ドライバーでプラスチック・カバーを慎重にこじって取り外してください。
2. プラスチック製のヒューズ・リムーバーを使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。

ヒューズ・キャリアA

No.	用途	A（アンペア）
1	故障診断用ソケット	5
2	イグニッション・ロック	5
3	ライト・スイッチ	5
4	ステアリング・コラム・ロック	5
5	ステアリング・コラム調整	15
6	未使用	
7	ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール	5
8	故障診断用ソケット	5
9	PTCコイル1および2	5
10	使用不可	
11	スペア・ヒューズ	5
12	スペア・ヒューズ	10

ヒューズ・キャリアB

No.	用途	A（アンペア）
1	未使用	
2	コンパス＊	5
3	ステアリング・コラム・スイッチ・モジュールおよびステアリング・ホイール・ヒーター	10
4	インストルメント・パネル	5
5	スペア・ヒューズ	20
6	スペア・ヒューズ	30
7	補助ヒーター・コントロール・ユニット＊	30
8	フレッシュ・エア・ブロアー・モーター	30
9	フロント・ワイパー	30
10	シート・バックレスト調節、運転席シート	20
11	シート・バックレスト調節、助手席シート	20
12	未使用	

ラゲッジ・コンパートメントのヒューズ・ボックスを開く

▷ サイド・トリム・パネルを引いて（**矢印**）外してください。

▷ プラスチック製のヒューズ・リムーバーを使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。

ヒューズ・キャリアA

No.	用途	A（アンペア）
1	ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)・コンプレッサー・リレー	40
2	プラグ・ソケット・リレー	50
3	主電源回路	40
4	AdBlue®リレー＊	40
5	未使用	
6	クラッシュ CANターミナル・レジスタンス	

ヒューズ・キャリアB

No.	用途	A（アンペア）
1	イグニッション・リレー・コイル、ゲートウェイ	5
2	トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット	20
3	トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット	20
4	トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット	20
5	助手席ドア・コントロール・ユニット、助手席シート調節コントロール・ユニット	20
6	未使用	
7	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・コントロール・ユニット	30
8	リヤBCM	20
9	リヤBCM	20
10	リヤBCM	25
11	リヤBCM	25
12	タイヤ空気圧モニタリング(TPM)コントロール・ユニット	5

＊ 日本仕様に設定はありません。

ヒューズ・キャリアC

No.	用途	A（アンペア）
1	トレーラー	30
2	未使用	
3	オート・スタート/ストップ用DC/DCコンバーター	30
4	ブースターおよびオーバーヘッド・コンソール用電源、オート・スタート/ストップ機能用DC/DCコンバーター	30
5	サブ・ウーファー	25
6	TVチューナー＊	5
7	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・コントロール・ユニット	30
8	リヤ・コントロール・ユニット	30
9	助手席ドア・コントロール・ユニット	20
10	ラジオ・レシーバー、補助ヒーター＊	5
11	右リヤ・ドア・コントロール・ユニット	20
12	Bluetoothハンドセット充電器、ラゲッジ・コンパートメント・ライト	5

ヒューズ・キャリアD

No.	用途	A（アンペア）
1	未使用	
2	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・コントロール・ユニット、トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット、リヤ・ディファレンシャル・ロック・コントロール・ユニット、ゲートウェイ、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)・リレー	5
3	リヤ・ワイパー・モーター	15
4	ダッシュボード・エレクトリクス	15
5	AdBlue®モジュール、Macan Sディーゼル＊	30
6	AdBlue®モジュール、Macan Sディーゼル＊	10
7	未使用	
8	オーバーヘッド・コンソール	7.5
9	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)・コントロール・ユニット	5
10	センター・コンソール・シガー・ライター、センター・コンソール・ソケット	20
11	リヤ・センター・コンソール・ソケット、ラゲッジ・コンパートメント・ソケット	20
12	ポルシェ・リヤ・シート・エンターテイメント、左/右	7.5

ヒューズ・キャリアE

No.	用途	A（アンペア）
1	エアコン・コントロール・ユニット、リヤ・コントロール・ユニット	15
2	Boseアンプ（日本仕様）、CANアダプター、ナビゲーション（日本仕様）、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊	10
3	未使用	
4	未使用	
5	未使用	
6	リバース・カメラ・コントロール・ユニット、サラウンド・ビュー・コントロール・ユニット	5
7	リヤ・ウィンドウ・ヒーター・リレー	25
8	エアコン/シート・ヒーター・コントロール・ユニット	30
9	オートマチック・リヤ・リッド・コントロール・ユニット	20
10	ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)・コントロール・ユニット	15
11	リヤ・ディファレンシャル・ロック・コントロール・ユニット	10
12	リヤ・ディファレンシャル・ロック・コントロール・ユニット	30

＊ 日本仕様に設定はありません。

バッテリー (12V)

12Vバッテリーは、ラゲッジ・コンパートメント・フロア下にあります。

▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップでのみ実施してください。

⚠ 警告 感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。

車両の電気系統の作業により回路がショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

▷ 電気系統の作業をするときは、事前にバッテリー・マイナス端子を外してください。

▷ 工具、指輪、ブレスレット、時計バンドなど電気を通す装飾品が車両の電機部品と接触しないように注意してください。

⚠ 警告 爆発性ガスへの引火または爆発

バッテリー充電中は爆発性の高い混合ガスが発生します。

▷ 電気系統の作業をするときは、事前にバッテリー・マイナス端子を外してください。

▷ 静電気を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。

▷ バッテリーを取り扱う前に、車体などに触れて静電気を逃がしてください。

▷ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。

▷ メンテナンス作業は屋外か、屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。

▷ 電気系統の作業をするときは、事前にバッテリー・マイナス端子を外してください。

▷ 工具、指輪、ブレスレット、時計バンドなど電気を通す装飾品が車両の電機部品と接触しないように注意してください。

▷ 充電用ケーブル/ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。バッテリー・センサーが損傷する恐れがあります。
充電用ケーブル/ジャンパー・ケーブルは、必ずエンジン・コンパートメント内のジャンパー・ケーブル接続用端子に接続してください。

外部電源/ジャンパー・ケーブルによる始動に関するインフォメーション：

▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」（322ページ）を参照してください。

バッテリー取り扱い上の注意

作業の前に取扱説明書をお読みください。

保護眼鏡を必ず着用してください。

お子様を絶対に近づけないでください。

爆発の危険があります。
バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します：

火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙することは絶対に避けてください。
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。
ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。

酸による火傷の危険があります。
バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置
バッテリー液が目にかかった場合は、直ちに水で数分間洗い流し、早急に医師の診察を受けてください。
皮膚や衣服にかかった場合は、直ちに石鹸水で中和し、大量の水で洗い流してください。
万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

廃棄
古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

充電状態

バッテリーを十分に充電することにより、始動時のトラブルがなくなり、バッテリーの寿命も延びます。
交通渋滞および騒音、排気ガス、燃費に関する要求により、エンジン回転数、つまりオルタネーター出力は抑えられます。
その一方で、電気装備類が驚異的に増え、必要な電力は増加しています。

不意のバッテリー上がりを防ぐため、次の点に注意してください：

▷ 市街地/短距離の運転時、および渋滞時には、不要な電気装備類をOFFにしてください。
▷ 車両から離れるときは必ずキーを抜いてください。
または
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。
▷ エンジン停止時には、ポルシェ・コミュニケーション･システムPCMやCDRプラスを使用しないでください。＊
▷ 「バッテリーの充電」（323ページ）を参照してください。

 インフォメーション

特に外気温度が低くなる冬季や、短距離での運転が多い車両は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。

バッテリーのお手入れ

▷ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
▷ バッテリー端子とガス抜きホースは必ず確実に接続してください。

冬季の走行

外気温度が低下すると、バッテリーの電圧供給および蓄電効率が低下します。更に、リヤ・ウィンドウ・ヒーター、ライト類、ヒーター、フロント・ワイパーなどの使用頻度が増えるため、冬季はより大きなバッテリー電力が必要となります。

▷ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

 インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。
バッテリーが充電不足の場合、–5°C程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は–40°Cまで凍結しません。

▷ ジャンパー・ケーブルを接続する前に、必ず凍結したバッテリーを解凍してください。

車両を保管するとき

車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。

▷ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、イグニッションをOFFにしてください。

 インフォメーション

▷ バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。
バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。
警報システムの作動を解除するには：
▷ 1回車両をロックし、再度ロックを解除してください。

警報システム、セントラル・ロッキング

▷ バッテリーの接続を外しても、警報システムやセントラル・ロッキングの作動状態は切り替わりません。

 インフォメーション

車両を使用せず、保管している間も、バッテリーは常に放電しています。

▷ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電が必要です。
▷ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、結氷に注意してください。

バッテリーの交換

バッテリーは年月の経過とともに消耗します：バッテリーの寿命は通常の使用状態に左右され、特に、お手入れ、気候、走行条件（距離、積載物）によって違ってきます。
バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップでのみ実施してください。
▷ バッテリーを交換するときは、車両が必要とする要件を満たしたAGMバッテリーのみを使用してください。
ポルシェ純正AGMバッテリーを使用することを推奨いたします。
▷ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットの初期化が必要です。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
▷ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または**完全に上がってしまった**バッテリーを充電した場合、以下の作業を行う必要があります：

1. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。

パワー・ウィンドウの停止位置の保存に関するインフォメーション：

▷ 「バッテリー接続後のウィンドウ停止位置の保存」（81ページ）を参照してください。

2. タイヤを登録してください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（117ページ）を参照してください。

3. 電動格納式トレーラー・ヒッチ装備車は、固定位置を保存してください。

トレーラー・ヒッチの固定位置の保存に関するインフォメーション：

▷ 「トレーラー・カップリングの固定位置の保存」（259ページ）を参照してください。

4. パノラマ・ルーフの停止位置を保存してください。

パノラマ・ルーフの停止位置の保存に関するインフォメーション：

▷ 「パノラマ・ルーフの停止位置の保存」（84ページ）を参照してください。

外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー・ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。

どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。供給側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量と比べて低過ぎないよう確認してください。

上がったバッテリーを車両の電気系統に正しく接続する必要があります。

▷ 「バッテリー（12V）」（319ページ）を参照してください。

⚠ 警告 ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン周りの作動部品

エンジン・コンパートメントで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルトなどの作動部品に絡まる恐れがあります。

エンジンをOFFにし、キーを抜き取っている状態であっても、温度によってはラジエーター・ファンが作動を開始することがあります。

▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。

▷ 身体の一部、衣服、アクセサリーなどがラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、その他の作動部品に巻き込まれないように、十分注意してください。

▷ エンジン・コンパートメント内の作動部に絡まないようにジャンパー・ケーブルを通してください。

⚠ 警告 電気系統またはジャンパー・ケーブルのショートおよび火災

不適切なジャンパー・ケーブルを使用して車両を始動したり、ジャンパー・ケーブルによる始動を適切に行わなかった場合は、回路がショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

▷ ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。

▷ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする危険性があります。

▷ 工具、指輪、ブレスレット、時計バンドなど電気を通す装飾品が車両の電機部品と接触しないように注意してください。

⚠ 警告 腐食性の酸

バッテリーには腐食性のあるバッテリー液が入っています。

▷ バッテリーを傾けないでください。

⚠ 警告 爆発性ガスへの引火または爆発

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

▷ 火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙することは絶対に避けてください。また、ケーブルを接続した瞬間の火花にも注意してください。

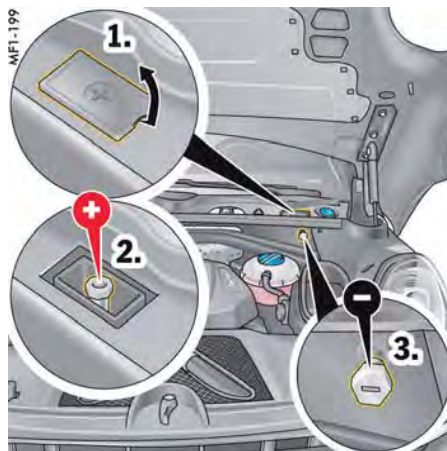
知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

▷ ジャンパー・ケーブルを接続する前に、必ず凍結したバッテリーを解凍してください。

外部電源/ジャンパー・ケーブルによる始動

必ず下記の手順に従ってください：

1. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(＋)端子カバーを開いてください。
2. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(＋)端子にプラス（赤）ケーブルを接続してください。次に、支援車のバッテリー・プラス(＋)端子に接続してください。
3. 支援車のバッテリー・マイナス(－)端子にマイナス（黒）ケーブルを接続してください。次に、ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス(–)端子に接続してください。

+ ＝ジャンパー・ケーブル接続用のプラス端子
– ＝ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス端子

4. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
5. エンジンを始動してください。
   ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
6. エンジン始動後、ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス(–)端子からケーブルを外してください。次に、支援車のバッテリー・マイナス(－)端子からケーブルを外してください。
7. 支援車のバッテリー・プラス端子からプラス・ケーブルを外してください。次に、ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(＋)端子からケーブルを外してください。
8. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(＋)端子カバーを閉じてください。

バッテリーの充電

この車両に適したバッテリー充電器については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ バッテリー充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。

▷ バッテリーが凍結している場合は、充電する前に解凍してください。

▷ 十分に換気ができる場所でバッテリーを充電してください。

1. バッテリー充電器のケーブルを、ジャンパー・ケーブル接続用の端子に接続してください。
   ケーブルを確実に接続してから、バッテリー充電器の電源プラグを差し込み、充電器の電源をONにしてください。
2. 充電器の電源をONにしてください。
3. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。
4. 「車両の作動復帰」（322ページ）を参照してください。

バルブの交換

⚠ 警告

バイキセノン・ヘッドライトの関連部品による感電

バイキセノン・ヘッドライトには高電圧が作用するため、感電する恐れがあります。

▷ ヘッドライト周辺の作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

▷ バルブ交換の前に、ライトを消灯し、イグニッションをOFFにしてください。

知識

不適切な容量（ワット数）のバルブを取り付けると、損傷する恐れがあります。

高出力（ハイ・ワット）バルブを使用すると、ライト・ハウジングが損傷する恐れがあります。

▷ 必ず取扱説明書に記載されているバルブを使用してください。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

▷ バルブを交換するときは、必ず電装関係のスイッチをOFFにしてください。

インフォメーション

▷ バルブに汚れやグリースを付着させないでください。

▷ バルブを素手で触らないでください。
バルブを交換する時は、布か柔らかい紙でバルブを包んでください。

▷ 常にスペア・バルブを携行してください。
国によってはスペア・バルブの携行が義務付けられています。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

バルブ・リスト

適用	形状	ワット数
ロー・ビーム（ハロゲン・ヘッドライト）	H7	55W
ハイ・ビームおよびデイタイム・ドライビング・ライト＊（ハロゲン・ヘッドライト）	H15	55W
スタティック・コーナリング・ライト（PDLS付きバイキセノン・ヘッドライト）	H7	55W

バルブ交換に関するインフォメーション：

▷ 「ハロゲン・ヘッドライト」（328ページ）を参照してください。

▷ 「バイキセノン・ヘッドライト」（330ページ）を参照してください。

発光ダイオード(LED)の交換

デイタイム・ドライビング・ライト＊、パーキング・ライト、方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・バルブ、テール・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライト、ライセンス・ライト、インテリア・ライト、フォグ・ライト、およびドア・ミラーのカーテシー・ライトには、発光ダイオード(LED)が使用されています。

LEDは個別に交換できません。

▷ 発光ダイオード(LED)の交換はポルシェ正規販売店にお任せください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライト

知識

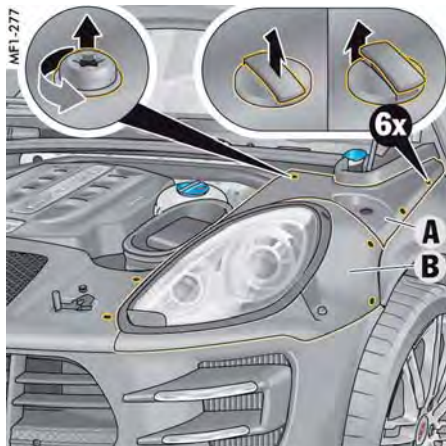
摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

▷ ヘッドライトにカバー（フィルムやストーン・ガードなど）を装着しないでください。

インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行するとこの曇りは取れます。

▷ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディのすき間にカバーをしないでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ヘッドライトの取り外し

1. イグニッションをOFFにしてキーを抜き取ってください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車はコントロール・ユニットを取り外してください。

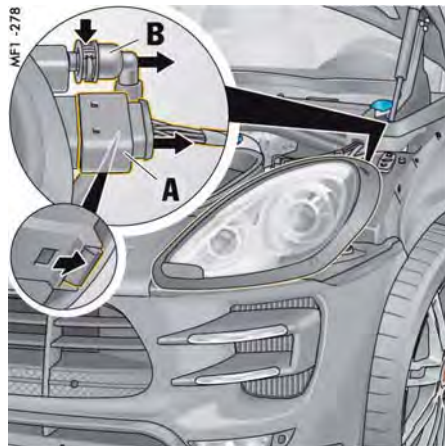
イグニッション・ロックからのコントロール・ユニットの取り外しに関するインフォメーション：

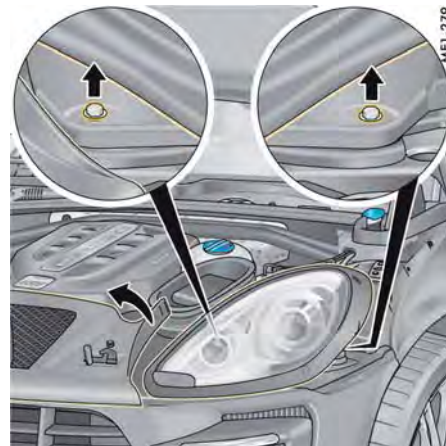
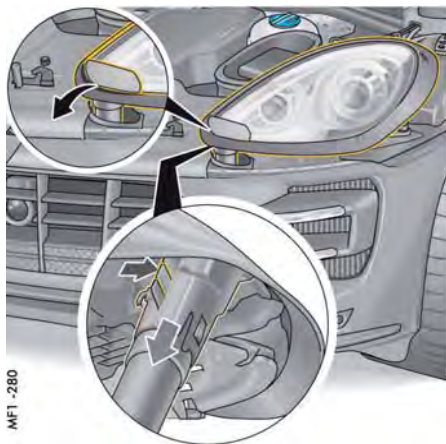
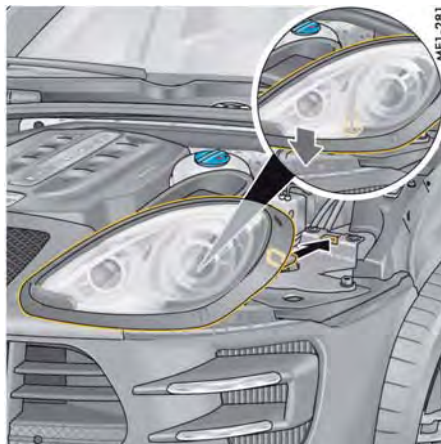
▷ 「緊急操作 – キー /コントロール・ユニットのロック解除」（166ページ）を参照してください。

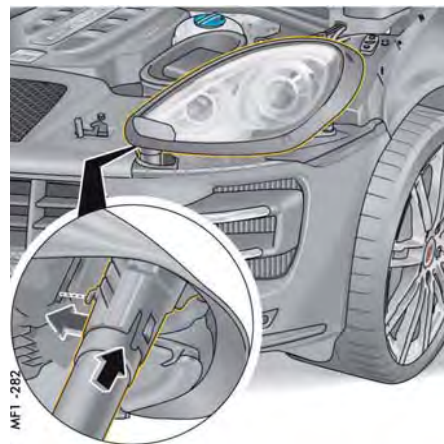
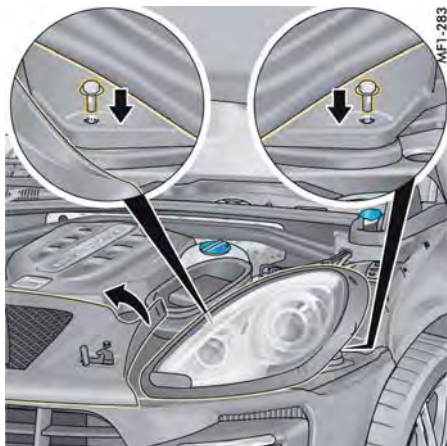
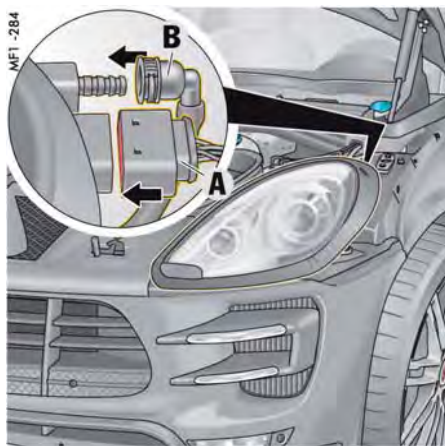
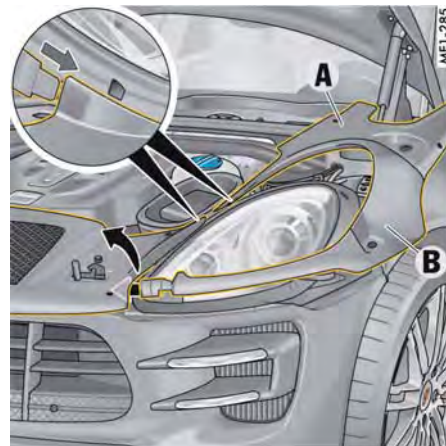
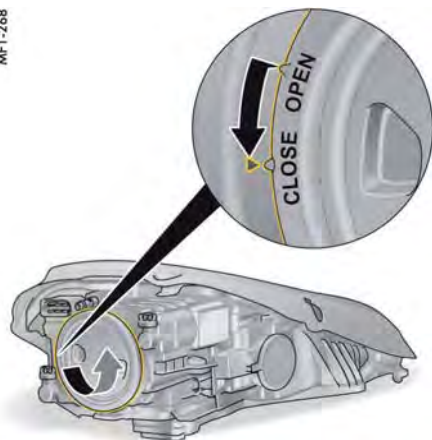
2. エンジン・コンパートメント・リッドを開いてください。

3. ヘッドライト周辺のエンジン・コンパートメント・トリムのクリップまたはスクリューを取り外してください。

▷ 「工具セット」（300ページ）を参照してください。

4. エンジン・コンパートメント・トリム・パネル**A**および**B**を取り外してください。

5. コネクター**A**のリリース・タブを押してコネクターを引き抜いてください。

6. ブリーザー・ホース**B**のクイックコネクティング・ロックのリリース・タブを押し、クイックコネクティング・ロックを引き出してください。

7. ヘッドライト・マウントのスクリューを反時計回りに回して外してください。
エンジン・コンパートメント・トリム・パネルをゆっくり持ち上げてください（**矢印**）。

8. ヘッドライト前方をゆっくり持ち上げてください。
9. ヘッドライト・ウォッシャー・システム周りのヘッドライト・シールを外してください。
10. ヘッドライト・ウォッシャー・システムを下方向に引いて取り外してください。
11. ヘッドライトを完全に取り外してください。

ヘッドライトの取り付け

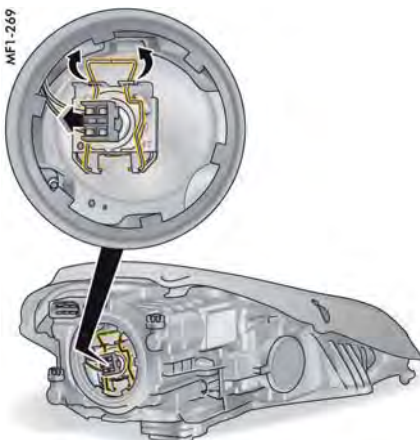
1. ヘッドライトを2箇所のロック位置に挿入してください。

2. ヘッドライト前方を少し持ち上げてください。
3. ヘッドライト・ウォッシャー・システムをヘッドライトの下から挿入し、固定してください。
4. ヘッドライト・ウォッシャー・システムの周りにヘッドライト・シールを取り付けてください。

5. ヘッドライト・マウントの両方のスクリューを時計回りにねじ込み、締め付けてください。
   この作業を行うため、エンジン・コンパートメント・トリム・パネルを少し持ち上げてください（**矢印**）。
6. コネクター**A**およびブリーダー・ホース**B**を音がするまでしっかり接続してください。
7. エンジン・コンパートメント・トリム・パネル**A**および**B**を、ヘッドライトの位置に合わせて取り付け、クリップおよびスクリューで確実に固定してください。
   ヘッドライトおよびエンジン・コンパートメント・トリム・パネルが確実に取り付けされていることを確認してください。
8. ライトの作動を確認してください。
9. エンジン・コンパートメント・リッドを閉じてください。

ハロゲン・ヘッドライト

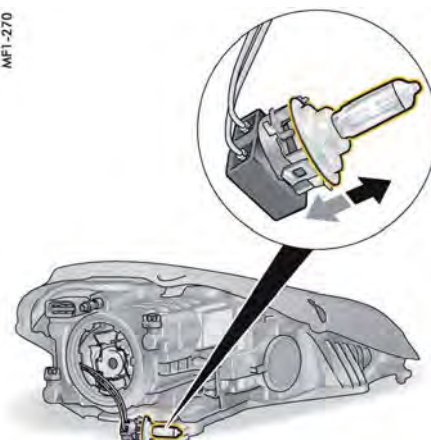
ロー・ビーム・ヘッドライトのバルブ(H7)交換

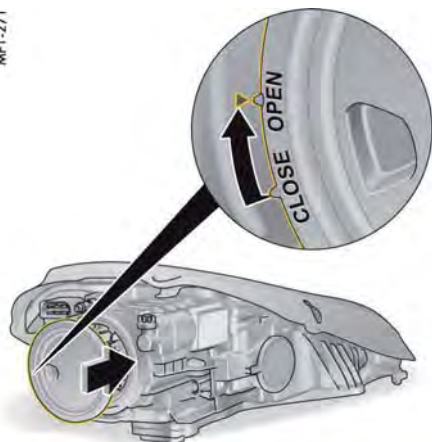
1. ヘッドライトを取り外してください。

ヘッドライトの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「ヘッドライトの取り外し」（325ページ）を参照してください。

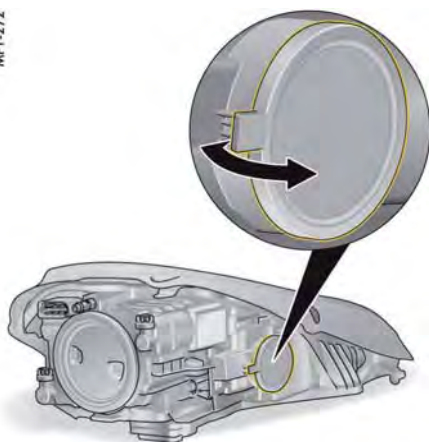
2. カバーを開位置まで回し、取り外してください。

3. メタル・クリップを上方向に引いてください。

4. バルブ・ソケットから不具合のあるバルブを取り外してください。

5. バルブをバルブ・ソケットから取り外し、交換してください。

6. バルブ・ソケットをブラケットに差し込みメタル・クリップを押し下げて確実に取り付けてください。
バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。

7. ヘッドライトのカバーを取り付け、ロック位置まで回してください。
カバーが確実に固定されていることを確認してください。
8. ヘッドライトを取り付けてください。

ヘッドライトの取り付けに関するインフォメーション：

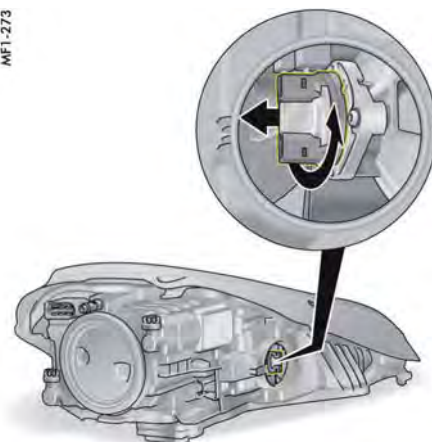
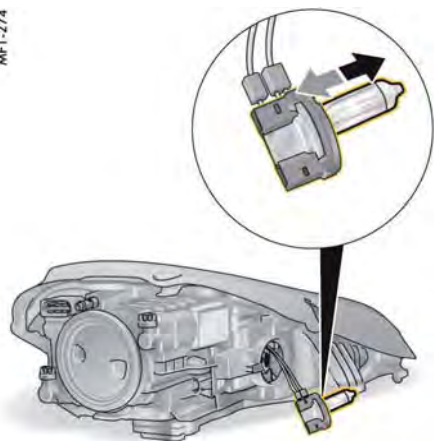
▷ 「ヘッドライトの取り付け」(326ページ) を参照してください。

9. ライトの作動を確認してください。

ハイ・ビーム・ヘッドライト/デイタイム・ドライビング・ライト(H15)のバルブ交換

1. ヘッドライトを取り外してください。

ヘッドライトの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「ヘッドライトの取り外し」(325ページ) を参照してください。

2. タブを引いて（**矢印**）カバーを取り外してください。

3. バルブ・ソケットを反時計回りに回してください。
4. バルブ・ソケットから不具合のあるバルブを取り外してください。

5. バルブをバルブ・ソケットから取り外し、交換してください。

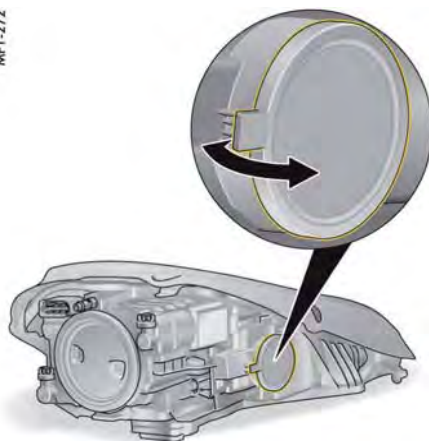
6. バルブ・ソケットを挿入し時計回りに回して確実にロックしてください。
バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。

7. ヘッドライトのカバーを閉じてください。
タブを確実に噛み合わせてください。

8. ヘッドライトを取り付けてください。

ヘッドライトの取り付けに関するインフォメーション：

▷ 「ヘッドライトの取り付け」（326ページ）を参照してください。

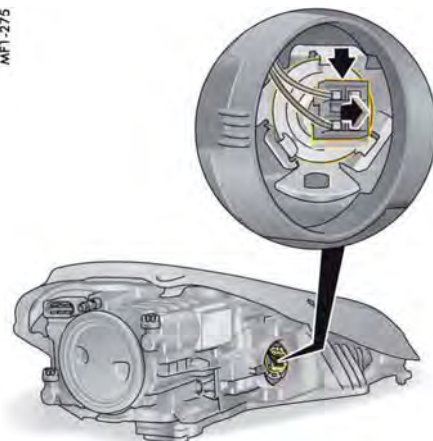
9. ライトの作動を確認してください。

バイキセノン・ヘッドライト

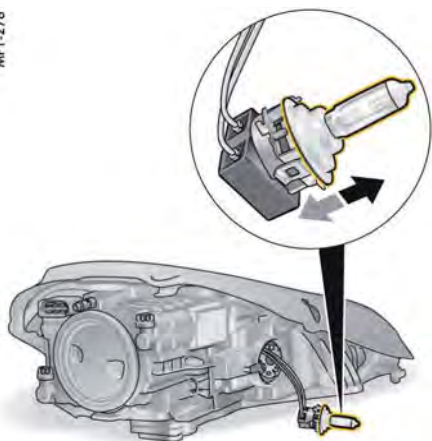
スタティック・コーナリング・ライトのバルブ交換(H7)

1. ヘッドライトを取り外してください。

ヘッドライトの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「ヘッドライトの取り外し」（325ページ）を参照してください。

2. タブを引いて（**矢印**）カバーを取り外してください。

3. バルブ・ソケットを押し下げ、後方へ引いてブラケットから取り外してください。

4. バルブ・ソケットから不具合のあるバルブを取り外してください。

5. 不具合のあるバルブをバルブ・ソケットから取り外し、交換してください。
6. バルブ・ソケットを再挿入し、ブラケットにしっかり固定してください。
   バルブが正しい位置に挿入されていることを確認してください。
7. ヘッドライトのカバーを閉じてください。
   タブを完全に噛み合わせてください。
8. ヘッドライトを取り付けてください。

ヘッドライトの取り付けに関するインフォメーション：

▷ 「ヘッドライトの取り付け」(326ページ)を参照してください。

9. ライトの作動を確認してください。

ヘッドライト調整

ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場でのみ実施可能です。
調整時は車両を走行中と同じ状態にし、燃料タンクを満タンにして行ってください。

左側通行から右側通行への変更に伴うヘッドライトの切り替え

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行するときは、ヘッドライトの照射方向を切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

 インフォメーション

ヘッドライトの照射方向を切り替えたときは、元に戻すことを忘れないでください。

ヘッドライトの照射方向の切り替え（ダイナミック・コーナリング・ライト装備車）

ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS/PDLS Plus)装備車のバイキセノン・ヘッドライトは、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで切り替える必要があります。イグニッションをONにして、ロー・ビーム・ヘッドライトを点灯するたびに、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに「**ライト 左側通行/右側通行が切り替えられました**」のメッセージが表示されます。

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイでのヘッドライト調整に関するインフォメーション：

▷ 「右側/左側通行でヘッドライトを切り替える（ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム）」(136ページ)を参照してください。

ヘッドライトの照射方向の切り替え(ダイナミック・コーナリング・ライト非装備車)

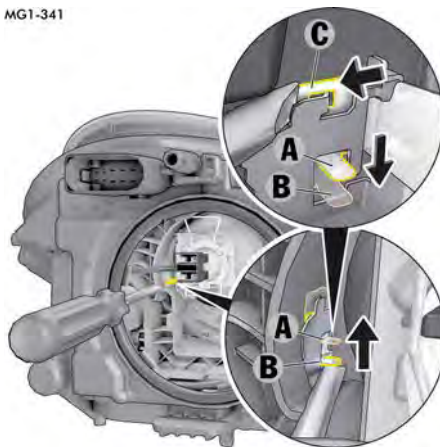
 インフォメーション

ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS/PDLS Plus)非装備車のバイキセノン・ヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯に共通で、対向車の眩惑を防止します。

---

1. ヘッドライトを取り外してください。

▷ 「ヘッドライトの取り外し」(325ページ)を参照してください。

2. カバーを開位置まで回し、取り外してください。

A - 左側通行用メタル・タブの位置
B - 右側通行用メタル・タブの位置

3. **左側通行の場合**：工具セットのドライバーを使用して、**A**位置にロックされるまで、メタル・タブを押し上げてください。
右側通行の場合：工具セットのドライバーを使用して、**B**位置にロックされるまで、メタル・タブ**C**を横に押してください。

4. ヘッドライトのカバーを取り付け、ロック位置まで回してください。
カバーが確実に固定されていることを確認してください。

5. ヘッドライトを取り付けて、作動を点検してください。

▷ 「ヘッドライトの取り付け」(326ページ)を参照してください。

もう一方のヘッドライトも調整してください。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

 インフォメーション

▷ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。
発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
▷ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源を接続する必要がある場合があります。

けん引ロープ

▷ けん引ロープの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
▷ けん引ロープの定格荷重を遵守してください。けん引ロープの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
▷ けん引ロープでけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてからけん引ロープを取り付けてください。
けん引フックの取り付け/取り外しに関するインフォメーション：
「けん引フック」(334ページ)を参照してください。
▷ ブレーキが故障した車両を**けん引しない**でください。
▷ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急な衝撃を与えないでください。

けん引バー

▷ けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
▷ けん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
▷ けん引バーを斜め方向に**取り付けないでください。**
▷ ブレーキが故障した車両を**けん引しないでください。**

けん引または押しがけによる始動

バッテリーに不具合があるとき、あるいはバッテリーが完全に上がってしまった場合には、バッテリーを交換するかジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▷ 「バッテリー(12V)」(319ページ)を参照してください。
▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」(322ページ)を参照してください。

けん引または押しがけによる始動

▷ この車両では、トランスミッションの重大な損傷を避けるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動ができません。

けん引

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。

⚠ 警告 パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ステアリングやブレーキ操作に大きな力が必要となります。

▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。

エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください：

4輪が接地した状態でのけん引

▷ けん引中は、4輪すべてが常に接地していなければなりません。
▷ PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。
セレクター・レバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。
セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。
▷ 電気系統に故障がある場合は、PDKセレクター・レバーを操作することができません。
PDKセレクター・レバーが**P**の位置でロックされている場合、手動で解除することができます：
「PDKセレクター・レバーの緊急解除」(212ページ)を参照してください。
▷ セレクター・レバーの緊急解除を行った
または
PDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合(トランスミッション関連の警告メッセージが表示されます)、車両を絶対に**けん引しないでください。**車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
「走行制限プログラム」(212ページ)を参照してください。
▷ けん引中にブレーキ・ライトと方向指示灯が作動し、ステアリング・ロックがかからないようにするため、イグニッションをONにしておかなければなりません。
▷ けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。
けん引距離は50km以内にしてください。
50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引

▷ けん引時は4輪すべてが接地するようにするか、車両輸送専用車で輸送しなければなりません。
フロント、リヤいずれかのアクスルを上げてのけん引は原則として認められません。
片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引が避けられない場合、事前に接地し回転させるタイヤの付いたアクスルのドライブ・シャフト（またはカルダン・シャフト）を取り外してけん引してください。

▷ PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。
セレクター・レバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。
セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。

▷ 電気系統に故障がある場合は、PDKセレクター・レバーを操作することができません。
PDKセレクター・レバーが**P**の位置でロックされている場合、手動で解除することができます：
「PDKセレクター・レバーの緊急解除」（212ページ）を参照してください。

▷ セレクター・レバーの緊急解除を行った
または
PDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合（トランスミッション関連の警告メッセージが表示されます）、車両を絶対に**けん引しないでください**。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
「走行制限プログラム」（212ページ）を参照してください。

▷ イグニッションをOFFにしてください。
キーをイグニッション・ロックに残し、ステアリングがロックしないようにしてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。
「緊急操作 – キー /コントロール・ユニットのロック解除」（166ページ）を参照してください。

▷ けん引される車両が周囲から目立つようにしてけん引してください。

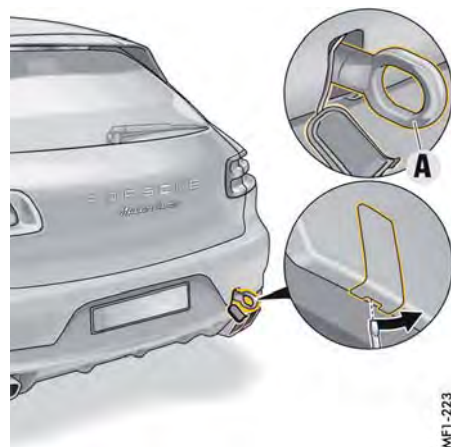
▷ けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。
けん引距離は50km以内にしてください。
50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

▷ 立ち往生した車両を救出するときは十分に注意してください。

▷ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。

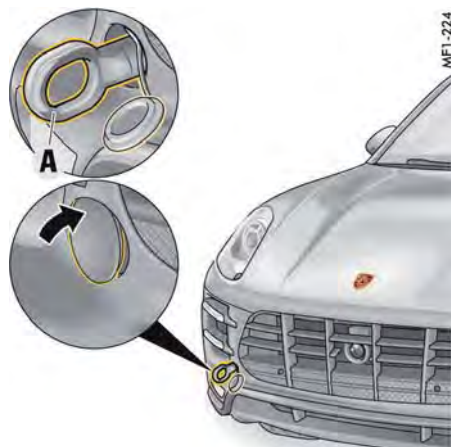
▷ 可能な限り、立ち往生した車両が進入したタイヤの軌跡に沿って、元の方向に引き出してください。

▷ トレーラー車両を連結した状態でけん引しないでください。

けん引フック

けん引フックは工具セットに収納されています。
工具セットに関するインフォメーション：

▷ 「工具セット」（300ページ）を参照してください。

けん引フックの取り付け

1. プラスチック・カバーの下端をバンパー内に押し込む、またはドライバーで慎重にプラスチック・カバーを取り外してください。
▷ 「工具セット」（300ページ）を参照してください。
2. カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック**A**をいっぱいにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フックAを外してください。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください。
3. カバーをかぶせ、上端を押してバンパーにはめ込んでください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

▷ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールでのみ固定してください。
▷ 室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を解除してください。
▷ 「警報システム」(270ページ)を参照してください。

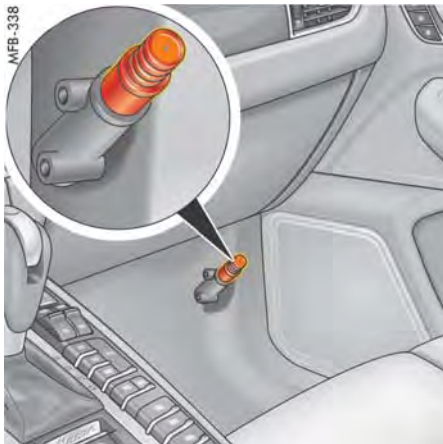
消火器＊

消火器を装備している車両では、助手席側フロント・シートに消火器が取り付けられています。

▷ 緊急時に消火器を取り外す場合、片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの**PRESS**ボタン（**矢印**）をもう片方の手で押してください。

 インフォメーション

▷ 消火器の最終点検日を確認してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。
▷ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
▷ 消火器ハンドルのラベルに記載された消火器メーカーが指示する安全に関する注意事項を遵守してください。
▷ 消火器は1～2年毎にポルシェ正規販売店で点検を行ってください。
▷ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。

発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

⚠ 警告 火傷や火災につながる恐れがあります

▷ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。

▷ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけたりしないでください。火傷をする恐れがあります。

▷ お子様がさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。

⚠ 注意 トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

▷ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

知識

▷ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ空気圧とテクニカル・データ

車両の識別データ

スペア・パーツの注文や問い合わせをする場合は、必ず車台番号を明示してください。

データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、整備手帳の中に添付されています。

 インフォメーション

データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

車台番号(VIN)

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の進行方向に向かって左下と助手席足元のカーペットのカバー下にあります。

タイヤ空気圧プレート

タイヤ空気圧プレート**A**は運転席側ドア・シル（ドア開口部）のBピラーに貼られています（左ハンドル車の場合）。

ビークル・プレート＊

車両を識別するビークル・プレート**B**は助手席側ドア・シル（ドア開口部）のBピラーに貼られています（左ハンドル車の場合）。

＊ 日本仕様に設定はありません。

エンジン・データ（メーカー発表値）

	Macan Turbo	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル＊
シリンダー数	6	6	4	6
総排気量	3,604 cm^3	2,997 cm^3	1,984 cm^3	2,967 cm^3
最高出力(80/1269/EEC)	294 kW (400 hp)	250 kW (340 hp)	174 kW (237 hp)	190 kW (258 hp) 184 kW (250 hp)[1)] 180 kW (245 hp)[2)] 155 kW (211 hp)[3)]
エンジン回転数	6,000 rpm	5,500–6,500 rpm	5,000-6,800 rpm	4,000–4,250 rpm 3,500–4,500 rpm[1)] 4,000–4,500 rpm[2)] 2,750–5,000 rpm[3)]
最大トルク(80/1269/EEC)	550 Nm	460 Nm	350 Nm	580 Nm
エンジン回転数	1,350–4,500 rpm	1,450–5,000 rpm	1,500–4,500 rpm	1,750–2,500 rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.8 ℓ/1,000 km	最大0.8 ℓ/1,000 km	最大0.5 ℓ/1,000 km	最大0.3 ℓ/1,000 km
エンジン許容最高回転数	6,700 rpm	6,700 rpm	6,800 rpm	5,200 rpm

[1)]イタリア [2)]Euro 4 [3)]ベルギー、ノルウェー

＊ 日本仕様に設定はありません。

燃費と排出ガス（メーカー発表値）

Euro 5および6に基づく測定法：このデータはNEDC(New European Driving Cycle)のEuro 5および6 EU規制No.195/2013またはNo.136/2014に基づく測定方法に則って標準仕様車で測定したものです。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のために利用できますが、詳細についてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

Euro 4に基づく測定法：ECE-R.83およびECE-R.101の基準に則って測定したデータです。

	市街地走行 (ℓ/100 km)	ハイウェイ走行 (ℓ/100 km)	複合 (ℓ/100 km)	総CO_2 (g/km)
	Euro 6のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費			
Macan Turbo	11.5 – 11.8	7.5 – 7.8	8.9 – 9.2	208 – 216
Macan S	11.3 – 11.6	7.3 – 7.6	8.7 – 9.0	204 – 212
Macan	8.4 – 8.7	6.5 – 6.8	7.2 – 7.5	168 – 175
Macan S ディーゼル＊	6.7 – 6.9	5.7 – 5.9	6.1 – 6.3	159 – 164
	Euro 4およびEuro 5のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費			
Macan Turbo	11.5	7.5	8.9	208
Macan S	11.3	7.3	8.7	204
	Euro 4のオート・スタート/ストップ機能非装備車の燃費			
Macan S ディーゼル＊	8.1	6.0	6.9	182

＊ 日本仕様に設定はありません。

タイヤ、ホイール

▷ 指定のタイヤとホイールのサイズは広範囲のテストを元に認可されているものです。
ポルシェ社が承認したタイヤを装着することで、この車両に最適な走行性能が得られます。
タイヤには積載容量係数（「105」など）と最大速度記号文字（「V」など）以上の性能のものを使用してください。
新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：「タイヤとホイール」（303ページ）を参照してください。
▷ スノー・チェーンのクリアランスは、[1)]のタイヤとリムの組合わせ（スペーサーなし）の場合のみ保証されます。スノー・チェーンはリヤ・ホイールのみに装着できます。
スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。
ポルシェ社の認可したファインリンク・クロスタイプ・チェーンまたはエッジ・チェーンのみをご使用ください。
▷ [2)]ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)との併用はできません。
▷ [3)]ホイール・アーチ・エクステンションの取り付けが必要です。
▷ 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。
▷ タイヤ、ホイール、スノー・チェーンに関する最新の認定状況については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

	Macan Turbo	Macan S、Macan、Macan S ディーゼル＊
18インチ・ホイール FA/RA	–	8J x18、RO 21[2)] / 9J x18、RO 21[2)]
サマー・タイヤ FA/RA	–	235/60 R 18 103 W / 255/55 R 18 105 W
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ FA/RA	–	235/60 R 18 103 V / 255/55 R 18 105 V[1)]
19インチ・ホイール FA/RA	8J x19、RO 21 / 9J x19、RO 21	
サマー・タイヤ FA/RA	235/55 R 19 101 Y / 255/50 R 19 103 Y	
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ FA/RA	235/55 R 19 101 V / 255/50 R 19 103 V[1)]	
20インチ・ホイール FA/RA	9J x20、RO 26 / 10J x20、RO 19	
サマー・タイヤ FA/RA	265/45 R 20 104 Y / 295/40 R 20 106 Y[3)]	
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ FA/RA	265/45 R 20 104 V / 295/40 R 20 106 V[3)]	
21インチ・ホイール FA/RA	9J x21、RO 26 / 10J x21、RO 19	
サマー・タイヤ FA/RA	265/40 R 21 101 Y / 295/35 R 21 103 Y[3)]	
スペア・ホイール	6B x18、RO 14[2)] / 6B x19、RO 14	
コラプシブル・スペア・ホイール	195/75-18 106P / 195/65-19 106P	

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル

＊ 日本仕様に設定はありません。

冷間時のタイヤ空気圧(20℃)

これらのタイヤ空気圧は、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

積載荷重

部分積載時 = 積載重量 < 260 kg (575 lbs)
全積載時 = 積載重量 > 260 kg (575 lbs)

冷間時の標準タイヤ空気圧(20℃)

	Macan Turbo				Macan S、Macan、Macan S ディーゼル＊			
	部分積載時		全積載時		部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA	FA	RA
240km/hの速度までに適応するサマー・タイヤ、オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ(FA/RA) 235/60 R 18 / 255/55 R 18	–	–	–	–	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)
240km/hの速度までに適応するサマー・タイヤ、オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ(FA/RA) 235/55 R 19 / 255/50 R 19	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)
240km/hの速度までに適応するサマー・タイヤ、オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ(FA/RA) 265/45 R 20 / 295/40 R 20	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)
サマー・タイヤ(FA/RA) 265/40 R 21 / 295/35 R 21	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.5 bar (36 psi)	2.7 bar (39 psi)
80km/hの速度までに適用するコラプシブル・スペア・ホイール 195/75-18 106P / 195/65-19 106P	3.5 bar (51 psi)							

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル

▷ 車両に荷物を積載したときは、インストルメント・パネルのマルチ・ファンクション・ディスプレイで必ず設定してください。
車両重量に応じてタイヤ空気圧を変更してください。
「タイヤ空気圧メニューの負荷を選択する」（121ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

重量（メーカー発表値）

	Macan Turbo	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル＊
空車重量 （装備により異なります）				
DIN 70020規格	1,925–2,110 kg	1,865–2,105 kg	1,770–2,025 kg	1,880–2,120 kg
70/156/EEC規格[1)]	2,000–2,185 kg	1,940–2,180 kg	1,845–2,100 kg	1,955–2,195 kg
最大軸荷重、フロント[2)]	1,290 kg	1,290 kg	1,260 kg	1,290 kg
最大軸荷重、リヤ[2)]	1,340 kg	1,340 kg	1,310 kg	1,340 kg
総重量[2)]	2,550 kg	2,550 kg	2,445 kg	2,575 kg
速度100km/hまでのトレーラーけん引時 – EU				
総重量	2,650 kg	2,650 kg	2,545 kg	2,675 kg
最大軸荷重、フロント・アクスル	1,290 kg	1,290 kg	1,260 kg	1,290 kg
最大軸荷重、リヤ・アクスル	1,475 kg	1,475 kg	1,440 kg	1,475 kg
ルーフ積載荷重				
最大ルーフ積載荷重[3)]	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
トレーラー荷重/車両＋トレーラー重量				
最大けん引重量（ブレーキ装備車）[4)]	2,400 kg	2,400 kg	2,000 kg	2,400 kg
最大けん引重量（ブレーキ非装備車）[4)]	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg
最大車両重量＋トレーラー重量	4,950 kg	4,950 kg	4,445 kg	4,975 kg
最大垂直連結荷重	96 kg	96 kg	80 kg	96 kg

[1)] 車両重量には運転者1名＋荷物分(75kg)の重量が含まれています。

[2)] 最大総重量および最大軸荷重を超えないようにしてください。
知識：追加アクセサリーなどが装備されている場合、それに応じて積載重量が減少します。

[3)] Porsche Tequipment、またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。

[4)] 坂道の勾配率が12%以下のとき

＊ 日本仕様に設定はありません。

充填容量

ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

	Macan Turbo	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル＊
オイル・フィルターを含むエンジン・オイルの交換量（最大）	約8リットル	約8リットル	約4.7リットル	約6.4リットル
エンジンオイル規格	Porsche A40： SAE 0W-40、SAE 5W-40、 SAE 5W-50	Porsche A40： SAE 0W-40、SAE 5W-40、 SAE 5W-50	Porsche C30**または** VW 504 00： SAE 0W-30、SAE 5W-30	Porsche C30**または** VW 507 00： SAE 0W-30、SAE 5W-30
	▷「エンジン・オイルの補充」（280ページ）を参照してください。			
燃料タンク	約75リットル（予備用の約10リットルを含む）	約65リットル（予備用の約9リットルを含む）（オプション：約75リットル）		約60リットル（予備用の約8リットルを含む）（オプション：約75リットル）
燃料品質	この車両のエンジンは、**EN228に基づき、オクタン価が98RON/88MON(Macan：95RON/85MON)**の金属系添加物を含まない無鉛プレミアム・ガソリン（Macan：無鉛プレミアム・ガソリン）を使用したときに、最大の出力と燃費を達成するように設計されています。			ディーゼル燃料はヨーロッパ規格EN 590に準拠している必要があります。セタン価が51以上のものを使用してください。
	▷「燃料の給油」（284ページ）を参照してください。			
AdBlue®タンク＊	–	–	–	約23.3リットル
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー・システム	約4.5リットルまたは6リットル（ヘッドライト・ウォッシャー・システム装備車）			

＊ 日本仕様に設定はありません。

動力性能（メーカー発表値）

DIN規定の空車重量で計測しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

	最高速度	0～100 km/h発進加速（括弧内の数値は「スポーツ・プラス」モード）	トレーラーけん引時の最高速度
Macan Turbo	266 km/h	4.8 (4.6) 秒	地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。
Macan S	254 km/h	5.4 (5.2) 秒	
Macan	223 km/h	6.9 (6.8) 秒	
Macan S ディーゼル＊	230 km/h[1)] 216 km/h[2)]	6.3 (6.1) 秒[1)] 7.7 (7.5) 秒[2)]	

1) イタリア仕様車の数値はEuro 4仕様とは異なります。

2) ベルギー、ノルウェー

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両寸法（メーカー発表値）

	Macan Turbo	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル＊
全長	4,699 mm 4,692 mm[1]	4,681 mm 4,692 mm[1] 4,697 mm[2]	4,681 mm 4,692 mm[1] 4,697 mm[2]	4,681 mm 4,692 mm[1] 4,697 mm[2]
全幅	1,923 mm	1,923 mm	1,923 mm	1,923 mm
ホイール・アーチ・エクステンションを含む全幅	1,926 mm	1,926 mm	1,926 mm	1,926 mm
ドア・ミラーを含む全幅	2,098 mm	2,098 mm	2,098 mm	2,098 mm
ノーマル・レベルの全高、18/19インチ・エア・スプリング				
ノーマル・レベルの全高	1,609 mm	1,609 mm	1,609 mm	1,609 mm
ノーマル・レベルの全高（ルーフ・レール）	1,615 mm	1,615 mm	1,615 mm	1,615 mm
ノーマル・レベルの全高（ベーシック・ルーフ・トランスポート・システム・キャリア）	1,708 mm	1,708 mm	1,708 mm	1,708 mm
リヤ・リッド・オープン時のノーマル・レベルの全高	2,112 mm	2,112 mm	2,112 mm	2,112 mm
DIN規格空車重量での全高、スチール・サスペンション				
DIN規格空車重量での全高	1,624 mm	1,624 mm	1,624 mm	1,624 mm
DIN規格空車重量での全高（ルーフ・レール）	1,630 mm	1,630 mm	1,630 mm	1,630 mm
DIN規格空車重量での全高（ベーシック・ルーフ・トランスポート・システム・キャリア）	1,723 mm	1,723 mm	1,723 mm	1,723 mm
リヤ・リッド・オープン時のDIN規格空車重量での全高	2,127 mm	2,127 mm	2,127 mm	2,127 mm
ハイ・レベルの全高、エア・サスペンション				
ハイ・レベル使用時の全高	1,649 mm	1,649 mm	1,649 mm	1,649 mm
ハイ・レベル使用時の全高（ルーフ・レール含む）	1,655 mm	1,655 mm	1,655 mm	1,655 mm
ハイ・レベル使用時の全高（ベーシック・ルーフ・トランスポート・システム・キャリア）	1,748 mm	1,748 mm	1,748 mm	1,748 mm
ハイ・レベル使用時の全高（リヤ・リッド・オープン時）	2,052 mm	2,052 mm	2,052 mm	2,052 mm

[1] SportDesignパッケージ装備車

[2] EU加盟国

＊ 日本仕様に設定はありません。

	Macan Turbo	Macan S	Macan	Macan S ディーゼル＊
最大渡河能力	300 mm	300 mm	300 mm	300 mm
ホイールベース	2,807 mm	2,807 mm	2,807 mm	2,807 mm
オーバーハング、フロント	942 mm 935 mm[1)]	924 mm 935 mm[1)] 940 mm[2)]	924 mm 935 mm[1)] 940 mm[2)]	924 mm 935 mm[1)] 940 mm[2)]
オーバーハング、リヤ	950 mm	950 mm	950 mm	950 mm
最小回転直径	11.96 m	11.8 m	11.8 m	11.8 m

1) SportDesignパッケージ装備車

2) EU加盟国

＊ 日本仕様に設定はありません。

数字

A

E

H

I

M

P

R

S

T

＊ 日本仕様に設定はありません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

お

＊ 日本仕様に設定はありません。

か

き

＊ 日本仕様に設定はありません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

す

＊ 日本仕様に設定はありません。

せ

そ

た

＊ 日本仕様に設定はありません。

ち

て

と

＊ 日本仕様に設定はありません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ひ

ふ

＊ 日本仕様に設定はありません。

へ

ほ

ま

＊ 日本仕様に設定はありません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

● 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
● 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
● この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ ジャパン株式会社　アフターセールス部

〒153-0064
東京都目黒区下目黒1-8-1
アルコタワー16F

車両受領証
（販売店で保管）

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時　　お客様の署名

無線装置の検査マーク

ヨーロッパ

ポルシェ社では、当社車両に装着されている無線装置が指令1999/5/ECの基本要件および他の関連規約に適合していることを承認します。

ブラジル

イスラエル

שם הדגם (Hebrew :Model name)
28416031/2 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובת (Hebrew : Manufacturer and address)
Continental AG
Siemensstraße 12
93055 Regensburg

SA1-367

マレーシア

RAAU/25A/0409/S(09-0408)

シンガポール

Complies with IDA Standards DB01752
Complies with IDA Standards DA103858

中国

CMIIT ID：2013DJ5507

インドネシア

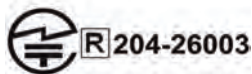
22097/SDPPI/2011 2181

ヨルダン

Type approval No.：TRC/LPD/2011/106

台湾

CCAB10LP3800T1

日本

カタール

ictQATAR Type Approval reg.No.：R-2419

オマーン

Oman – TRA R/0686/12 D090016

アラブ首長国連邦

TRA REGISTERED No：ER0075624/11,
DEALER No：DA0053436/10
TRA REGISTERED No：0016889 / 09,
DEALER No：0014972/08

メキシコ

Radar de largo alcance, 77GHz,
MARCA：BOSCH, MODELO：LRR3,
COFETEL：(RCPBOLR09-0828)

モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d'agrément：MR 5371 ANRT 2010
Date d'agrément：02 / 02 / 2010

韓国

南アフリカ